

人権に関する市民意識調査報告書

# 人権に関する市民意識調査報告書

平成29年2月

平成29年2月

山口市

山口市

# 目次

## 第一章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査の方法	1
4 回収状況	2
5 回収の属性	2
6 調査結果の見方	2

## 第二章 調査結果の分析

### 1 人権についての意識や考え方

(1) 基本的人権に関する認知度	5
(2) 関心のある基本的人権	7
(3) 山口市人権推進指針の周知度	11
(4) 山口市人権推進指針を知ったきっかけ	13
(5) 山口市人権推進指針の内容に対する感想	15
(6) 山口市における人権尊重意識の定着状況	17
(7) 人権を侵害された経験	19
(8) 人権を侵害されたと思った内容	21
(9) 人権を侵害された際の対処法	26

### 2 女性の人権について

女性に関する人権上の問題点	30
---------------	----

### 3 子どもの人権について

子どもに関する人権上の問題点	34
----------------	----

### 4 高齢者の人権について

高齢者に関する人権上の問題点	38
----------------	----

### 5 障がいのある人の人権について

障がいのある人に関する人権上の問題点	43
--------------------	----

### 6 同和問題について

(1) 同和問題に関する人権上の問題点	48
(2) 同和問題に関する偏見や差別を見た経験	52
(3) 同和問題の解決に必要なこと	56

<b>7 外国人の人権について</b>	
(1) 外国人に関する人権上の問題点	60
(2) 外国人に関する偏見や差別を見た経験	64
<b>8 感染症患者等（H I V感染者・患者等）の人権について</b>	
(1) 感染症患者等に関する人権上の問題点	68
(2) 感染症患者等に関する偏見や差別を見た経験	72
<b>9 ハンセン病問題（ハンセン病患者・元患者等）の人権について</b>	
(1) ハンセン病問題に関する人権上の問題点	76
(2) ハンセン病問題に関する偏見や差別を見た経験	80
<b>1 0 罪や非行を犯した人の人権について</b>	
(1) 罪や非行を犯した人が立ち直ろうとする場合の人権上の問題点	84
(2) 罪や非行を犯した人に関する偏見や差別を見た経験	88
<b>1 1 性的少数者の人権について</b>	
(1) 性的少数者の人権上の問題点	92
(2) 性同一性障害の人権上の問題点	96
<b>1 2 その他の人権について</b>	
(1) プライバシーの保護に関する人権上の問題点	100
(2) インフォームド・コンセントに関する医療機関の対応	104
(3) 犯罪被害者に関する人権上の問題点	106
<b>1 3 人権に関する取り組みについて</b>	
(1) 啓発活動への接触度	111
(2) 人権に関する取り組みの今後の条件整備	115
(3) 今後、山口市人権推進指針に盛り込むべき人権課題	119

<参考資料>

平成28年度「人権に関する市民意識調査」調査票	123
-------------------------	-----

第一章  
調査の概要



## 第一章 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、幅広い人権問題への対応や、より一層の人権尊重を踏まえた行政を推進するため、人権問題に対する市民の意識についての現状や問題点等の把握を行い、今後の人権諸施策を効果的に推進するための検討資料とする。

### 2 調査項目

- (1) 人権についての意識や考え方（問1～問4）
- (2) 女性の人権（問5）
- (3) 子どもの人権（問6）
- (4) 高齢者の人権（問7）
- (5) 障がい者の人権（問8）
- (6) 同和問題（問9～問11）
- (7) 外国人の人権（問12～問13）
- (8) 感染症患者等の人権（問14～問15）
- (9) ハンセン病問題（問16～問17）
- (10) 罪や非行を犯した人の人権（問18～問19）
- (11) 性的少数者の人権（問20～問21）
- (12) その他の人権（問22～問24）
- (13) 人権に関する取り組み（問25～問27）

### 3 調査の方法

#### (1) 調査対象者及び標本抽出の方法

市内に居住する18歳以上の者を対象として、住民基本台帳から男性1,000人、女性1,000人を無作為抽出した。

#### (2) 調査方法

郵送法・無記名方式

#### (3) 調査機関

- ・調査票発送 9月中旬
- ・回答期限 10月14日

#### (4) 実施機関

山口市地域生活部人権推進課

#### 4 回収状況

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| (1) 調査票配布数     | 2,000票          |
| (2) 住所不明による返却数 | 12票             |
| (3) 回収数        | 795票 (回収率40.0%) |

#### 5 回収の属性

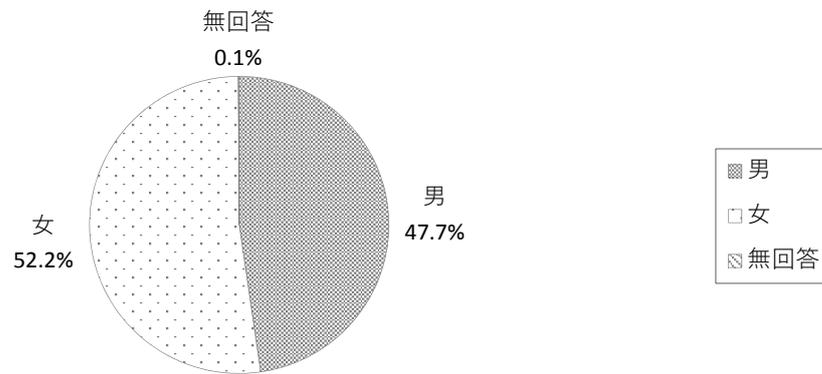
別紙 (回収の属性)

#### 6 調査結果の見方

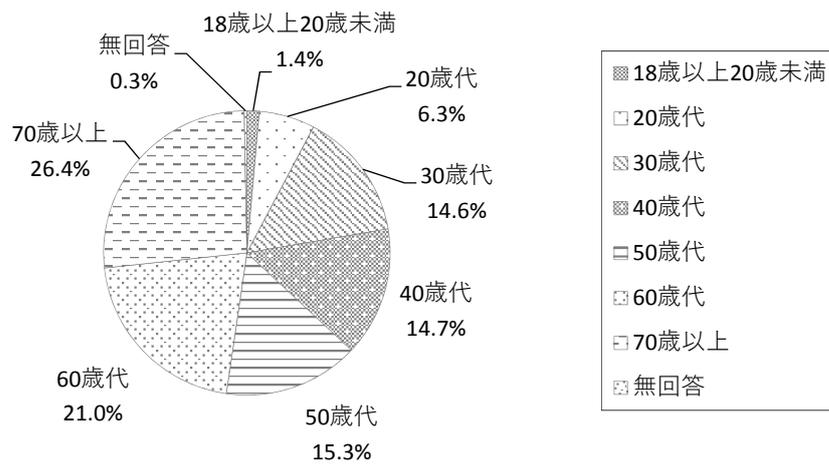
- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比 (%) で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (3) 職業別区分のうち、漁業者 (家族従事者も含む) の標本数は2である。

別紙（回収の属性）

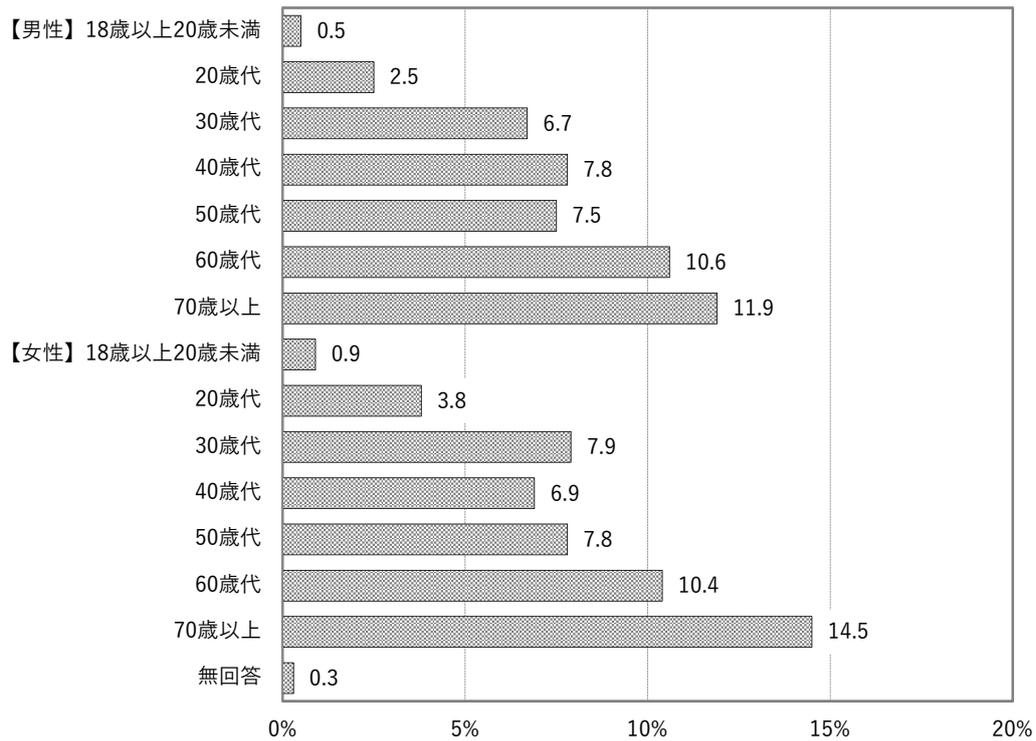
（1）性別（n=795）



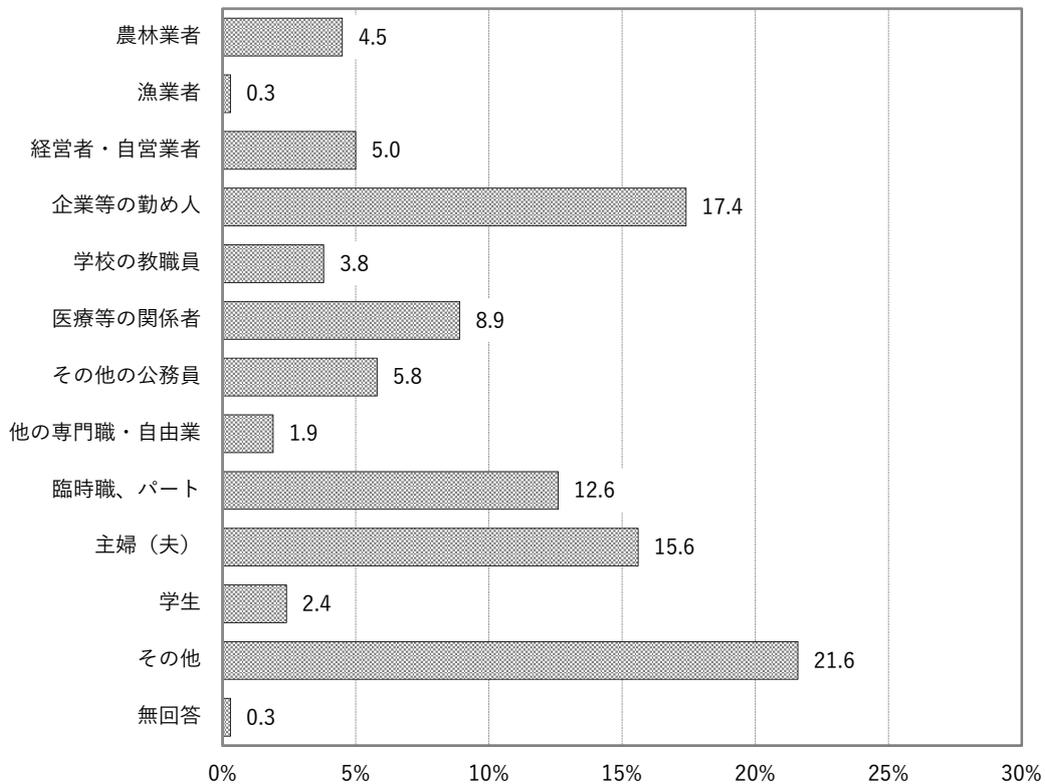
（2）年齢（n=795）



(3) 性・年齢別 (n=795)



(4) 職業別 (n=795)



## 第二章 調査結果の分析



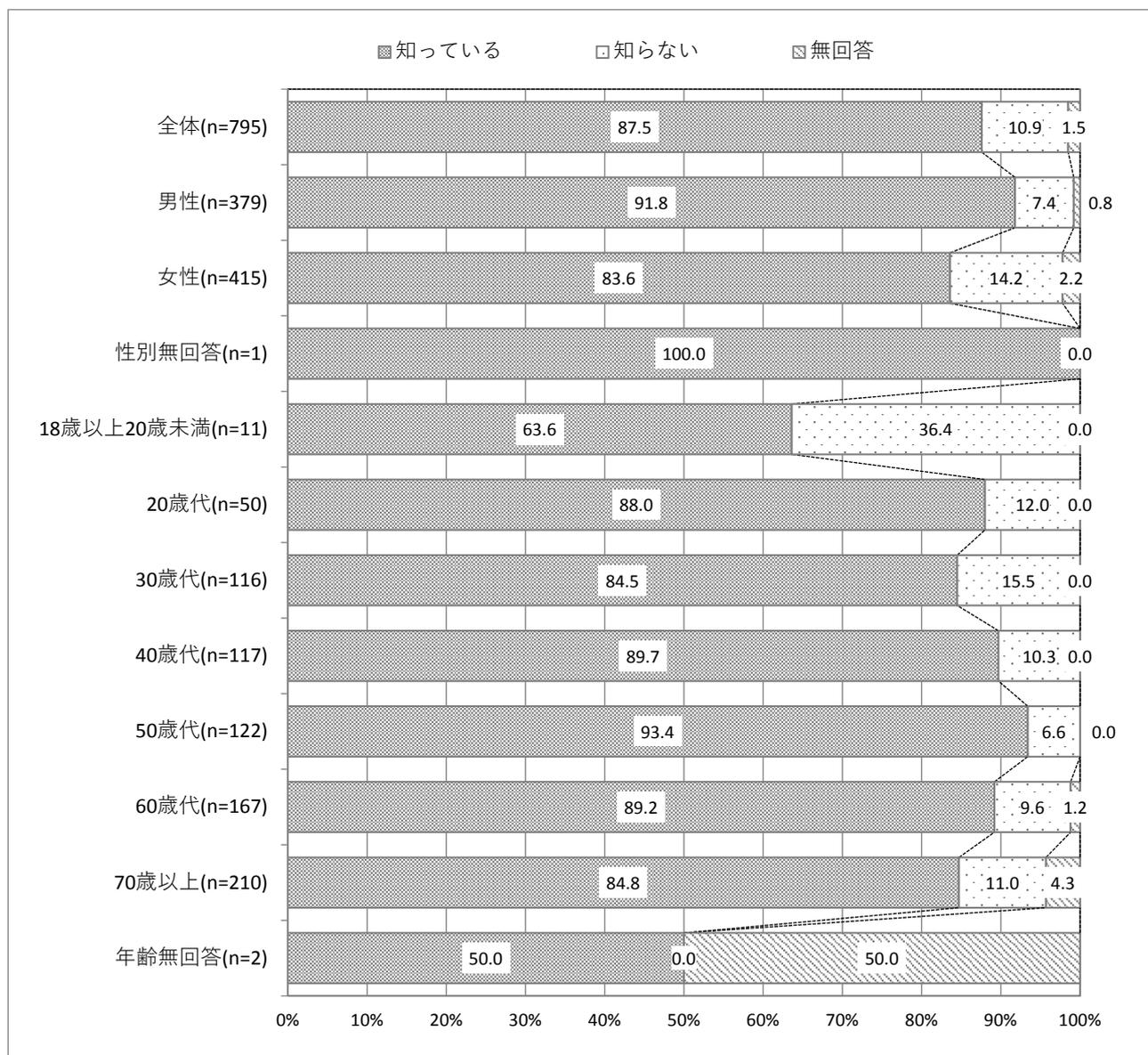
## 第二章 調査結果の分析

### 1 人権についての意識や考え方

#### (1) 基本的人権に関する認知度

問1 あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか？

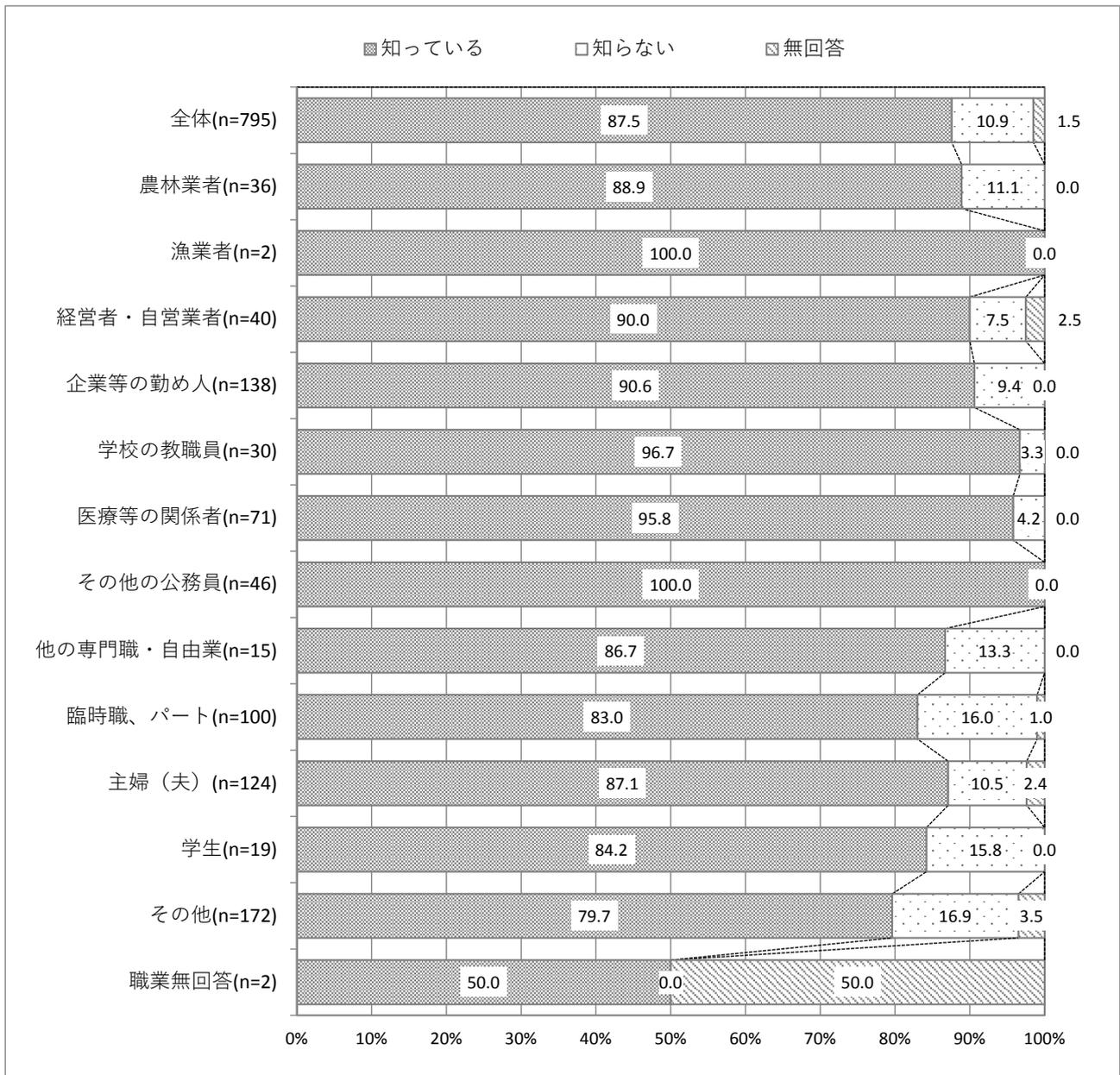
#### 【基本的人権に関する認知度（性・年齢別）】



基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを、「知っている」が9割弱（87.5%）となっている。

年齢別に見ると、最も高かったのは50歳代で93.4%、次に40歳代89.7%、60歳代89.2%、20歳代88.0%、70歳以上84.8%、30歳代84.5%となっている。

【基本的人権に関する認知度（職業別）】



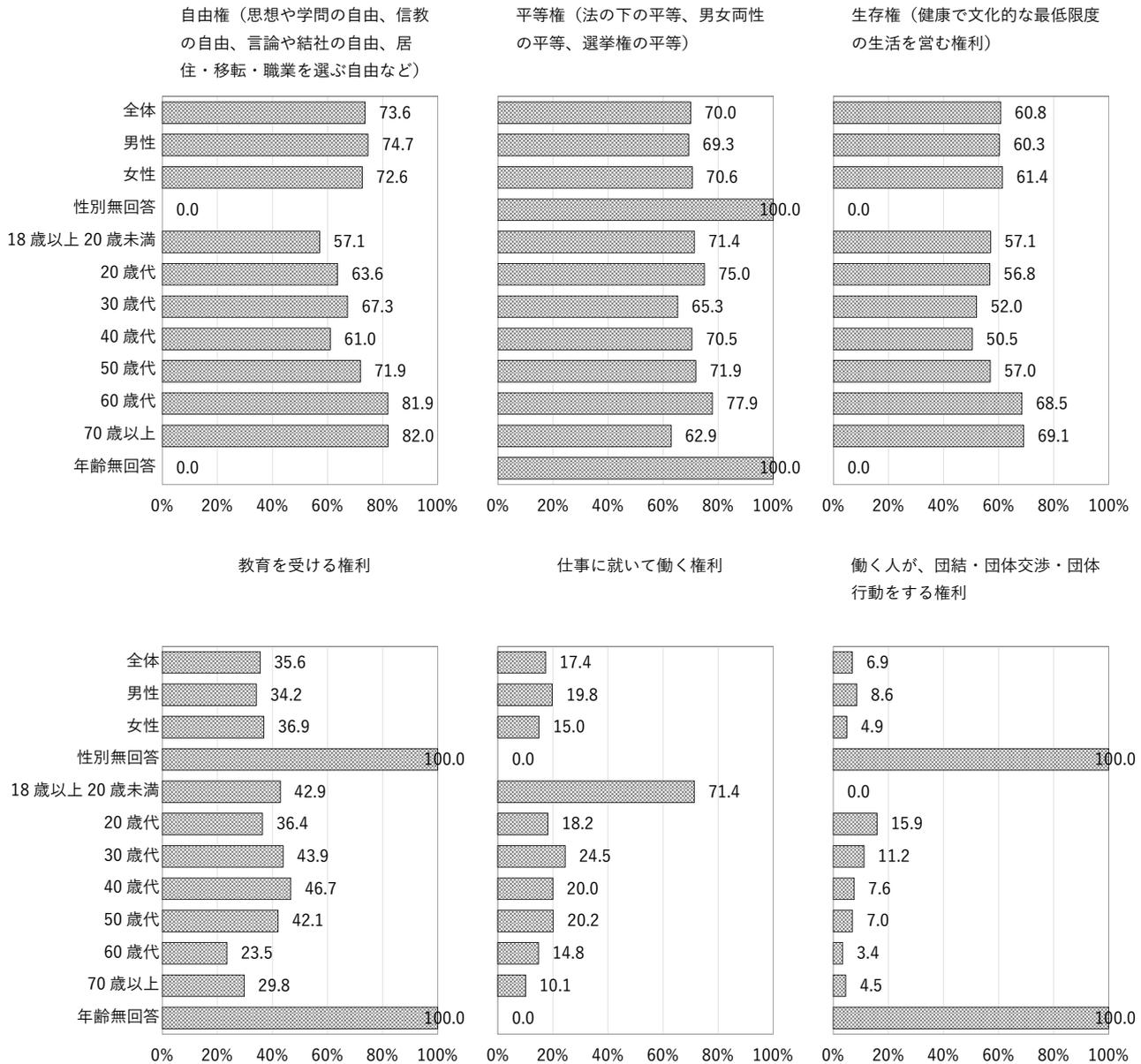
基本的人権に関する認知度について、職業別に見ると、「知っている」と回答した人が 9 割を超えるのは、その他の公務員 100.0%、学校の教職員 96.7%、医療等の関係者 95.8%、企業等の勤め人 90.6%、経営者・自営業者 90.0%である。

(2) 関心のある基本的人権

問1-2 【問1で「①知っている」を選んだ人のみ、お答えください。】

憲法で保障されている基本的人権のうち、あなたが日常生活の中で、特に関心をもっているものはどれですか？3つまで選んでください。

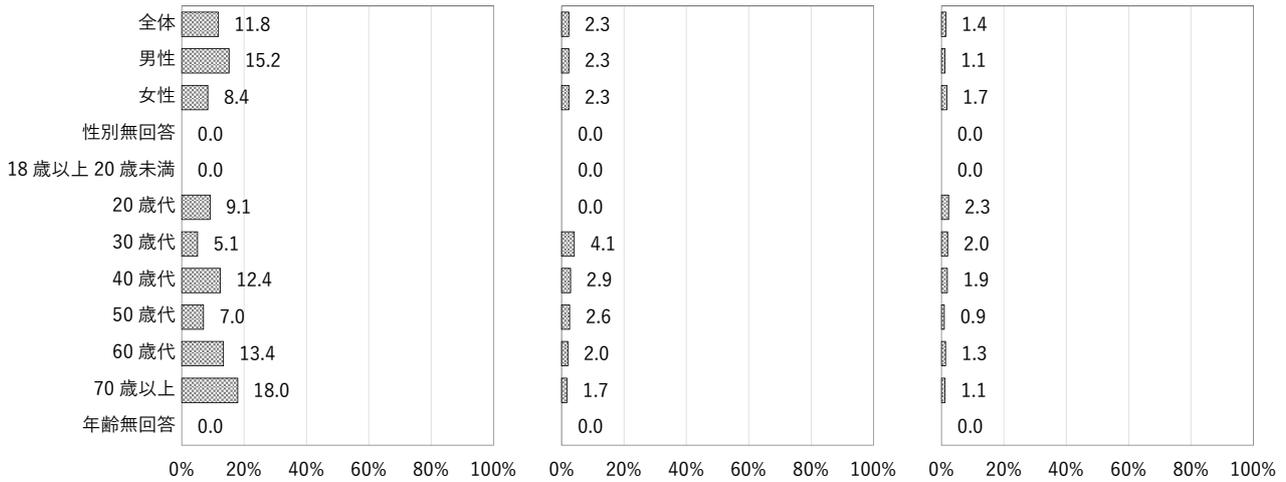
【関心のある基本的人権（性・年齢別）】



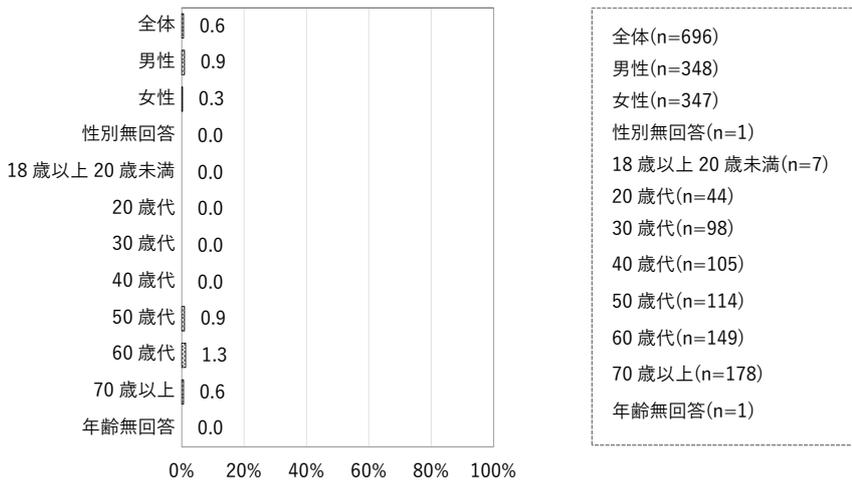
政治に参加する権利（選挙権、最高裁判所裁判官の国民審査など）

裁判を受ける権利に参加する権利

わからない



その他



8項目の基本的な権利の中で、最も関心が高かったのは、「自由権（思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など）」で73.6%である。次に「平等権（法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等）」70.0%、「生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）」60.8%で、いずれも6割を超えている。

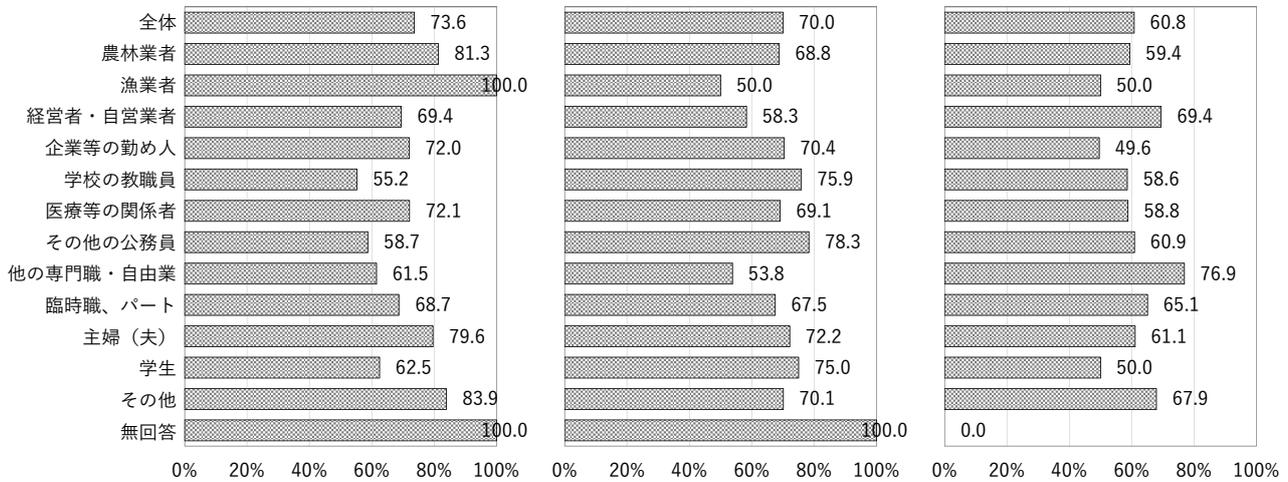
また、年齢別に見ると、自由権（思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など）は、70歳以上82.0%、60歳代81.9%と8割を超えている。「生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）」では、60歳代68.5%、70歳以上69.1%と高くなっている。「仕事に就いて働く権利」では、18歳以上20歳未満で71.4%と他の年代に比べて高くなっている。

## 【関心のある基本的人権（職業別）】

自由権（思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など）

平等権（法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等）

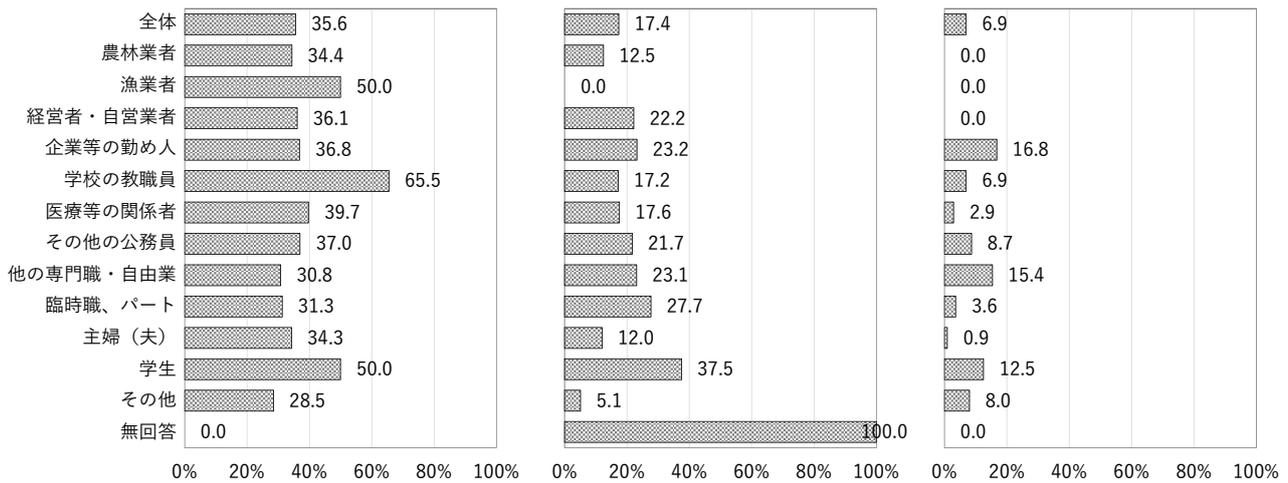
生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）



教育を受ける権利

仕事に就いて働く権利

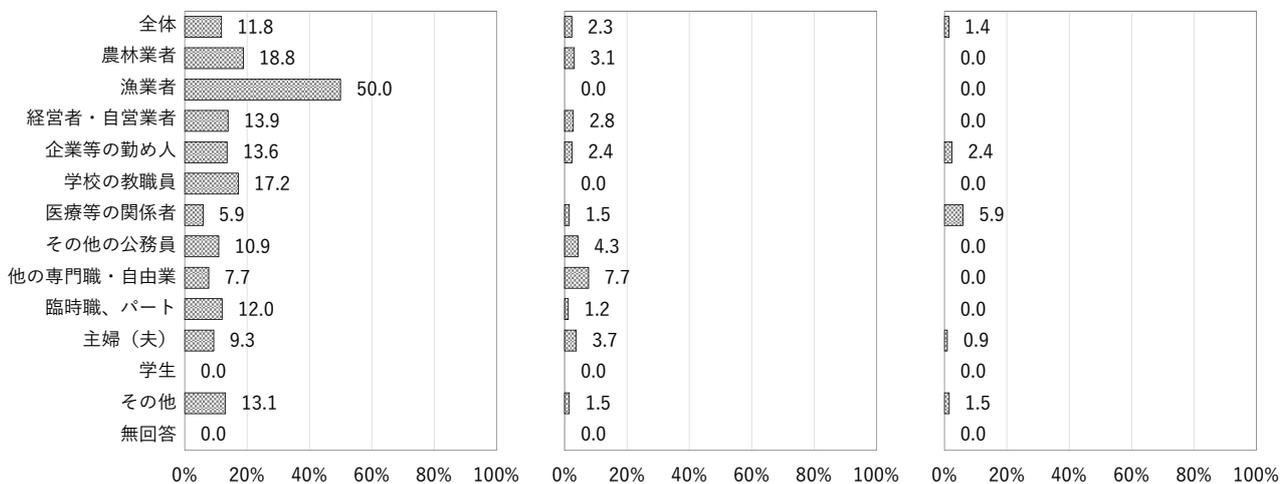
働く人が、団結・団体交渉・団体行動をする権利



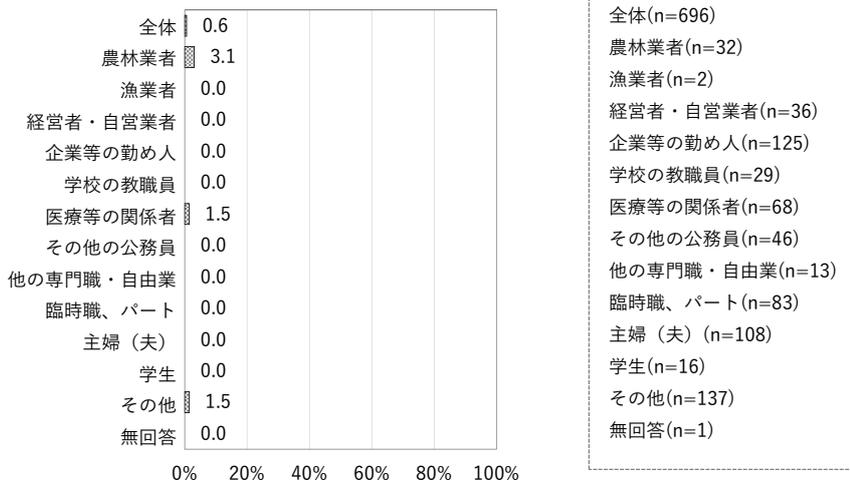
政治に参加する権利（選挙権、最高裁判所裁判官の国民審査など）

裁判を受ける権利に参加する権利

わからない



その他



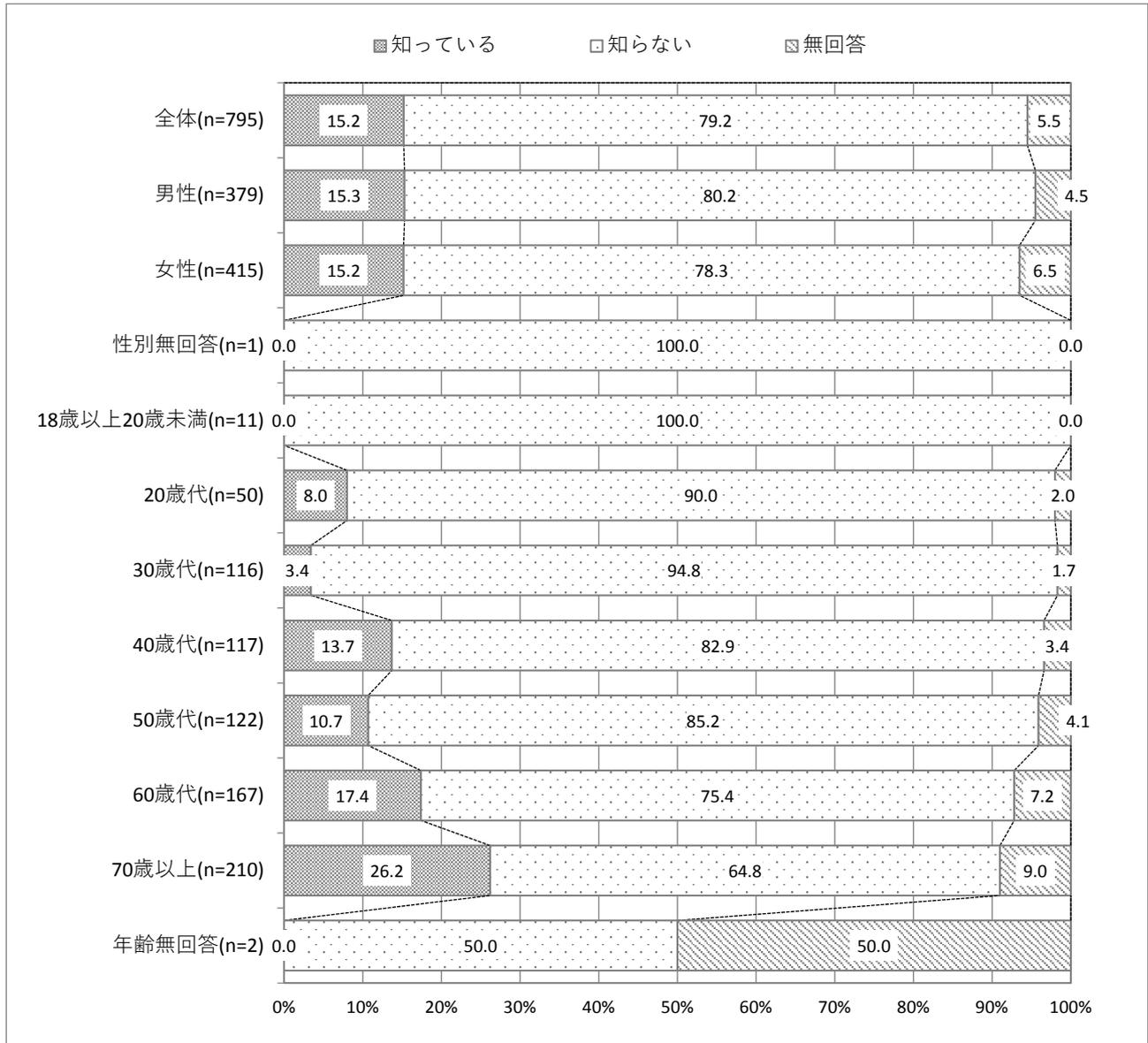
関心のある基本的人権について職業別に見ると、「自由権（思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など）では、その他（無職など）83.9%、農林業者81.3%の割合が高い。「平等権（法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等）」では、その他の公務員78.3%、学校の教職員75.9%、学生75.0%が高い。「生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）」では、他の専門職・自由業76.9%が最も高い。

「教育を受ける権利」では、学校の教職員65.5%が他の職業に比べて高い。「仕事に就いて働く権利」では、学生37.5%が他の職業に比べて高い。

(3) 山口市人権推進指針の周知度

問2 『市民一人ひとりの人権が尊重されたまち』の実現に向け、人権に関する総合的な取り組みを推進するため、平成23年3月に策定した「山口市人権推進指針」を知っていますか？

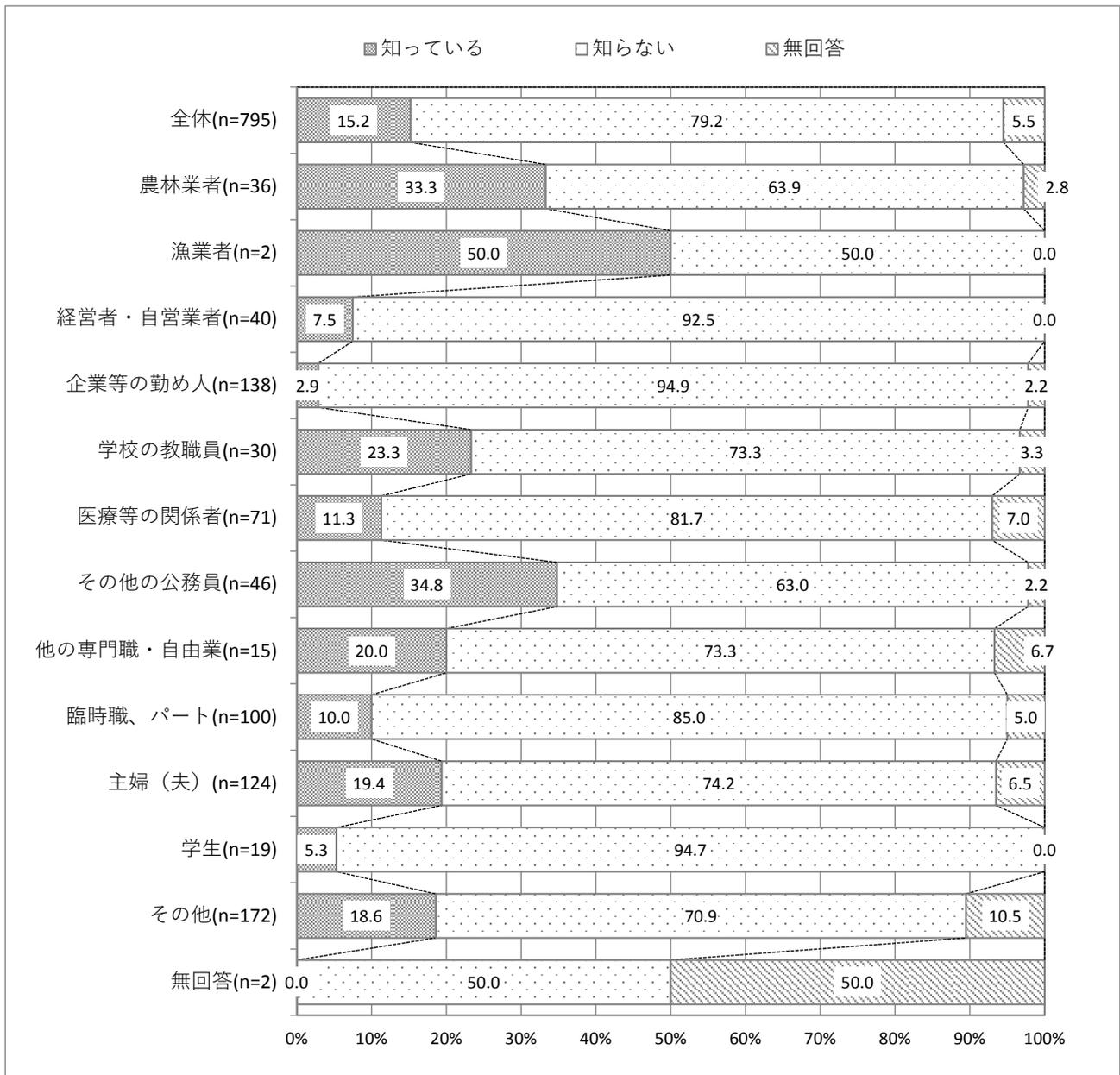
【山口市人権推進指針の周知度（性・年齢別）】



山口市人権推進指針を「知っている」と回答した人は15.2%である。

年齢別に見ると、年齢が高くなるにつれて「知っている」と回答した人の割合が高くなる傾向が見られ、最も高いのは70歳以上で26.2%である。

【山口市人権推進指針の周知度（職業別）】



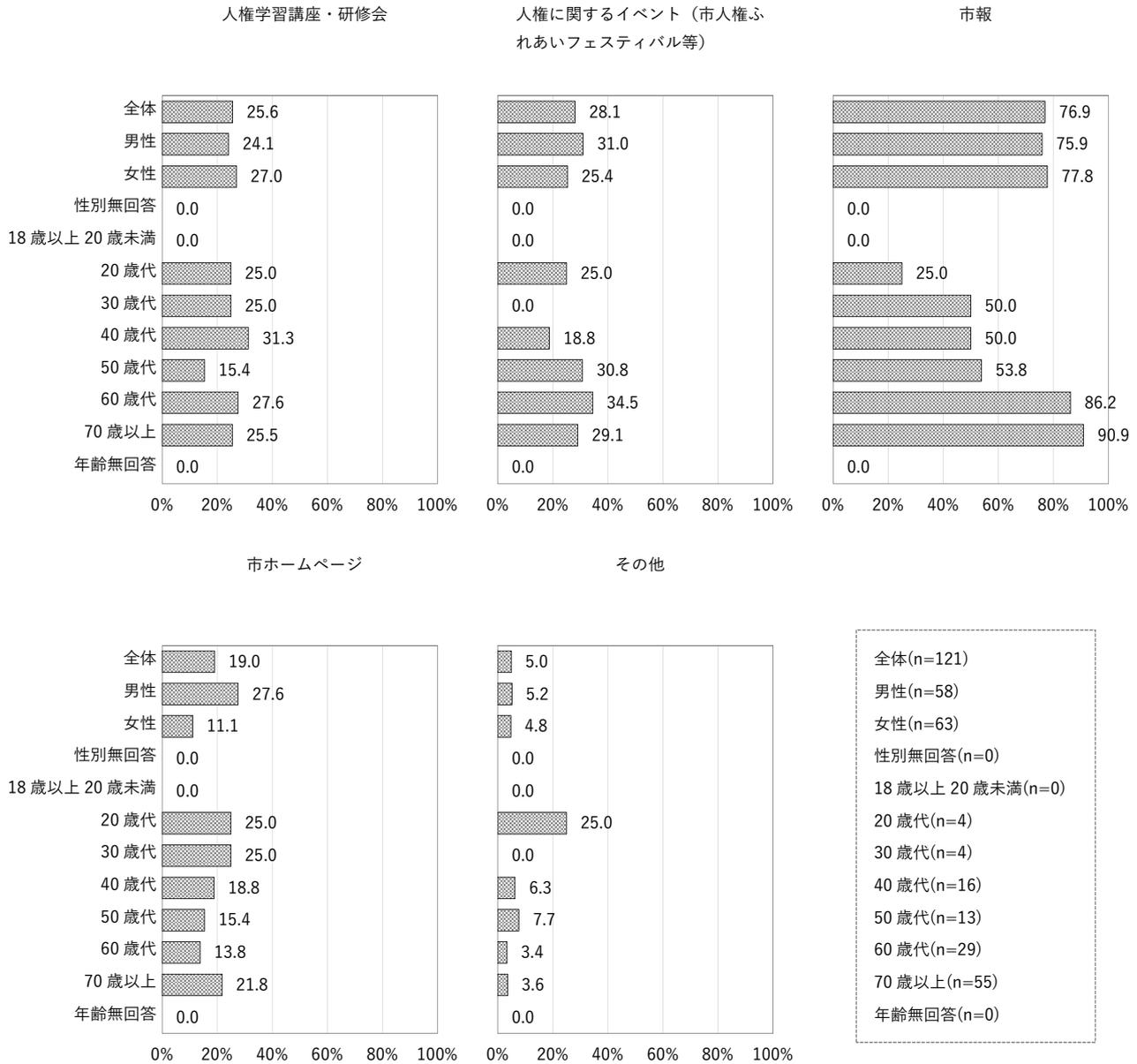
山口市人権推進指針の周知度について、職業別に見ると、「知っている」と答えた人が多い職業は、漁業者 50.0%、その他の公務員 34.8%、農林業者 33.3%である。「知っている」と答えた人が最も少ないのは、企業等の勤め人 2.9%となっている。

(4) 山口市人権推進指針を知ったきっかけ

問2-2(1)【問2で「①知っている」を選んだ人のみ】

あなたが、「山口市人権推進指針」を知ったきっかけは、何からですか？全て選んでください。

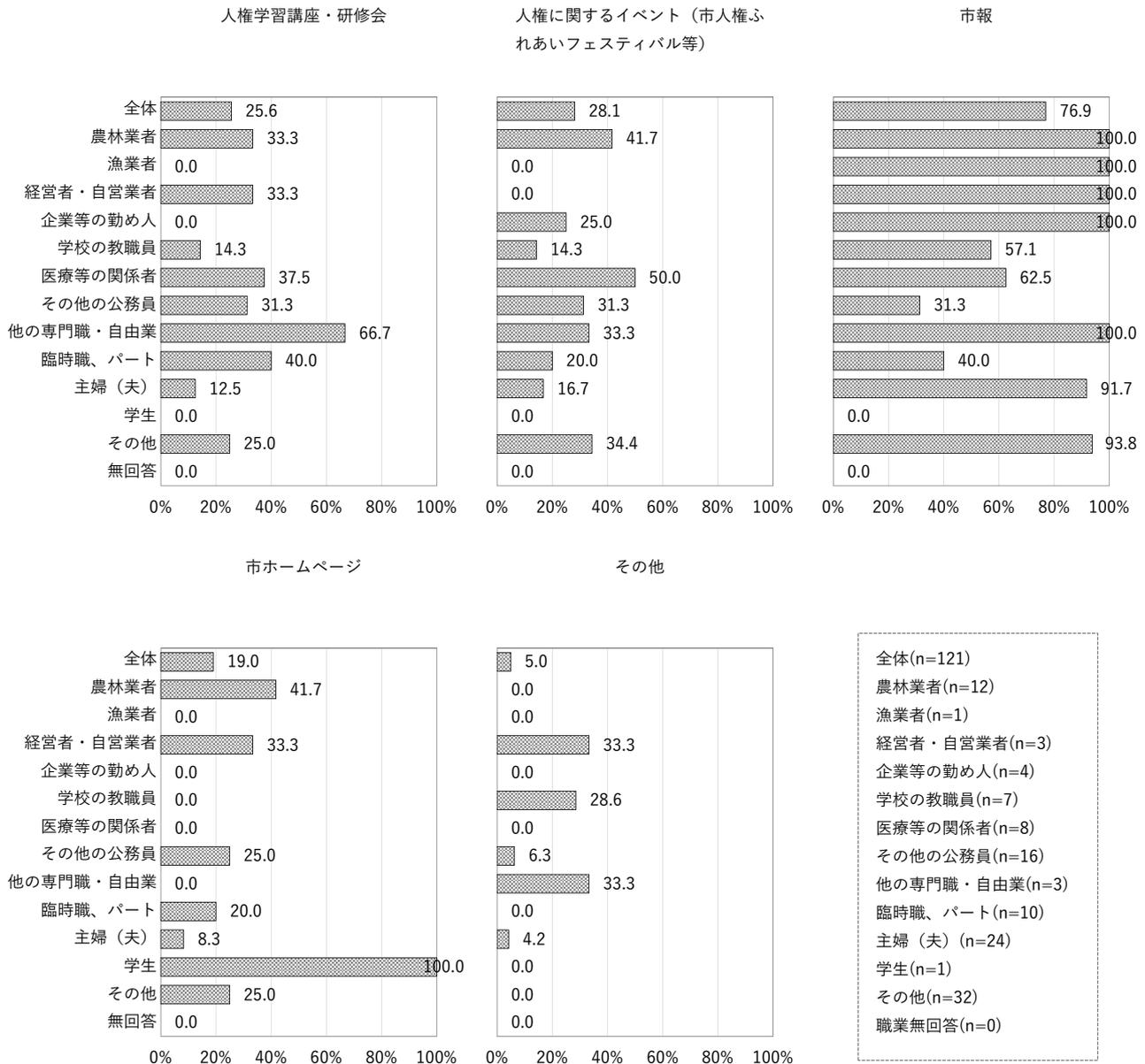
【山口市人権推進指針を知ったきっかけ（性・年齢別）】



山口市人権推進指針を知ったきっかけは、「市報」が76.9%と7割を超えている。

また、年代別に見ると、どの年代も「市報」と答えた割合が最も高く、年代が上がるにつれて増加している。70歳以上では90.9%、60歳代は86.2%となっている。「市ホームページ」では、20歳代が25.0%、30歳代も25.0%と若干高くなっている。

## 【山口市人権推進指針を知ったきっかけ（職業別）】



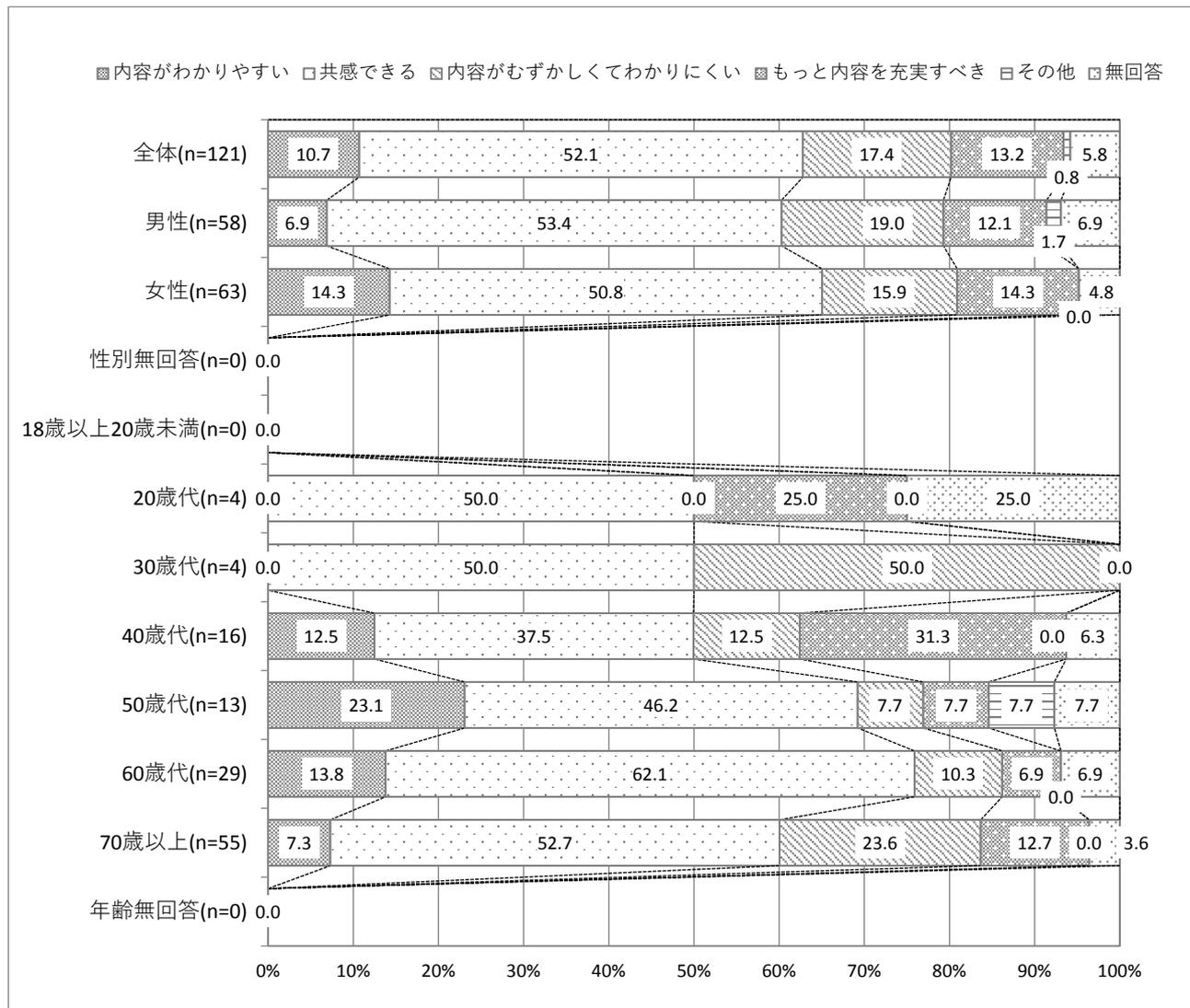
山口市人権推進指針を知ったきっかけについて、職業別に見ると、ほとんどの職業において「市報」と回答した人が多く、農林業者、漁業者、経営者・自営業者、企業等の勤め人、他の専門職・自由業では100.0%である。「人権学習講座・研修会」では、他の専門職・自由業が66.7%と他の職業に比べて高くなっている。

(5) 山口市人権推進指針の内容に対する感想

問2-2 (2) 【問2で「①知っている」を選んだ人のみ】

「山口市人権推進指針」について、どのように思いましたか？ 1つ選択してください。

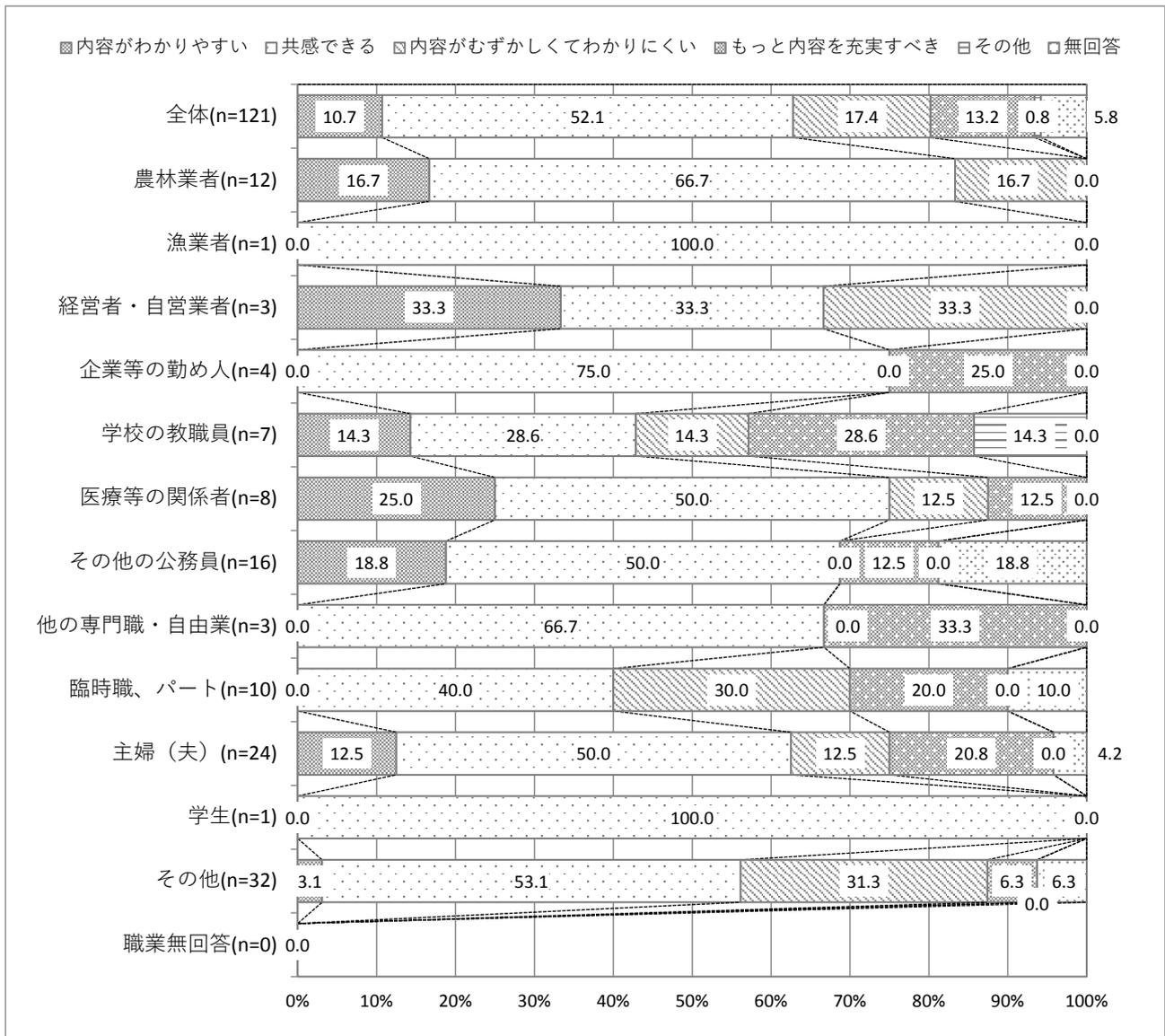
【山口市人権推進指針の内容に対する感想 (性・年齢別)】



山口市人権推進指針の内容に対する感想について、最も多いのは「共感できる」52.1%で、「内容がわかりやすい」が10.7%で、両回答を合わせると6割を超える市民が理解を示している。

また、年齢別に見ると、「内容がわかりやすい」と答えた人が最も多いのは50歳代で23.1%となっている。「共感できる」と答えた人が最も多いのは60歳代で62.1%となっている。50歳代以上で、「内容がわかりやすい」「共感できる」を合わせた割合が高くなっている。

【山口市人権推進指針の内容に対する感想（職業別）】



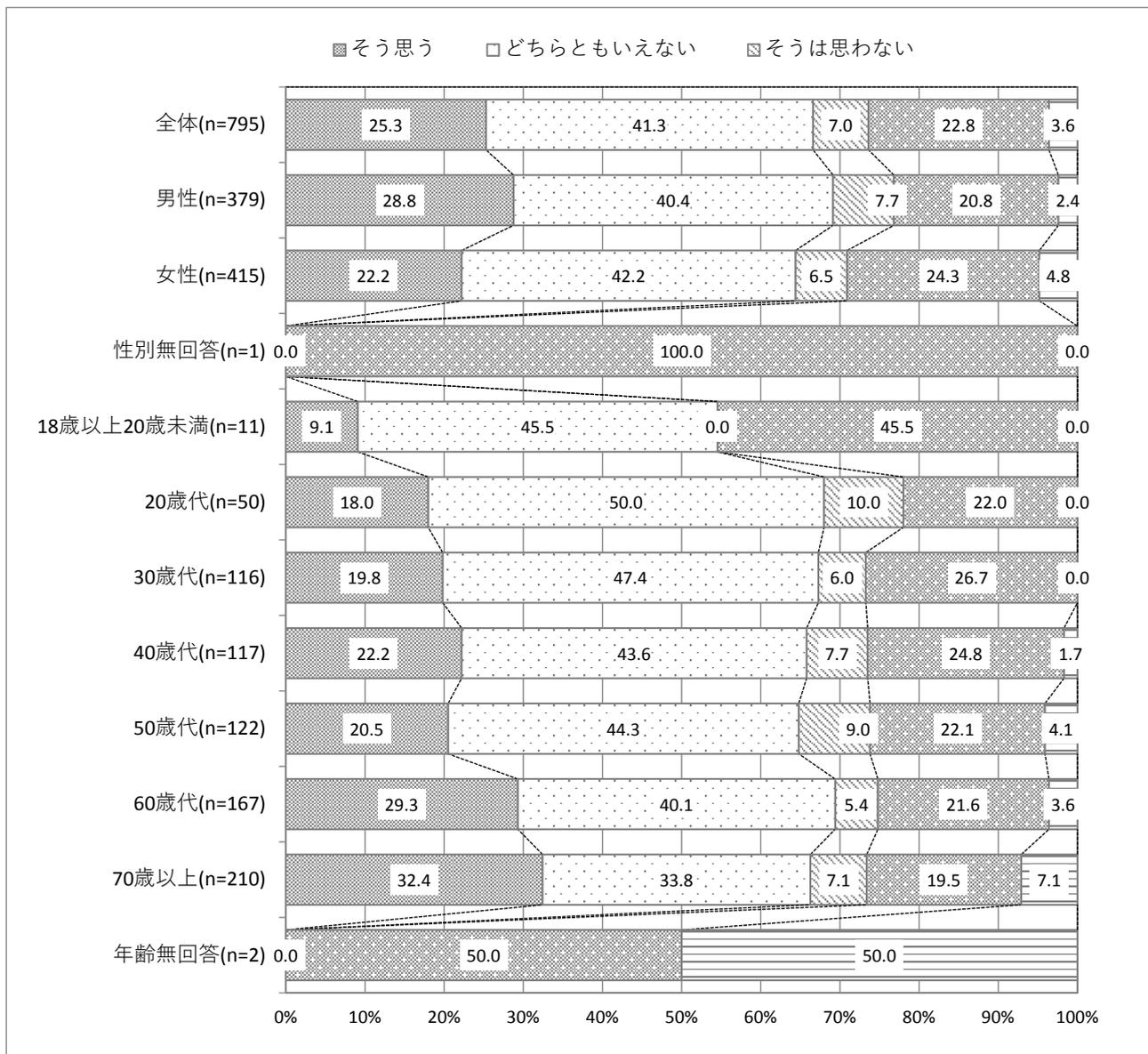
山口市人権推進指針の内容に対する感想について、職業別に見ると、「内容がわかりやすい」と答えた人が多いのは、経営者・自営業者 33.3%、医療等の関係者 25.0%である。「もっと内容を充実すべき」と答えた人が多いのは、他の専門職・自由業 33.3%、学校の教職員 28.6%である。

「内容がわかりやすい」「共感できる」を合わせた割合が低いのは、臨時職、パート 40.0%、学校の教職員 42.9%で、約 4 割にとどまる。

(6) 山口市における人権尊重意識の定着状況

問3 今の山口市は、人権が尊重されたまちだと思いますか？

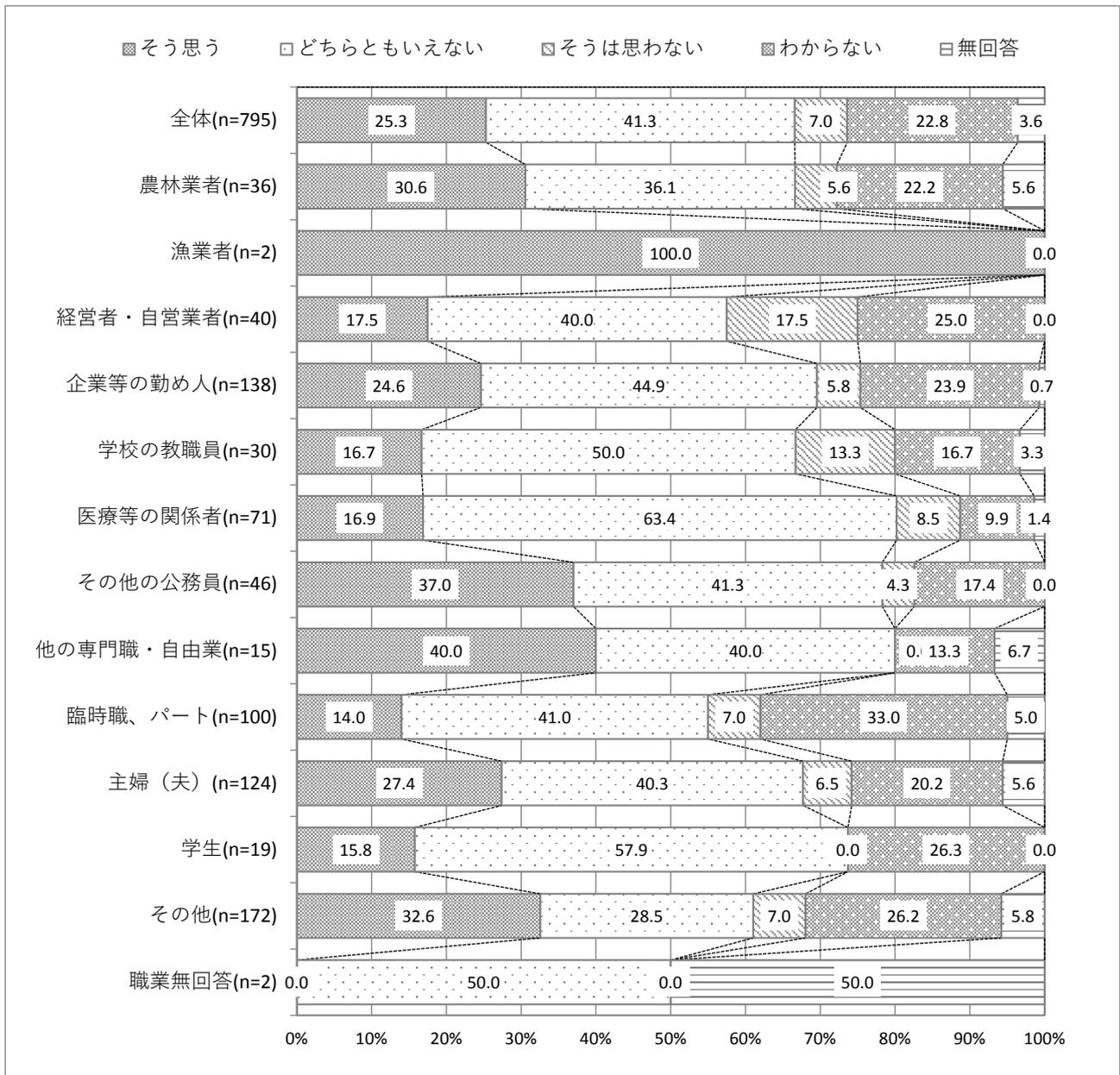
【山口市における人権尊重意識の定着状況（性・年齢別）】



今の山口市は、人権が尊重されたまちだと思うかという質問に対し、「どちらともいえない」41.3%が「そう思う」25.3%を上回っている。

年代別に見ると、年代が上がるにつれて「そう思う」と答えた人の割合が高く、70歳以上は32.4%、60歳代は29.3%である。「そうは思わない」と答えた人の割合が高いのは、20歳代で10.0%となっている。

【山口市における人権尊重意識の定着状況（職業別）】



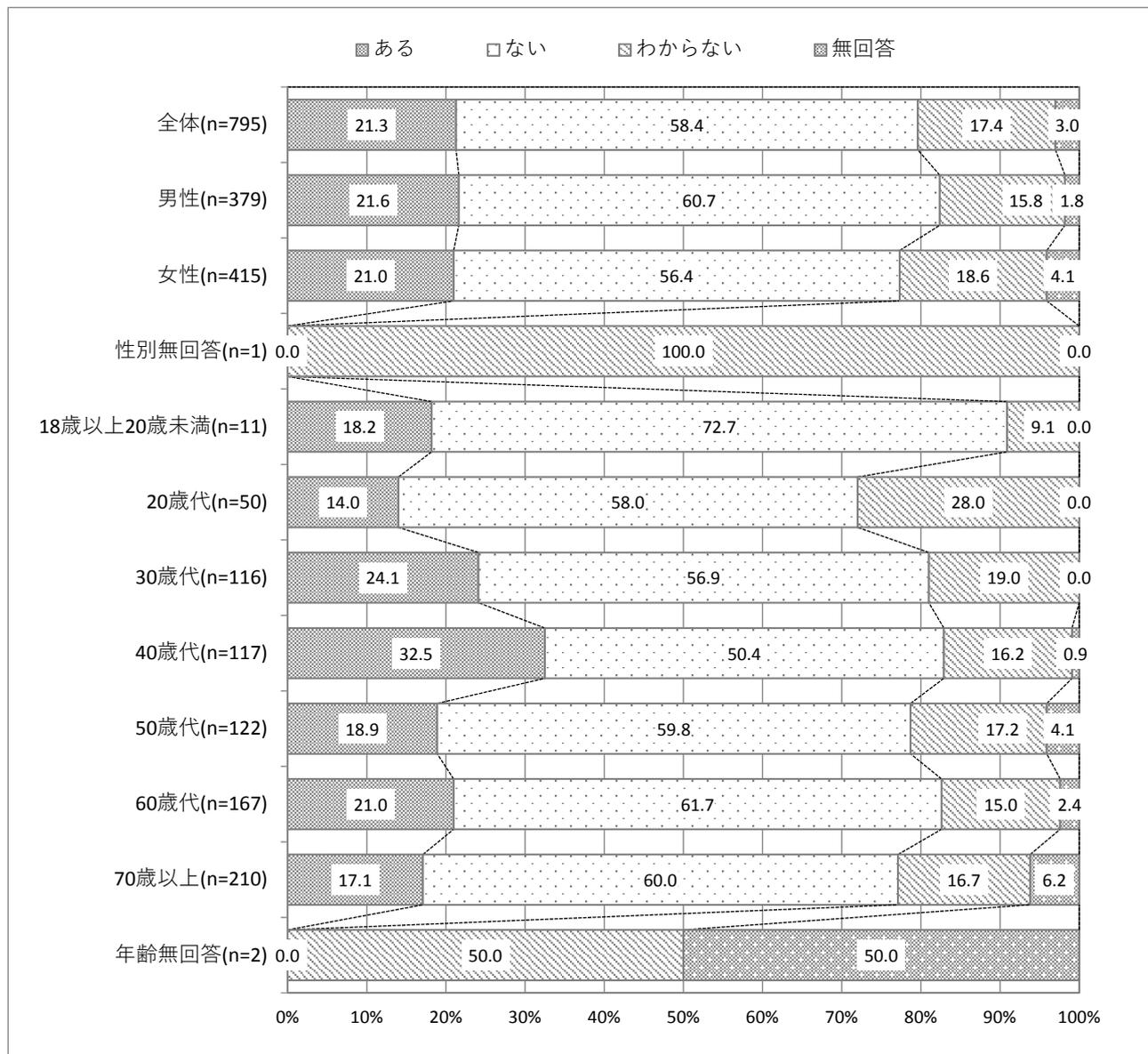
山口市における人権尊重意識の定着状況について、職業別に見ると、「そう思う」と答えた人では、他の専門職・自由業 40.0%、その他の公務員 37.0%と高くなっているのに対し、臨時職、パート 14.0%、学生 15.8%と低くなっている。

「そうは思わない」と答えた人では、経営者・自営業者 17.5%、学校の教職員 13.3%が、他の職業に比べて高くなっている。

(7) 人権を侵害された経験

問4 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと覚ったことがありますか？

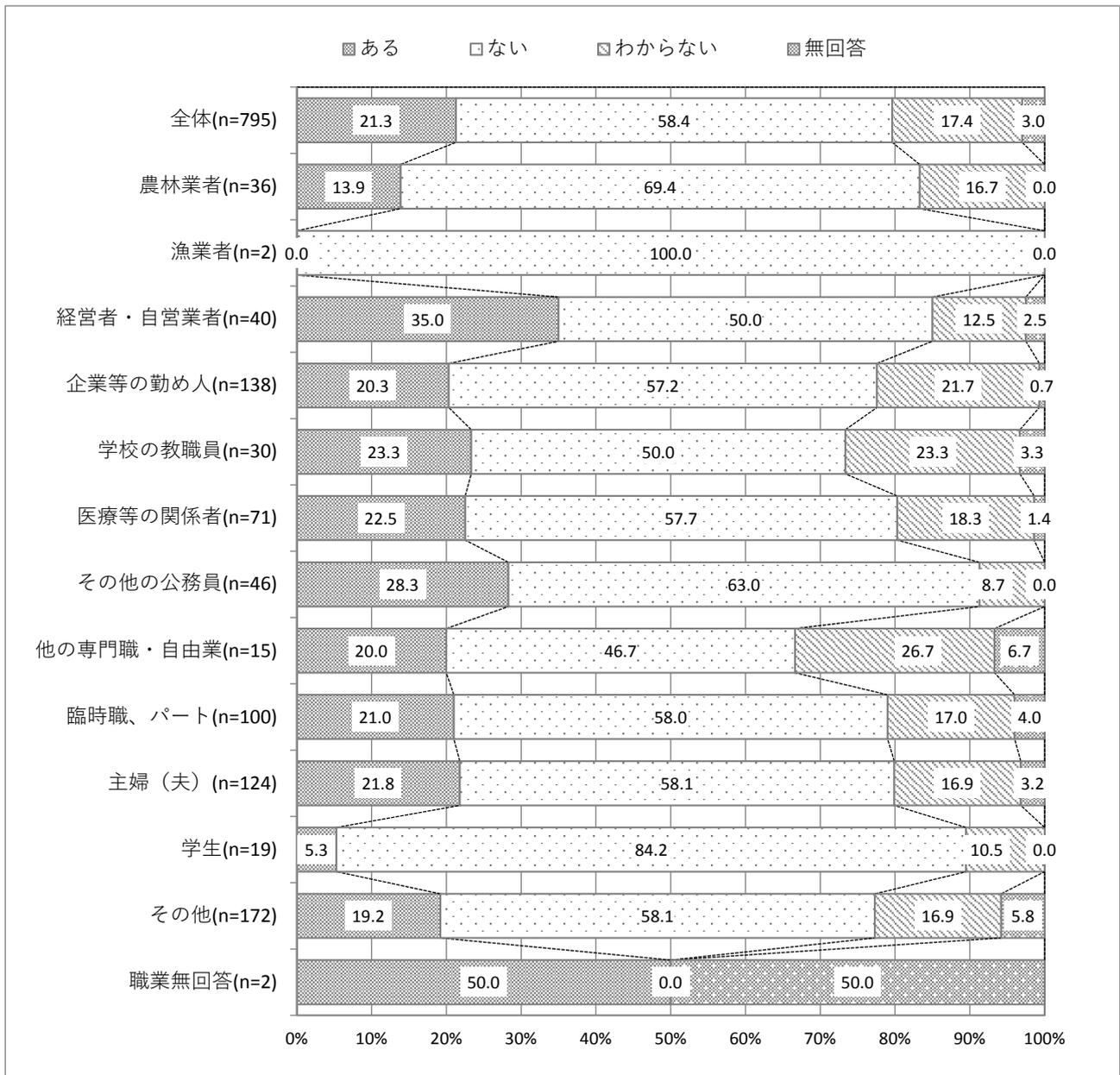
【人権を侵害された経験（性・年齢別）】



人権侵害の経験について、「ない」と回答した人が58.4%で6割弱となっている。「ある」21.3%を大きく上回っている。

年代別に見ると、いずれの年代においても、「ない」の回答が高く、18歳以上20歳未満72.7%、60歳代61.7%、70歳以上60.0%で6割を超えている。「ある」と回答した人の割合が最も高いのは、40歳代32.5%となっている。

【人権を侵害された経験（職業別）】



人権を侵害された経験について、職業別に見ると、「ある」と答えた人の割合が最も高いのは、経営者・自営業者で 35.0%となっている。最も低いのは、学生で 5.3%である。

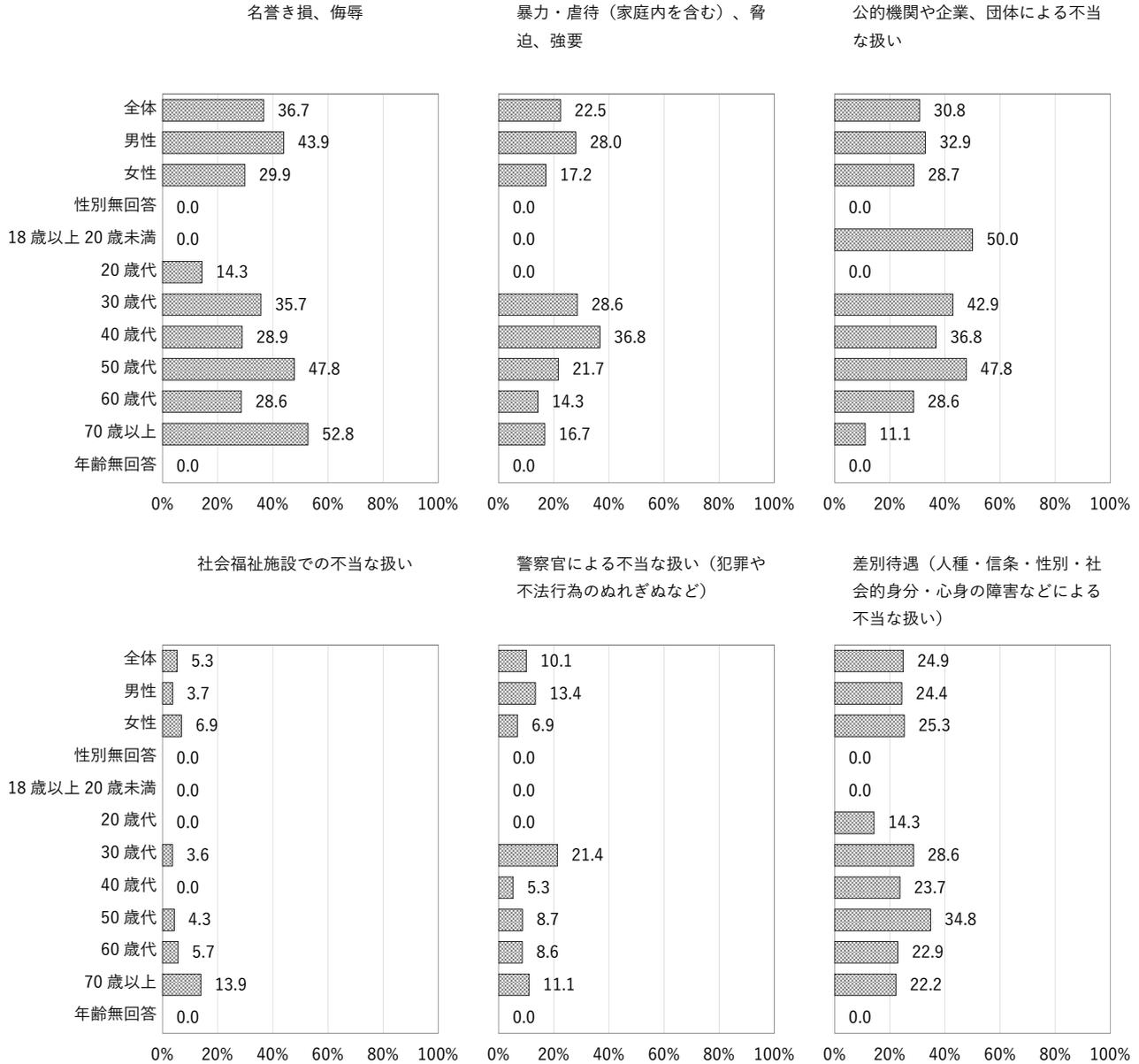
「ない」と答えた人では、学生 84.2%、農林業者 69.4%、その他の公務員 63.0%が多く、6割を超えている。いずれの職業も「ない」と答えた人が5割を超えているものがほとんどである。

(8) 人権を侵害されたと思った内容

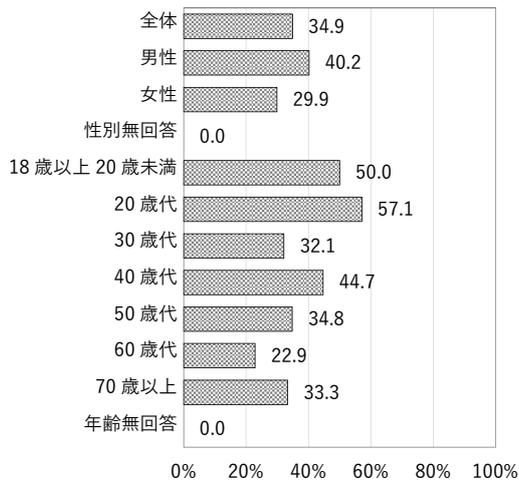
問4-2(1)【問4で「①ある」を選んだ人のみ】

あなたが侵害されたと思った内容はどのようなものでしたか？全て選んでください。

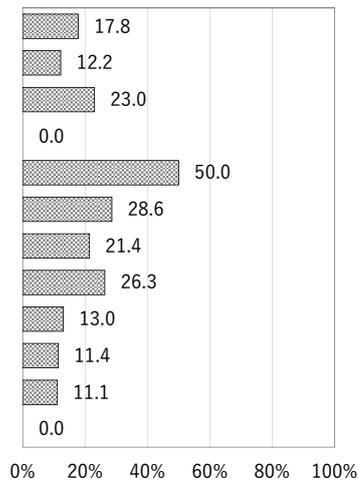
【人権を侵害されたと思った内容（性・年齢別）】



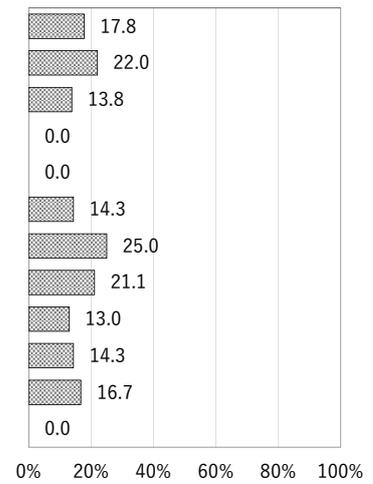
地域や職場などでの仲間はずれ  
(他人からの悪口、かげ口など)



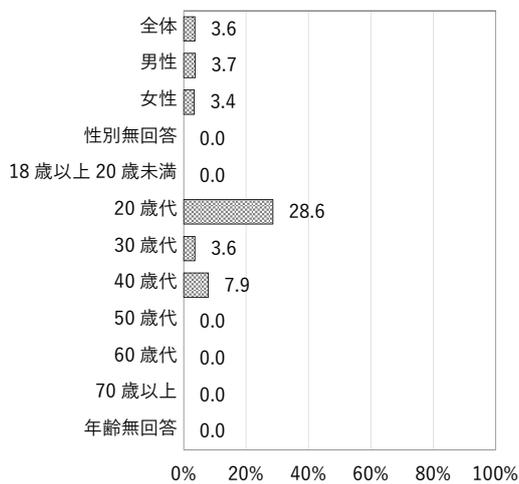
セクシャル・ハラスメントやス  
トーカー行為



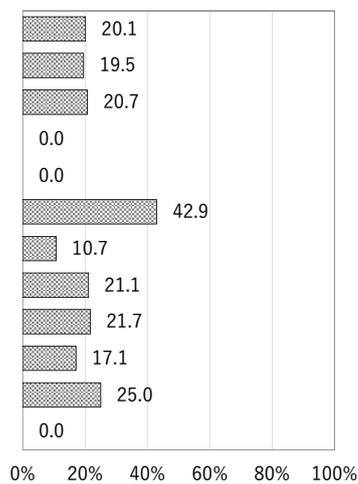
プライバシーを侵害



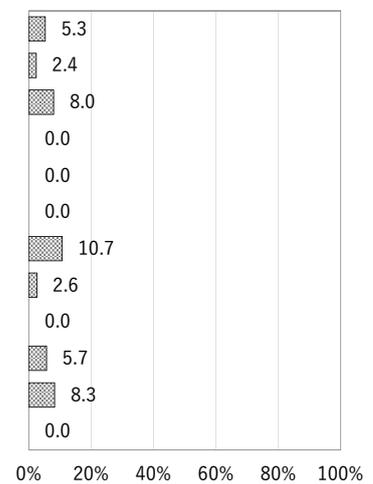
インターネットによる人権侵害



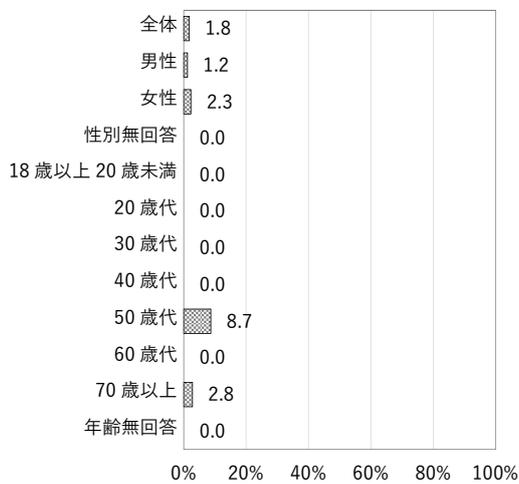
悪臭、騒音等の公害



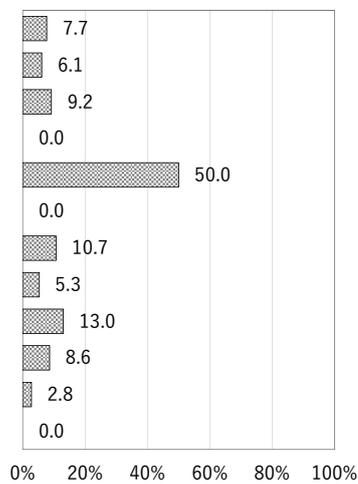
なんとなく



答えたくない



その他



全体(n=169)  
男性(n=82)  
女性(n=87)  
性別無回答(n=0)  
18歳以上20歳未満(n=2)  
20歳代(n=7)  
30歳代(n=28)  
40歳代(n=38)  
50歳代(n=23)  
60歳代(n=35)  
70歳以上(n=36)  
年齢無回答(n=0)

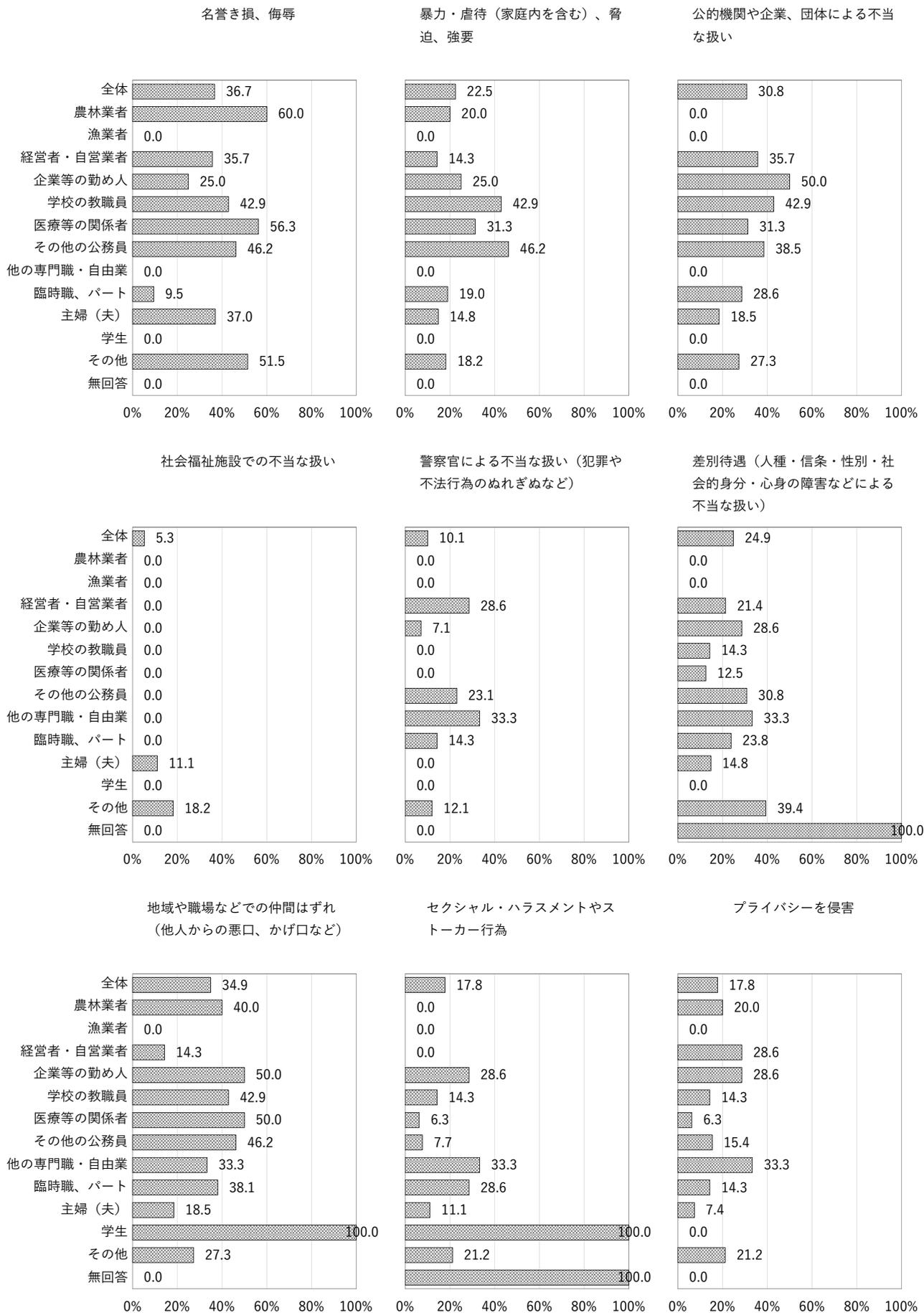
人権侵害の内容では、「名誉き損、侮辱」が36.7%と最も高く、次に「地域や職場などでの仲間はずれ（他人からの悪口、かげ口など）」34.9%、「公的機関や企業、団体による不当な扱い」30.8%となっている。

年代別に見ると、「名誉き損、侮辱」では、70歳以上が52.8%と5割を超えているのに対し、20歳代では14.3%と2割に満たない。「地域や職場などでの仲間はずれ（他人からの悪口、かげ口など）」では、20歳代が最も高く57.1%となっている。

「警察官による不当な扱い（犯罪や不法行為のぬれぎぬなど）」では、30歳代21.4%が最も高い。

「セクシャル・ハラスメントやストーカー行為」では、18歳以上20歳未満50.0%が最も高い。「インターネットによる人権侵害」では、20歳代28.6%が最も高い。「悪臭、騒音等の公害」では、20歳代42.9%が最も高い。

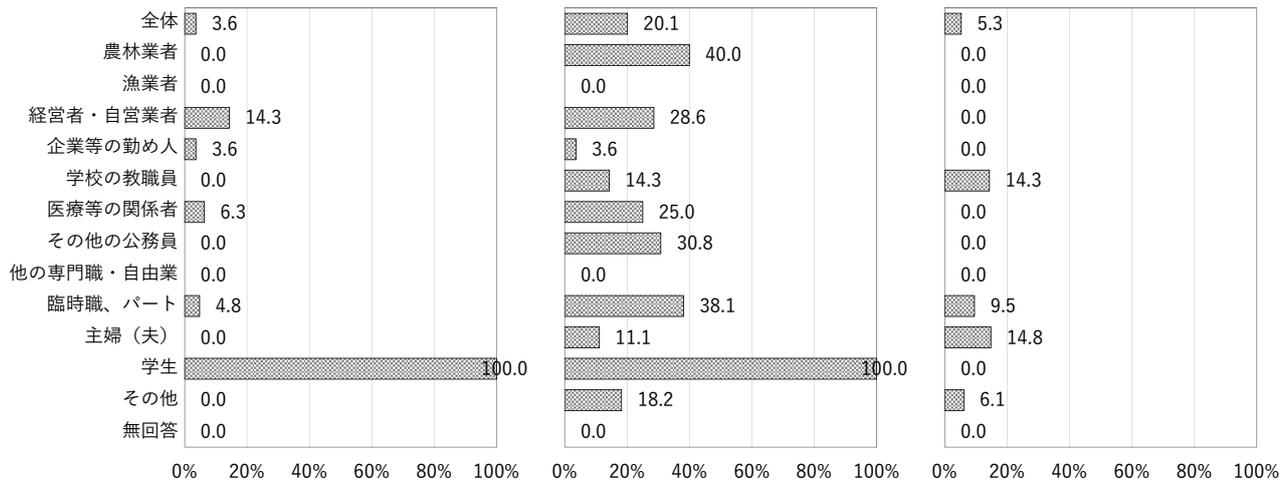
## 【人権を侵害されたと思った内容（職業別）】



インターネットによる人権侵害

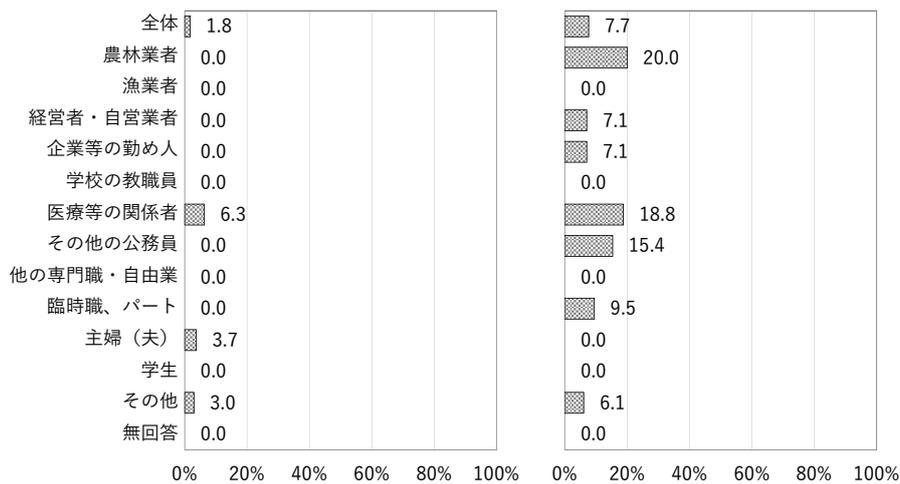
悪臭、騒音等の公害

なんとなく



答えたくない

その他



全体(n=169)  
 農林業者(n=5)  
 漁業者(n=0)  
 経営者・自営業者(n=14)  
 企業等の勤め人(n=28)  
 学校の教職員(n=7)  
 医療等の関係者(n=16)  
 その他の公務員(n=13)  
 他の専門職・自由業(n=3)  
 臨時職、パート(n=21)  
 主婦(夫)(n=27)  
 学生(n=1)  
 その他(n=33)  
 職業無回答(n=1)

人権を侵害されたと思った内容について、職業別に見ると、「名誉き損、侮辱」では、農林業者 60.0%、医療等の関係者 56.3%、その他（無職など） 51.5%が高く、5割を超えている。「地域や職場などでの仲間はずれ（他人からの悪口、かげ口など）」では、学生 100.0%、企業等の勤め人 50.0%、医療等の関係者 50.0%が高く、5割を超えている。

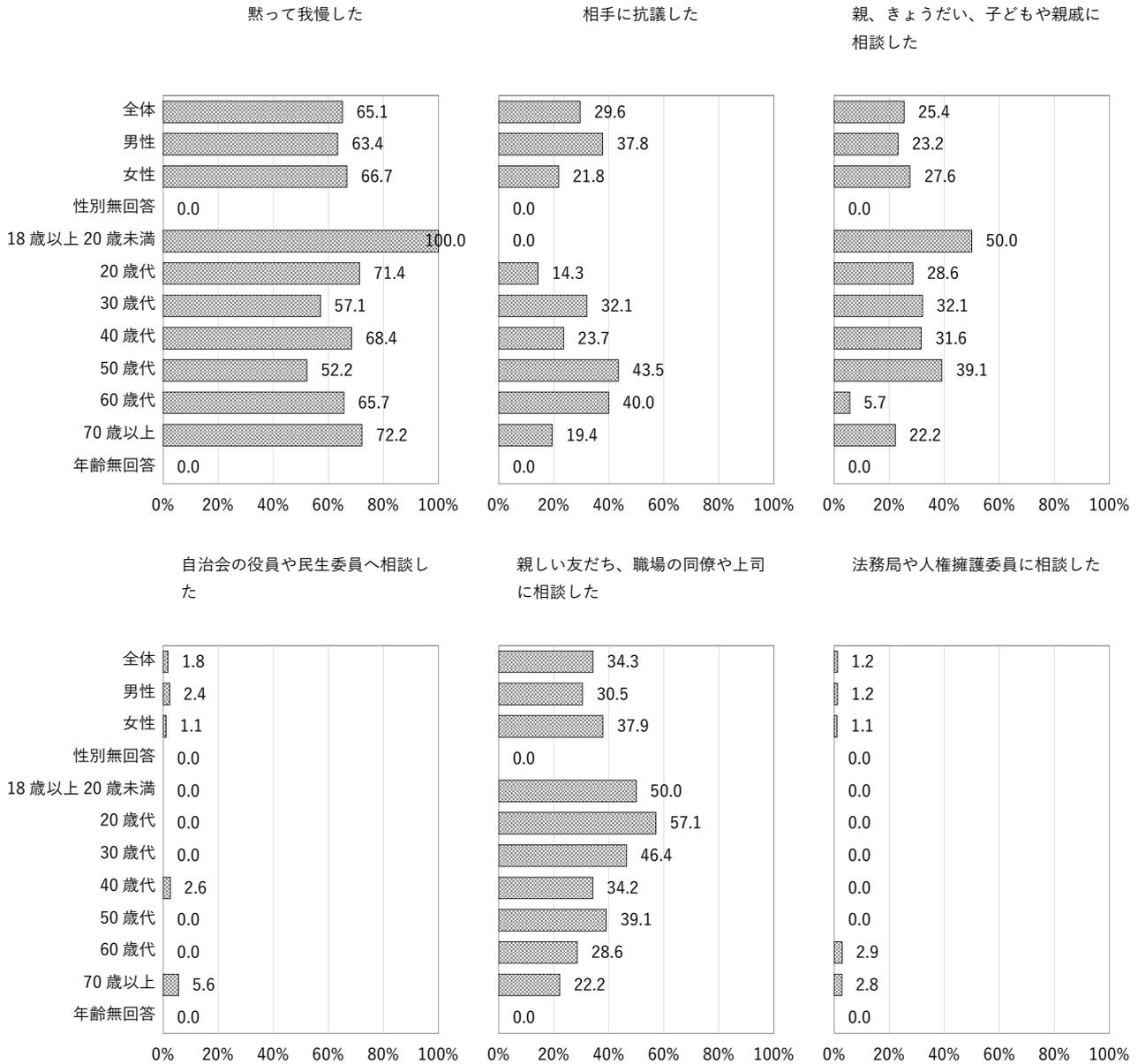
「暴力・虐待（家庭内を含む）、脅迫、強要」では、その他の公務員 46.2%、学校の教職員 42.9%が高い。「公的機関や企業、団体による不当な扱い」では、企業等の勤め人 50.0%、学校の教職員 42.9%が高い。

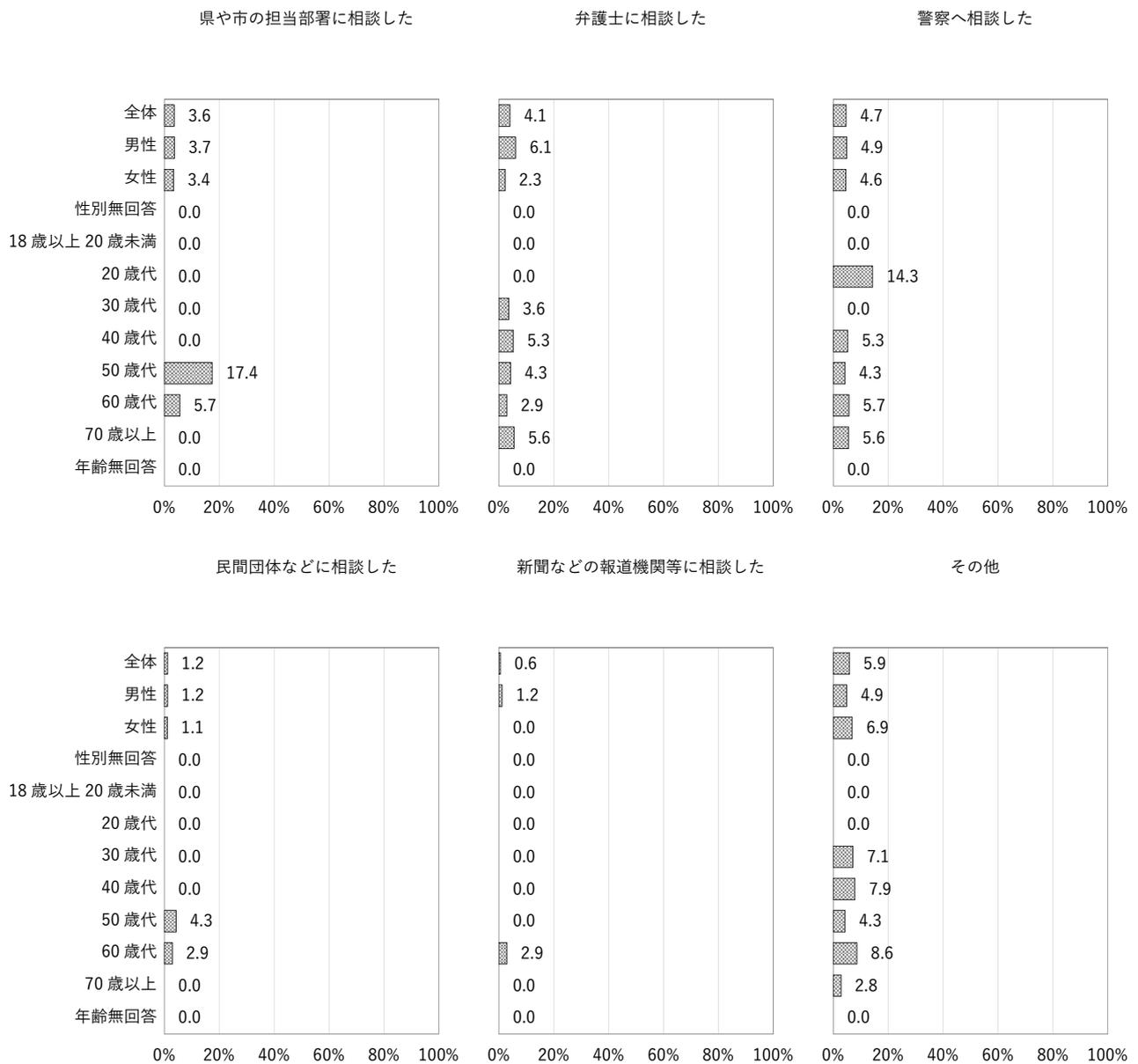
(9) 人権を侵害された際の対処法

問4-2(2)【問4で「①ある」を選んだ人のみ】

そのとき、あなたはどのようにされましたか？全て選んでください。

【人権を侵害された際の対処法（性・年齢別）】



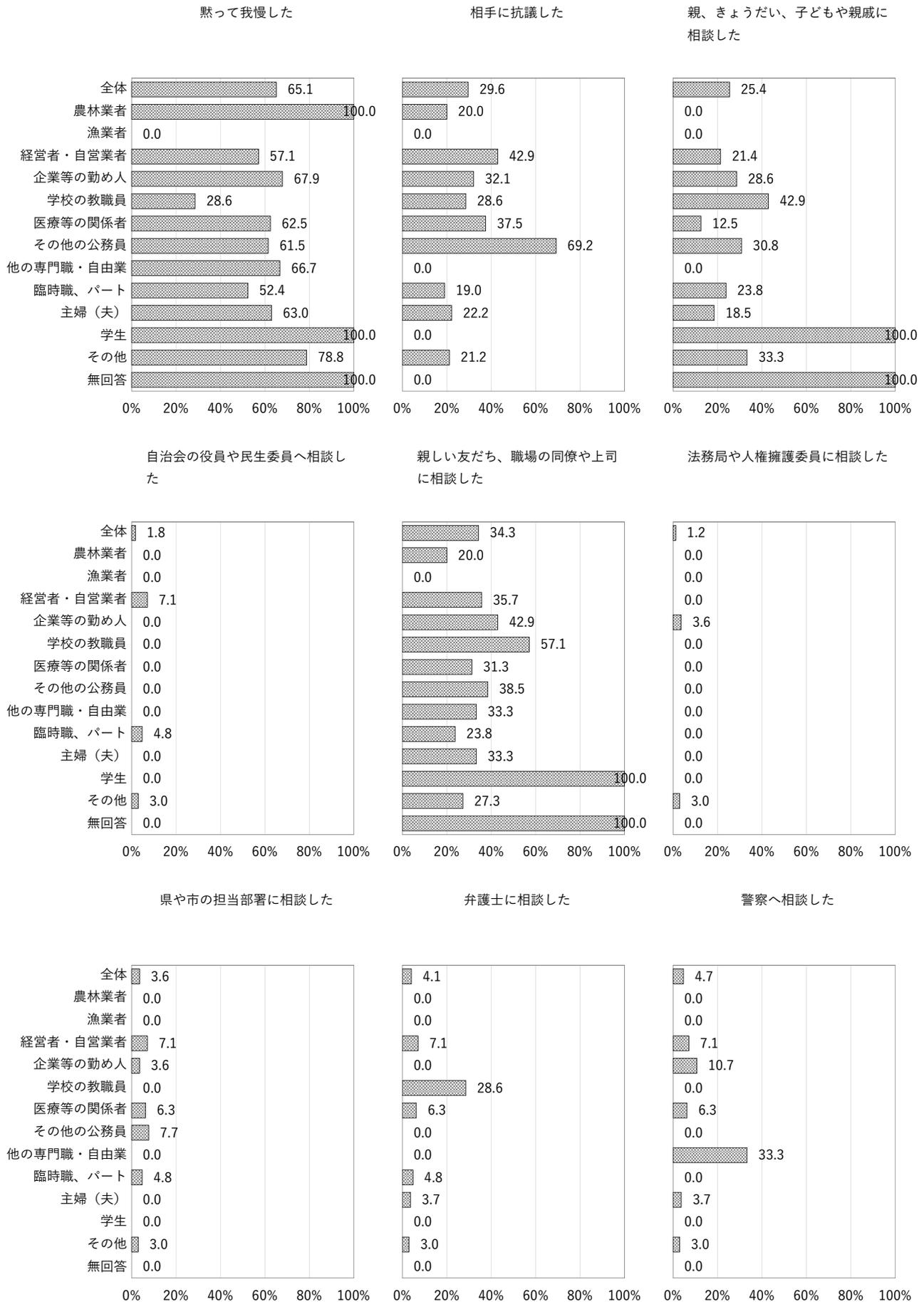


人権を侵害された際の対処としては、「黙って我慢した」が最も高く65.1%となっている。次に「親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した」34.3%、「相手に抗議した」29.6%、「親、きょうだい、子どもや親戚に相談した」25.4%となっている。公的機関である「警察へ相談した」は4.7%、「県や市の担当部署に相談した」は3.6%、「法務局や人権擁護委員に相談した」は1.2%と1割に満たない。

年代別に見ると、「黙って我慢した」と答えた人の割合がいずれの年代でも高い。「親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した」では、20歳代57.1%、18歳以上20歳未満50.0%と5割を超えているのに対し、70歳以上では22.2%と2割にとどまっている。「相手に抗議した」では、50歳代43.5%、60歳代40.0%が他の年代に比べて高くなっている。

全体(n=169)  
 男性(n=82)  
 女性(n=87)  
 性別無回答(n=0)  
 18歳以上 20歳未満(n=2)  
 20歳代(n=7)  
 30歳代(n=28)  
 40歳代(n=38)  
 50歳代(n=23)  
 60歳代(n=35)  
 70歳以上(n=36)  
 年齢無回答(n=0)

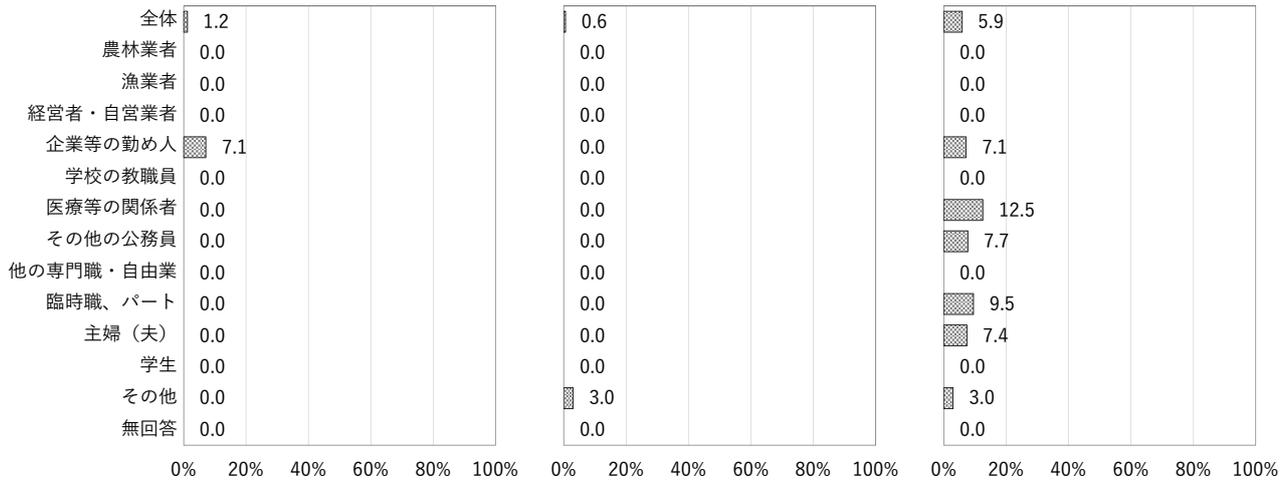
# 【人権を侵害された際の対処法（職業別）】



民間団体などに相談した

新聞などの報道機関等に相談した

その他



人権を侵害された際の対処について、職業別に見ると、どの職業においても「黙って我慢した」と答えた割合が高く、5割を超えているのに対し、学校の教職員は28.6%と低い。「相手に抗議した」では、その他の公務員69.2%、経営者・自営業者42.9%が高くなっている。

「親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した」では、学生100.0%、学校の教職員57.1%が高く、「親、きょうだい、子どもや親戚に相談した」でも同様に、学生100.0%、学校の教職員42.9%と、家族や友人など親しい人に相談するものに関して、学生と学校の教職員の割合が高い。

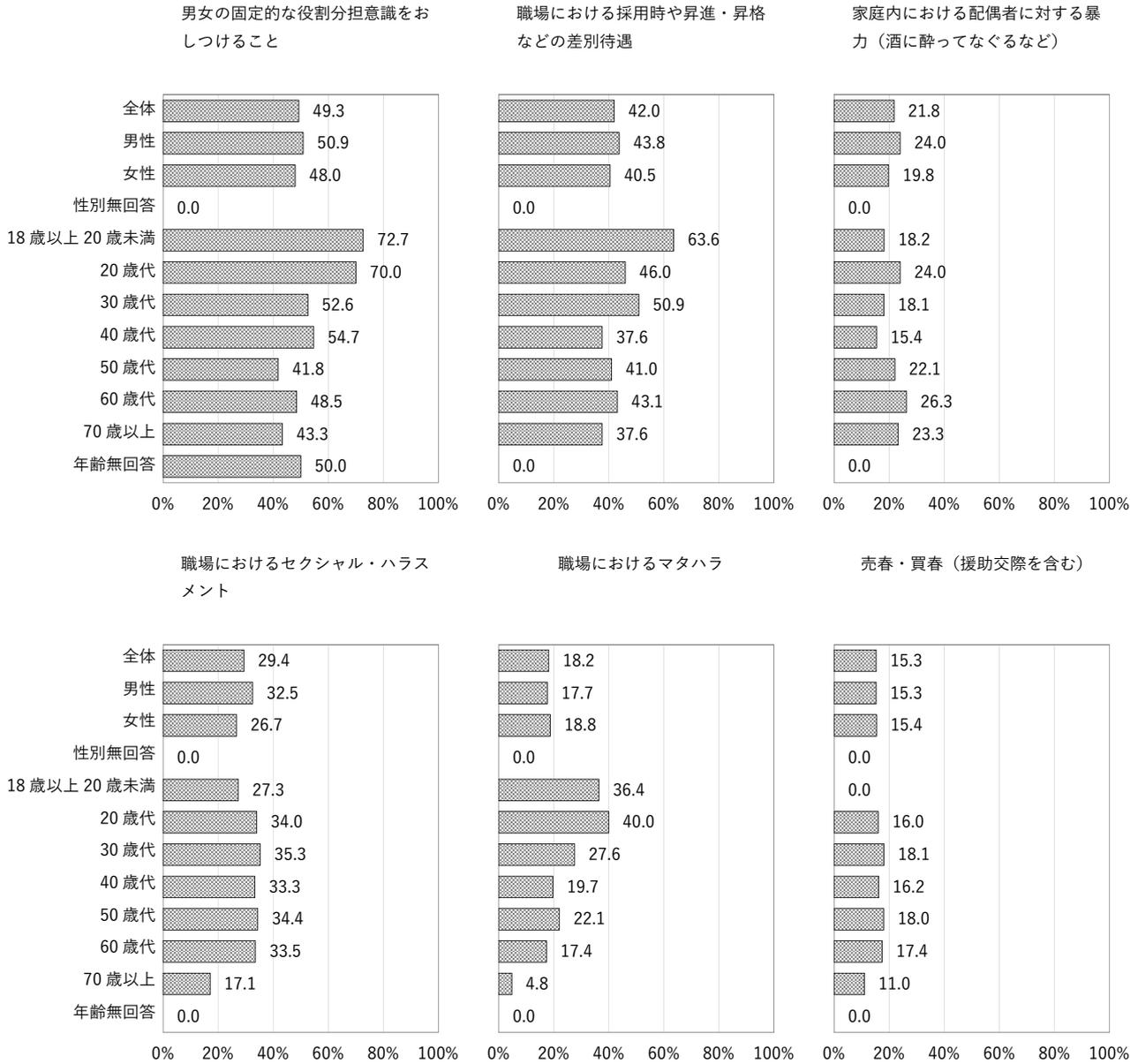
「弁護士に相談した」では、学校の教職員28.6%、「警察へ相談した」では、他の専門職・自由業が33.3%と、他の職業に比べて高くなっている。

全体(n=169)  
 農林業者(n=5)  
 漁業者(n=0)  
 経営者・自営業者(n=14)  
 企業等の勤め人(n=28)  
 学校の教職員(n=7)  
 医療等の関係者(n=16)  
 その他の公務員(n=13)  
 他の専門職・自由業(n=3)  
 臨時職、パート(n=21)  
 主婦（夫）(n=27)  
 学生(n=1)  
 その他(n=33)  
 職業無回答(n=1)

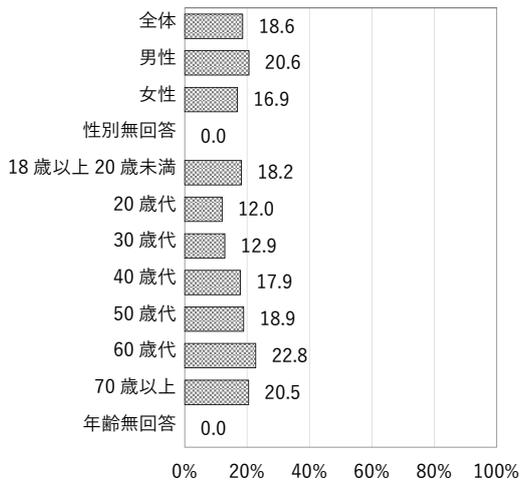
## 2 女性の人権について

問5 あなたは、女性の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？  
3つまで選んでください。

### 【女性に関する人権上の問題点（性・年齢別）】

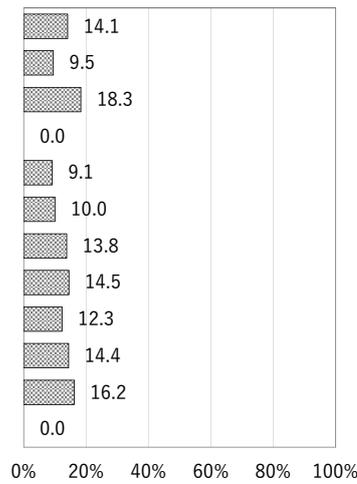


政策や方針を決定する過程に女性が十分参画できない



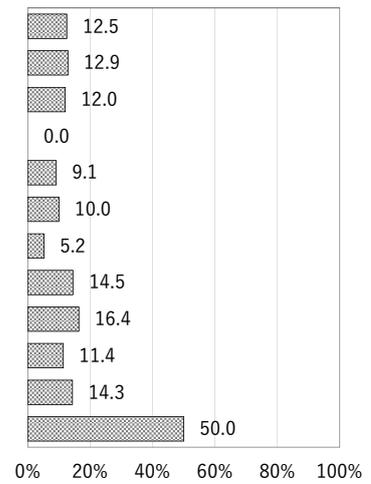
特になし

内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真、アダルトビデオ等

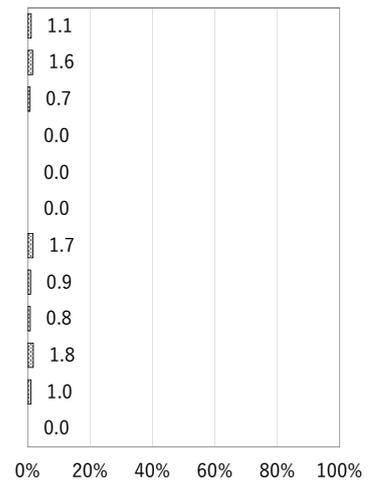
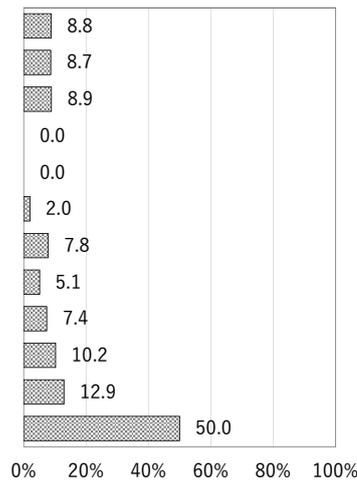
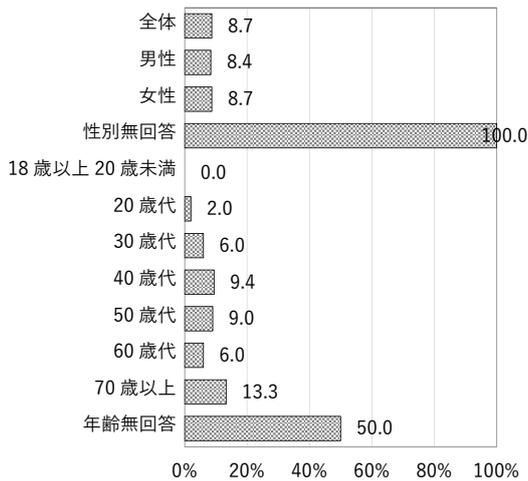


わからない

メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



その他



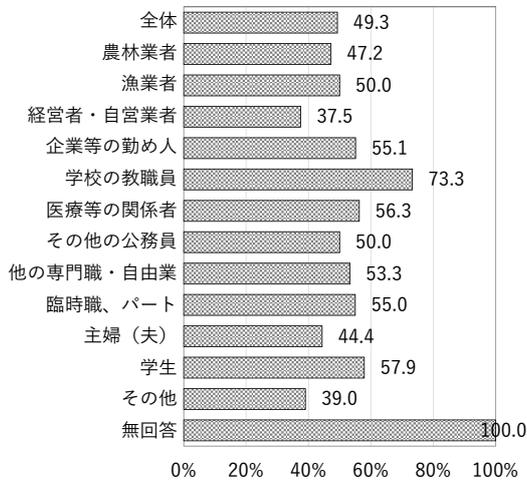
女性に関する人権上の問題点については、「男女の固定的な役割分担意識をおしつけること」が最も高く 49.3%となっている。次に「職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇」42.0%、「職場におけるセクシャル・ハラスメント」29.4%、「家庭内における配偶者に対する暴力（酒に酔ってなぐるなど）」21.8%が2割を超えている。

年齢別に見ると、「男女の固定的な役割分担意識をおしつけること」では、18歳以上20歳未満72.7%、20歳代70.0%と高いのに対し、60歳代48.5%、70歳以上43.3%、50歳代41.8%と、50歳以上の年代で半数未満である。「職場におけるマタハラ」では、20歳代40.0%、18歳以上20歳未満36.4%と、若い世代で高くなっている。

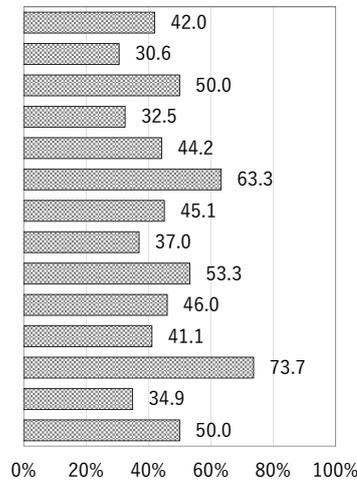
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

## 【女性に関する人権上の問題点（職業別）】

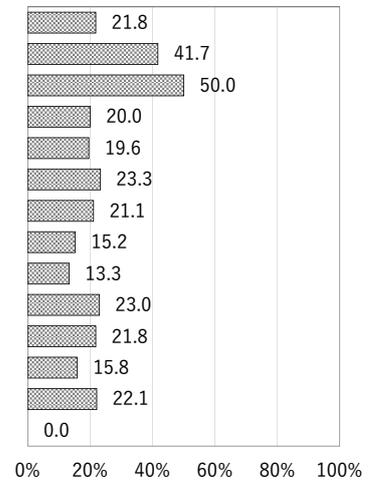
男女の固定的な役割分担意識をおしつけること



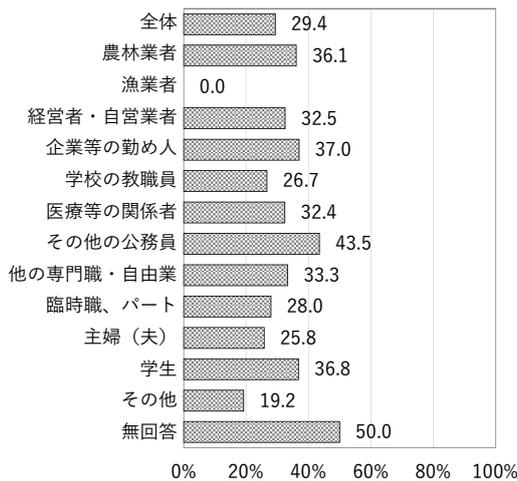
職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇



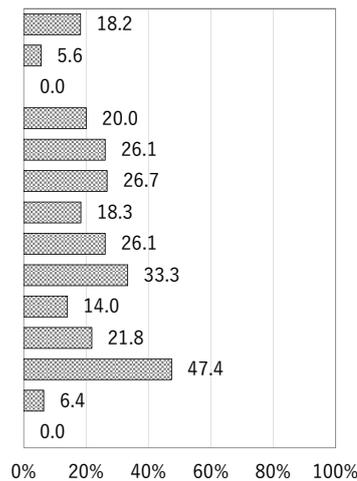
家庭内における配偶者に対する暴力（酒に酔ってなぐるなど）



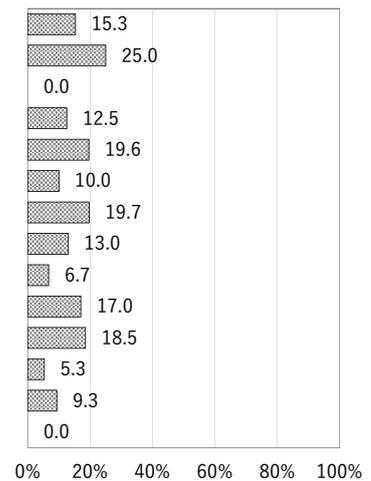
職場におけるセクシャル・ハラスメント



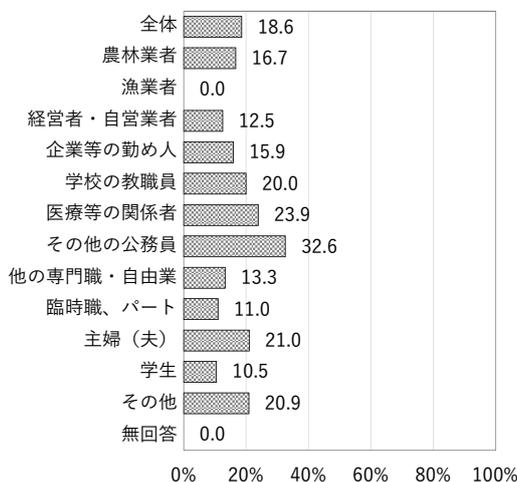
職場におけるマタハラ



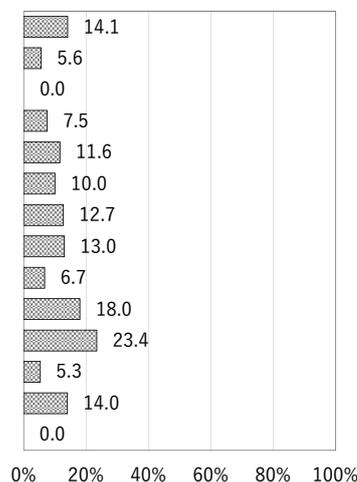
売春・買春（援助交際を含む）



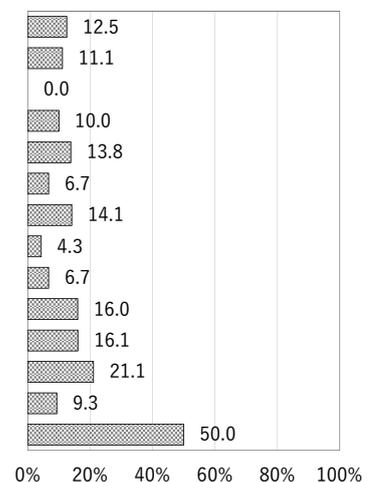
政策や方針を決定する過程に女性  
が十分参画できない

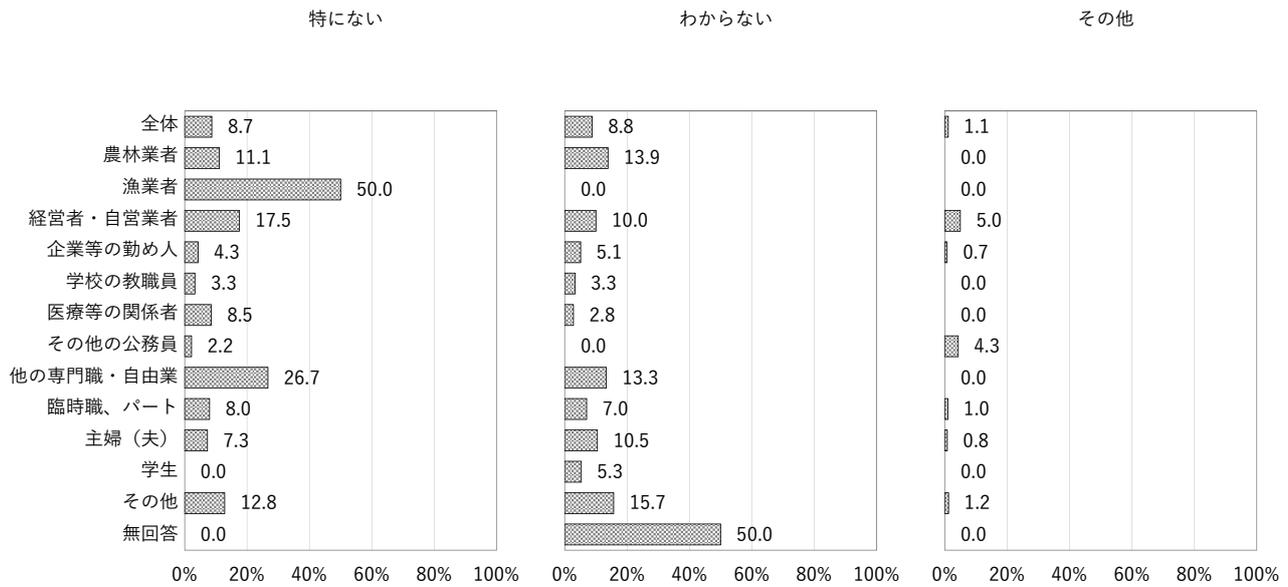


内容に関係なく女性の水着姿、裸  
体等を使用した広告・雑誌や写  
真、アダルトビデオ等



メールやインターネットで悪質な  
書き込みや嫌がらせを行うこと





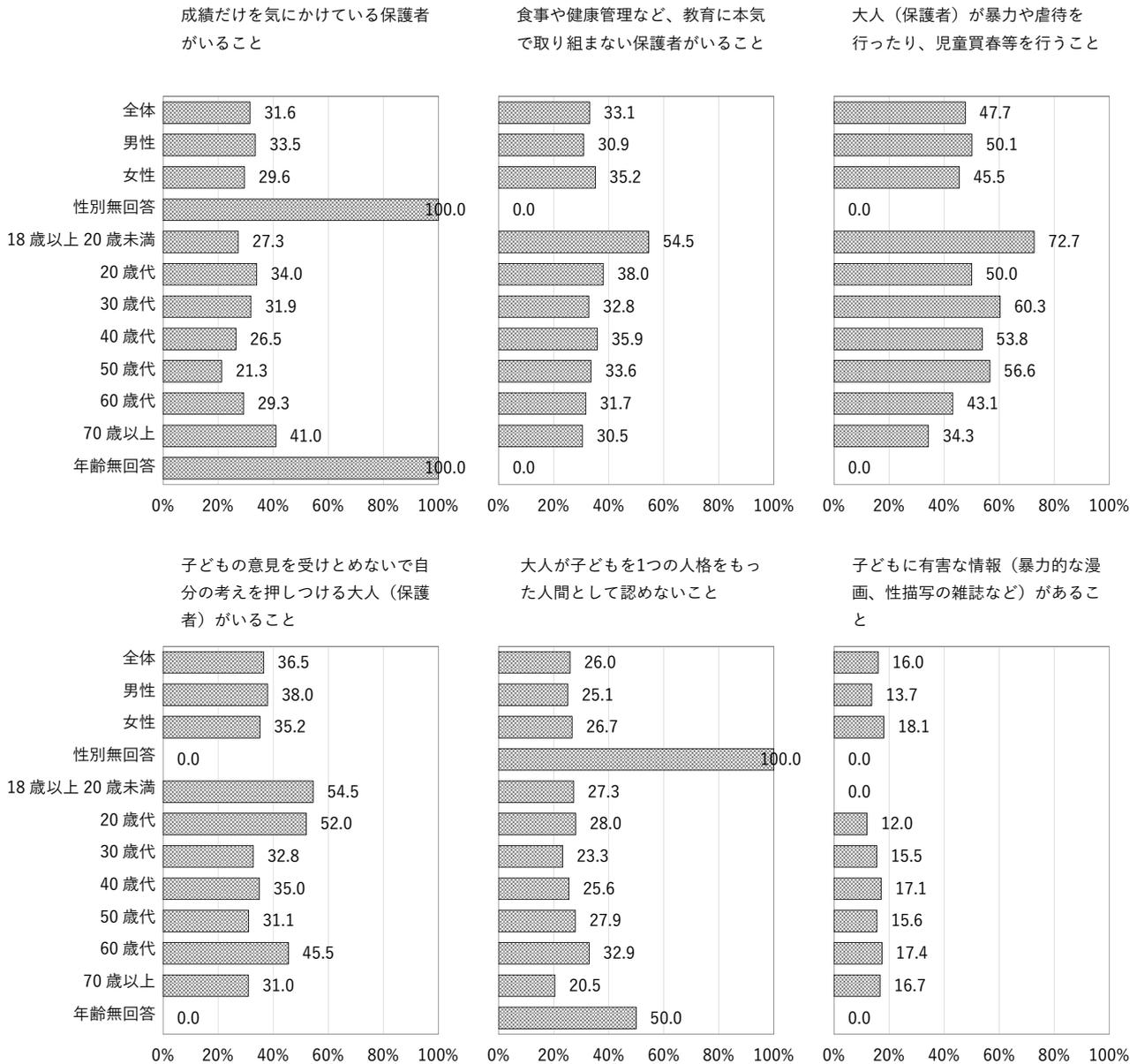
女性に関する人権上の問題点について、職業別に見ると、「男女の固定的な役割分担意識をおしつけること」では、学校の教職員が最も高く73.3%となっているのに対し、経営者・自営業者は37.5%と最も低い。「職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇」では、学生73.7%、学校の教職員63.3%と6割を超えている。

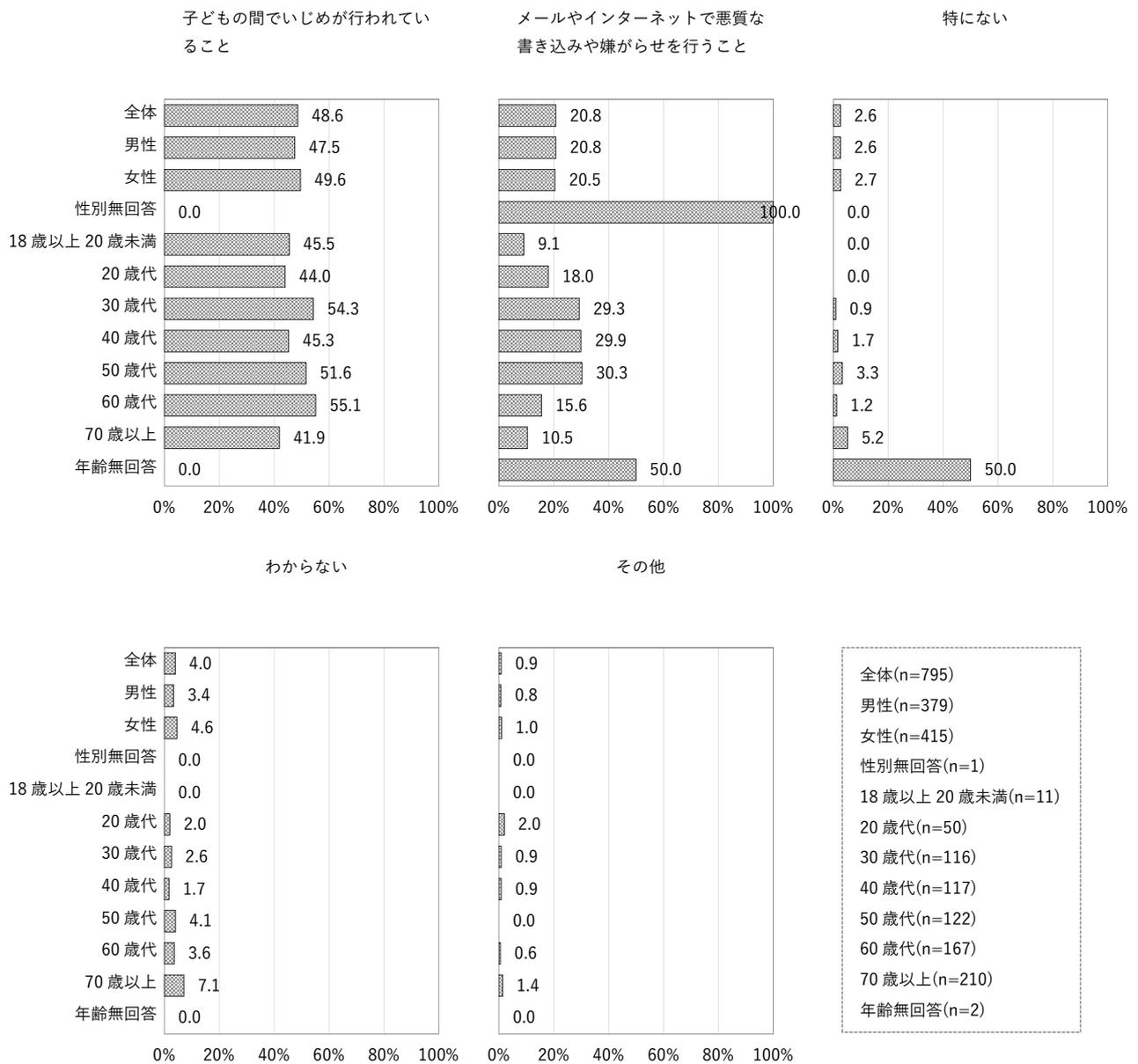
- 全体(n=795)
- 農林業者(n=36)
- 漁業者(n=2)
- 経営者・自営業者(n=40)
- 企業等の勤め人(n=138)
- 学校の教職員(n=30)
- 医療等の関係者(n=71)
- その他の公務員(n=46)
- 他の専門職・自由業(n=15)
- 臨時職、パート(n=100)
- 主婦(夫)(n=124)
- 学生(n=19)
- その他(n=172)
- 職業無回答(n=2)

### 3 子どもの人権について

問6 あなたは、子どもの人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？  
3つまで選んでください。

#### 【子どもに関する人権上の問題点（性・年齢別）】





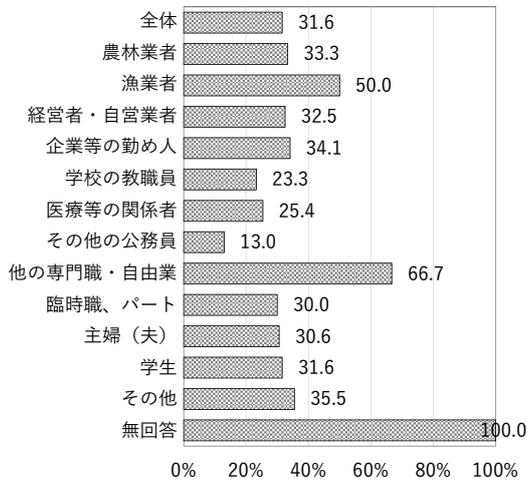
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

子どもに関する人権上の問題点については、「子どもの中でいじめが行われていること」48.6%、「大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」47.7%が多く、4割を超えている。「子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人（保護者）がいること」36.5%、「食事や健康管理など、教育に本気で取り組まない保護者がいること」33.1%、「成績だけを気にかけている保護者がいること」31.6%も多く、3割を超えている。

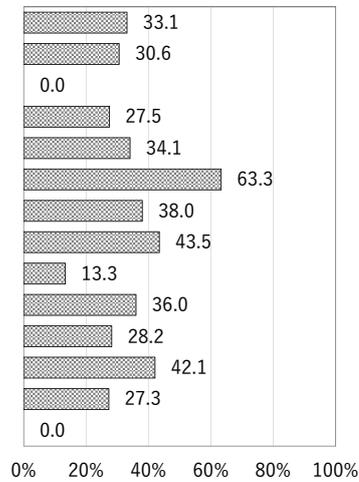
年代別に見ると、「成績だけを気にかけている保護者がいること」では70歳以上で41.0%と高くなっている。「食事や健康管理など、教育に本気で取り組まない保護者がいること」では、年代が上がるにつれて低くなっている。「子どもの中でいじめが行われていること」では、30歳代、50歳代、60歳代で5割を超えている。「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと」では、30歳代～50歳代で3割前後と高くなっている。

## 【子どもに関する人権上の問題点（職業別）】

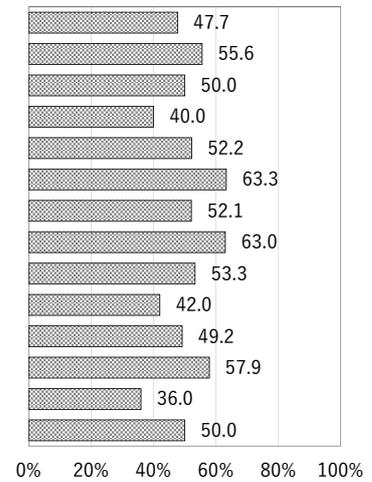
成績だけを気にかけている保護者がいること



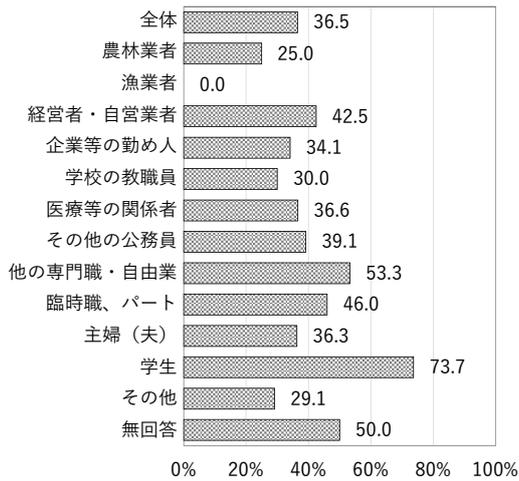
食事や健康管理など、教育に本気で取り組まない保護者がいること



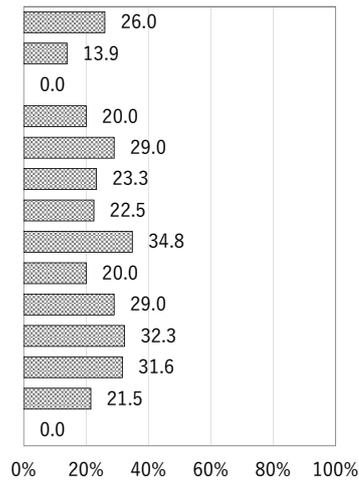
大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと



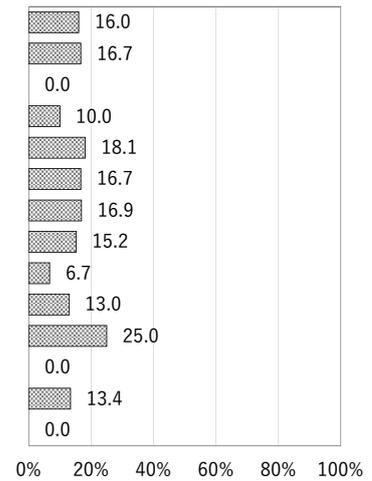
子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人（保護者）がいること



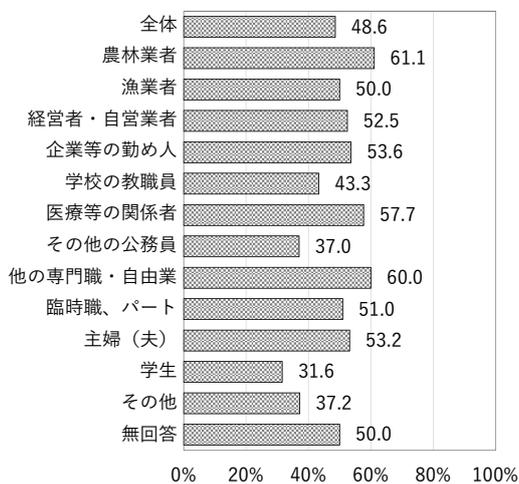
大人が子どもを1つの人格をもって人間として認めないこと



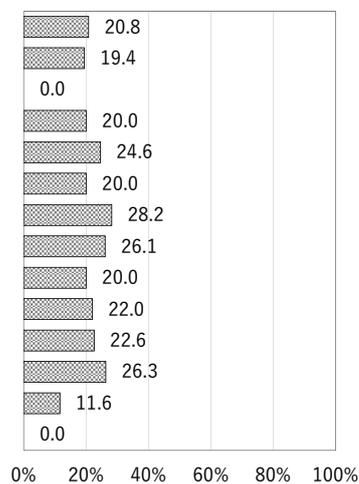
子どもに有害な情報（暴力的な漫画、性描写の雑誌など）があること



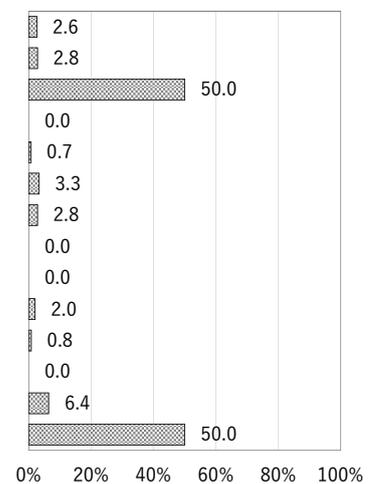
子どもの間でいじめが行われていること



メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと

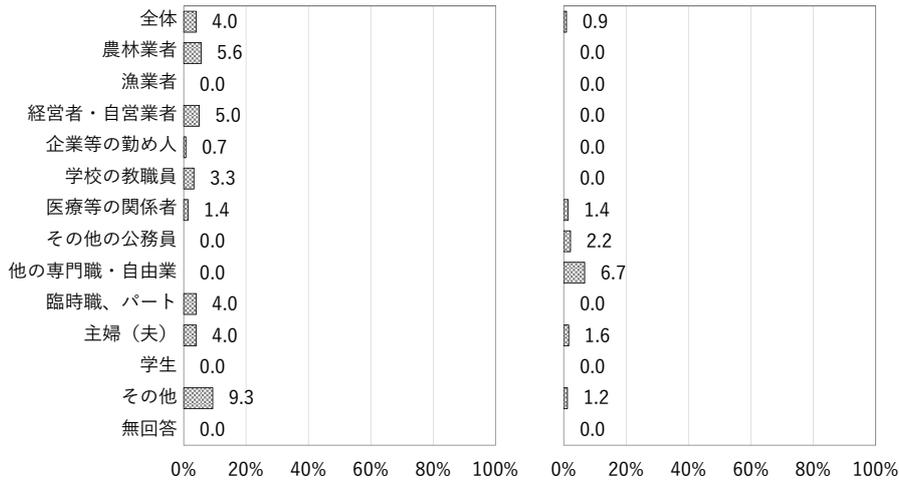


特にない



わからない

その他



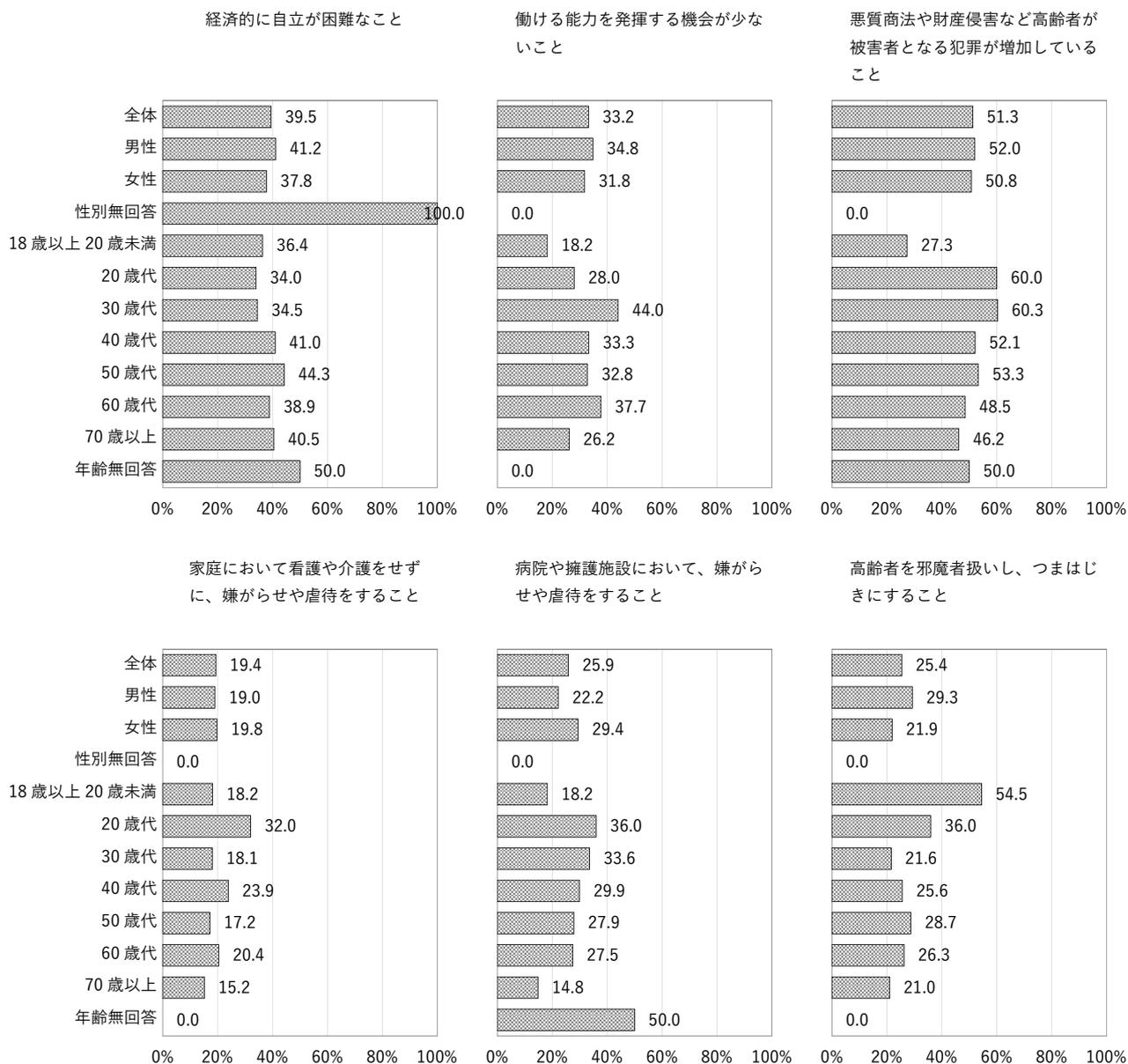
全体(n=795)
農林業者(n=36)
漁業者(n=2)
経営者・自営業者(n=40)
企業等の勤め人(n=138)
学校の教職員(n=30)
医療等の関係者(n=71)
その他の公務員(n=46)
他の専門職・自由業(n=15)
臨時職、パート(n=100)
主婦（夫）(n=124)
学生(n=19)
その他(n=172)
職業無回答(n=2)

「子どもの間でいじめが行われていること」では、農林業者 61.1%、他の専門職・自由業 60.0%が6割を超えており、医療等の関係者、企業等の勤め人、主婦（夫）、経営者・自営業者、臨時職、パート、漁業者では5割を超えている。「大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」では、学校の教職員 63.3%、その他の公務員 63.0%が高くなっている。「子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人（保護者）がいること」では、学生 73.7%が他の職業に比べて高くなっている。「食事や健康管理など、教育に本気で取り組まない保護者がいること」では、学校の教職員 63.3%と他の職業に比べて高くなっている。「成績だけを気にかけている保護者がいること」では、他の専門職・自由業 66.7%、漁業者 50.0%と、5割を超え高くなっている。

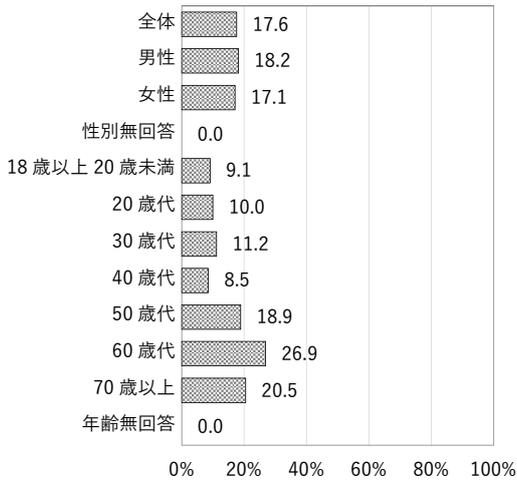
#### 4 高齢者の人権について

問7 あなたは、高齢者の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？  
3つまで選んでください。

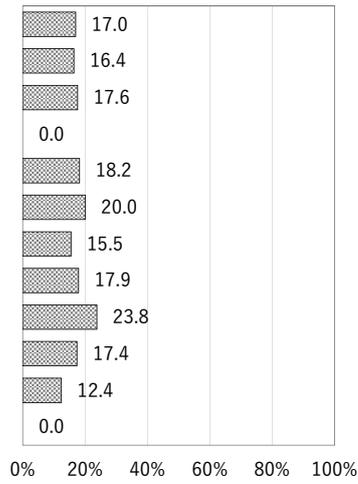
##### 【高齢者に関する人権上の問題点（性・年齢別）】



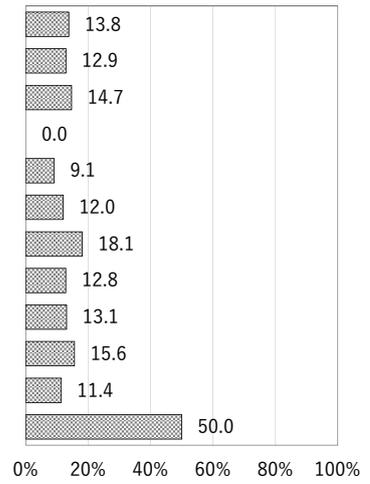
高齢者の意見や行動を尊重しないこと



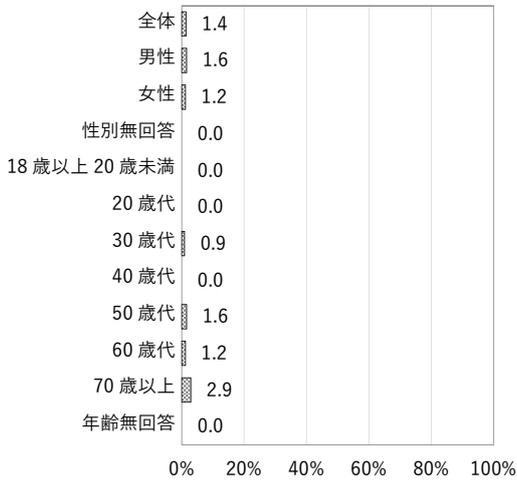
乗物、建物などでバリアフリー化が図られていないこと



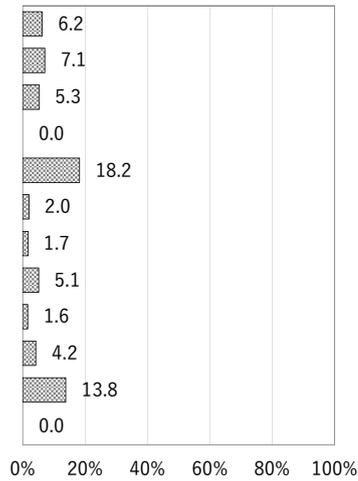
アパート等への入居が、高齢者というだけで制限されること



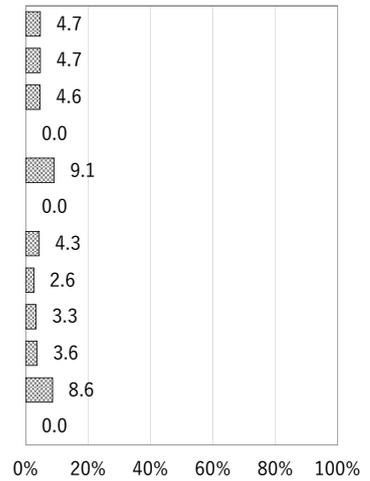
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



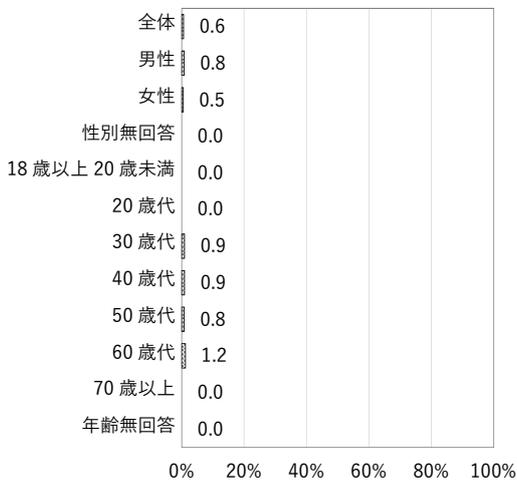
特にな



わからない



その他



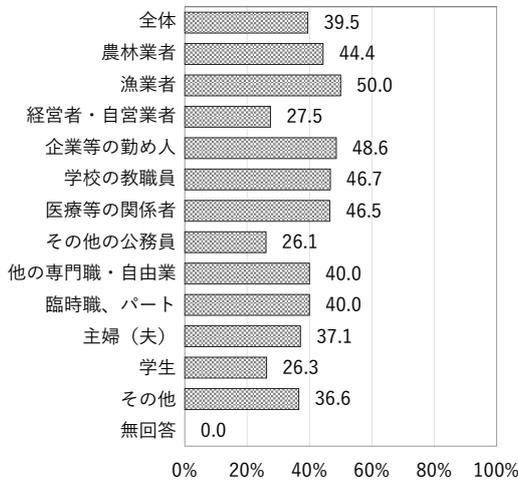
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

高齢者に関する人権上の問題点については、「悪質商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること」が最も高く 51.3%となっている。次に「経済的に自立が困難なこと」 39.5%、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」 33.2%となっている。

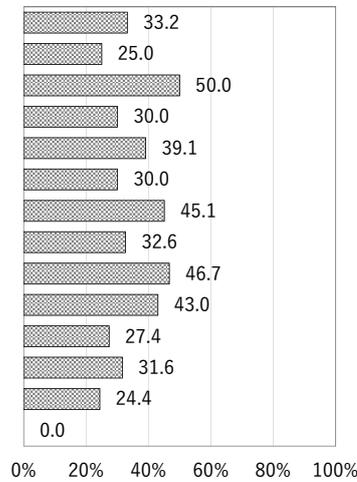
年齢別に見ると、「悪質商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること」では、20歳代～50歳代で5割を超え高くなっている。「経済的に自立が困難なこと」では、40歳代～70歳以上で約4割と高くなっている。「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」では、30歳代が44.0%と最も高くなっている。

## 【高齢者に関する人権上の問題点（職業別）】

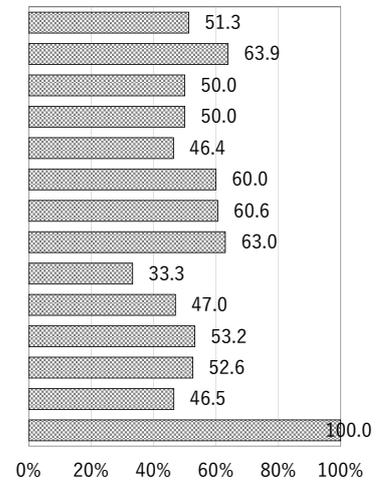
経済的に自立が困難なこと



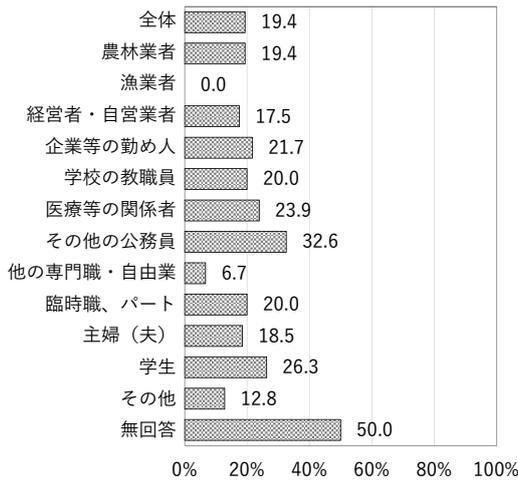
働ける能力を発揮する機会が少ないこと



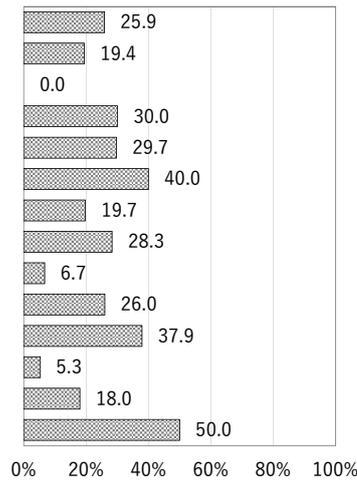
悪質商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること



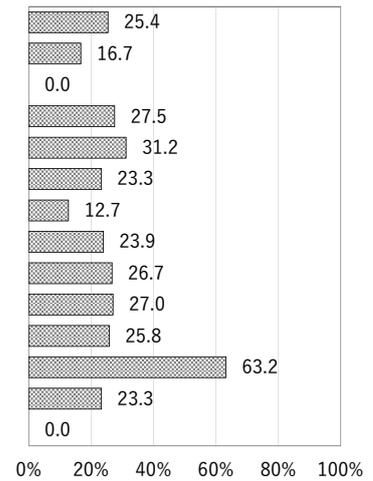
家庭において看護や介護をせず、嫌がらせや虐待をすること



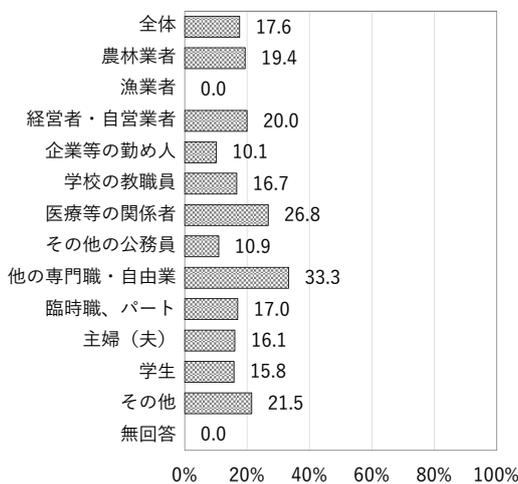
病院や擁護施設において、嫌がらせや虐待をすること



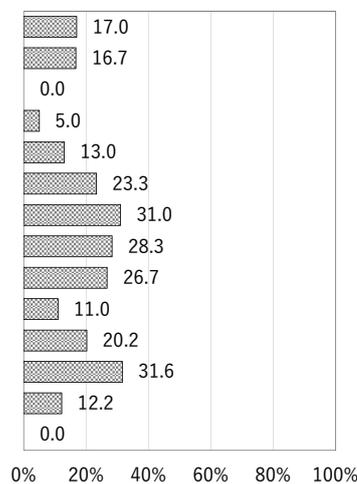
高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること



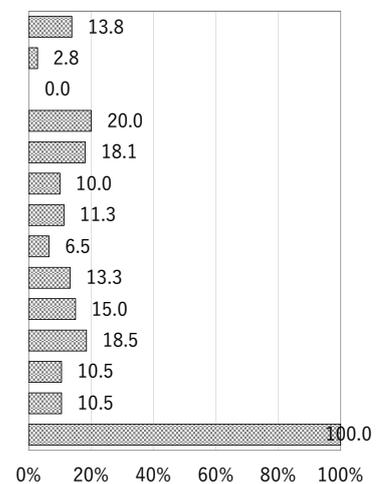
高齢者の意見や行動を尊重しないこと

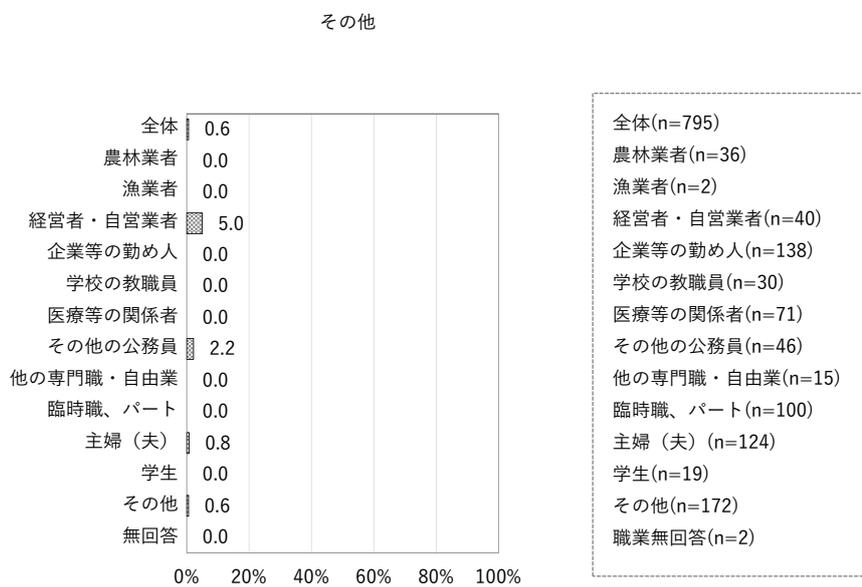
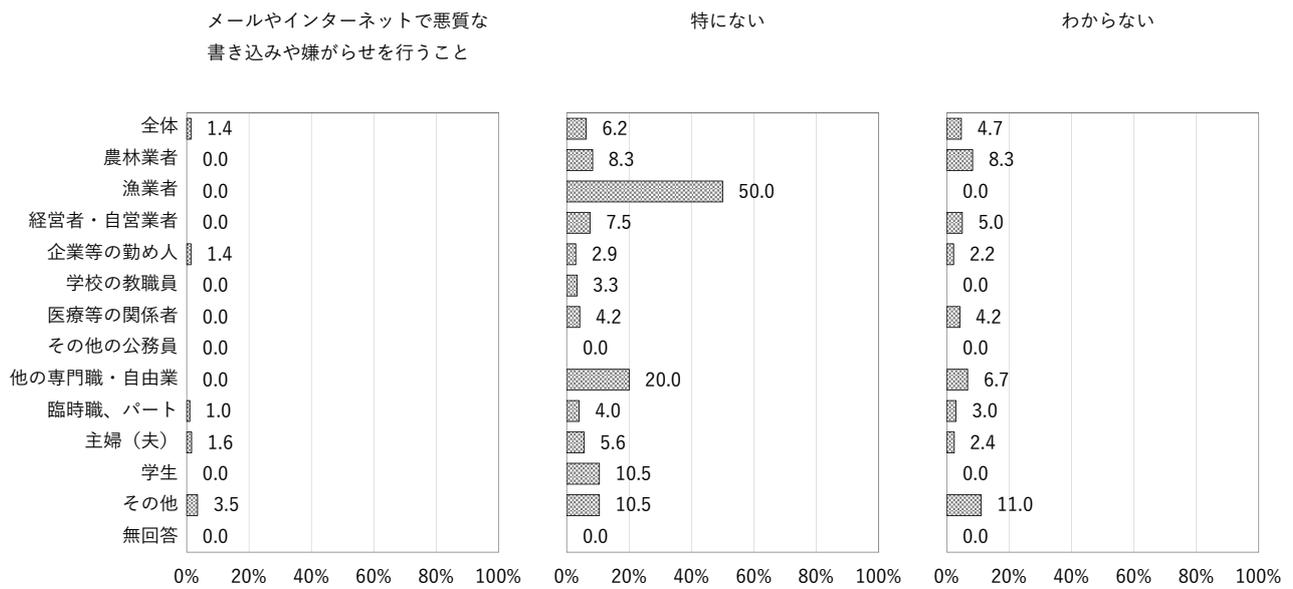


乗物、建物などでバリアフリー化が図られていないこと



アパート等への入居が、高齢者というだけで制限されること





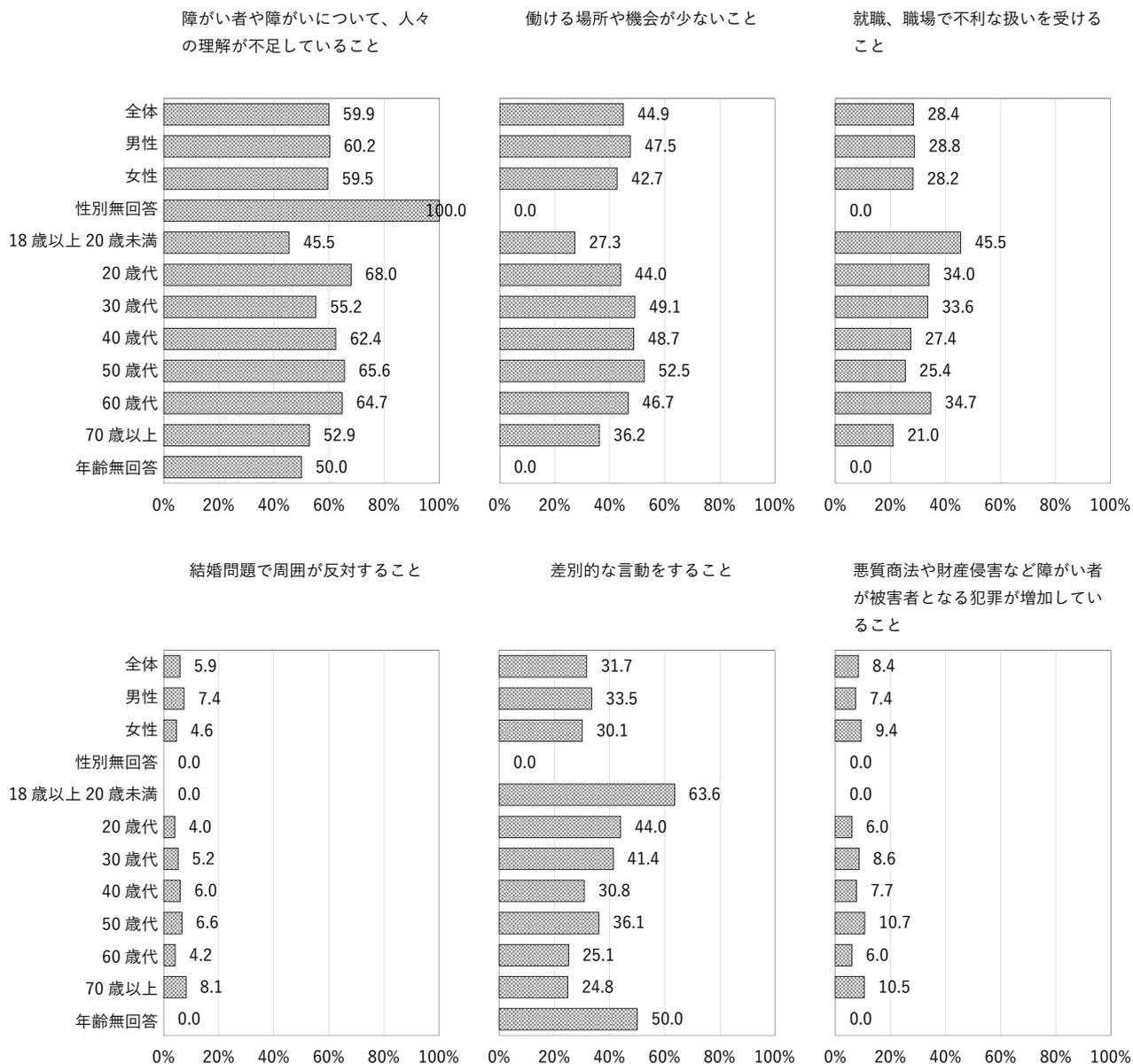
高齢者に関する人権上の問題点について、職業別に見ると、「悪質商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること」では、農林業者 63.9%、その他の公務員 63.0%、医療等の関係者 60.6%、学校の教職員 60.0%が 6 割以上と高くなっている。

「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」では、学生 63.2%と他の職業に比べて高くなっている。「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」では、他の専門職・自由業 33.3%と他の職業に比べて高くなっている。

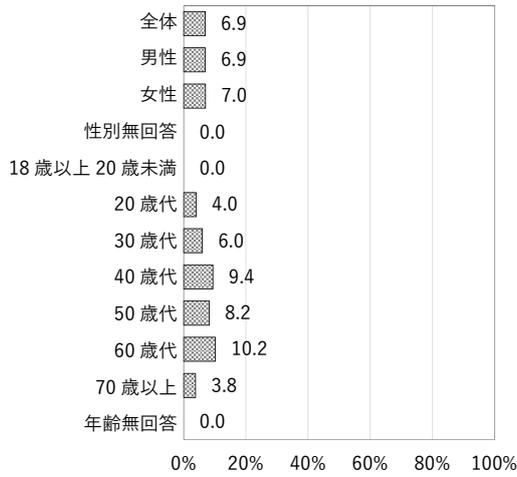
## 5 障がいのある人の人権について

問8 あなたは、障がい者の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？  
3つまで選んでください。

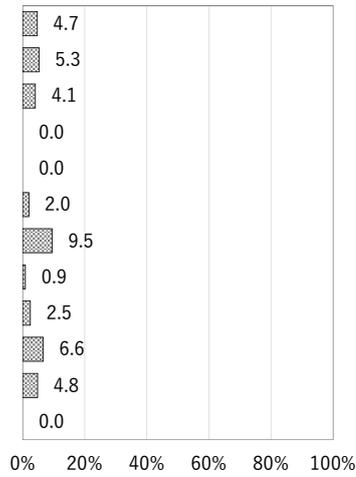
### 【障がいのある人に関する人権上の問題点（性・年齢別）】



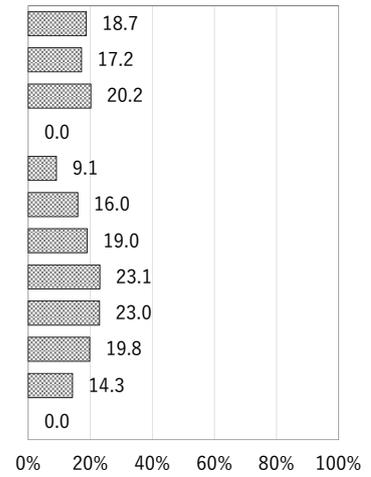
アパート等への入居が、障がい者  
というだけで制限されること



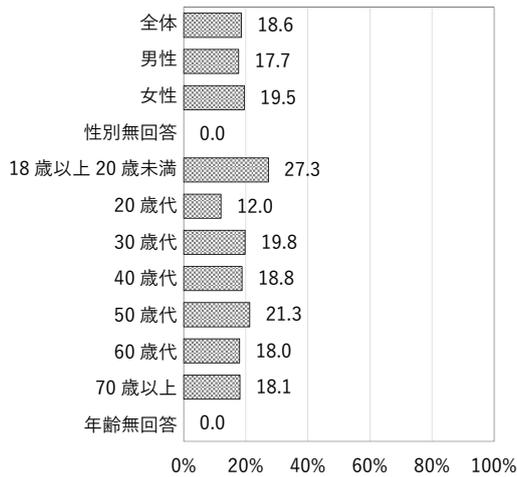
スポーツ・文化活動・地域活動に  
気軽に参加できないこと



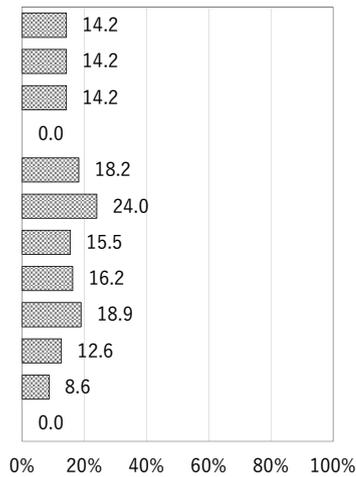
施設等の受入れ体制が十分でない  
こと



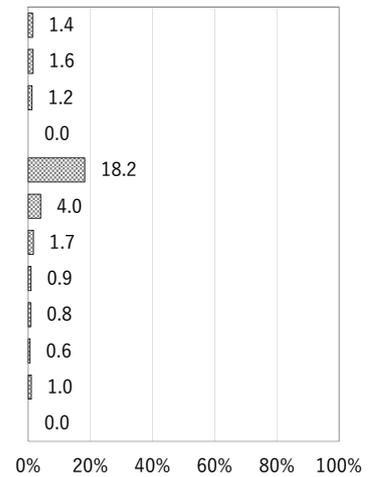
交通機関、道路、店舗、公園など  
の利用が不便なこと



一般社会や施設内において、いじ  
めや虐待にあうこと



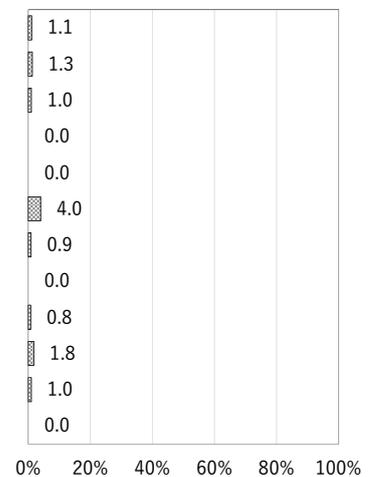
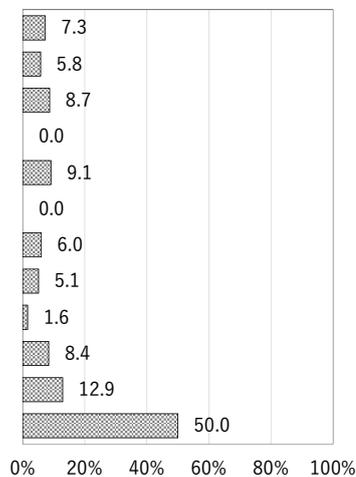
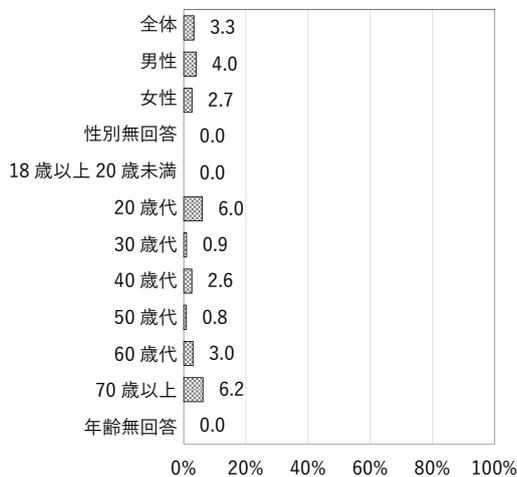
メールやインターネットで悪質な  
書き込みや嫌がらせを行うこと



特にな

わからない

その他



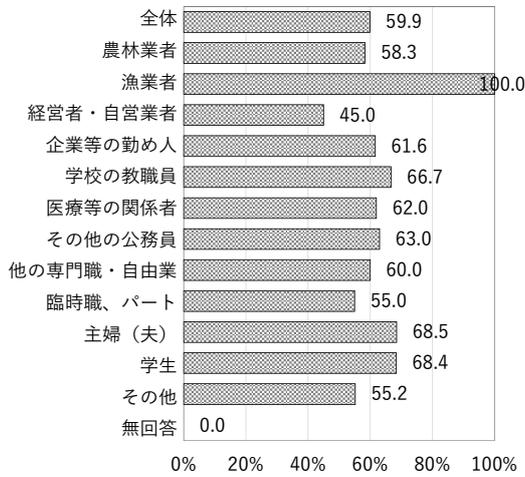
障がいのある人に関する人権上の問題について、「障がい者や障がいについて、人々の理解が不足していること」が最も高く 59.9%となっている。次に、「働ける場所や機会が少ないこと」44.9%、「差別的な言動をすること」31.7%、「就職、職場で不利な扱いを受けること」28.4%となっている。

年齢別に見ると、「障がい者や障がいについて、人々の理解が不足していること」では、20歳代と40歳代～60歳代が6割を超え高くなっている。「働ける場所や機会が少ないこと」では、20歳代～60歳代で4割を超えている。「差別的な言動をすること」「就職、職場で不利な扱いを受けること」では、年代が上がるにつれて、割合が低くなる傾向がある。

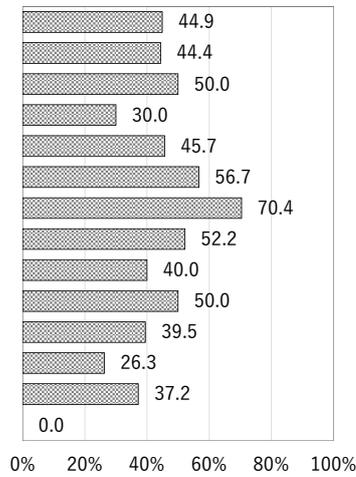
全体(n=795)  
男性(n=379)  
女性(n=415)  
性別無回答(n=1)  
18歳以上20歳未満(n=11)  
20歳代(n=50)  
30歳代(n=116)  
40歳代(n=117)  
50歳代(n=122)  
60歳代(n=167)  
70歳以上(n=210)  
年齢無回答(n=2)

【障がいのある人に関する人権上の問題点（職業別）】

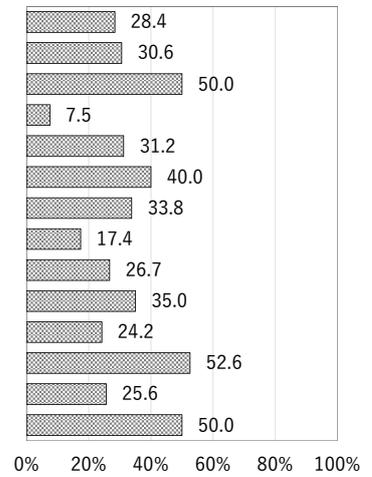
障がい者や障がいについて、人々の理解が不足していること



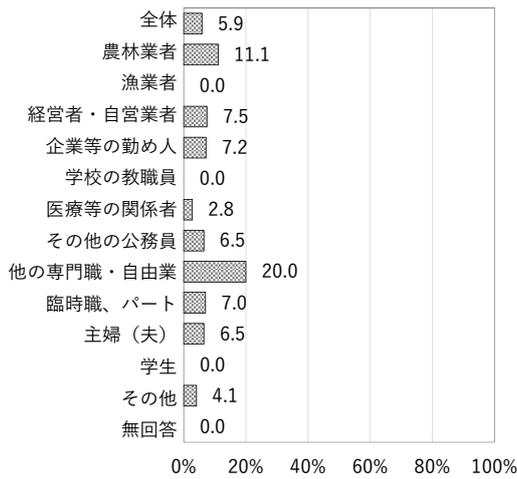
働ける場所や機会が少ないこと



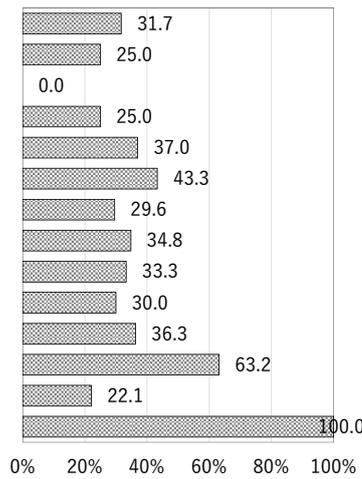
就職、職場で不利な扱いを受けること



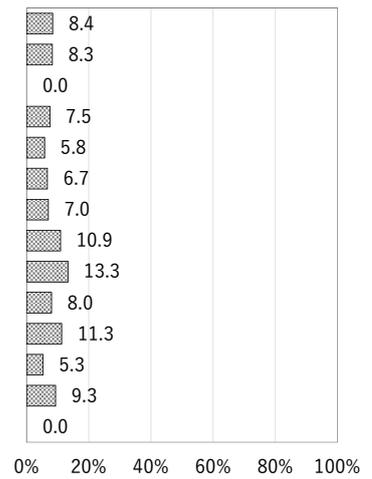
結婚問題で周囲が反対すること



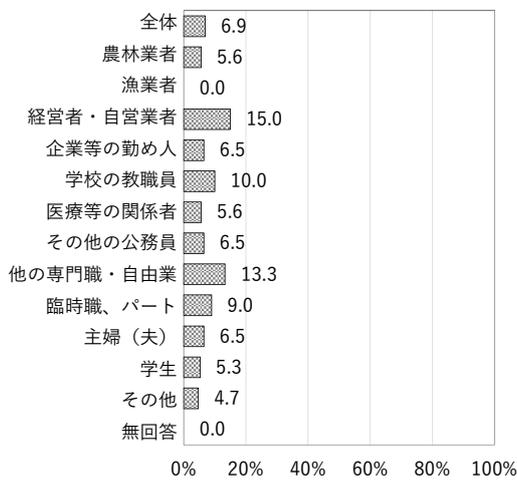
差別的な言動をすること



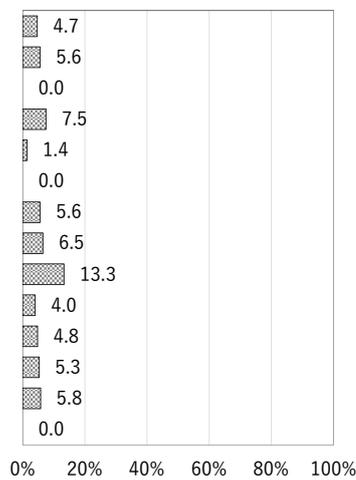
悪質商法や財産侵害など障がい者が被害者となる犯罪が増加していること



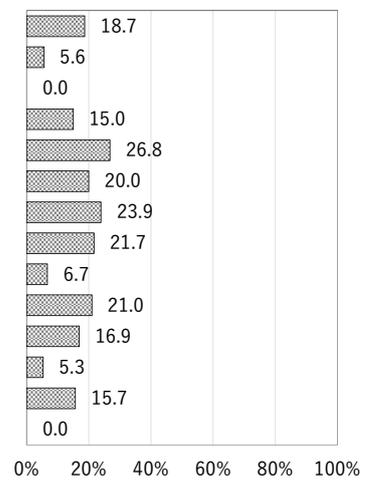
アパート等への入居が、障がい者というだけで制限されること



スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと



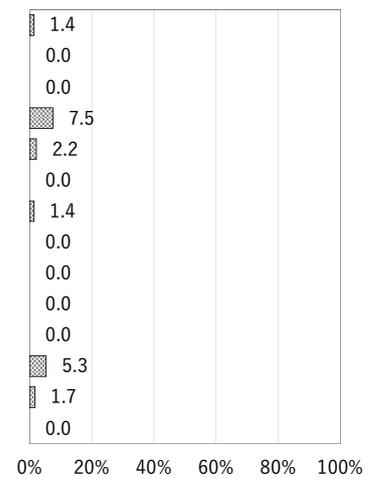
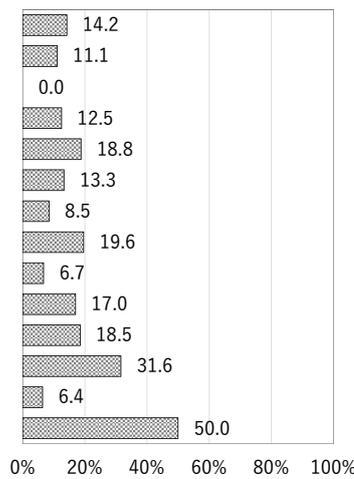
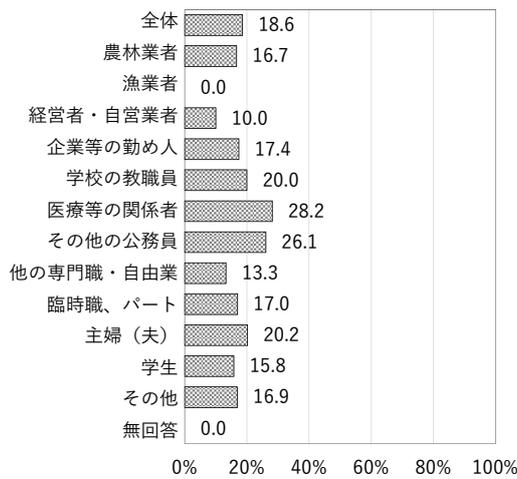
施設等の受入れ体制が十分でないこと



交通機関、道路、店舗、公園などの利用が不便なこと

一般社会や施設内において、いじめや虐待にあうこと

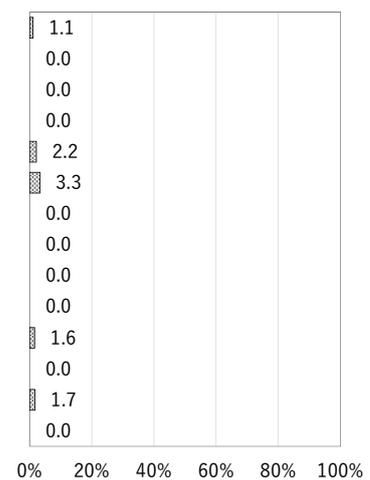
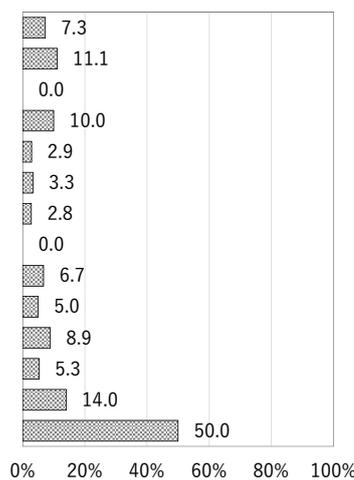
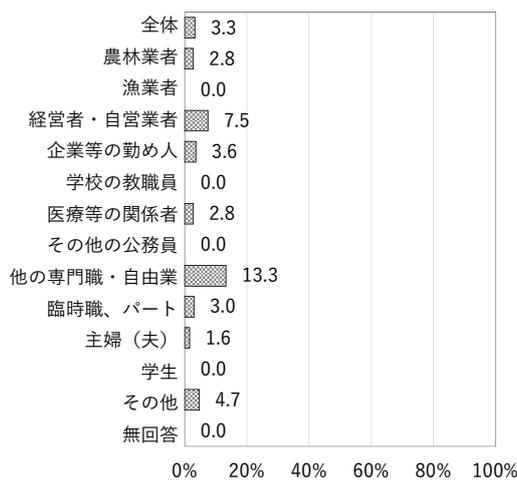
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



特になし

わからない

その他



障がいのある人に関する人権上の問題点について、職業別に見ると、「障がい者や障がいについて、人々の理解が不足していること」では、経営者・自営業者以外、全ての職業で5割を超えている。「働ける場所や機会が少ないこと」では、医療等の関係者70.4%、学校の教職員56.7%、その他の公務員52.2%、漁業者50.0%、臨時職、パート50.0%と5割を超えている。

「差別的な言動をすること」では学生63.2%、「就職、職場で不利な扱いを受けること」でも学生52.6%、「一般社会や施設内において、いじめや虐待にあうこと」でも学生31.6%と、3項目で学生が他の職業に比べて高くなっている。

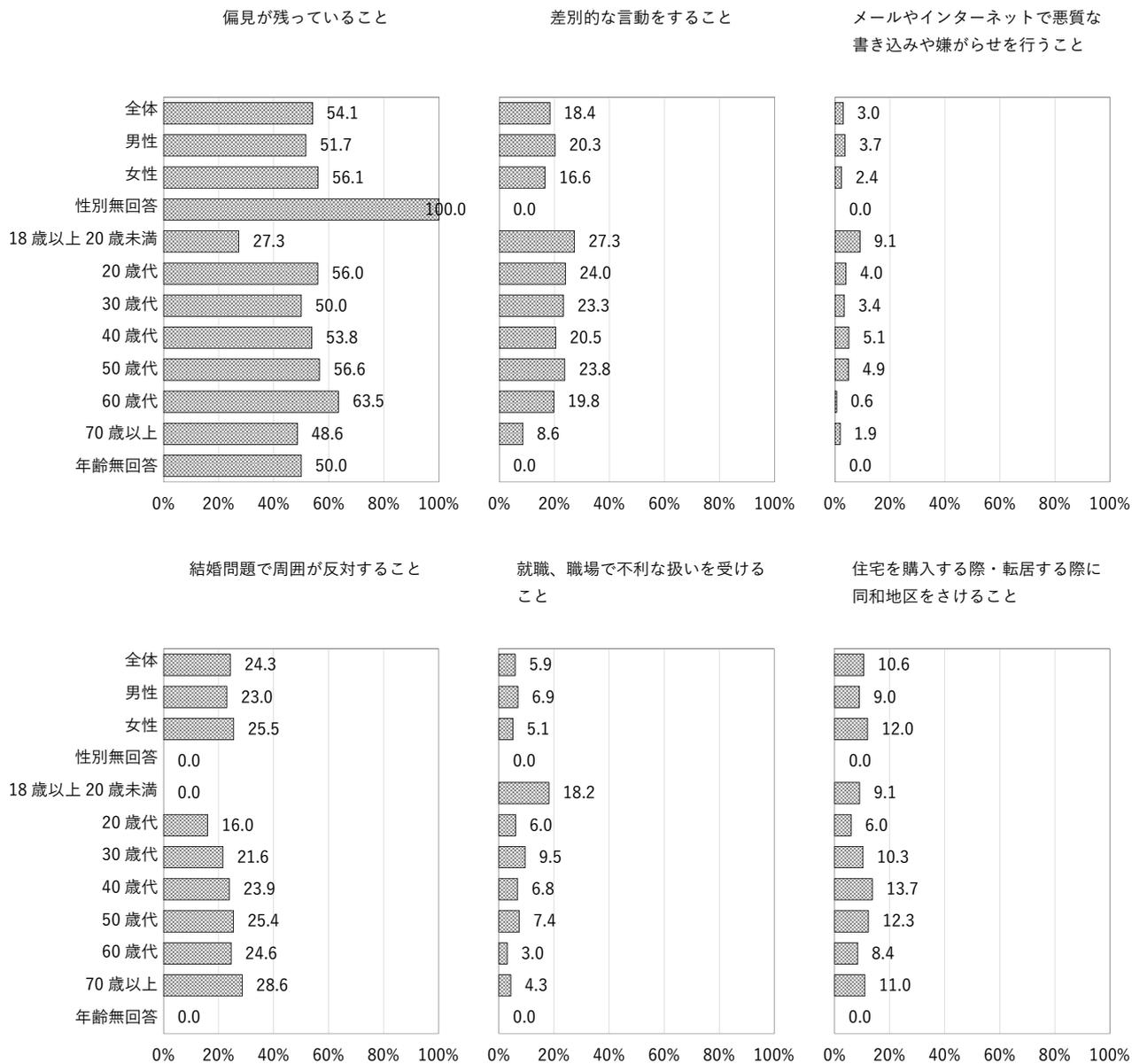
全体(n=795)  
 農林業者(n=36)  
 漁業者(n=2)  
 経営者・自営業者(n=40)  
 企業等の勤め人(n=138)  
 学校の教職員(n=30)  
 医療等の関係者(n=71)  
 その他の公務員(n=46)  
 他の専門職・自由業(n=15)  
 臨時職、パート(n=100)  
 主婦(夫)(n=124)  
 学生(n=19)  
 その他(n=172)  
 職業無回答(n=2)

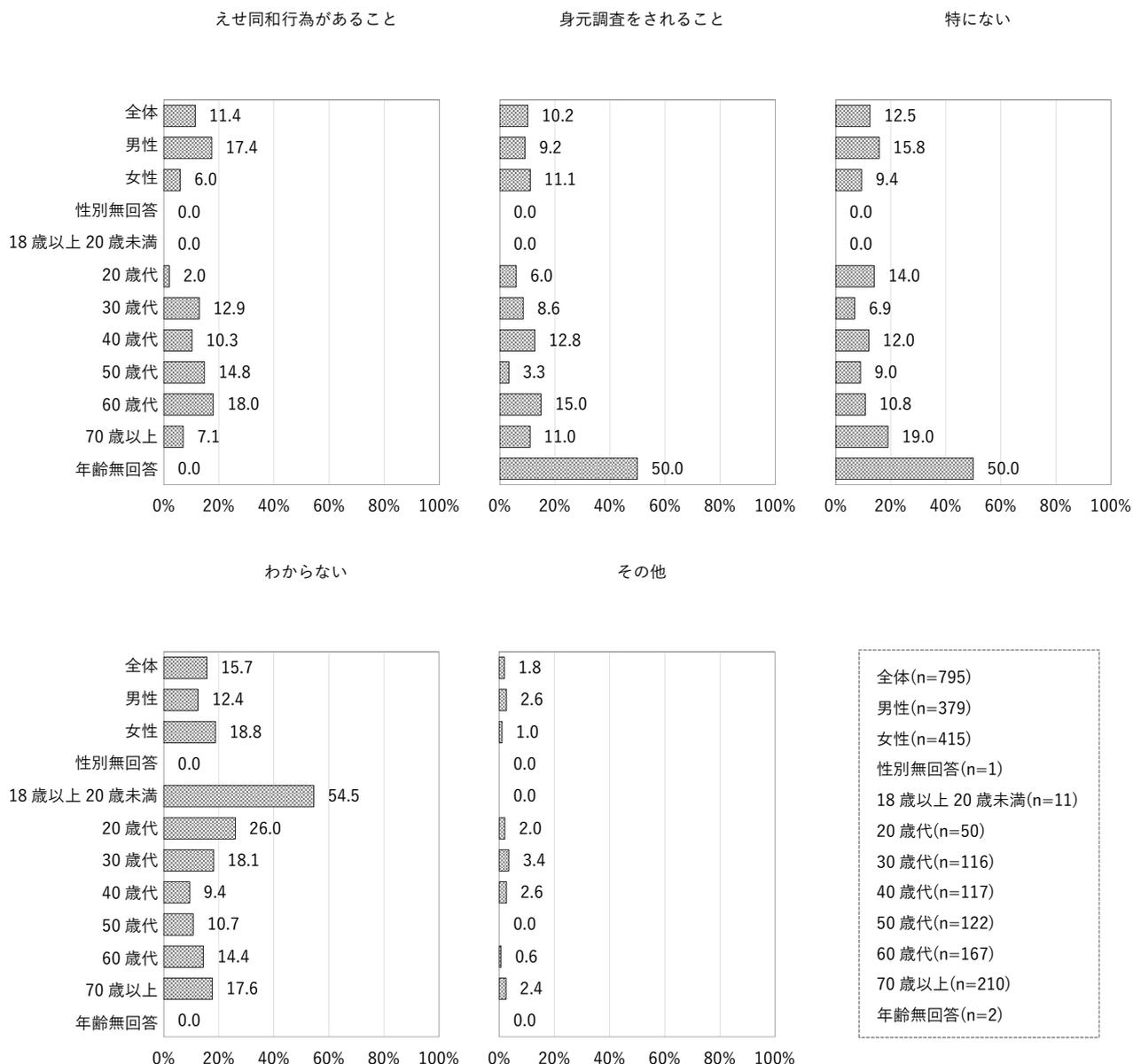
## 6 同和問題について

### (1) 同和問題に関する人権上の問題点

問9 あなたは、同和問題に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？  
2つまで選んでください。

#### 【同和問題に関する人権上の問題点（性・年齢別）】



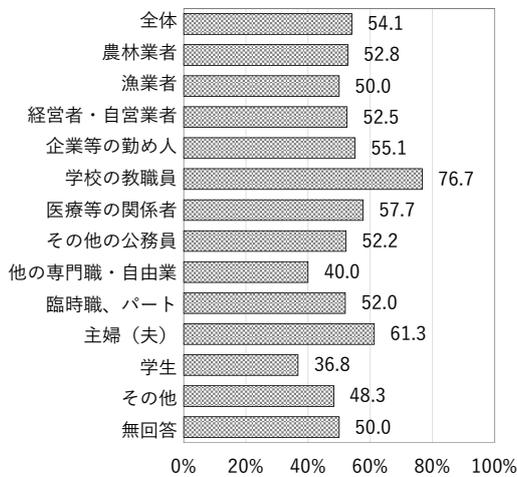


同和問題に関する人権上の問題点については、「偏見が残っていること」が最も高く 54.1%となっている。次に「結婚問題で周囲が反対すること」24.3%、「差別的な言動をすること」18.4%となっている。

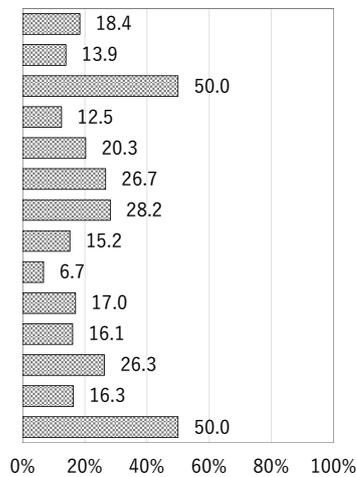
年代別に見ると、「偏見が残っていること」では、20歳代～60歳代で5割を超えて高くなっている。「結婚問題で周囲が反対すること」では、年代が高くなるにつれて割合も高くなっている。「差別的な言動をすること」では、年代が高くなるにつれて割合は低くなる傾向がある。

【同和問題に関する人権上の問題点（職業別）】

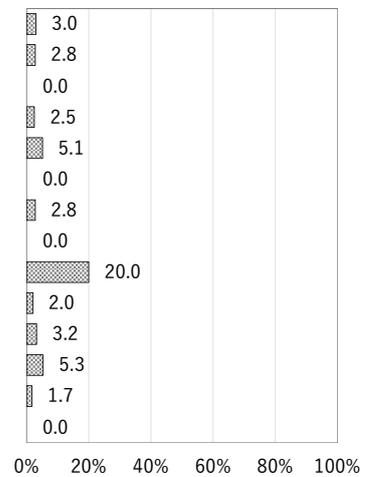
偏見が残っていること



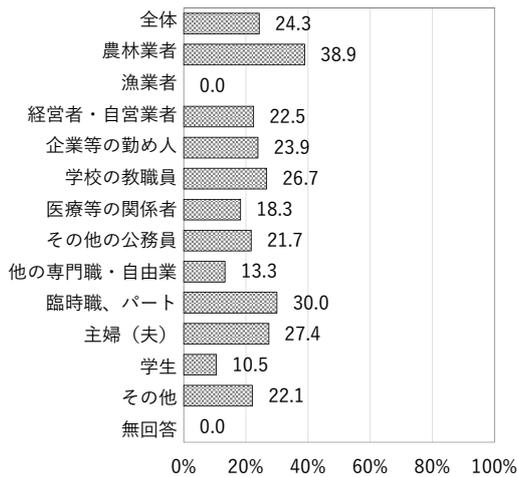
差別的な言動をすること



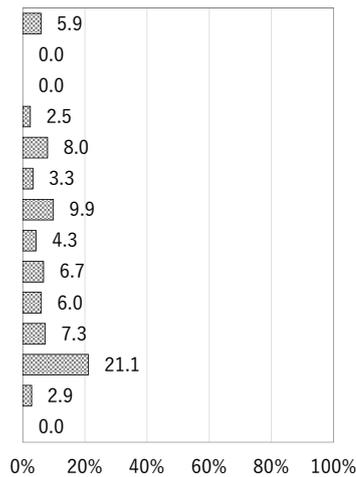
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



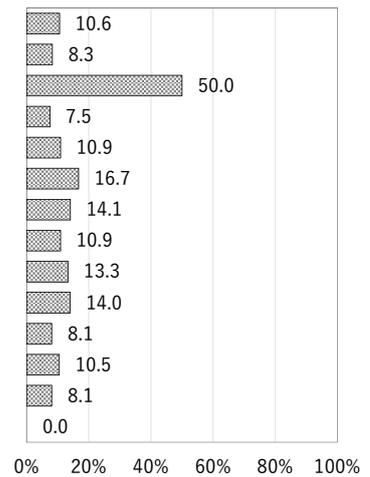
結婚問題で周囲が反対すること



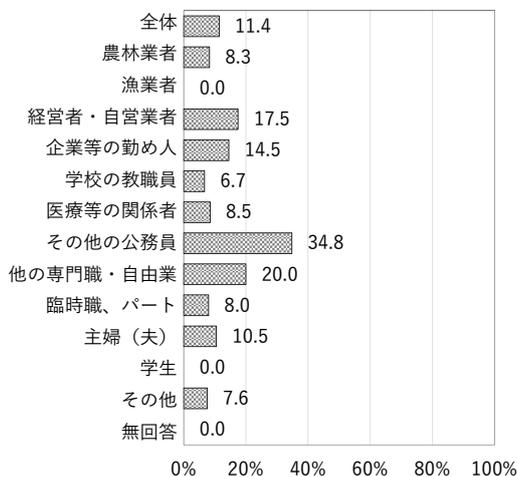
就職、職場で不利な扱いを受けること



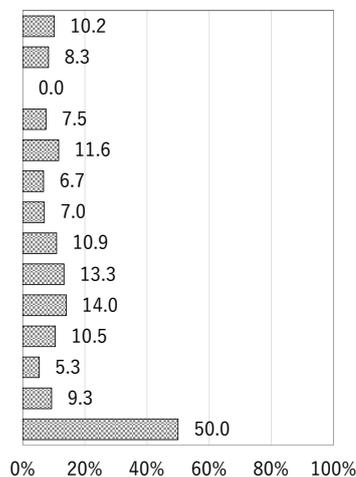
住宅を購入する際・転居する際に同和地区をさけること



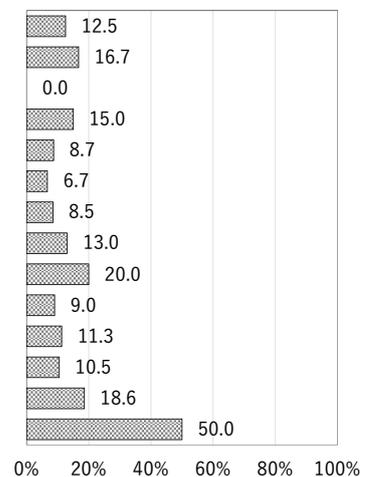
えせ同和行為があること



身元調査をされること

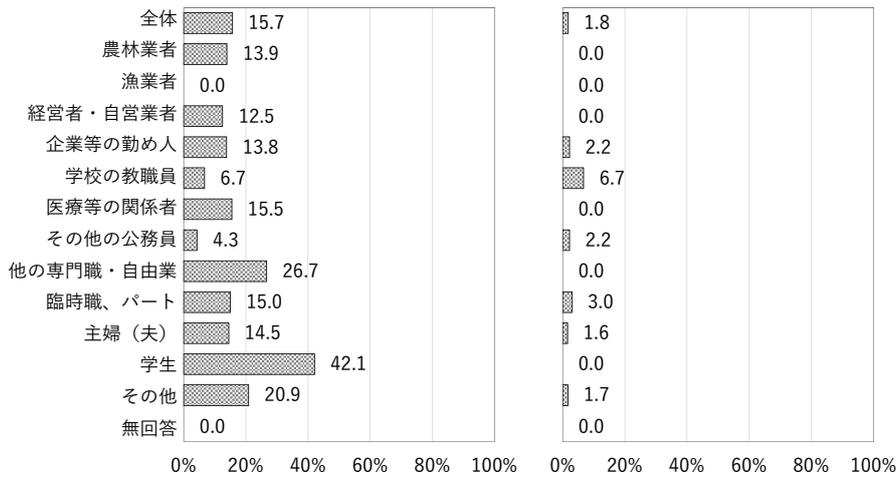


特にな



わからない

その他



全体(n=795)
農林業者(n=36)
漁業者(n=2)
経営者・自営業者(n=40)
企業等の勤め人(n=138)
学校の教職員(n=30)
医療等の関係者(n=71)
その他の公務員(n=46)
他の専門職・自由業(n=15)
臨時職、パート(n=100)
主婦(夫)(n=124)
学生(n=19)
その他(n=172)
職業無回答(n=2)

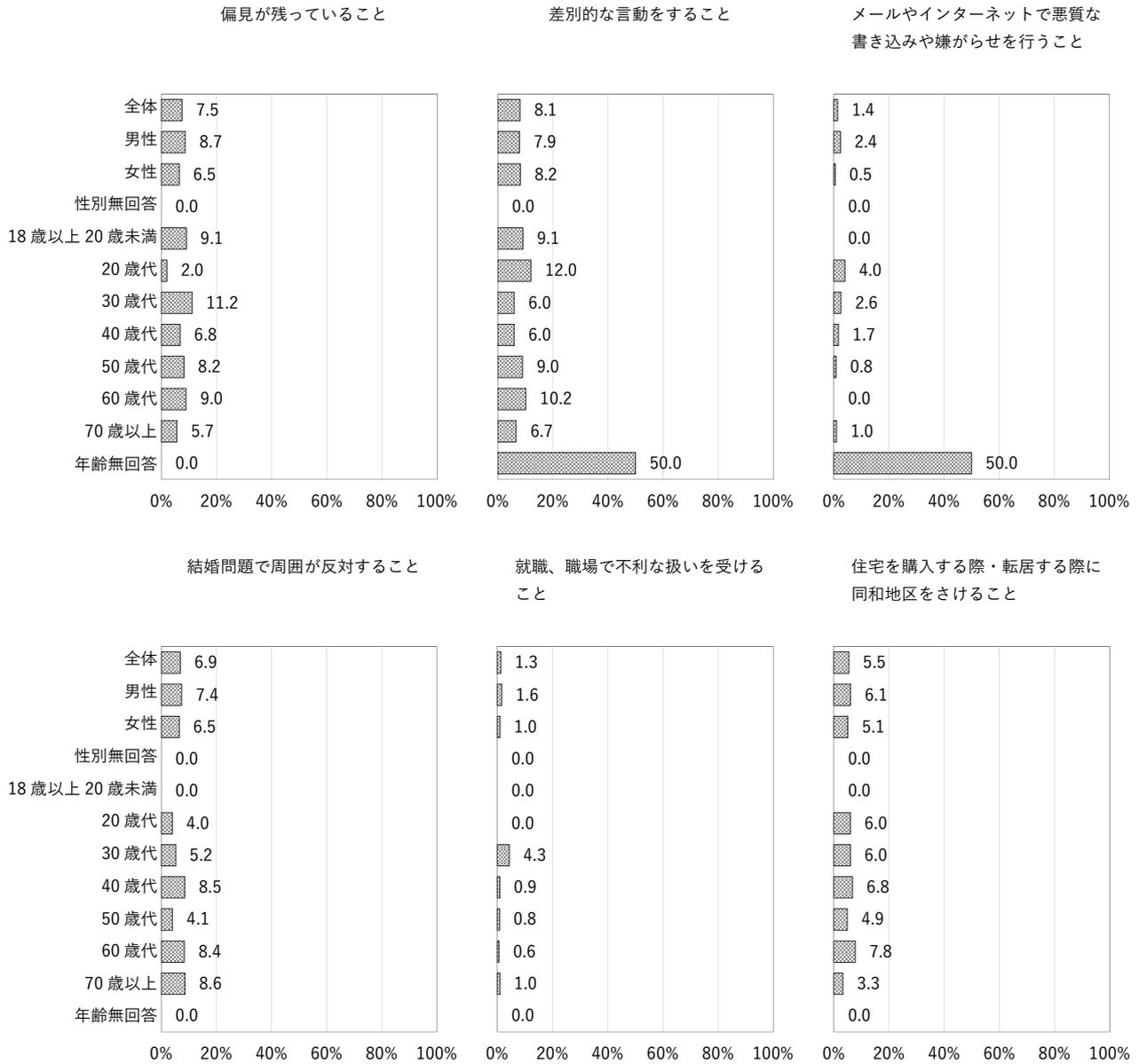
同和問題に関する人権上の問題点について、職業別に見ると、「偏見が残っていること」では、学校の教職員が最も高く 76.7%で、他の専門職・自由業、学生を除く全ての職業で 5 割を超えている。「結婚問題で周囲が反対すること」では、農林業者 38.9%、臨時職、パート 30.0%の割合が高くなっている。

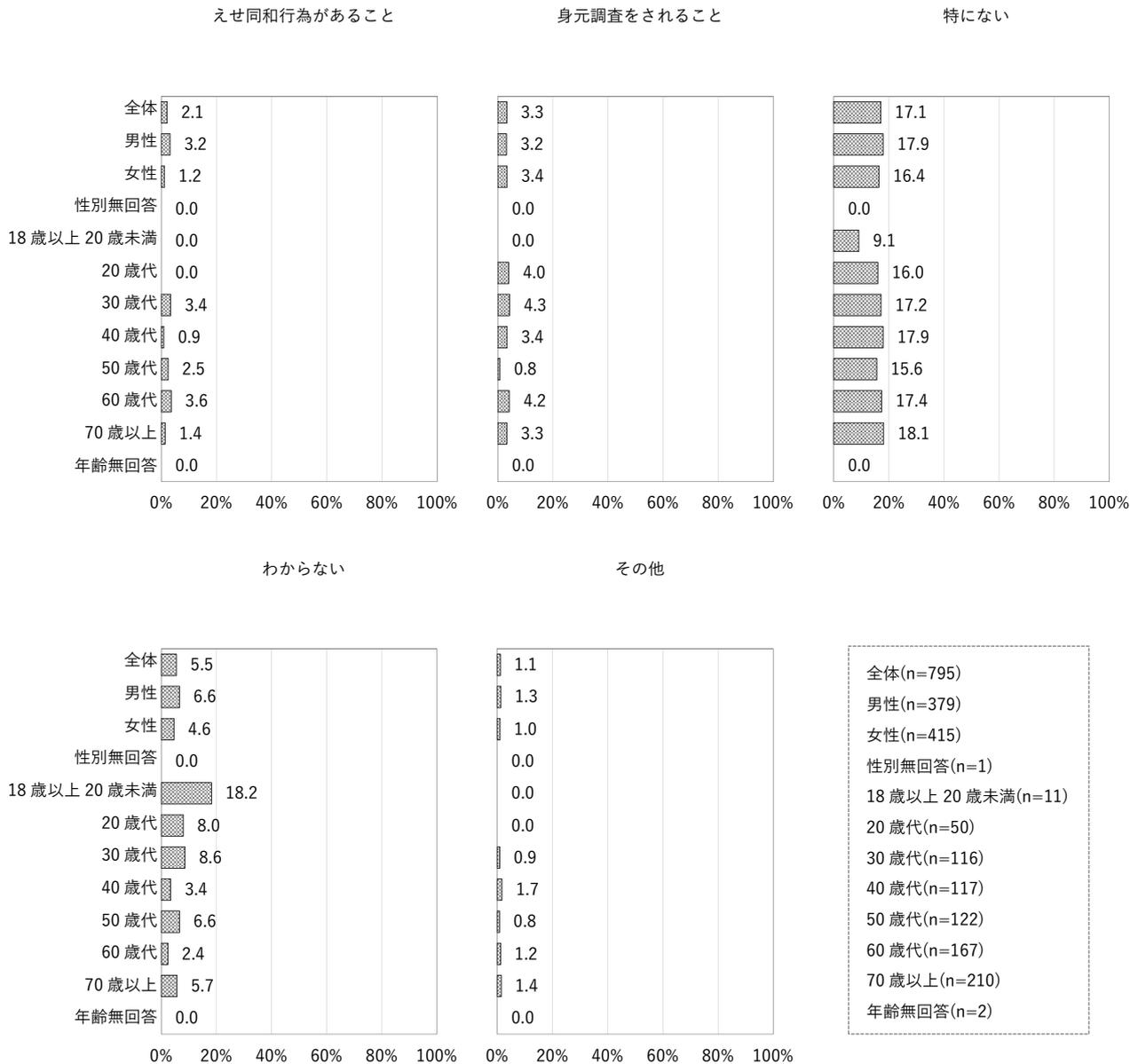
「就職、職場で不利な扱いを受けること」では、学生 21.1%と他の職業に比べて高くなっている。「えせ同和行為があること」では、その他の公務員 34.8%と他の職業に比べて高くなっている。

(2) 同和問題に関する偏見や差別を見た経験

問10 あなたは、この5年間の間に、同和問題に関することで、偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？2つまで選んでください。

【同和問題に関する偏見や差別を見た経験（性・年齢別）】



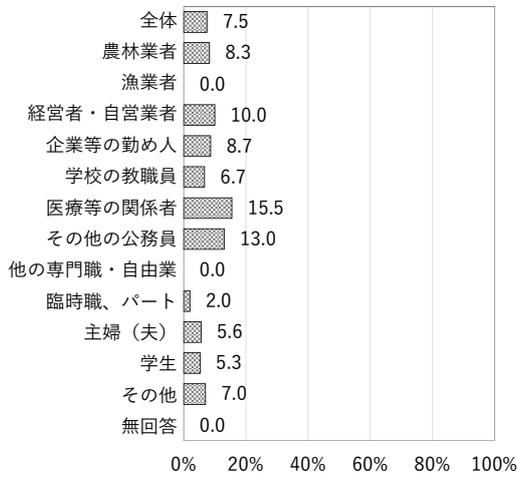


この5年間で同和問題に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、「差別的な言動をすること」8.1%、「偏見が残っていること」7.5%、「結婚問題で周囲が反対すること」6.9%、「住宅を購入する際・転居する際に同和地区をさけること」5.5%となっている。「特にない」と回答した人の割合は17.1%である。

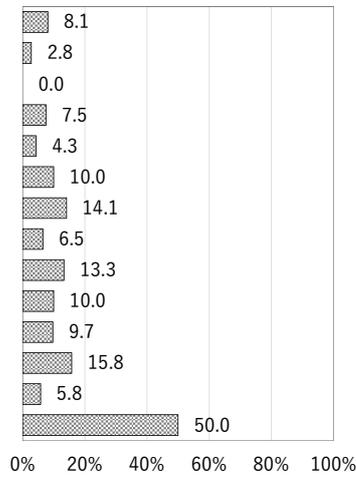
年代別に見ると、「差別的な言動をすること」では、20歳代12.0%、60歳代10.2%が1割を超えている。「偏見が残っていること」では、30歳代が11.2%と他の年代に比べて高くなっている。「住宅を購入する際・転居する際に同和地区をさけること」では、60歳代が7.8%と他の世代に比べて高くなっている。

【同和問題に関する偏見や差別を見た経験（職業別）】

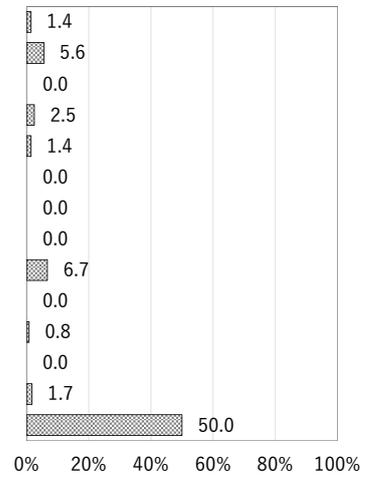
偏見が残っていること



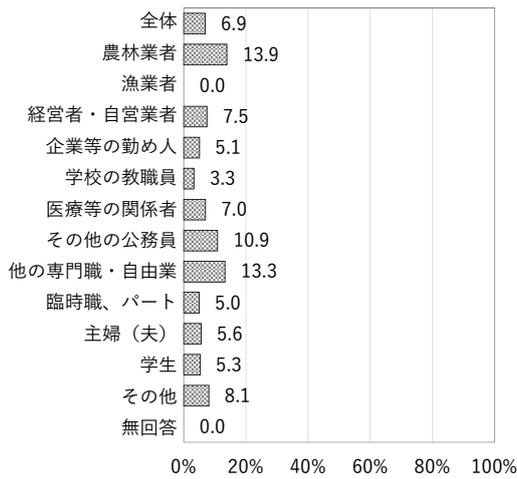
差別的な言動をすること



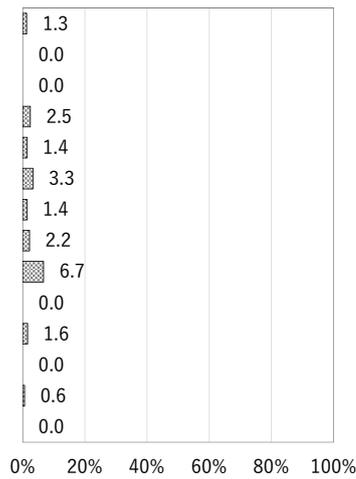
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



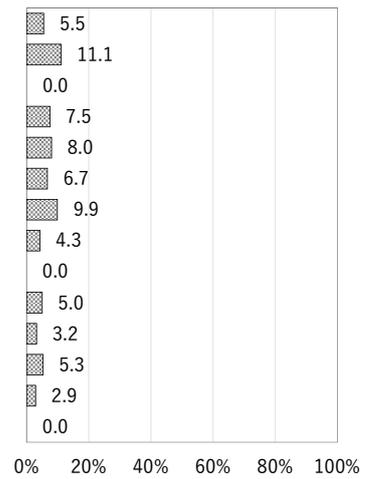
結婚問題で周囲が反対すること



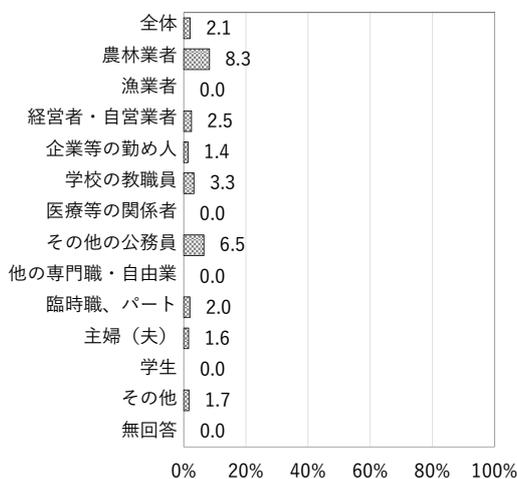
就職、職場で不利な扱いを受けること



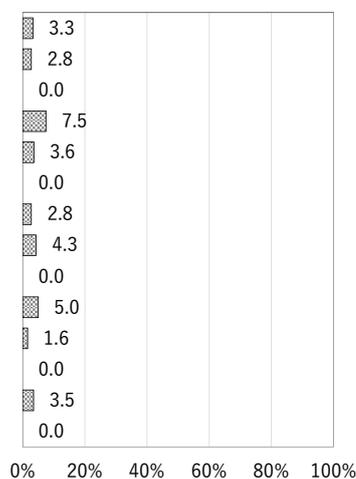
住宅を購入する際・転居する際に同和地区をさけること



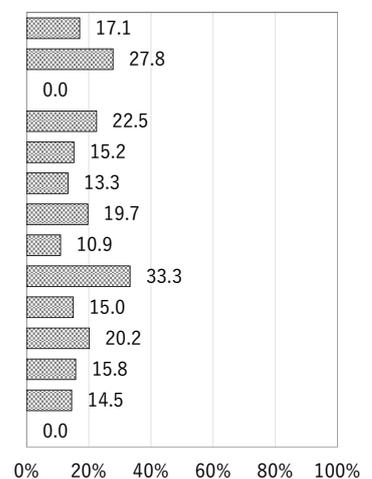
えせ同和行為があること



身元調査をされること

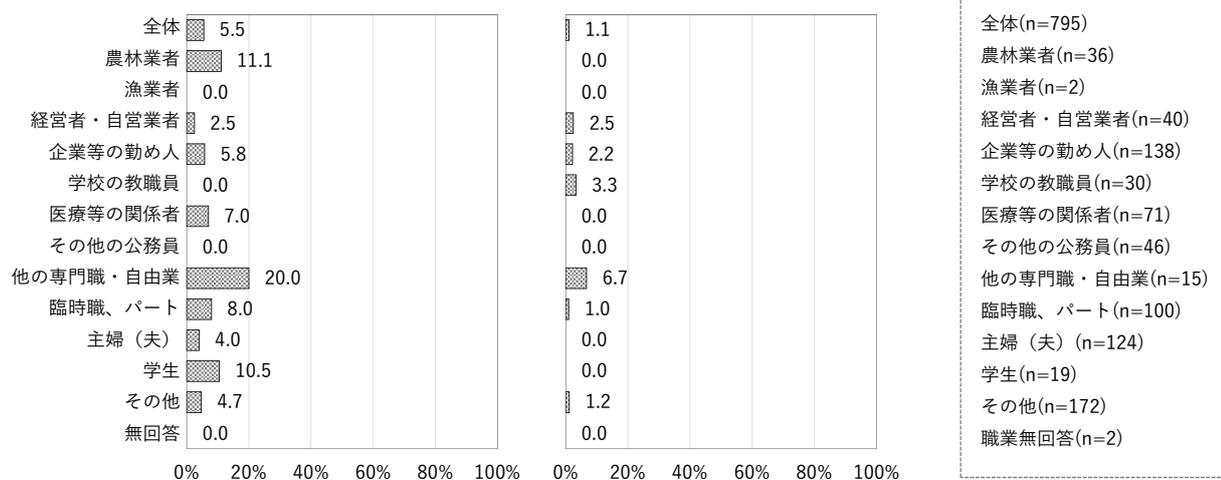


特にな



わからない

その他



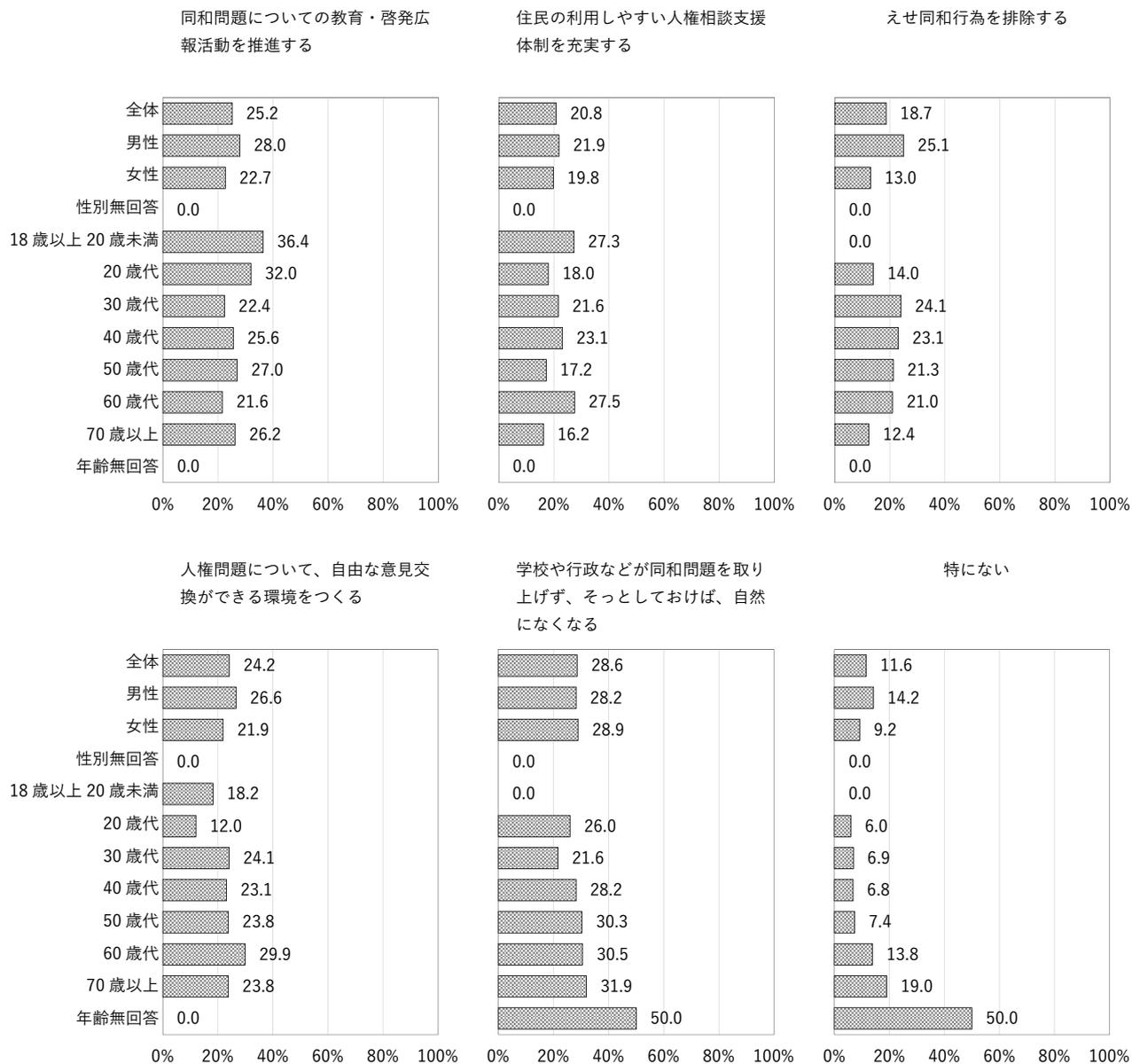
この5年間で同和問題に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、職業別に見ると、「差別的な言動をすること」では、学生 15.8%、医療等の関係者 14.1%、他の専門職・自由業 13.3%、学校の教職員 10.0%、臨時職、パート 10.0%が高く、1割を超えている。「偏見が残っていること」では、医療等の関係者 15.5%、その他の公務員 13.0%、経営者・自営業者 10.0%の割合が高く、1割を超えている。

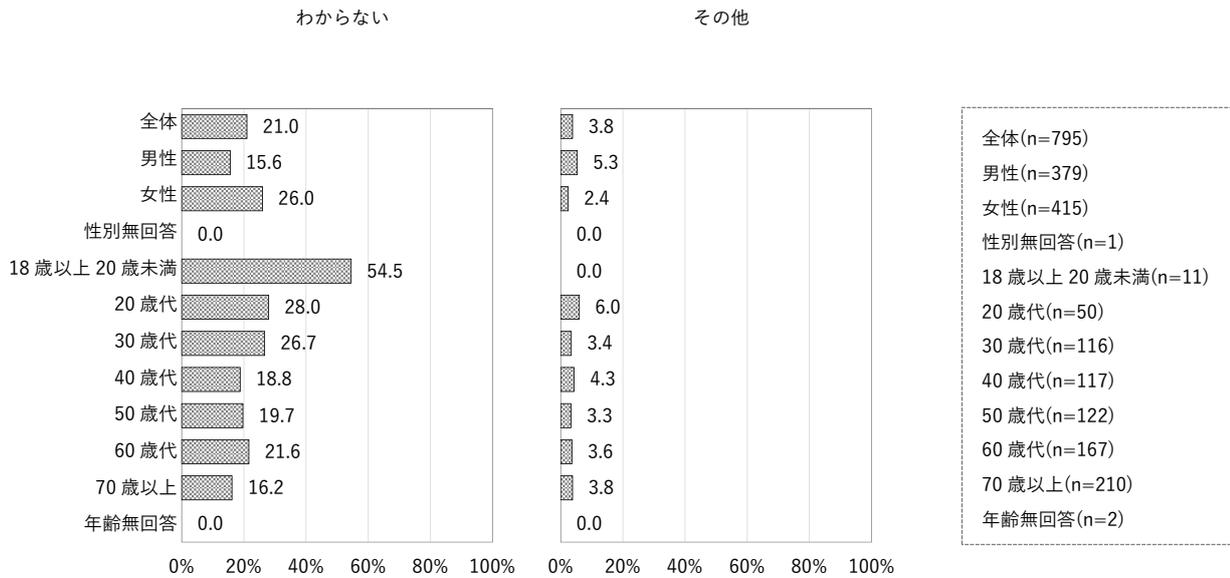
### (3) 同和問題の解決に必要なこと

問11 あなたは、同和問題の解決に必要なことは、どのようなことだと思いますか？

2つまで選んでください。

#### 【同和問題の解決に必要なこと（性・年齢別）】



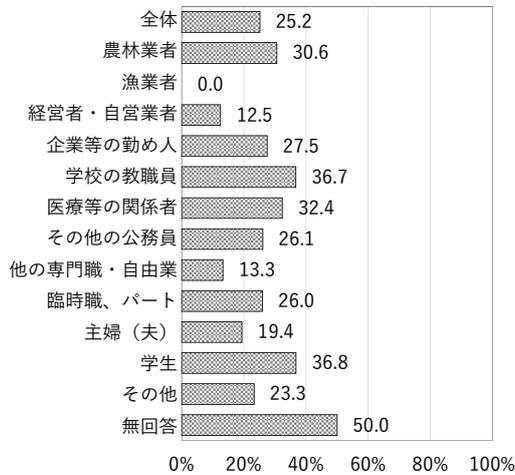


同和問題の解決について必要なことについて、「学校や行政などが同和問題を取り上げず、そっとしておけば、自然になくなる」が28.6%、次に「同和問題についての教育・啓発広報活動を推進する」25.2%、「人権問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」24.2%、「住民の利用しやすい人権相談支援体制を充実する」20.8%の順になっている。

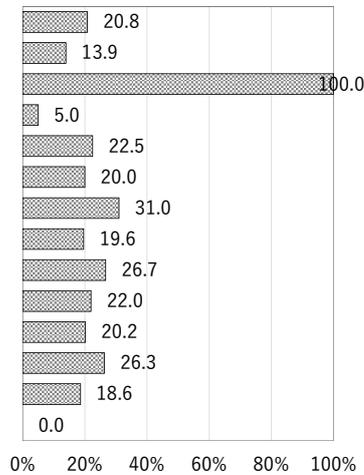
年代別に見ると、「学校や行政などが同和問題を取り上げず、そっとしておけば、自然になくなる」では、50歳代以上で3割を超えており、年代が上がるにつれ、割合が高くなっている。「同和問題についての教育・啓発広報活動を推進する」では、18歳以上20歳未満が36.4%、20歳代32.0%で、若い世代で高くなっている。

【同和問題の解決に必要なこと（職業別）】

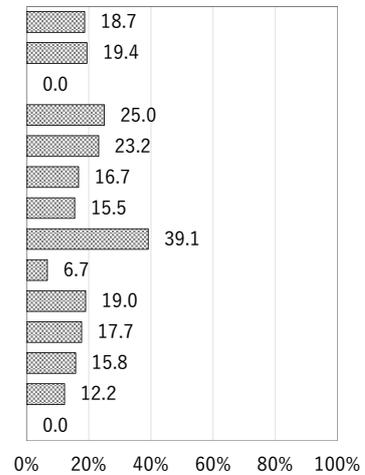
同和問題についての教育・啓発広報活動を推進する



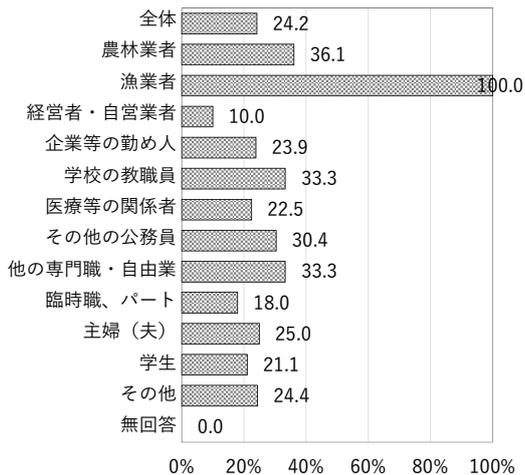
住民の利用しやすい人権相談支援体制を充実する



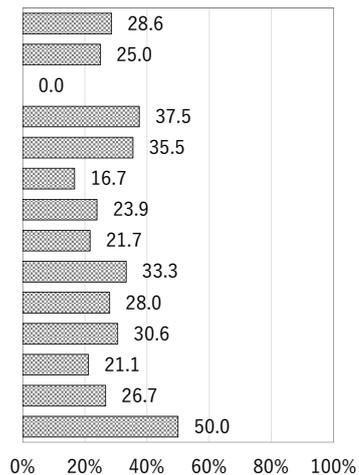
えせ同和行為を排除する体制を充実する



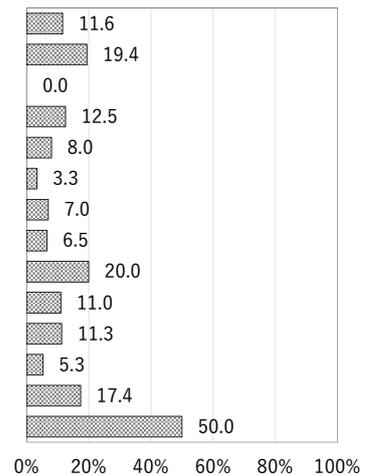
人権問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる



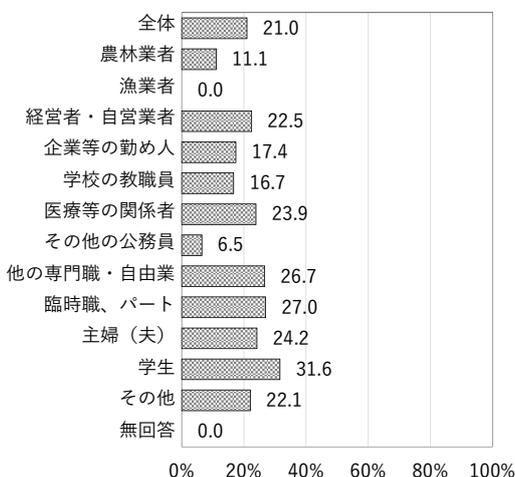
学校や行政などが同和問題を取り上げず、そっとしておけば、自然になくなる



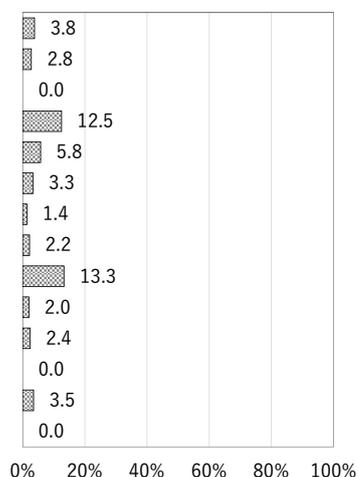
特にな



わからない



その他



全体(n=795)  
 農林業者(n=36)  
 漁業者(n=2)  
 経営者・自営業者(n=40)  
 企業等の勤め人(n=138)  
 学校の教職員(n=30)  
 医療等の関係者(n=71)  
 その他の公務員(n=46)  
 他の専門職・自由業(n=15)  
 臨時職、パート(n=100)  
 主婦（夫）(n=124)  
 学生(n=19)  
 その他(n=172)  
 職業無回答(n=2)

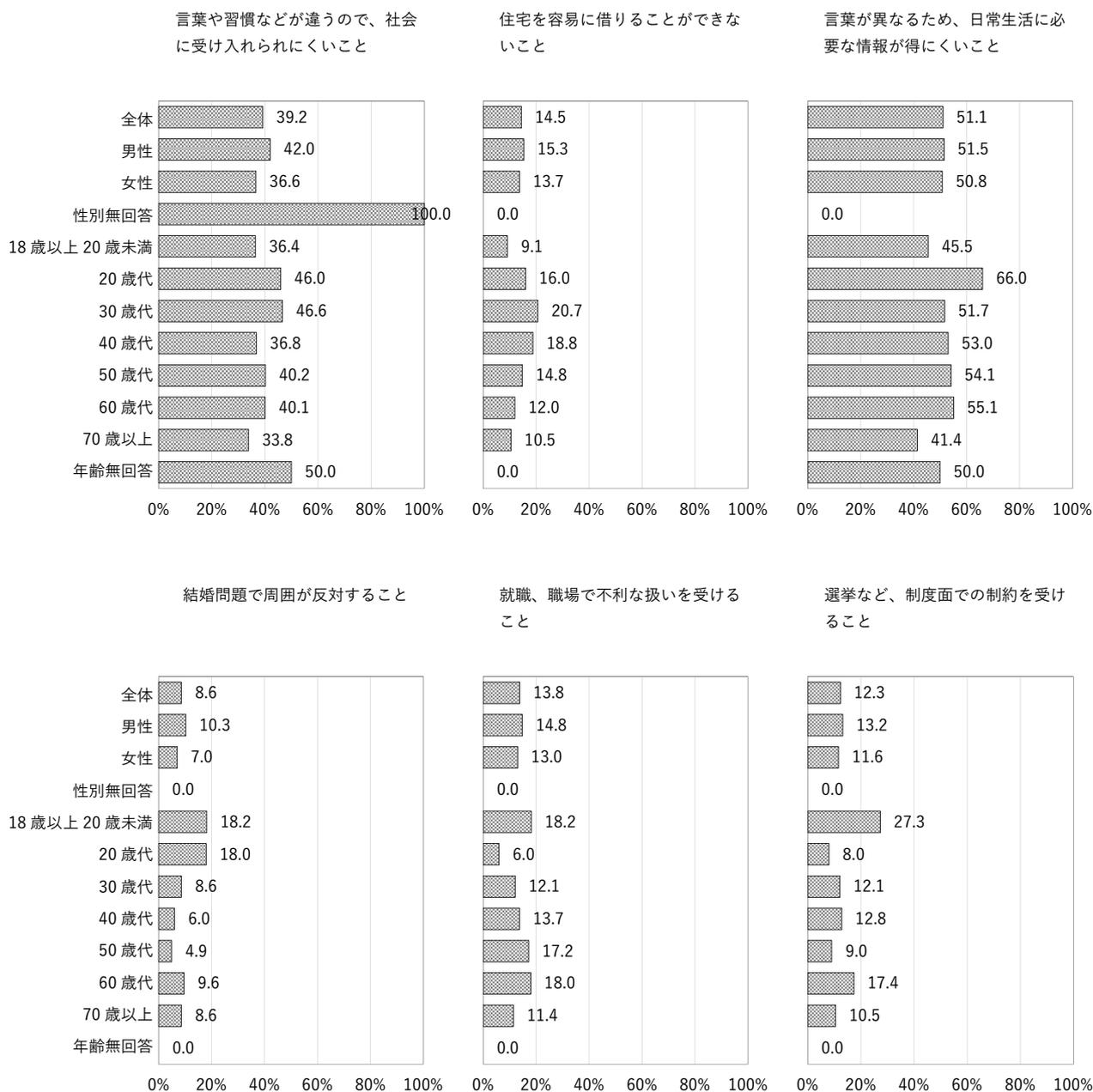
同和問題の解決について必要なことについて、職業別に見ると、「学校や行政などが同和問題を取り上げず、そっとしておけば、自然になくなる」では、経営者・自営業者 37.5%、企業等の勤め人 35.5%、他の専門職・自由業 33.3%、主婦（夫） 30.6%が高く、3割を超えている。「同和問題についての教育・啓発広報活動を推進する」では、学生 36.8%、学校の教職員 36.7%、医療等の関係者 32.4%、農林業者 30.6%が高く、3割を超えている。「えせ同和行為を排除する」では、その他の公務員が 39.1%と他の職業に比べて高くなっている。

## 7 外国人の人権について

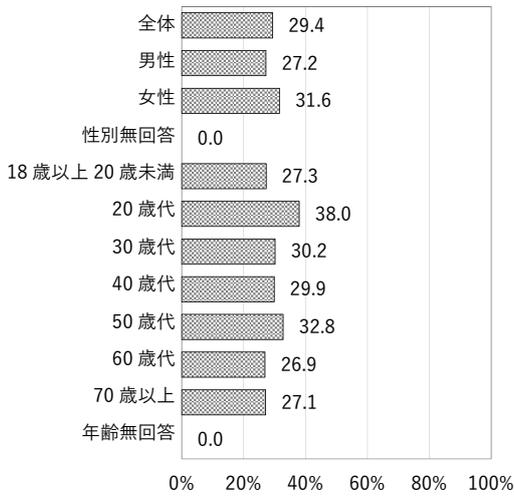
### (1) 外国人に関する人権上の問題点

問12 あなたは、外国人の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？  
3つまで選んでください。

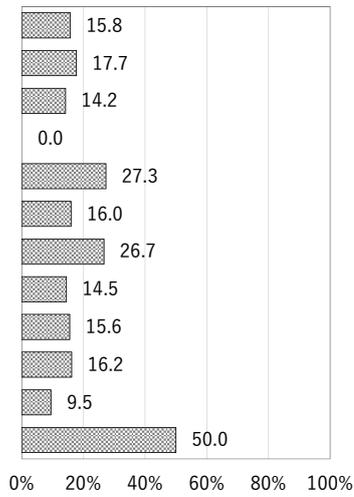
#### 【外国人に関する人権上の問題点（性・年齢別）】



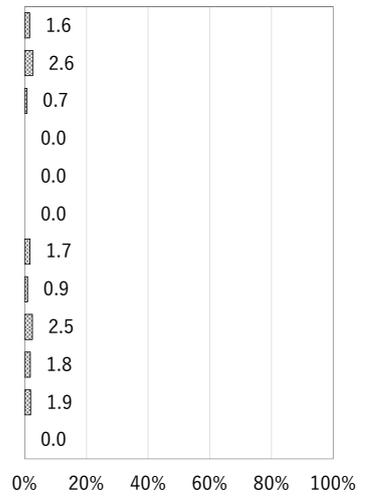
病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと



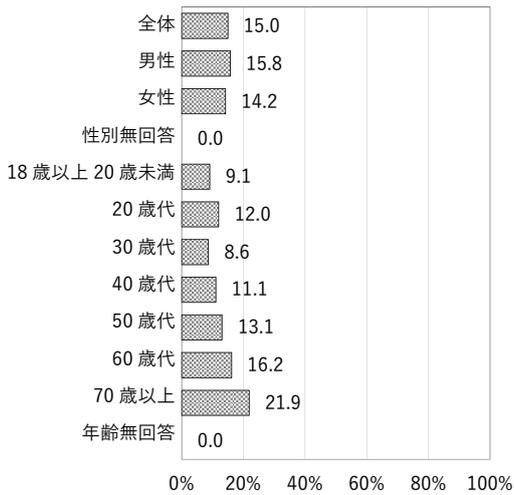
じろじろ見られたり、避けられたりすること



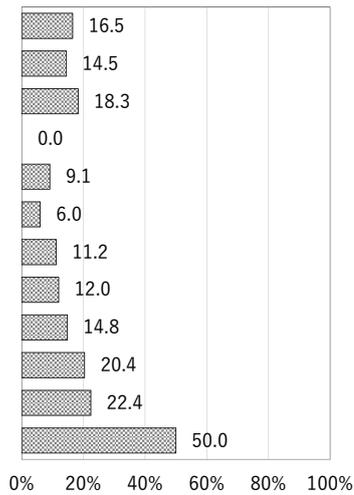
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



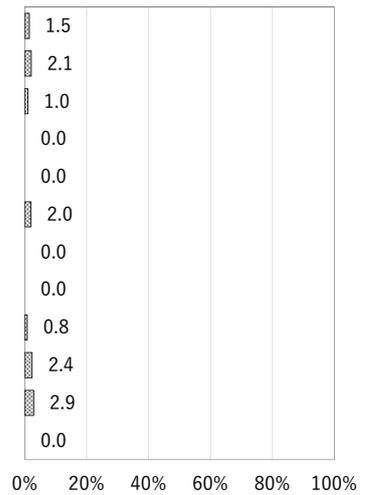
特になし



わからない



その他



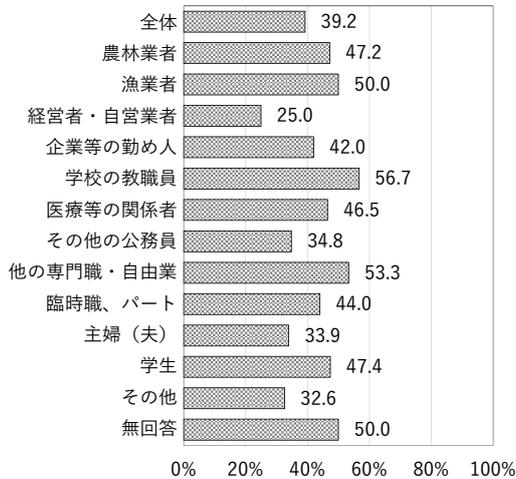
外国人に関する人権上の問題点について、「言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと」が51.1%と最も多く、5割を超えている。次に、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと」39.2%、「病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと」29.4%の順になっている。

年代別に見ると、「言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと」では20歳代が最も高く66.0%となっているのに対し、70歳以上は41.4%と低い。「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと」では、30歳代46.6%、20歳代46.0%が高くなっている。

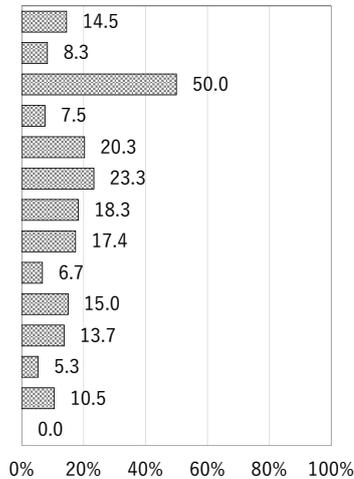
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

【外国人に関する人権上の問題点（職業別）】

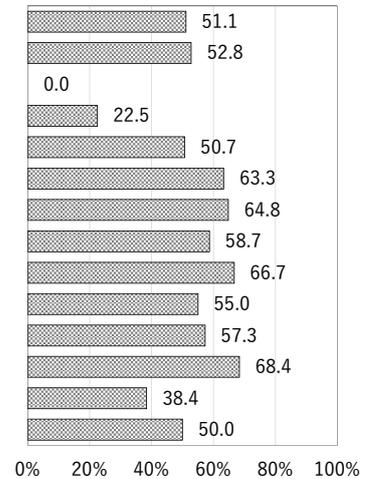
言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと



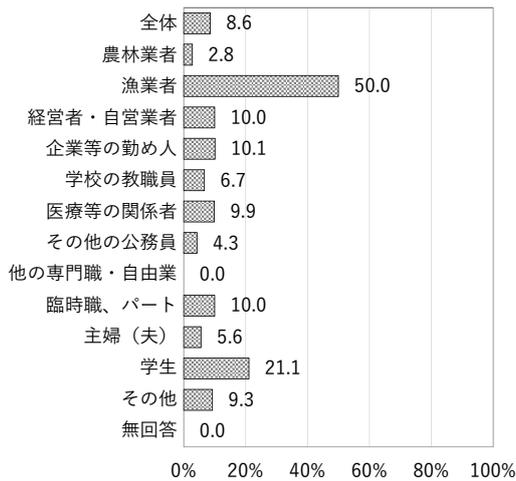
住宅を容易に借りることができないこと



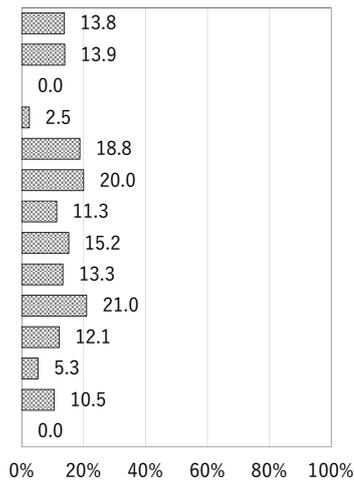
言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと



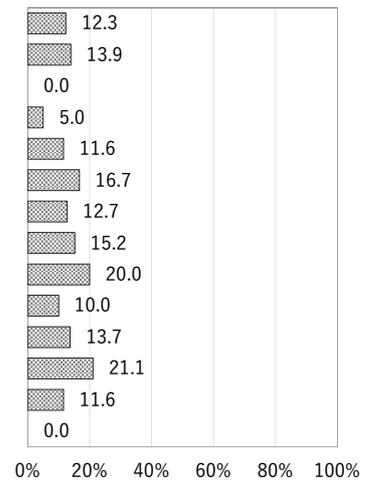
結婚問題で周囲が反対すること



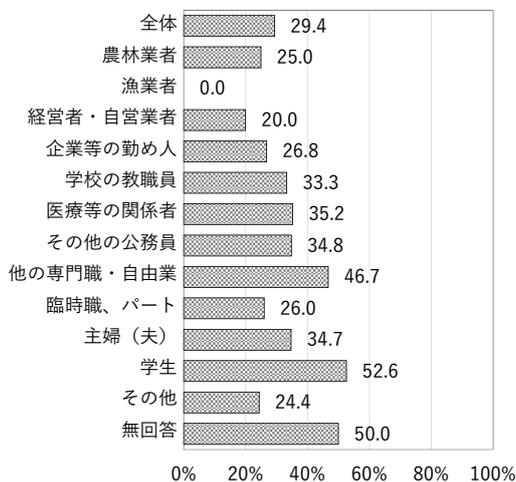
就職、職場で不利な扱いを受けること



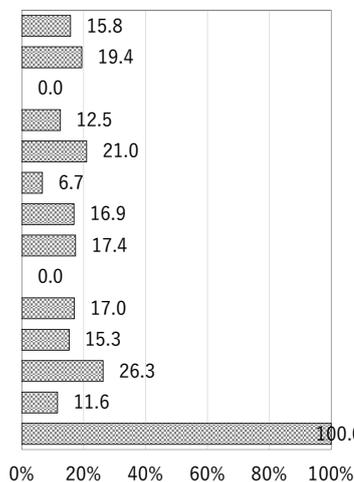
選挙など、制度面での制約を受けること



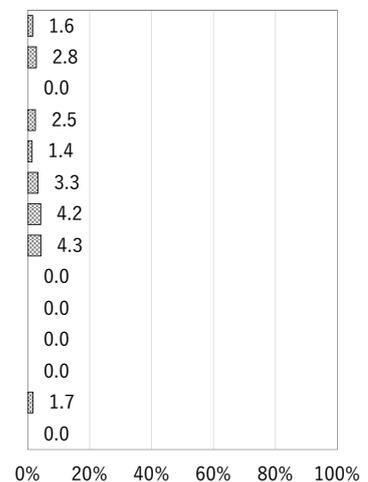
病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと

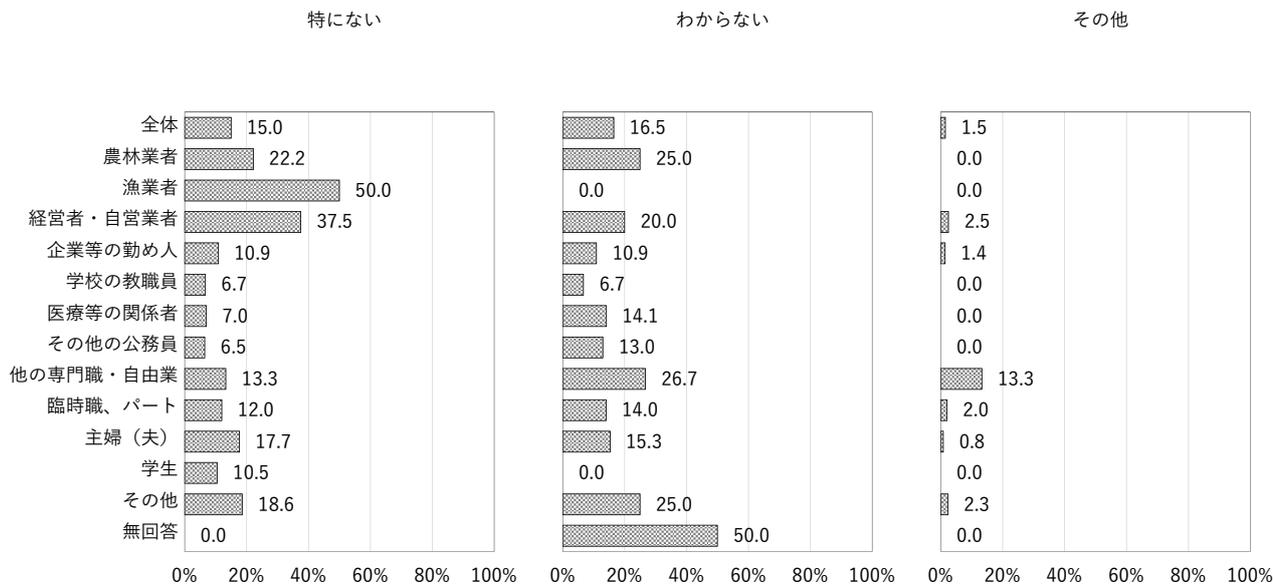


じろじろ見られたり、避けられたりすること



メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと





外国人に関する人権上の問題点について、職業別に見ると、「言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと」では、経営者・自営業者、漁業者以外のすべての業種で 5 割を超えている。「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと」では、学校の教職員 56.7%、他の専門職・自由業 53.3%が高くなっている。「病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと」では学生 52.6%、他の専門職・自由業 46.7%が他の職業に比べて高くなっている。

全体(n=795)
農林業者(n=36)
漁業者(n=2)
経営者・自営業者(n=40)
企業等の勤め人(n=138)
学校の教職員(n=30)
医療等の関係者(n=71)
その他の公務員(n=46)
他の専門職・自由業(n=15)
臨時職、パート(n=100)
主婦(夫)(n=124)
学生(n=19)
その他(n=172)
職業無回答(n=2)

(2) 外国人に関する偏見や差別を見た経験

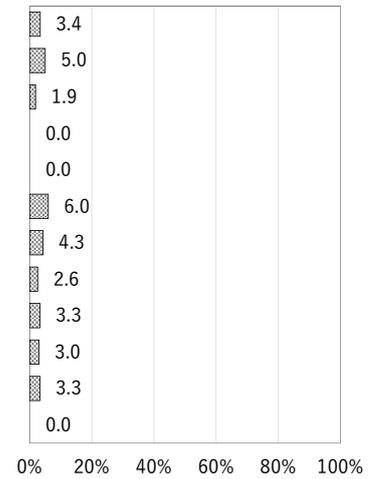
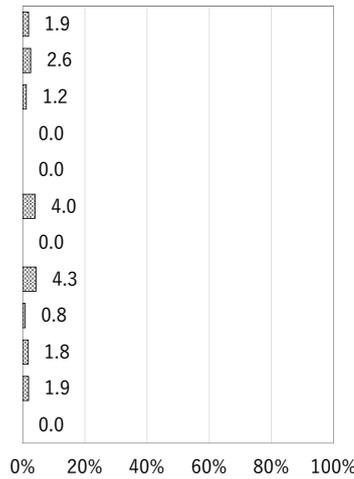
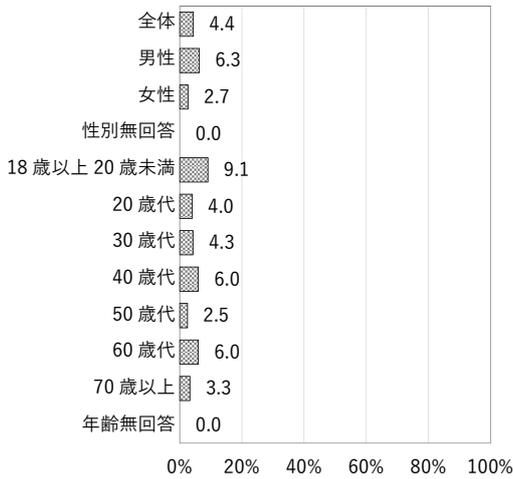
問13 あなたは、この5年間の間に、外国人に対する偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？2つまで選んでください。

【外国人に関する偏見や差別を見た経験（性・年齢別）】

言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと

住宅を容易に借りることができないこと

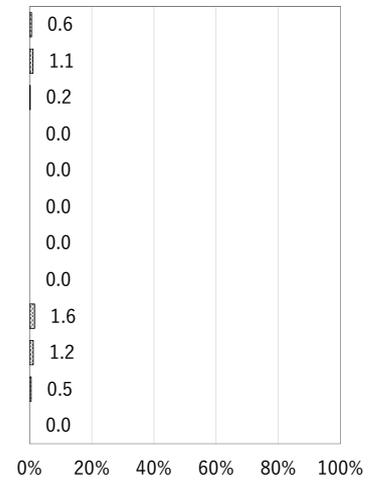
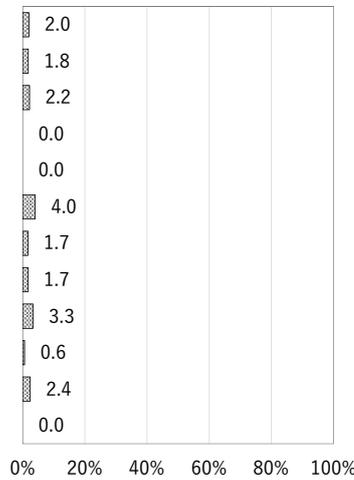
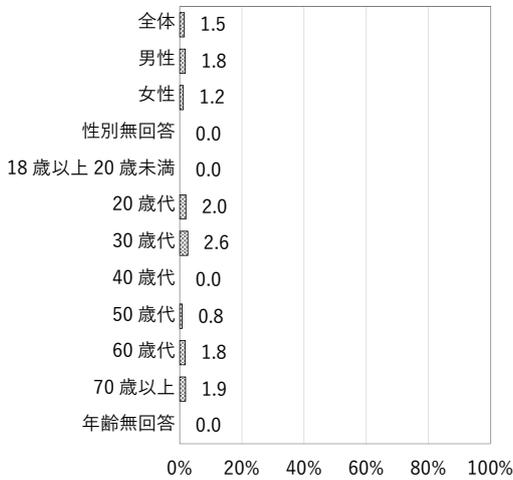
言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと

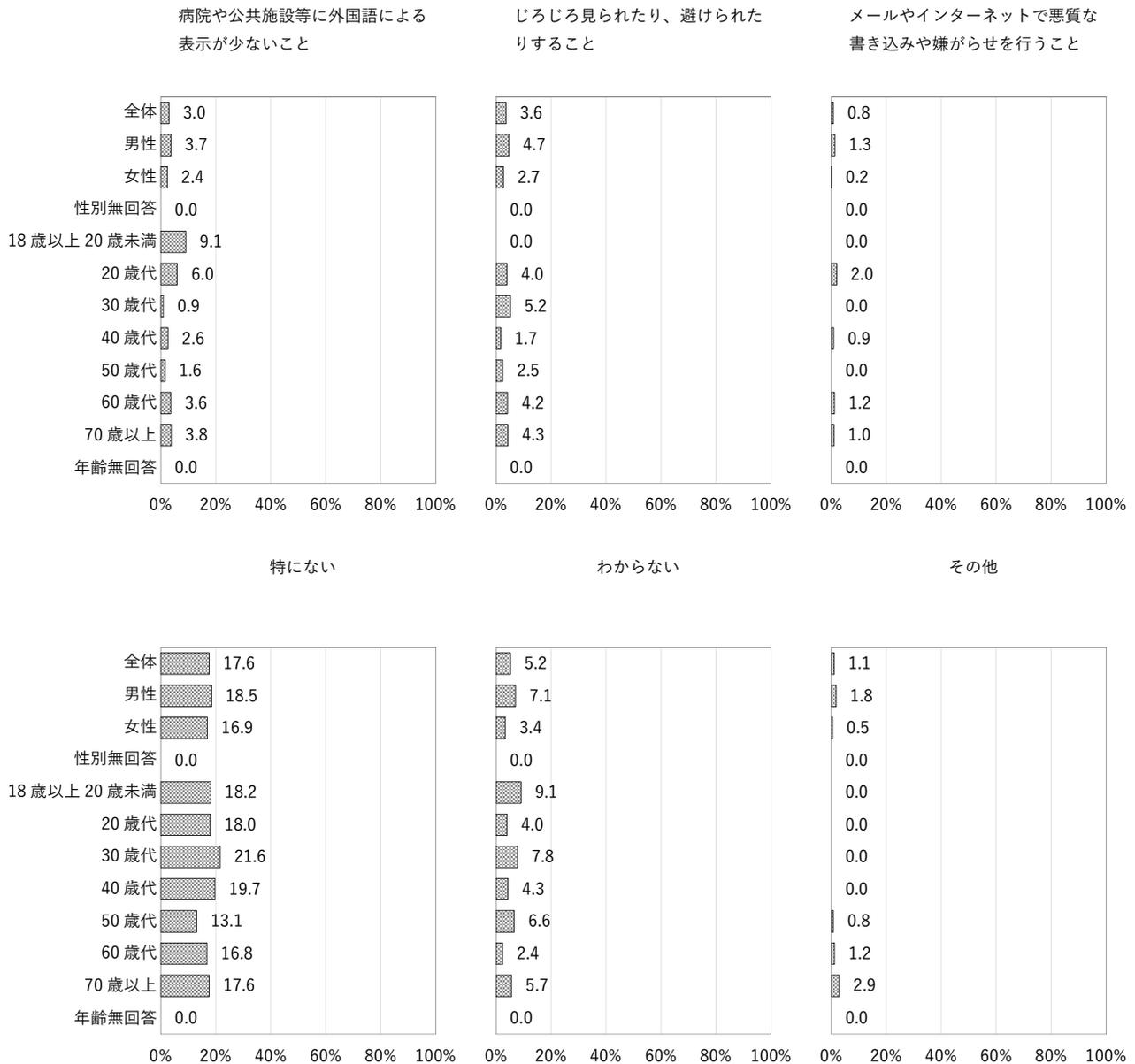


結婚問題で周囲が反対すること

就職、職場で不利な扱いを受けること

選挙など、制度面での制約を受けること





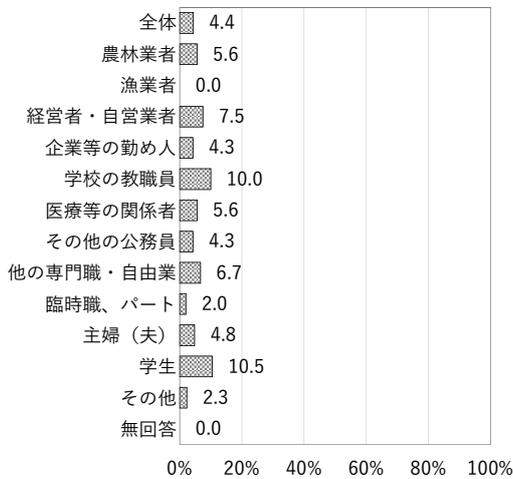
この5年間で外国人に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと」4.4%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」3.6%、「言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと」3.4%、「病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと」3.0%の順となっている。「特になし」と答えた人の割合は17.6%である。

性別で見ると、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと」では、18歳以上20歳未満が9.1%と高くなっている。「じろじろ見られたり、避けられたりすること」では30歳代が5.2%と高くなっている。

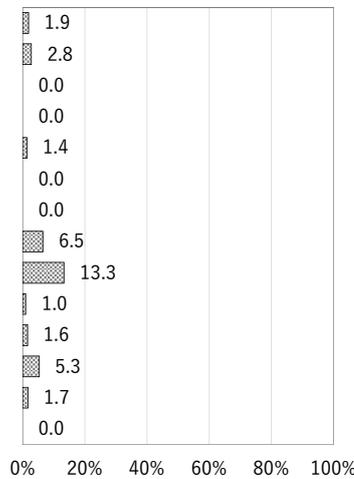
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上 20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

【外国人に関する偏見や差別を見た経験（職業別）】

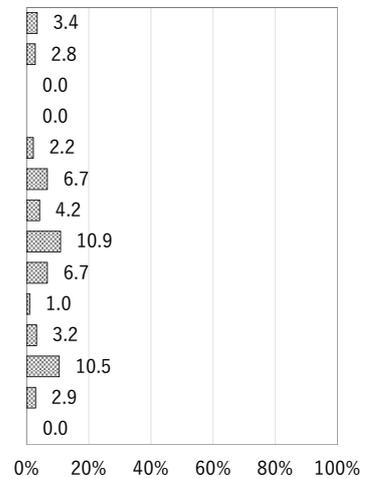
言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと



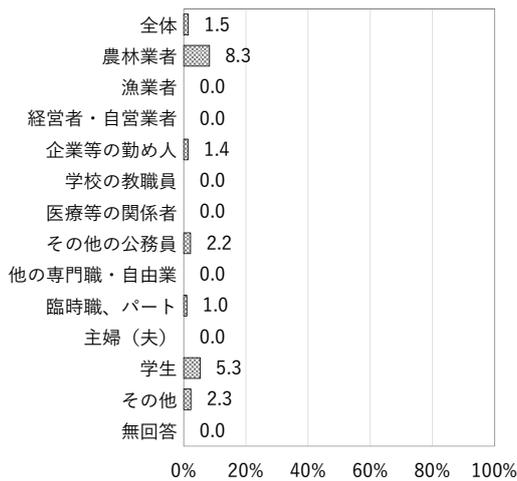
住宅を容易に借りることができないこと



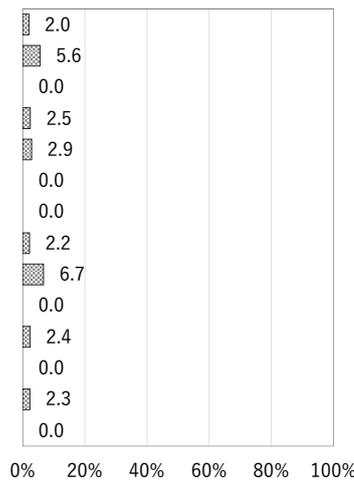
言葉が異なるため、日常生活に必要な情報が得にくいこと



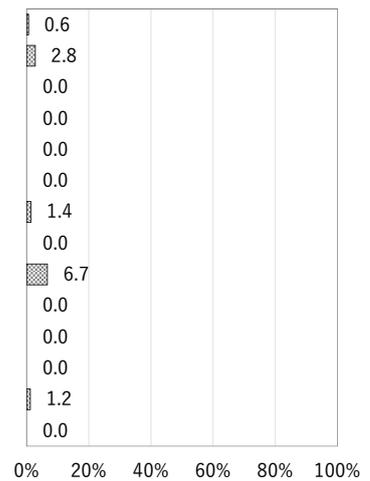
結婚問題で周囲が反対すること



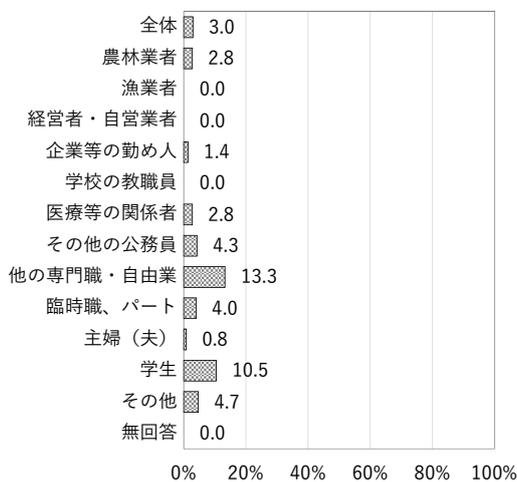
就職、職場で不利な扱いを受けること



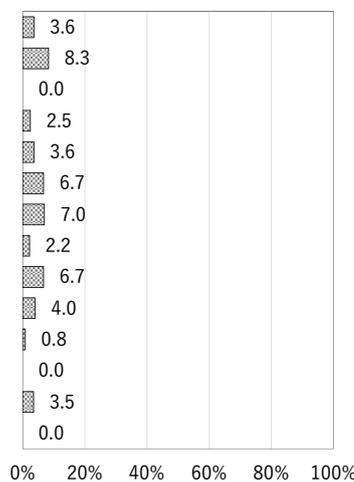
選挙など、制度面での制約を受けること



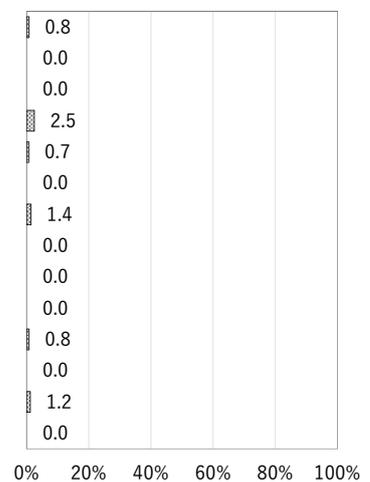
病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと

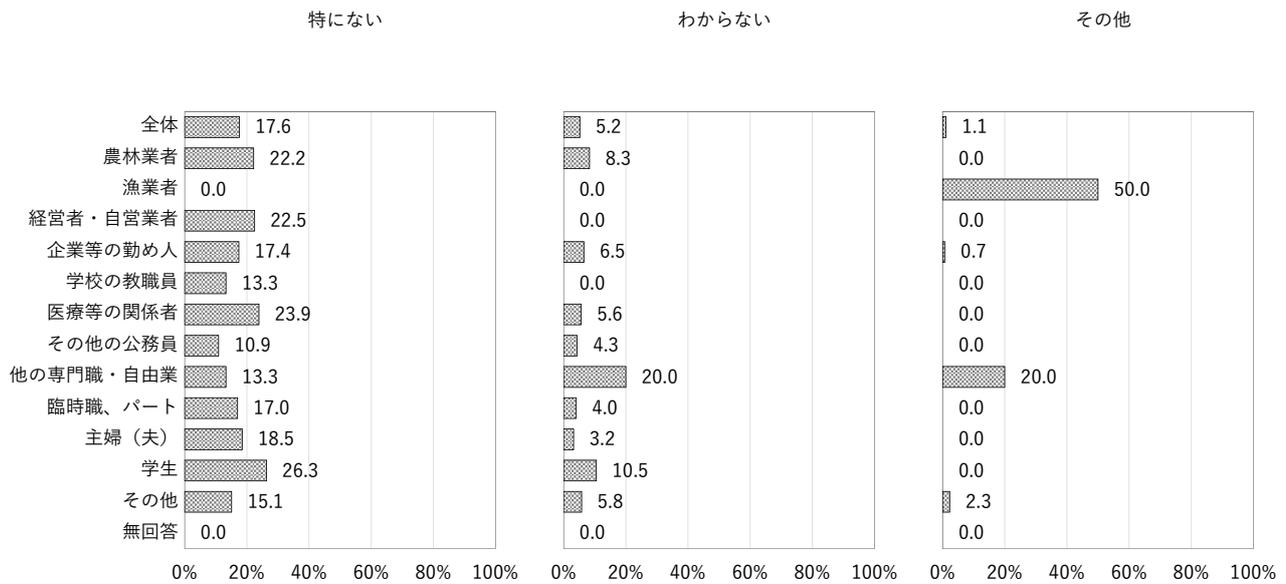


じろじろ見られたり、避けられたりすること



メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと





この5年間で外国人に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、職業別に見ると、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと」では、学生 10.5%、学校の教職員 10.0%が高く、1割を超えている。

「住宅を容易に借りることができないこと」では、他の専門職・自由業が 13.3%と他の職業に比べて高くなっている。「病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと」では、他の専門職・自由業 13.3%、学生 10.5%が他の職業に比べて高くなっている。

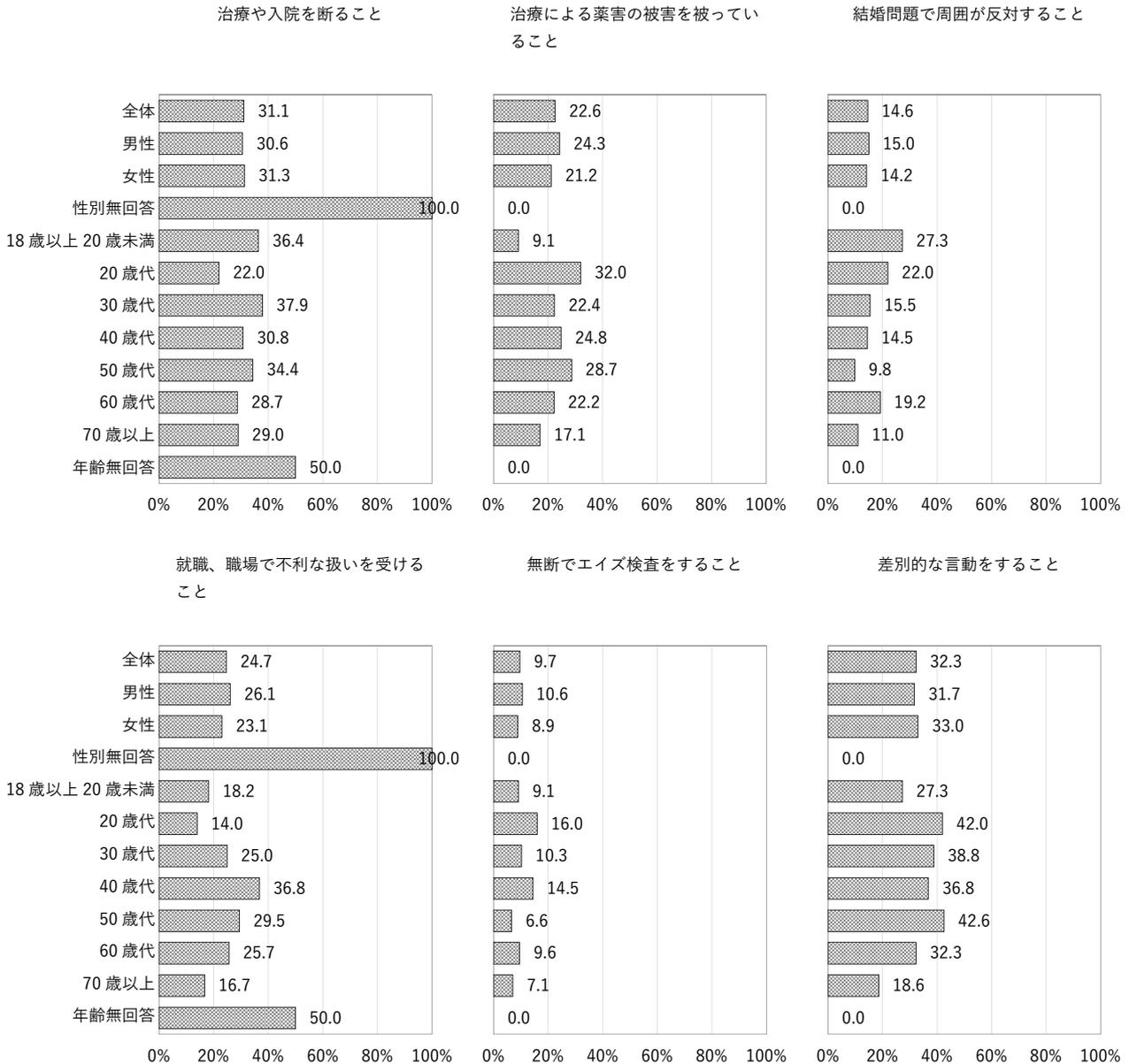
- 全体(n=795)
- 農林業者(n=36)
- 漁業者(n=2)
- 経営者・自営業者(n=40)
- 企業等の勤め人(n=138)
- 学校の教職員(n=30)
- 医療等の関係者(n=71)
- その他の公務員(n=46)
- 他の専門職・自由業(n=15)
- 臨時職、パート(n=100)
- 主婦(夫)(n=124)
- 学生(n=19)
- その他(n=172)
- 職業無回答(n=2)

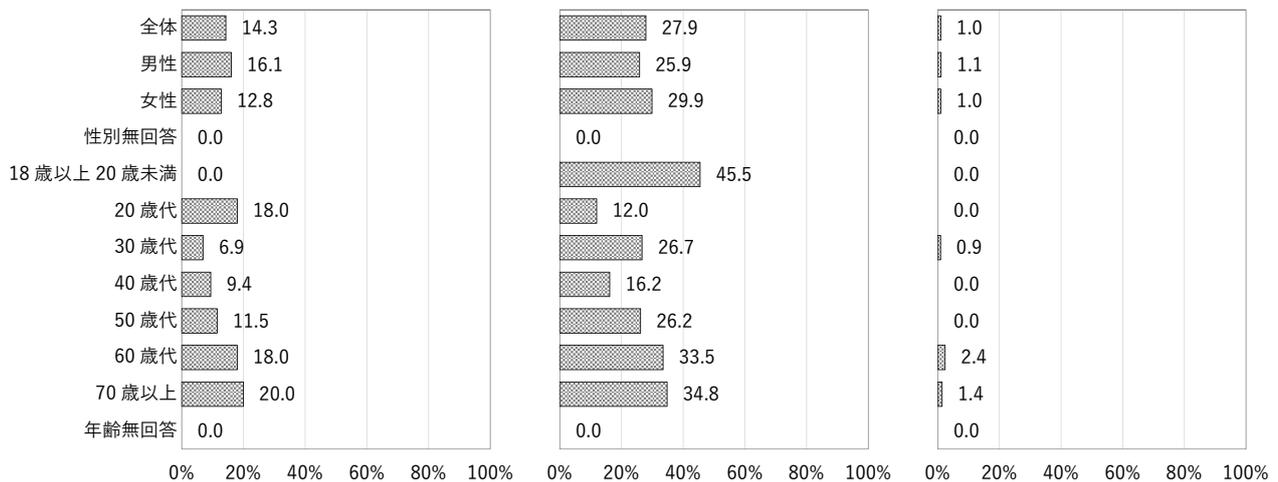
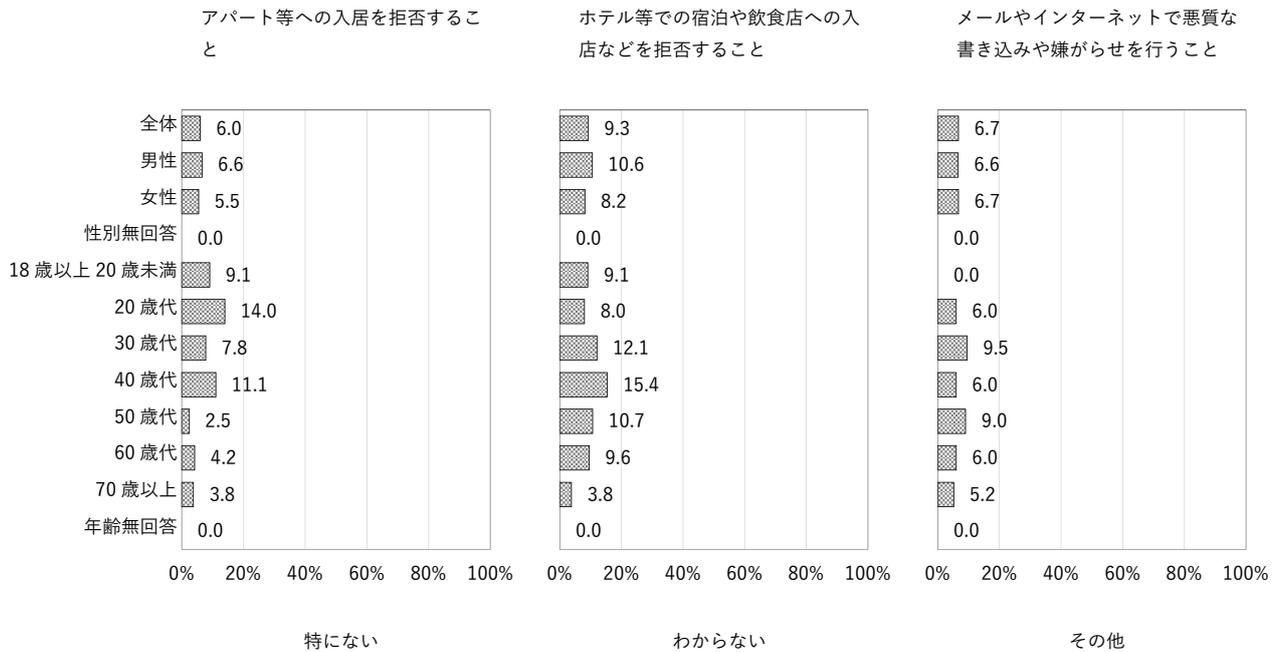
## 8 感染症患者等（H I V感染者・患者等）の人権について

### （1）感染症患者等に関する人権上の問題点

問14 あなたは、感染症患者等（H I V感染者・患者等）の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

#### 【感染症患者等に関する人権上の問題点（性・年齢別）】





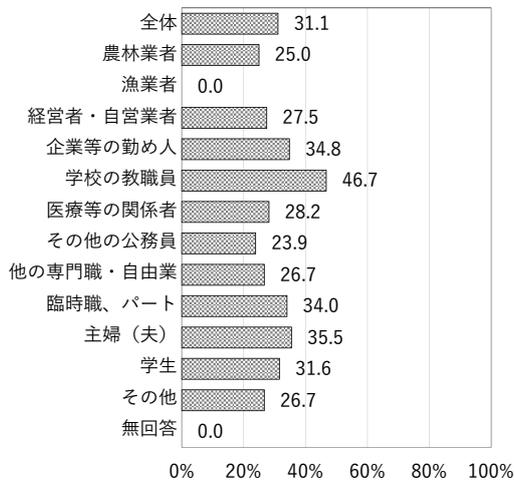
感染症患者等に関する人権上の問題については、「差別的な言動をすること」32.3%、「治療や入院を断ること」31.1%が3割程度となっており、「就職、職場で不利な扱いを受けること」24.7%、「治療による薬害の被害を被っていること」22.6%が2割程度となっている。

年齢別に見ると、「差別的な言動をすること」では、50歳代42.6%、20歳代42.0%が4割程度と高くなっている。「治療や入院を断ること」では、20歳代を除く、いずれの年代でも3割前後となっている。

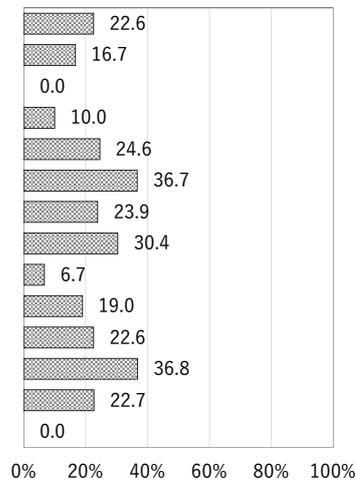
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

【感染症患者等に関する人権上の問題点（職業別）】

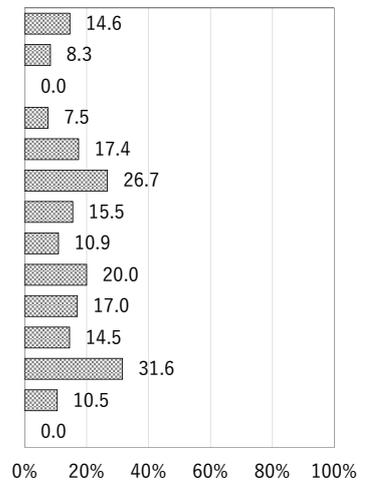
治療や入院を断ること



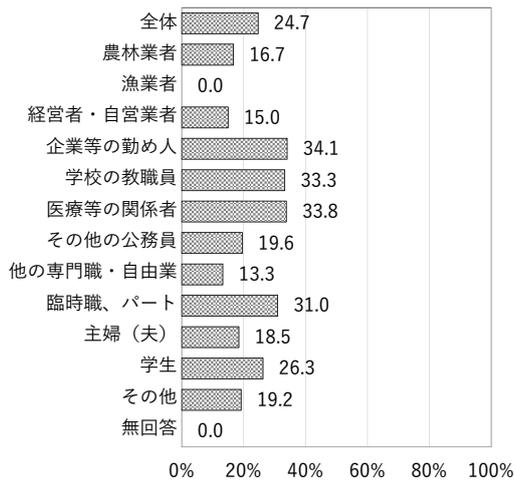
治療による薬害の被害を被っていること



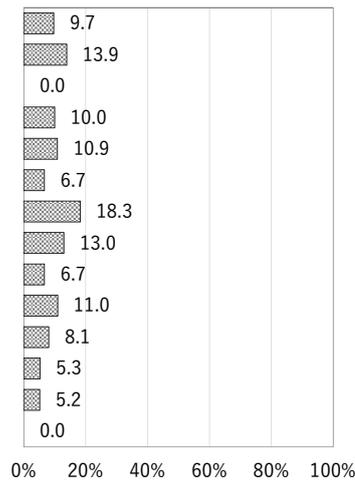
結婚問題で周囲が反対すること



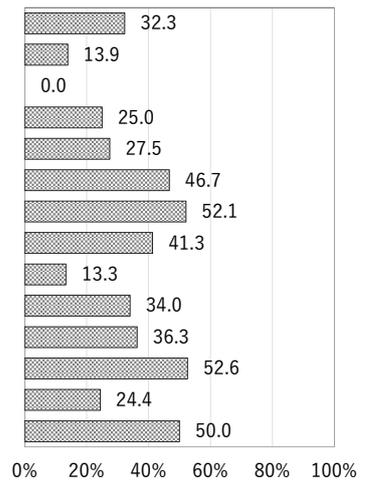
就職、職場で不利な扱いを受けること



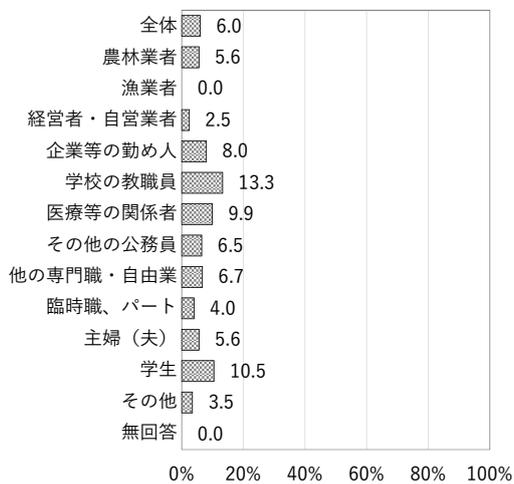
無断でエイズ検査をすること



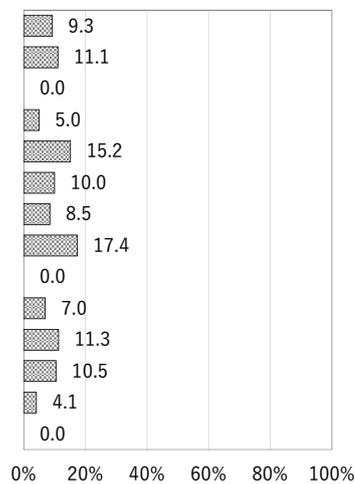
差別的な言動をすること



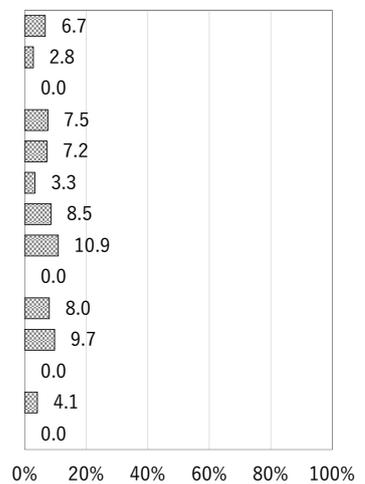
アパート等への入居を拒否すること

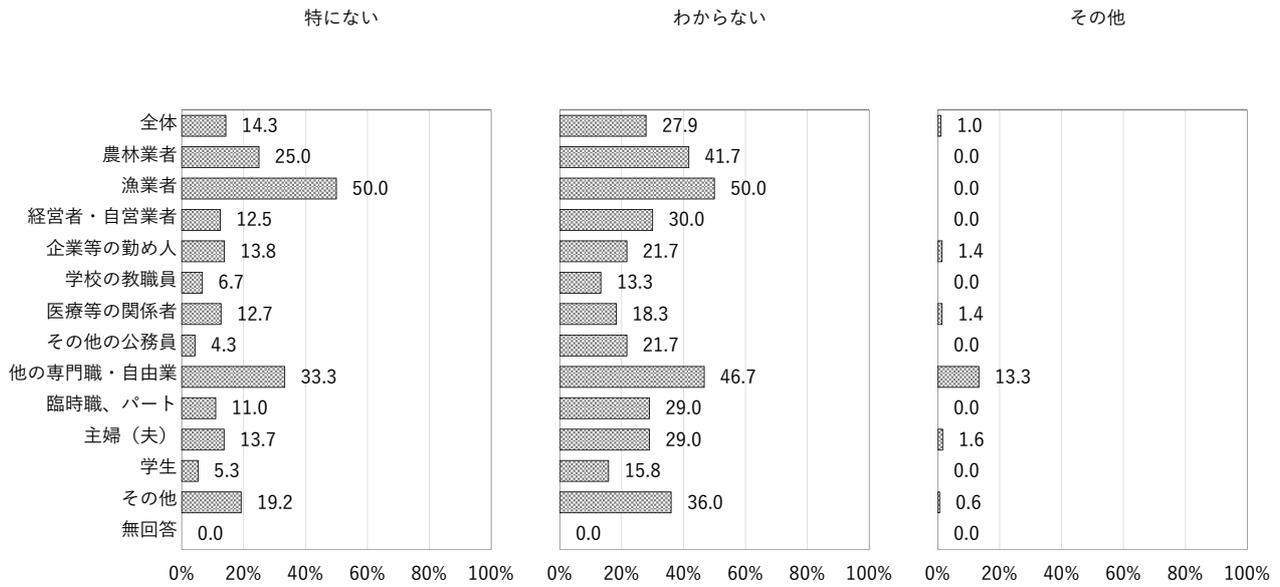


ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること



メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと





感染症患者等に関する人権上の問題について、職業別に見ると、「差別的な言動をすること」では、学生 52.6%、医療等の関係者 52.1%が高く、5割を超えている。「治療や入院を断ること」では、学校の教職員が46.7%で高くなっている。

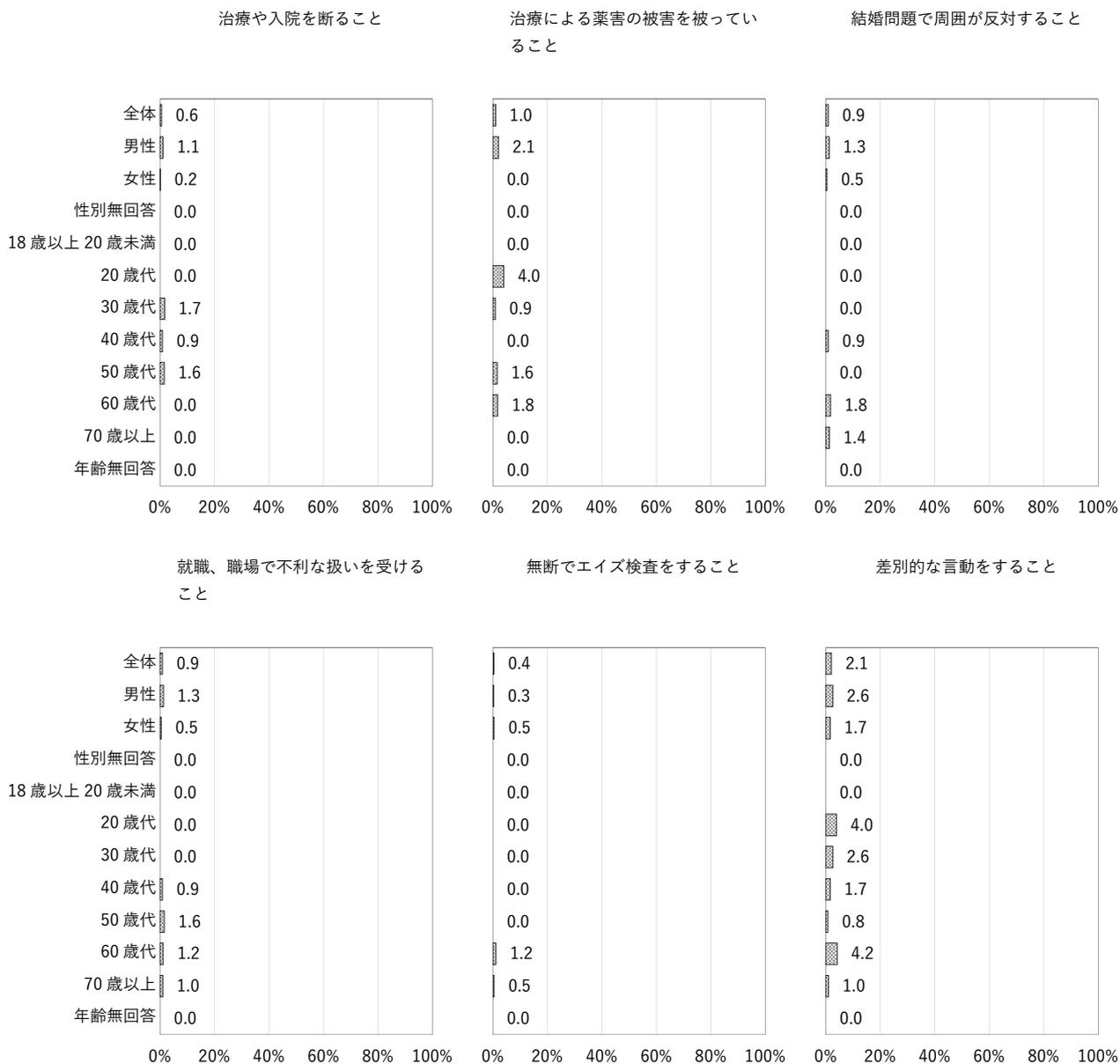
「無断でエイズ検査をすること」では、医療等の関係者 18.3%で他の職業と比べて高くなっている。

全体(n=795)
農林業者(n=36)
漁業者(n=2)
経営者・自営業者(n=40)
企業等の勤め人(n=138)
学校の教職員(n=30)
医療等の関係者(n=71)
その他の公務員(n=46)
他の専門職・自由業(n=15)
臨時職、パート(n=100)
主婦（夫）(n=124)
学生(n=19)
その他(n=172)
職業無回答(n=2)

(2) 感染症患者等に関する偏見や差別を見た経験

問15 あなたは、この5年間の間に、感染症患者等（HIV感染者・患者等）に対する偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？2つまで選んでください。

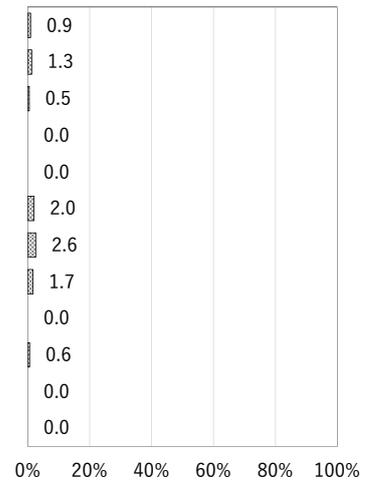
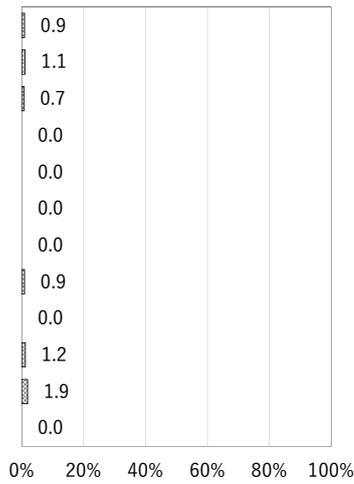
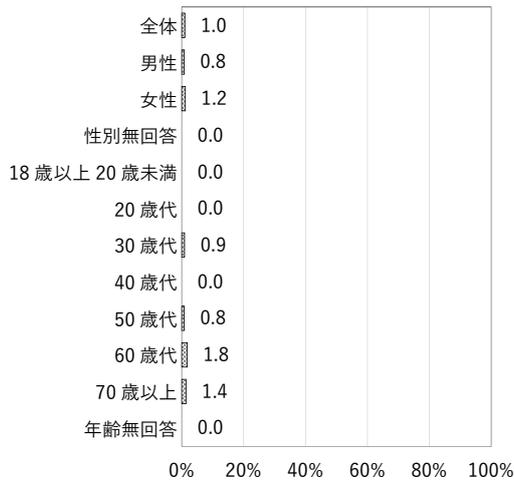
【感染症患者等に関する偏見や差別を見た経験（性・年齢別）】



アパート等への入居を拒否すること

ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること

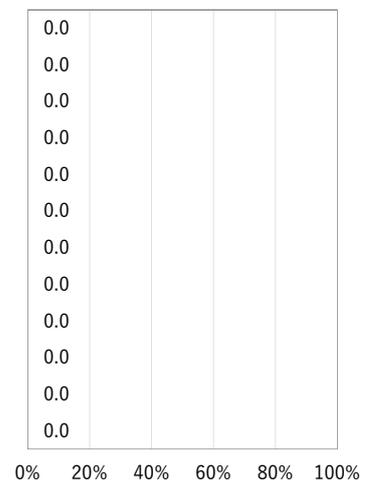
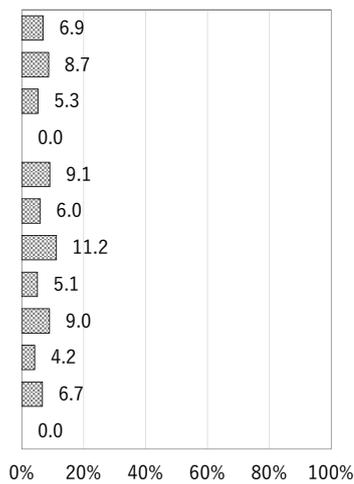
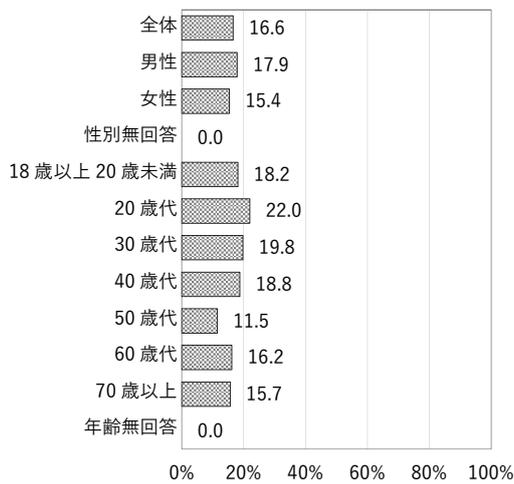
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



特になし

わからない

その他

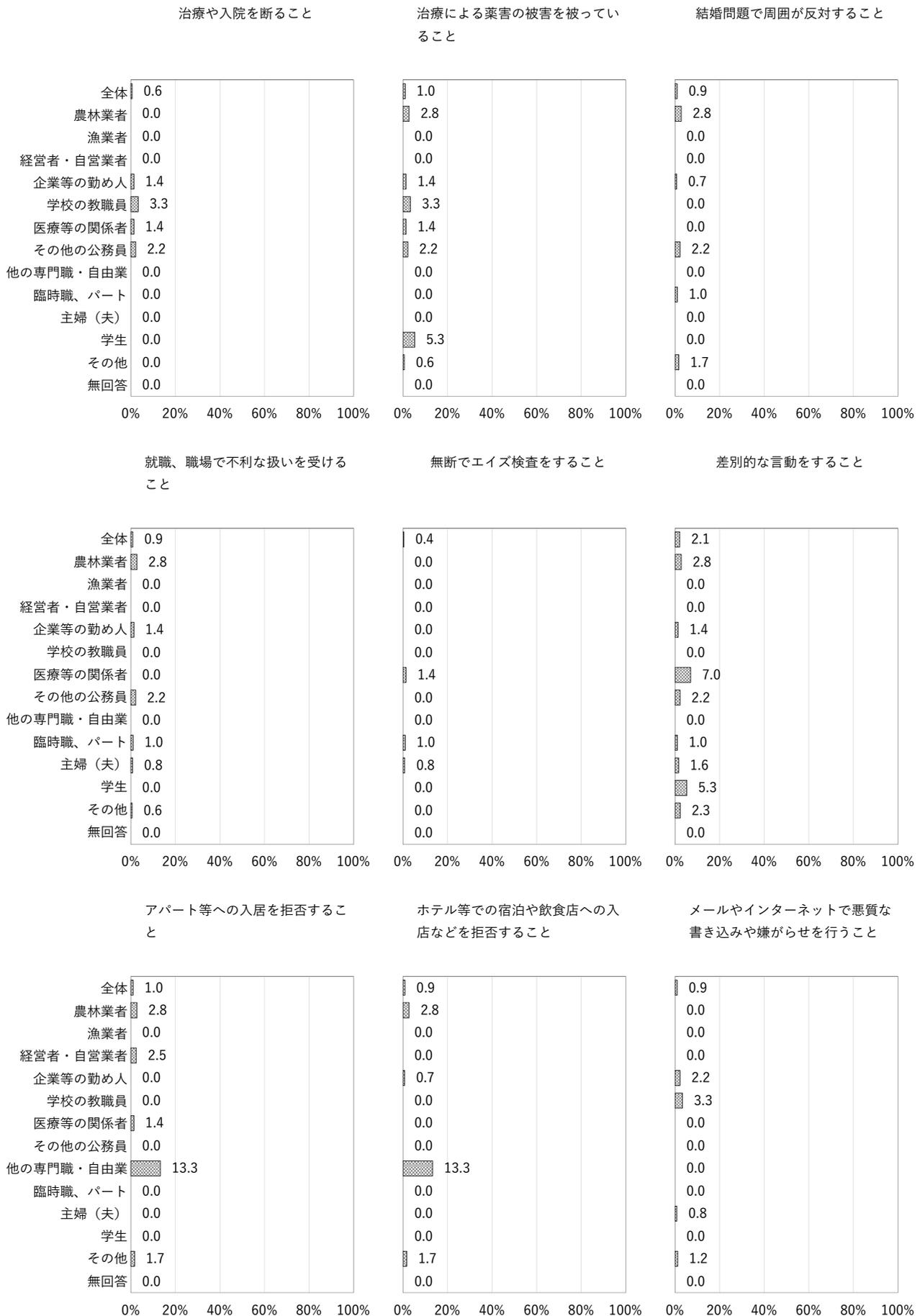


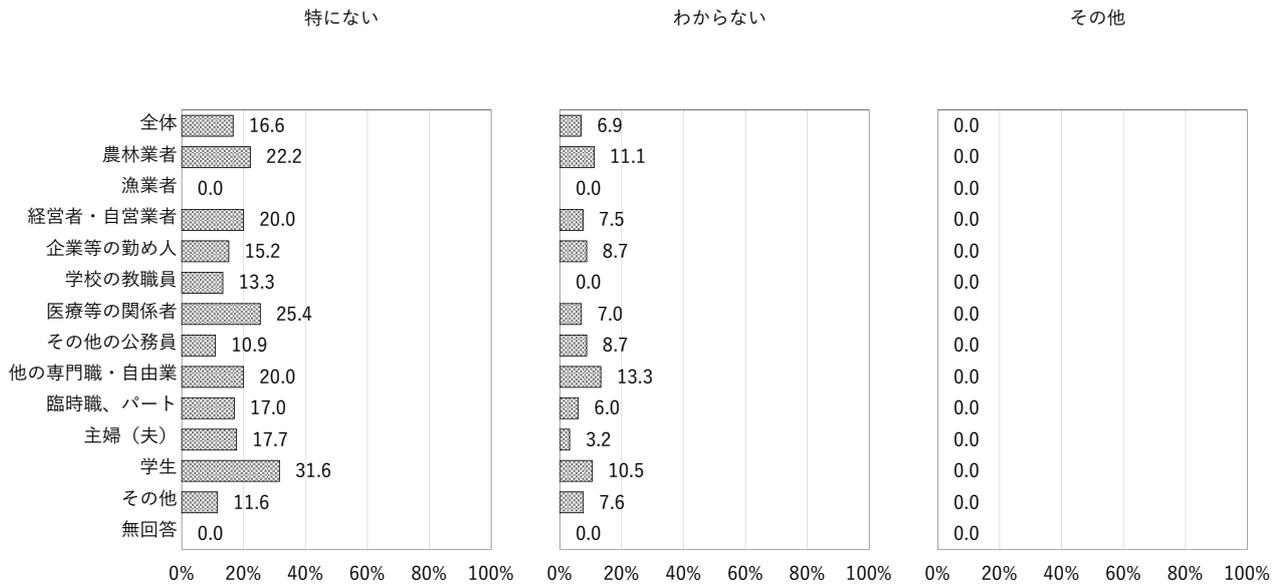
この5年間の感染症患者等に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、「差別的な言動をすること」2.1%、「治療による薬害の被害を被っていること」1.0%、「アパート等への入居を拒否すること」1.0%が若干多くなっている。

年代別に見ると、「差別的な言動をすること」では60歳代で4.2%、「治療による薬害の被害を被っていること」では20歳代で4.0%と、他の年代に比べて高くなっている。

全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上 20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

【感染症患者等に関する偏見や差別を見た経験（職業別）】





この5年間の感染症患者等に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、職業別で見ると「差別的な言動をすること」では、医療等の関係者が7.0%と他の職業に比べて高くなっている。「アパート等への入居を拒否すること」「ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること」では、他の専門職・自由業が13.3%で高くなっている。

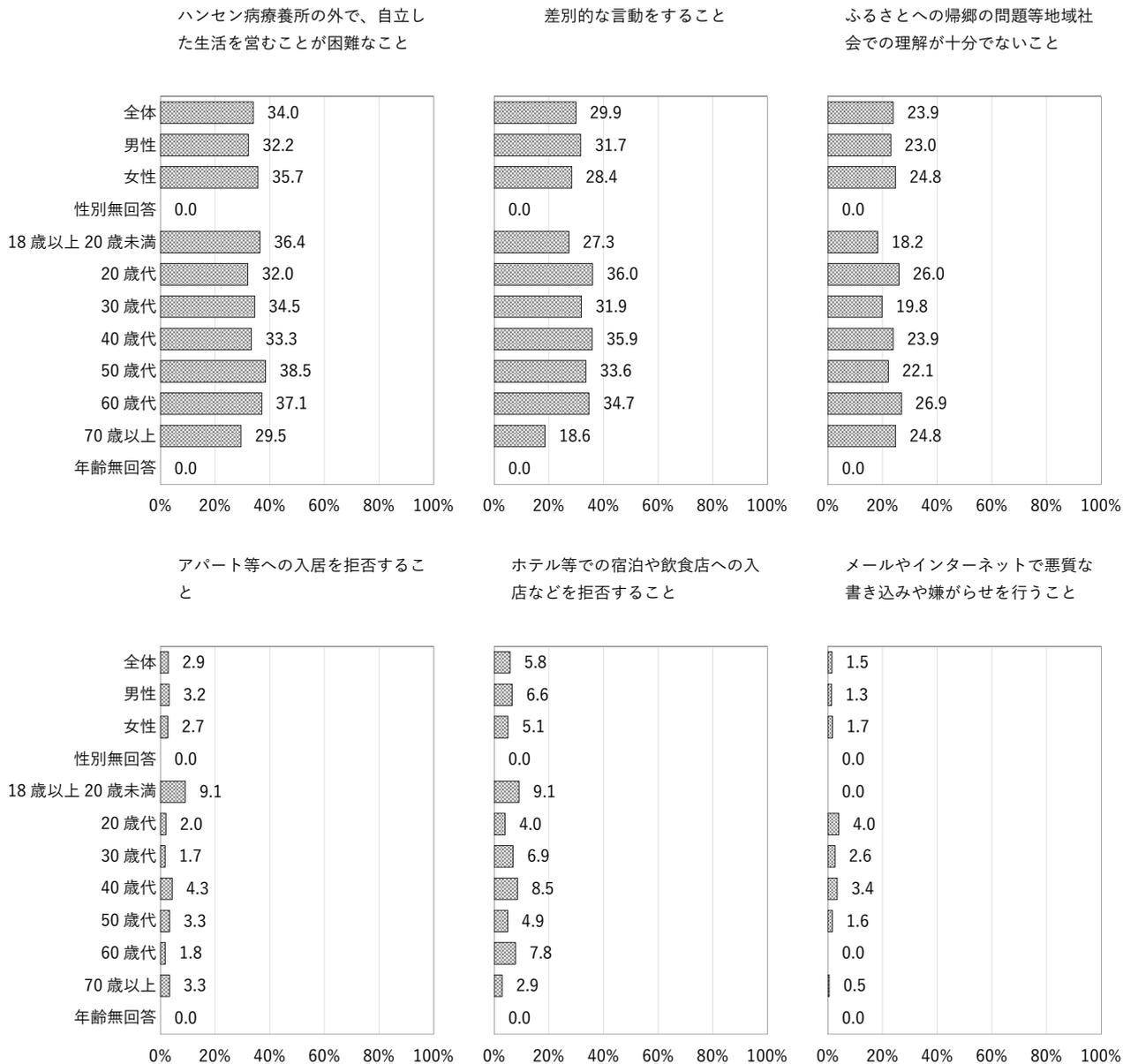
全体(n=795)
農林業者(n=36)
漁業者(n=2)
経営者・自営業者(n=40)
企業等の勤め人(n=138)
学校の教職員(n=30)
医療等の関係者(n=71)
その他の公務員(n=46)
他の専門職・自由業(n=15)
臨時職、パート(n=100)
主婦（夫）(n=124)
学生(n=19)
その他(n=172)
職業無回答(n=2)

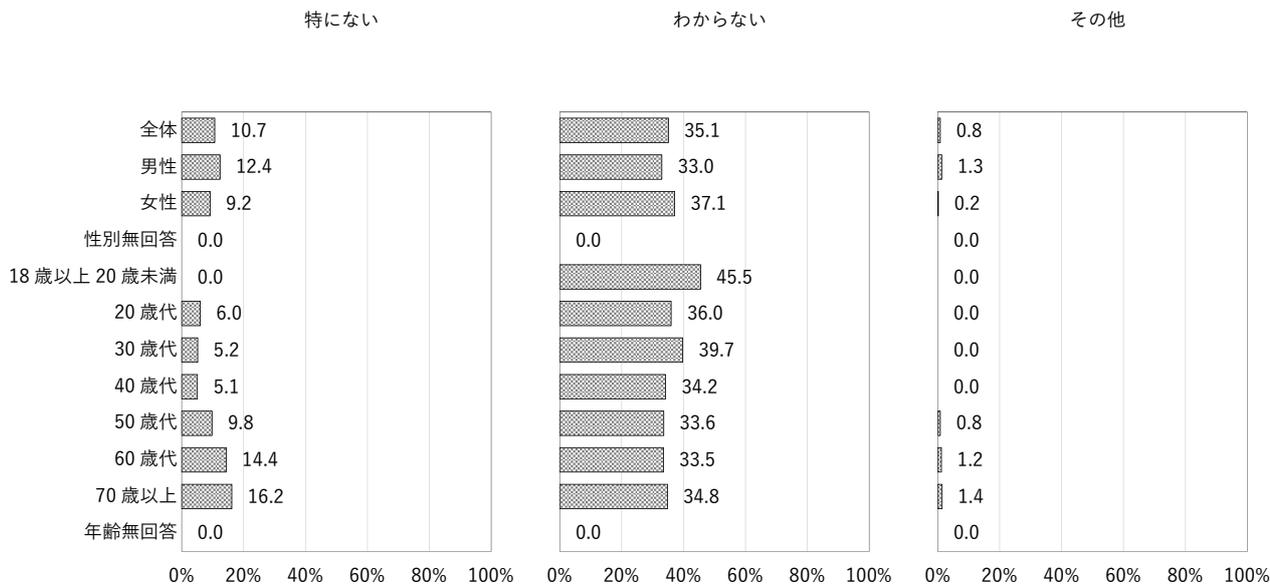
9 ハンセン病問題（ハンセン病患者・元患者等）の人権について

(1) ハンセン病問題に関する人権上の問題点

問16 あなたは、ハンセン病問題（ハンセン病患者・元患者とその家族）に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？2つまで選んでください。

【ハンセン病問題に関する人権上の問題点（性・年齢別）】





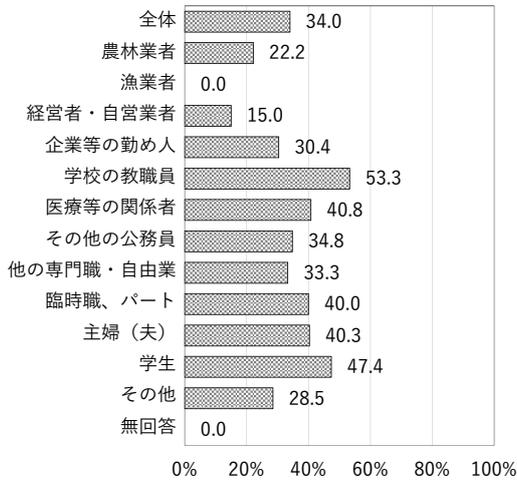
ハンセン病問題に関する人権上の問題について、「ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと」34.0%、「差別的な言動をすること」29.9%、「ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと」23.9%の順となっている。

年代別で見ると、「ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと」ではいずれの世代でも3割程度となっている。「差別的な言動をすること」では、70歳以上を除く全ての世代で3割程度となっているのに対し、70歳以上は18.6%と低くなっている。

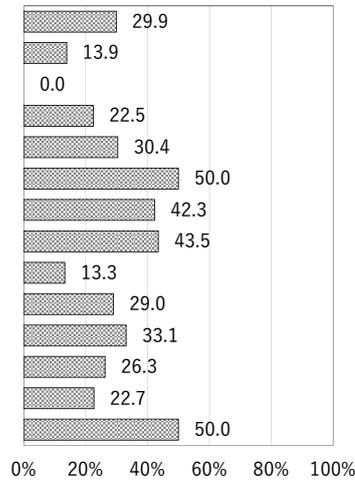
全体(n=795)
男性(n=379)
女性(n=415)
性別無回答(n=1)
18歳以上20歳未満(n=11)
20歳代(n=50)
30歳代(n=116)
40歳代(n=117)
50歳代(n=122)
60歳代(n=167)
70歳以上(n=210)
年齢無回答(n=2)

【ハンセン病問題に関する人権上の問題点（職業別）】

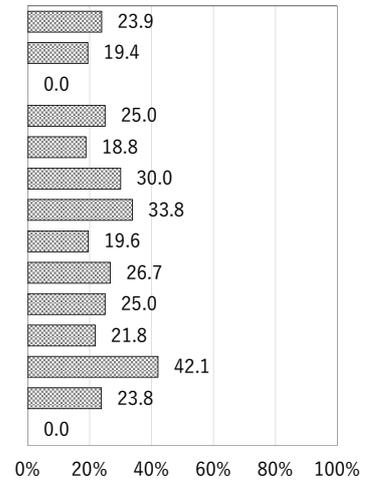
ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと



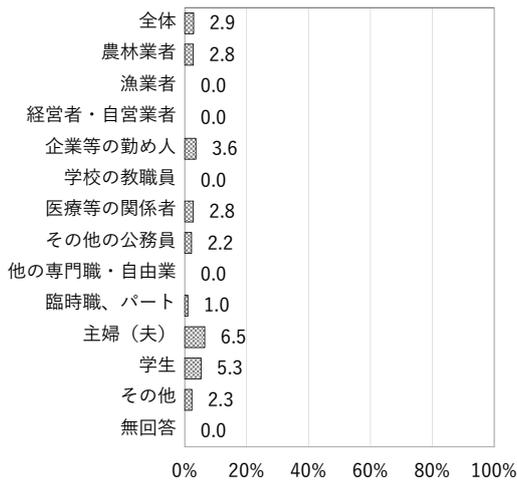
差別的な言動をすること



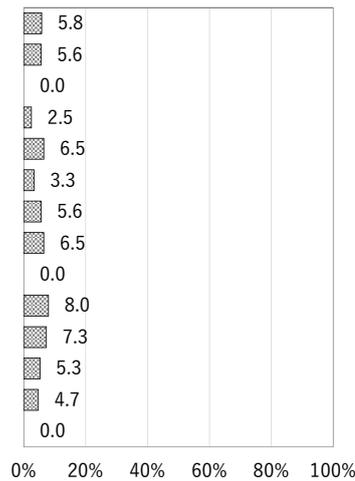
ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと



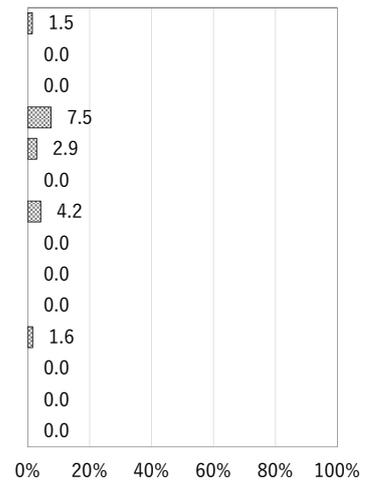
アパート等への入居を拒否すること



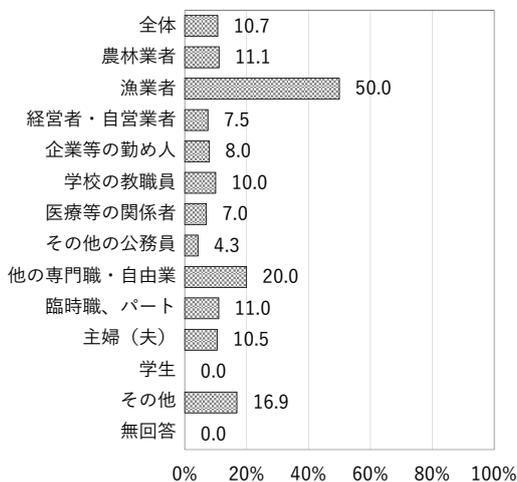
ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること



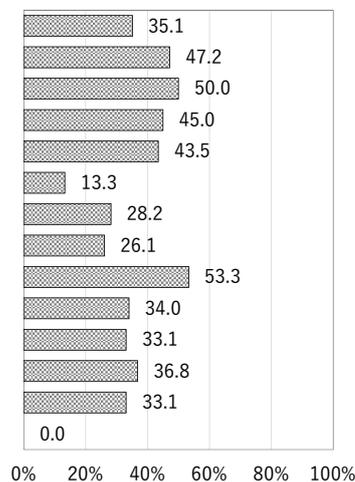
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



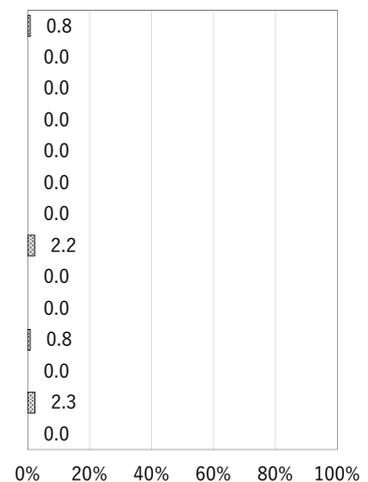
特になし



わからない



その他



ハンセン病問題に関する人権上の問題について、職業別に見ると、「ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと」では、学校の教職員が 53.3%と最も高く、学生 47.4%、医療等の関係者 40.8%、主婦（夫） 40.3%、臨時職、パート 40.0%であるのに対し、経営者・自営業者は 15.0%と低くなっている。

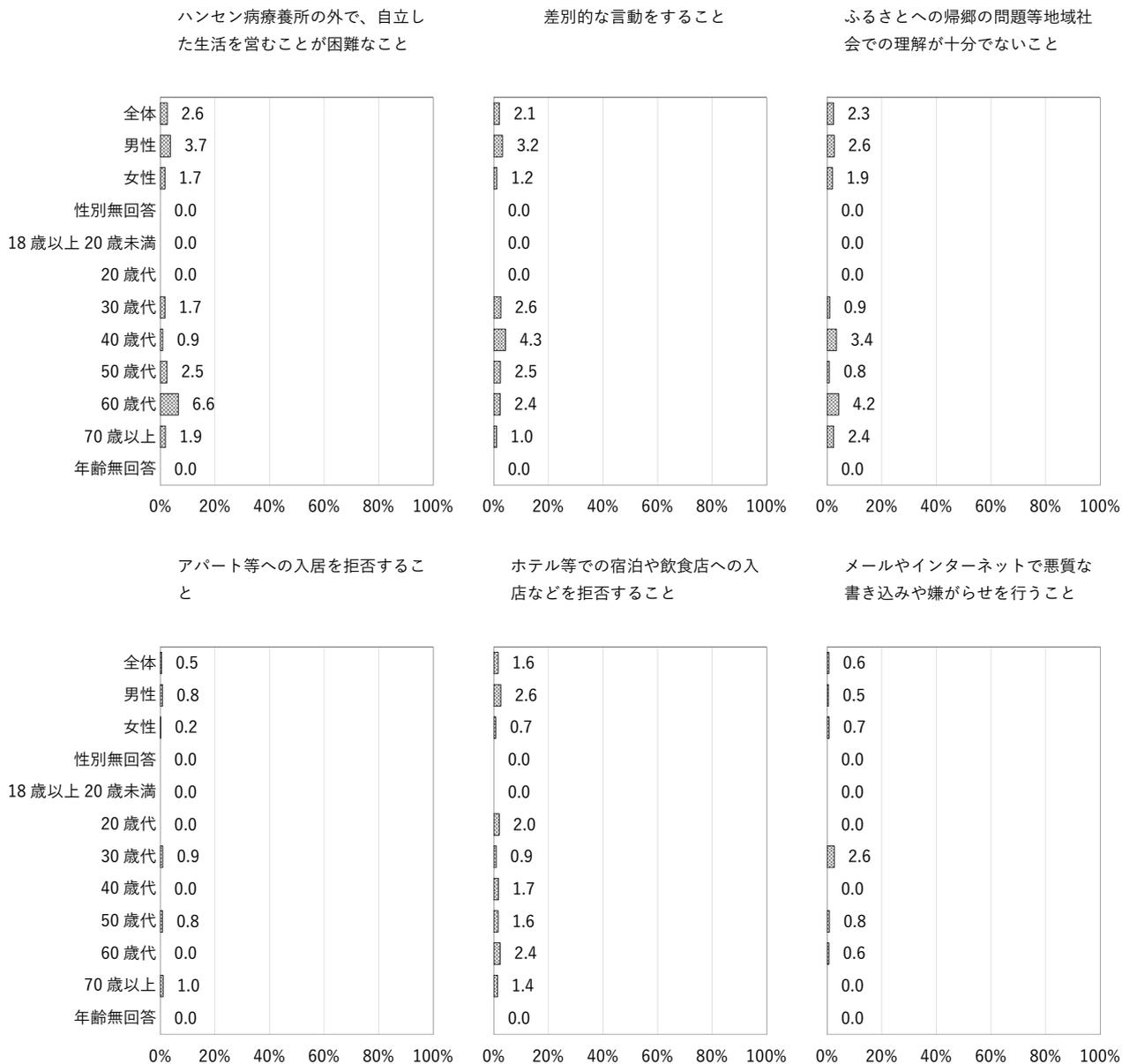
「ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと」では、学生が 42.1%と他の職業に比べて高くなっている。

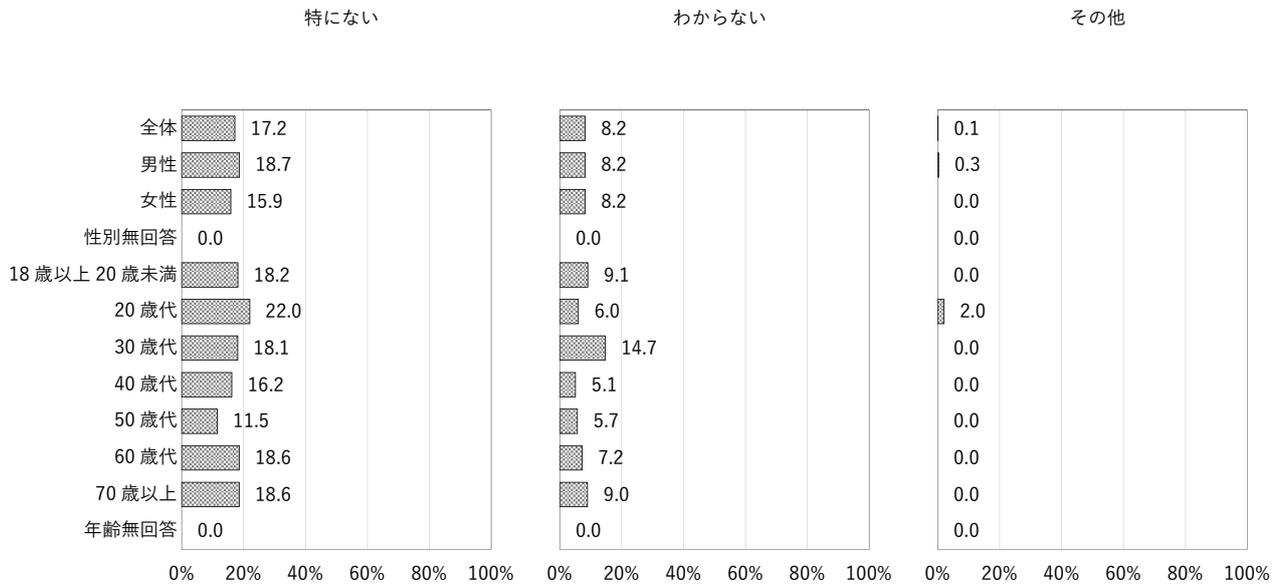
全体(n=795)  
農林業者(n=36)  
漁業者(n=2)  
経営者・自営業者(n=40)  
企業等の勤め人(n=138)  
学校の教職員(n=30)  
医療等の関係者(n=71)  
その他の公務員(n=46)  
他の専門職・自由業(n=15)  
臨時職、パート(n=100)  
主婦（夫）(n=124)  
学生(n=19)  
その他(n=172)  
職業無回答(n=2)

(2) ハンセン病問題に関する偏見や差別を見た経験

問17 あなたは、この5年間の間に、ハンセン病問題（ハンセン病患者・元患者とその家族）に対する偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？2つまで選んでください。

【ハンセン病問題に関する偏見や差別を見た経験（性・年齢別）】





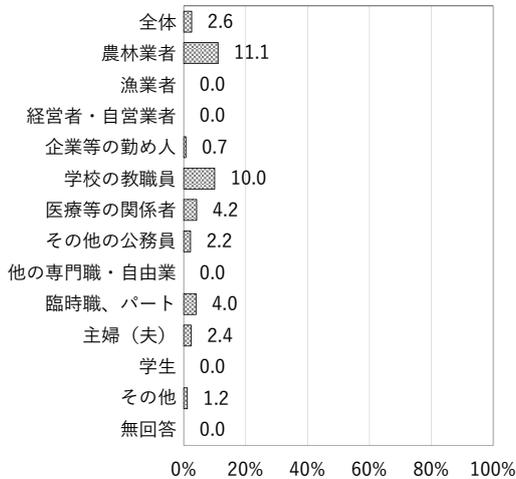
この5年間でハンセン病問題に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、「ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと」2.6%、「ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと」2.3%、「差別的な言動をすること」2.1%が、約2%となっている。「特にない」と答えた人の割合は17.2%となっている。

年代別で見ると、「ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと」では、60歳代が6.6%と他の世代と比べて高くなっている。

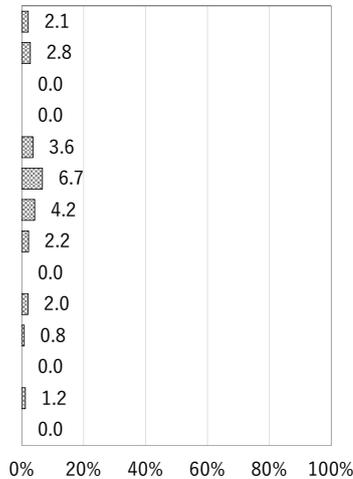
全体(n=795)
男性(n=379)
女性(n=415)
性別無回答(n=1)
18歳以上20歳未満(n=11)
20歳代(n=50)
30歳代(n=116)
40歳代(n=117)
50歳代(n=122)
60歳代(n=167)
70歳以上(n=210)
年齢無回答(n=2)

【ハンセン病問題に関する偏見や差別を見た経験（職業別）】

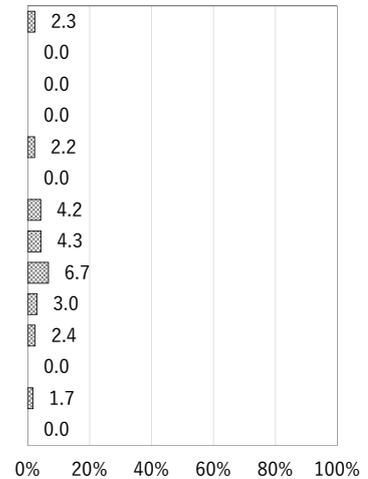
ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと



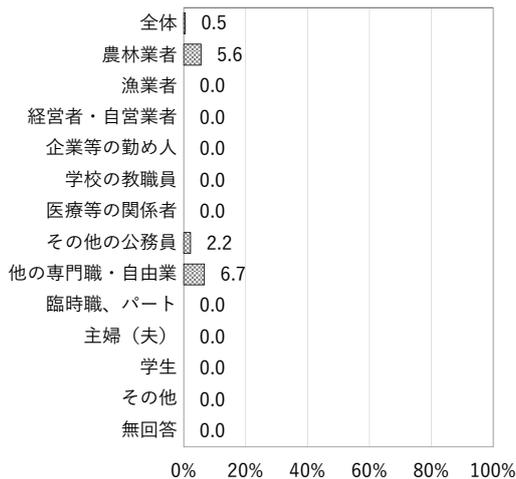
差別的な言動をすること



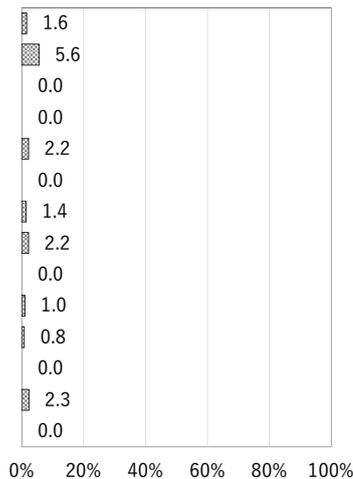
ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと



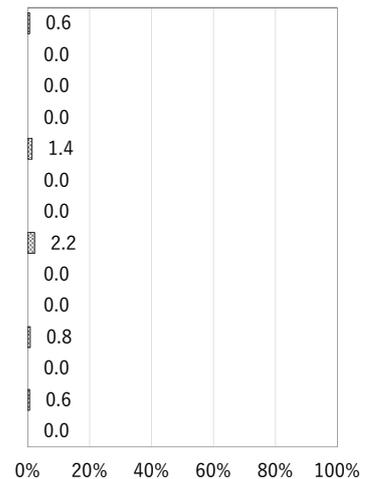
アパート等への入居を拒否すること



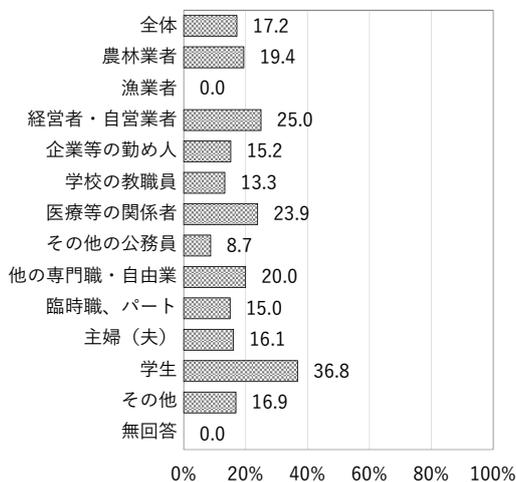
ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること



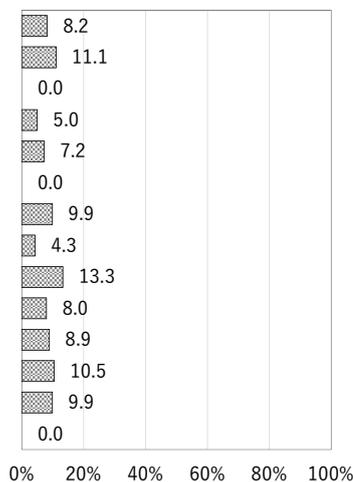
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



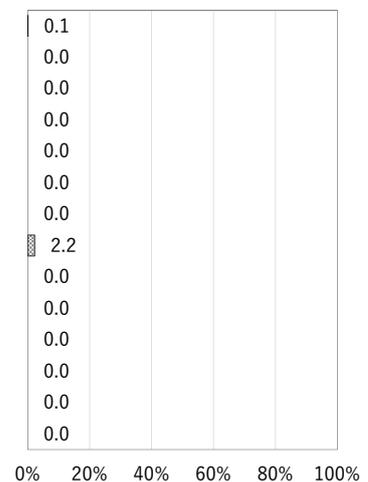
特になし



わからない



その他



この5年間でハンセン病問題に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、職業別で見ると、「ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと」では、農林業者 11.1%、学校の教職員 10.0%が高く、1割を超えている。「差別的な言動をすること」では、学校の教職員が 6.7%と高くなっている。

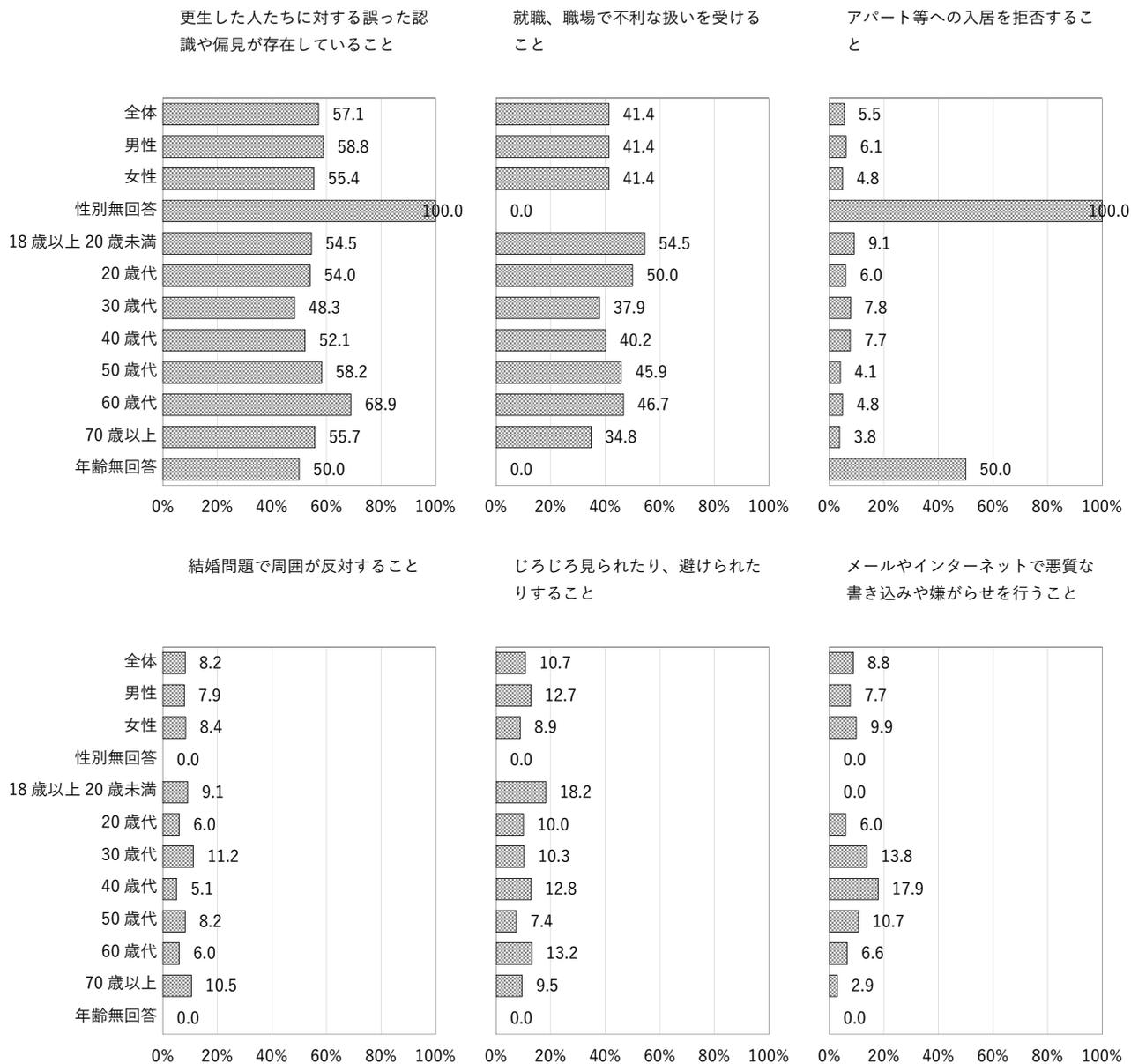
全体(n=795)  
農林業者(n=36)  
漁業者(n=2)  
経営者・自営業者(n=40)  
企業等の勤め人(n=138)  
学校の教職員(n=30)  
医療等の関係者(n=71)  
その他の公務員(n=46)  
他の専門職・自由業(n=15)  
臨時職、パート(n=100)  
主婦(夫)(n=124)  
学生(n=19)  
その他(n=172)  
職業無回答(n=2)

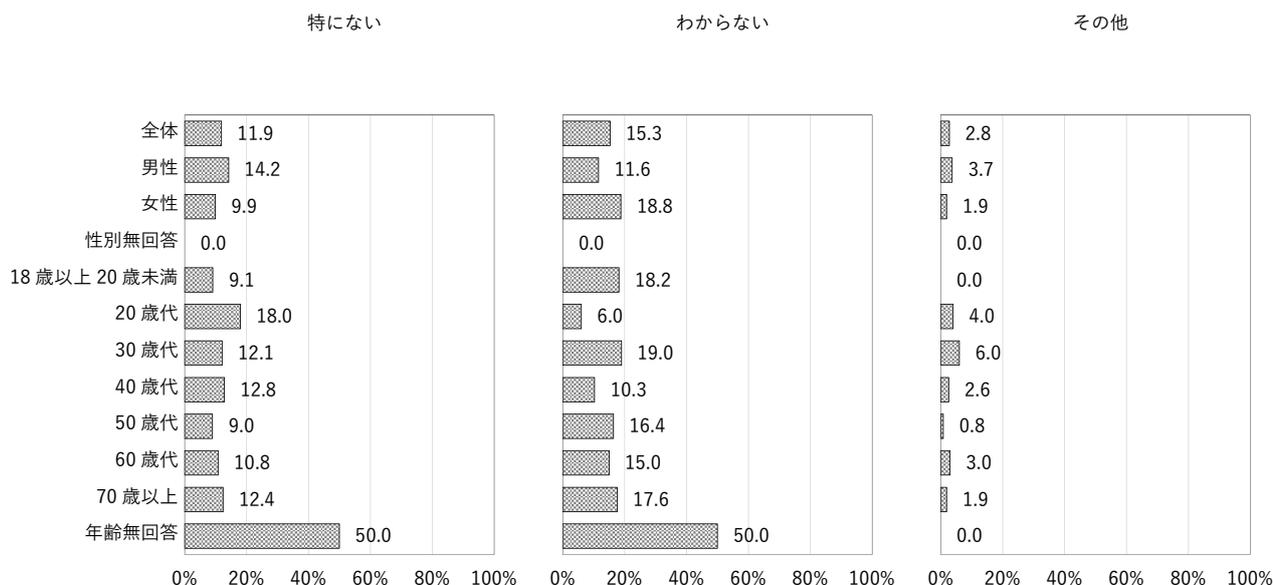
## 10 罪や非行を犯した人の人権について

### (1) 罪や非行を犯した人が立ち直ろうとする場合の人権上の問題点

問18 あなたは、罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとする場合、どのような問題があると思われますか？2つまで選んでください。

#### 【罪や非行を犯した人が立ち直ろうとする場合の人権上の問題点（性・年齢別）】



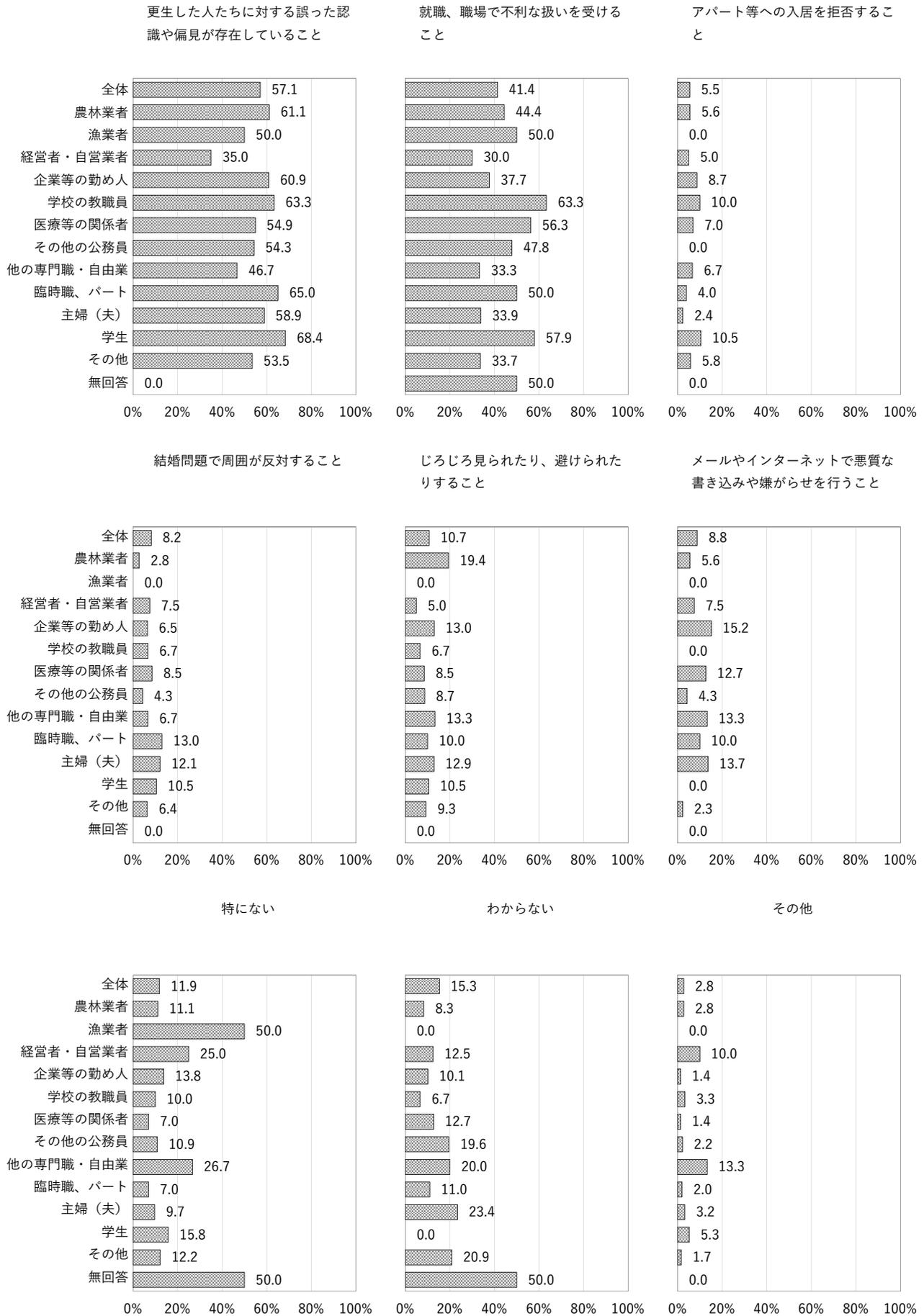


罪や非行を犯した人が立ち直ろうとする場合の人権上の問題点について、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が57.1%と最も高く、次に「就職、職場で不利な扱いを受けること」が41.4%となっている。

年代別で見ると。「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」では、60歳代で68.9%、50歳代で58.2%、70歳以上で55.7%と50歳代以上でやや高くなっている。「就職、職場で不利な扱いを受けること」では、18歳以上20歳未満が54.5%、20歳代で50.0%と若い世代で5割を超えている。「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと」では、30歳代～50歳代で1割以上となっている。

全体(n=795)
男性(n=379)
女性(n=415)
性別無回答(n=1)
18歳以上20歳未満(n=11)
20歳代(n=50)
30歳代(n=116)
40歳代(n=117)
50歳代(n=122)
60歳代(n=167)
70歳以上(n=210)
年齢無回答(n=2)

【罪や非行を犯した人が立ち直ろうとする場合の人権上の問題点（職業別）】



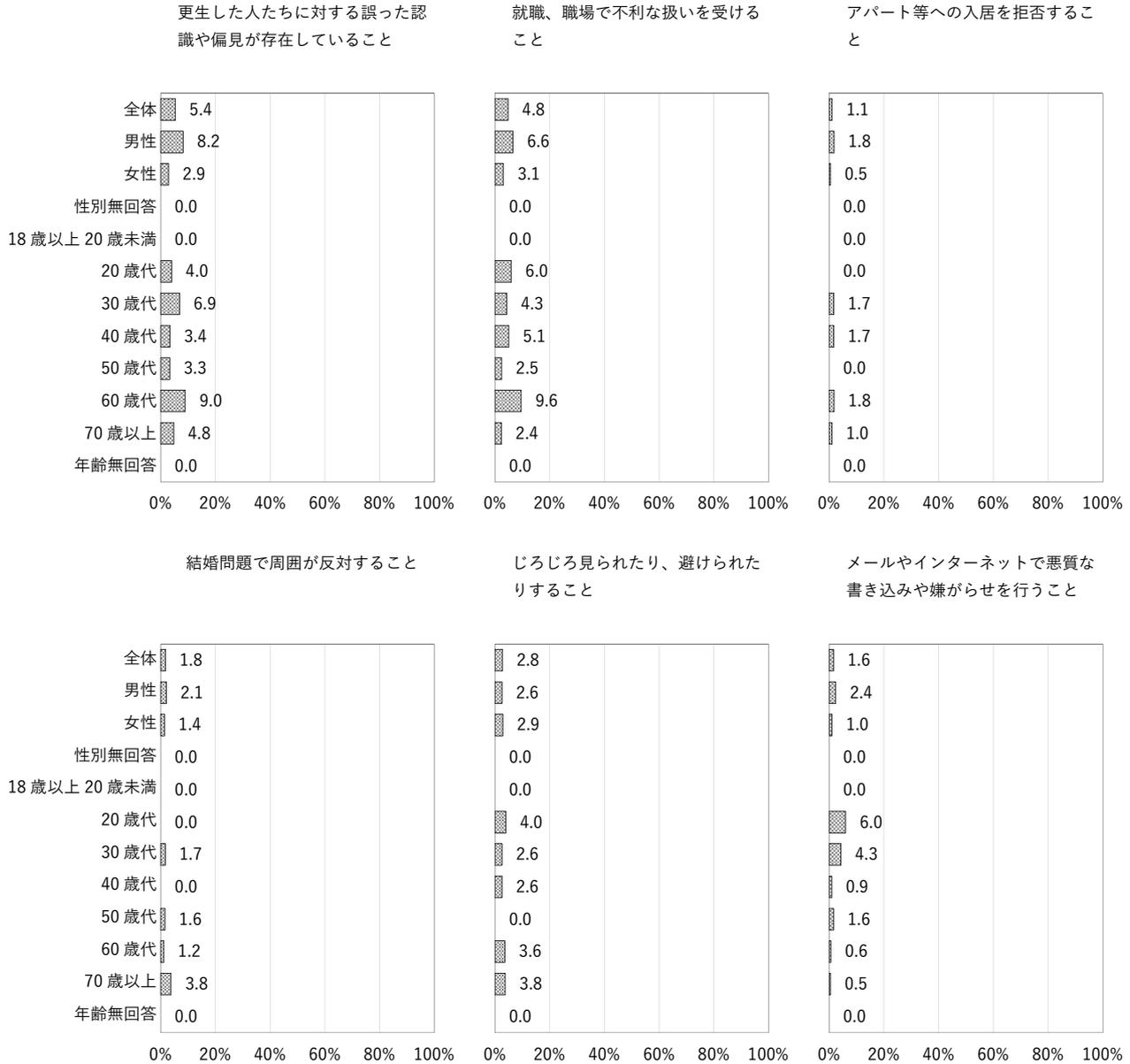
罪や非行を犯した人が立ち直ろうとする場合の人権上の問題点について、職業別に見ると、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」では、他の専門職・自由業、経営者・自営業者以外の全ての職業で5割を超えている。「就職、職場で不利な扱いを受けること」では、学校の教職員 63.3%、学生 57.9%、医療等の関係者 56.3%が高くなっている。

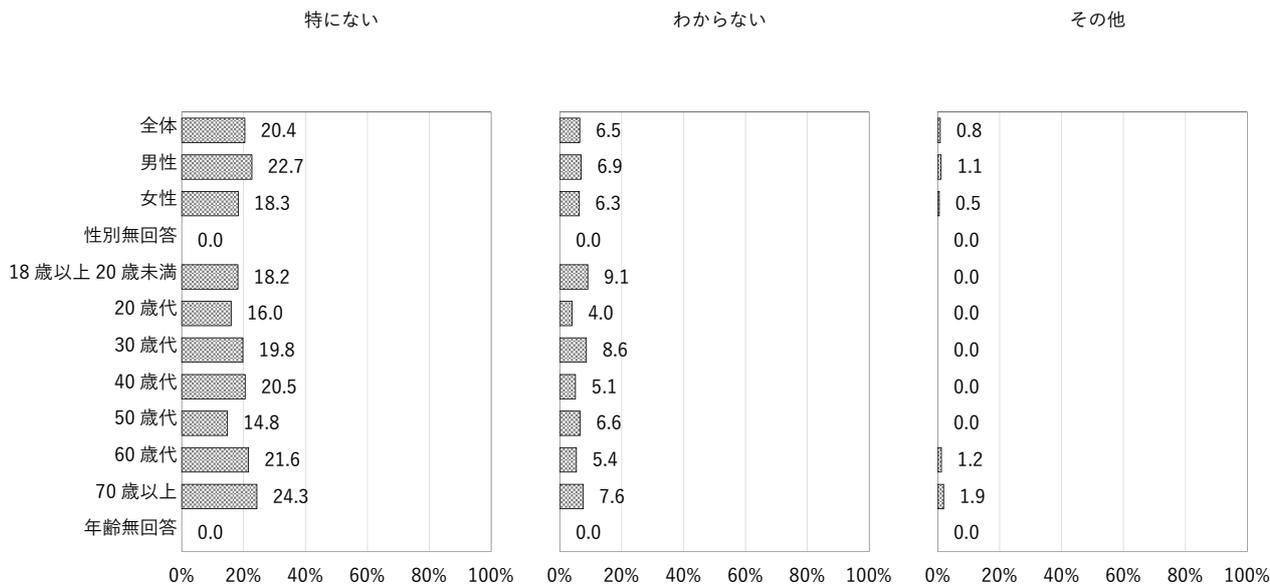
全体(n=795)  
農林業者(n=36)  
漁業者(n=2)  
経営者・自営業者(n=40)  
企業等の勤め人(n=138)  
学校の教職員(n=30)  
医療等の関係者(n=71)  
その他の公務員(n=46)  
他の専門職・自由業(n=15)  
臨時職、パート(n=100)  
主婦(夫)(n=124)  
学生(n=19)  
その他(n=172)  
職業無回答(n=2)

(2) 罪や非行を犯した人に関する偏見や差別を見た経験

問19 あなたは、この5年間の間に、罪や非行を犯した人に対する偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？2つまで選んでください。

【罪や非行を犯した人に関する偏見や差別を見た経験（性・年齢別）】



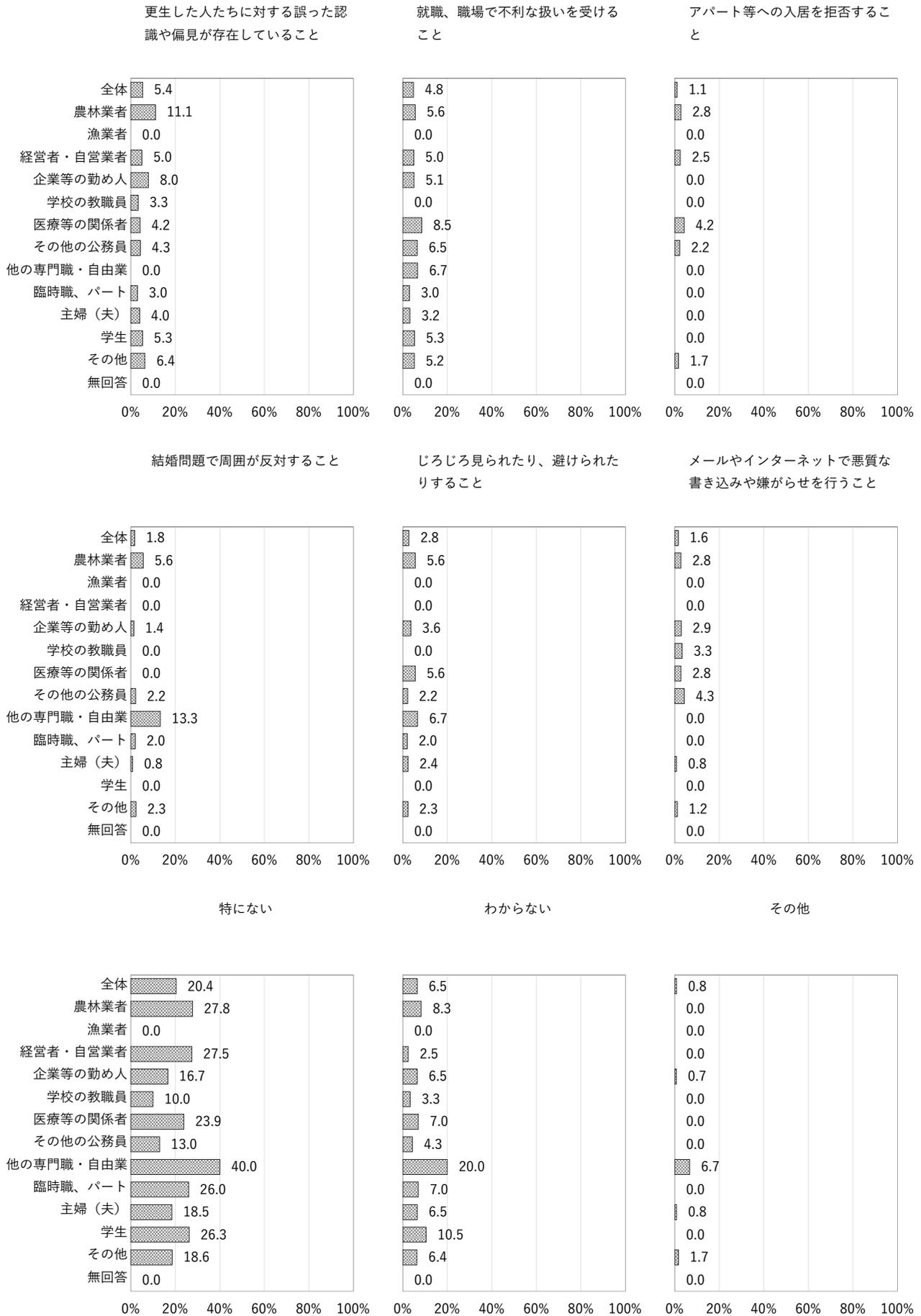


この5年間で罪や非行を犯した人に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」5.4%、「就職、職場で不利な扱いを受けること」4.8%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」2.8%となっている。「特にない」と答えた人は20.4%である。

年代別に見ると、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」では60歳代で9.0%、「就職、職場で不利な扱いを受けること」でも60歳代が9.6%と高くなっている。「メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと」では、20歳代で6.0%、30歳代で4.3%が見たり聞いたりしたことがあると回答している。

全体(n=795)
男性(n=379)
女性(n=415)
性別無回答(n=1)
18歳以上 20歳未満(n=11)
20歳代(n=50)
30歳代(n=116)
40歳代(n=117)
50歳代(n=122)
60歳代(n=167)
70歳以上(n=210)
年齢無回答(n=2)

## 【罪や非行を犯した人に関する偏見や差別を見た経験（職業別）】



この5年間で罪や非行を犯した人に関する偏見や差別を見たり聞いたりした経験について、職業別に見ると、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」では、農林業者 11.1%、企業等の勤め人 8.0%と高くなっている。「就職、職場で不利な扱いを受けること」では、学校の教職員、漁業者以外の全ての職業で3~8%の人が見たり聞いたりしたことがあると答えている。

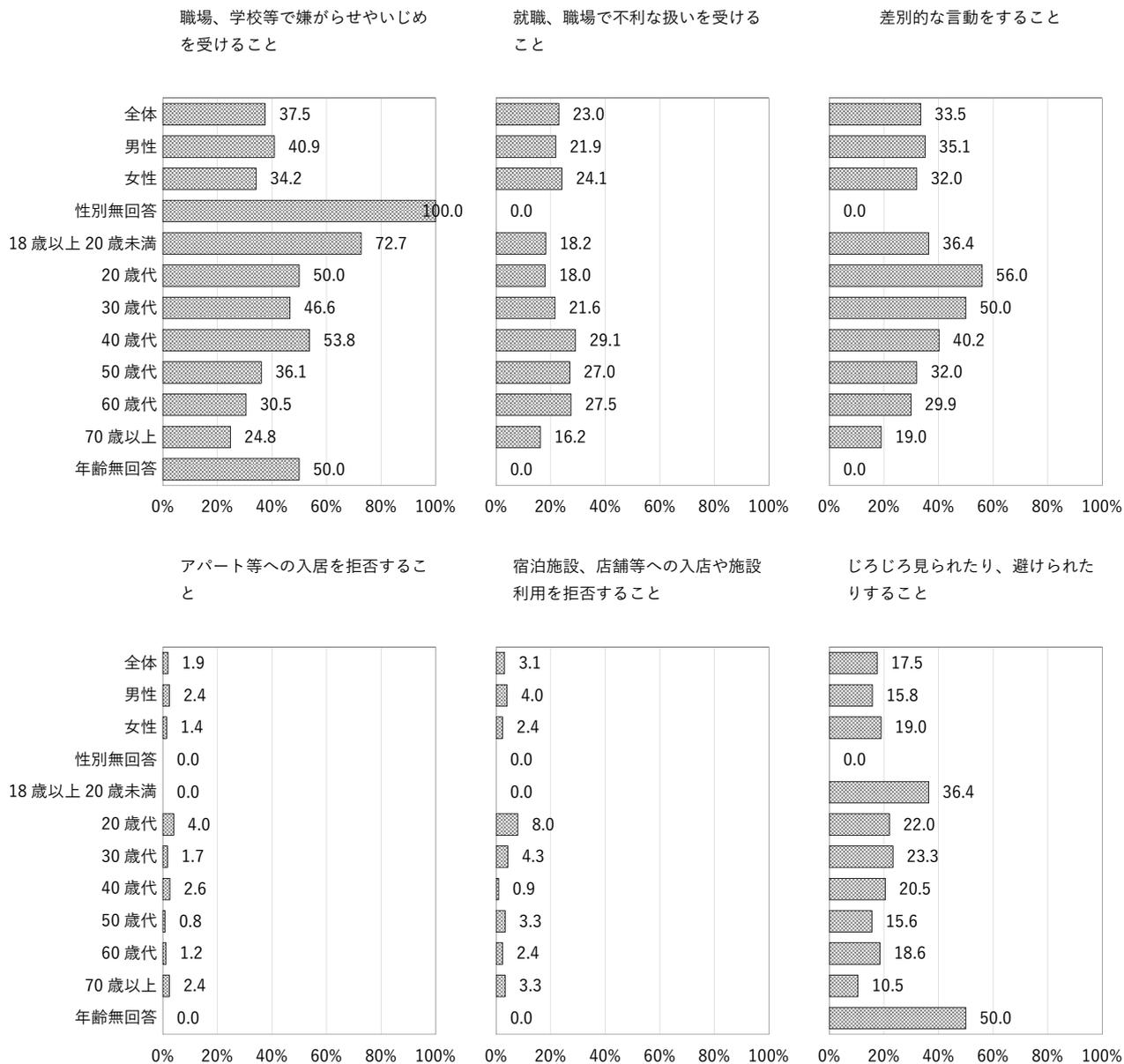
全体(n=795)  
農林業者(n=36)  
漁業者(n=2)  
経営者・自営業者(n=40)  
企業等の勤め人(n=138)  
学校の教職員(n=30)  
医療等の関係者(n=71)  
その他の公務員(n=46)  
他の専門職・自由業(n=15)  
臨時職、パート(n=100)  
主婦(夫)(n=124)  
学生(n=19)  
その他(n=172)  
職業無回答(n=2)

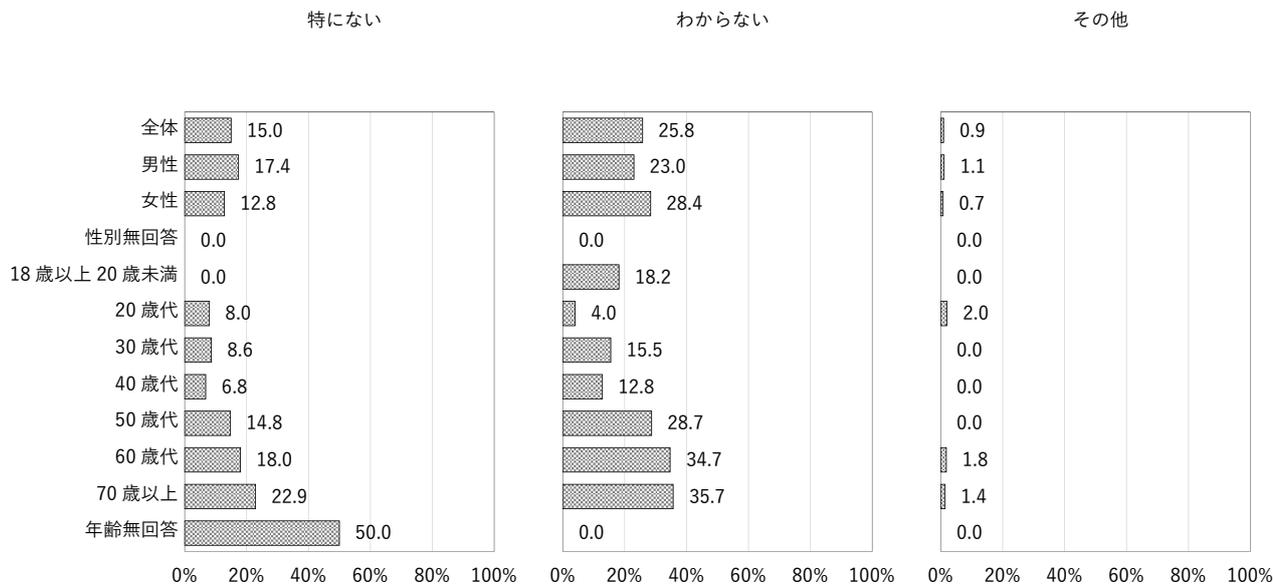
## 1.1 性的少数者の人権について

### (1) 性的少数者の人権上の問題点

問20 あなたは、異性愛、同性愛、両性愛といった性的指向に関する事で、問題があると思われるのはどのようなことですか？2つまで選んでください。

#### 【性的少数者の人権上の問題点（性・年齢別）】





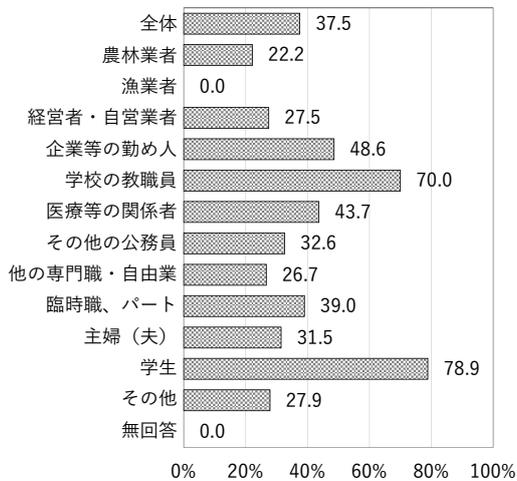
性的少数者の人権上の問題点について、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」37.5%、「差別的な言動をすること」33.5%、「就職、職場で不利な扱いを受けること」23.0%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」17.5%の順になっている。

年代別に見ると、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」「差別的な言動をすること」「じろじろ見られたり、避けられたりすること」では、年代が上がるにつれて割合が少なくなる傾向がある。

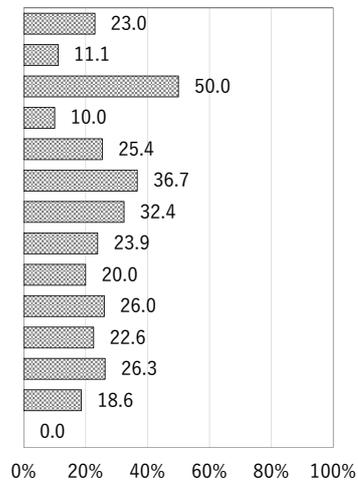
全体(n=795)
男性(n=379)
女性(n=415)
性別無回答(n=1)
18歳以上 20歳未満(n=11)
20歳代(n=50)
30歳代(n=116)
40歳代(n=117)
50歳代(n=122)
60歳代(n=167)
70歳以上(n=210)
年齢無回答(n=2)

【性的少数者の人権上の問題点（職業別）】

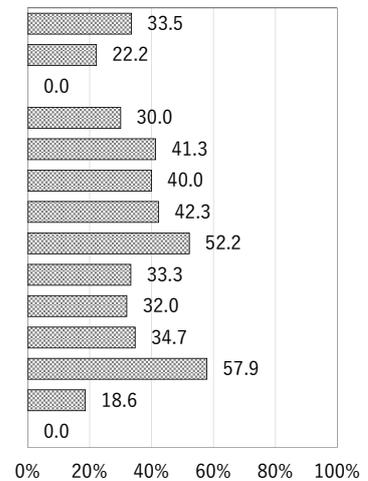
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること



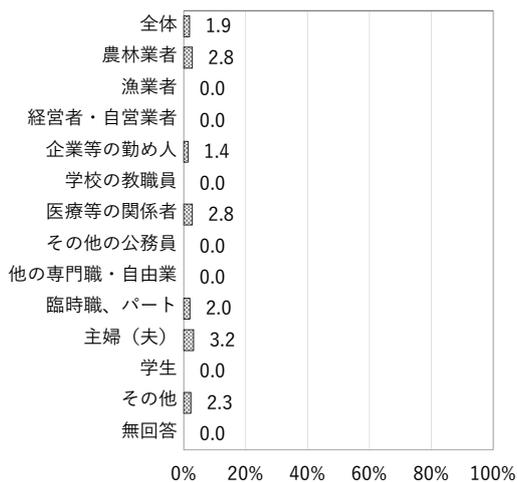
就職、職場で不利な扱いを受けること



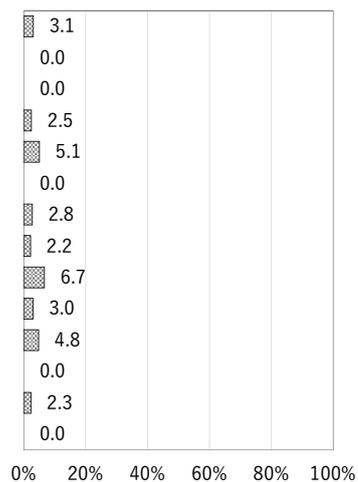
差別的な言動をすること



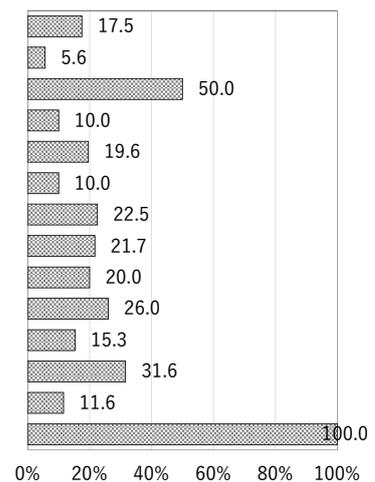
アパート等への入居を拒否すること



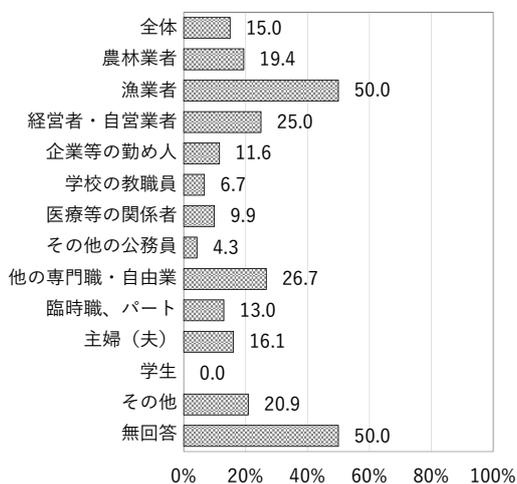
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否すること



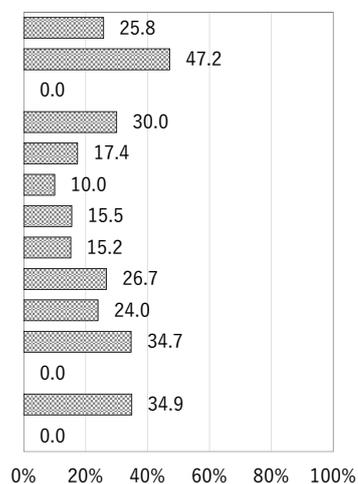
じろじろ見られたり、避けられたりすること



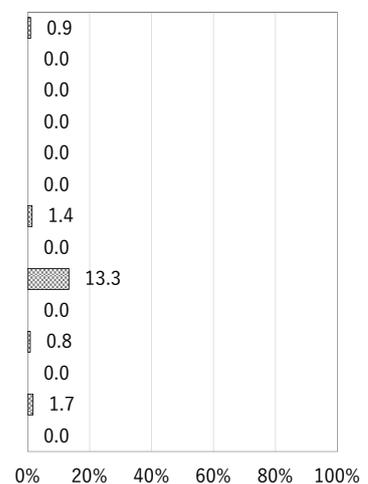
特になし



わからない



その他



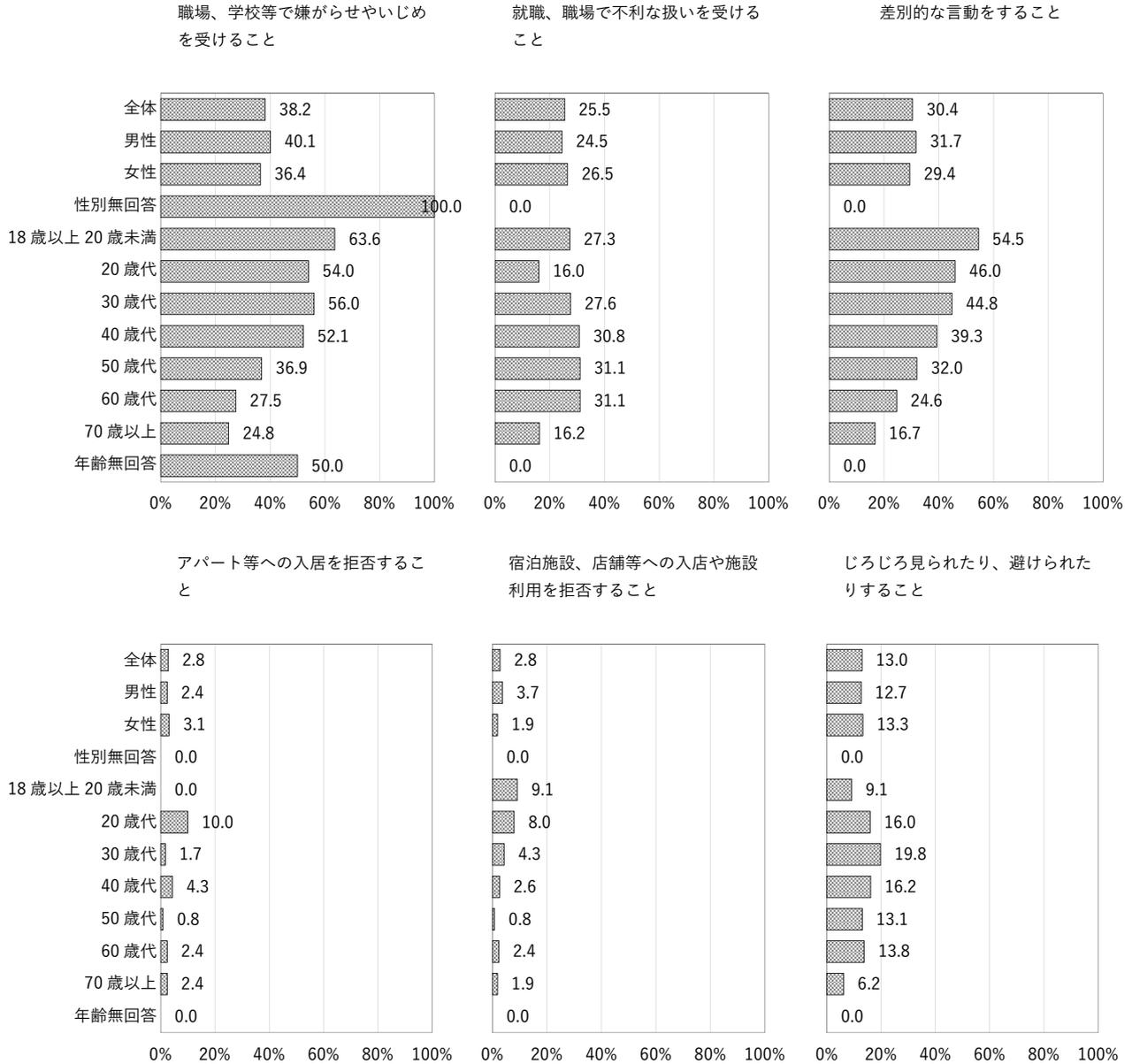
性的少数者の人権上の問題点について、職業別に見ると、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では、学生 78.9%、学校の教職員 70.0%が高く、7割を超えている。「差別的な言動をすること」では、学生 57.9%、その他の公務員 52.2%で5割を超えており、医療等の関係者 42.3%、企業等の勤め人 41.3%、学校の教職員 40.0%が4割を超えている。「就職、職場で不利な扱いを受けること」では、漁業者 50.0%、学校の教職員 36.7%、医療等の関係者 32.4%が高くなっている。

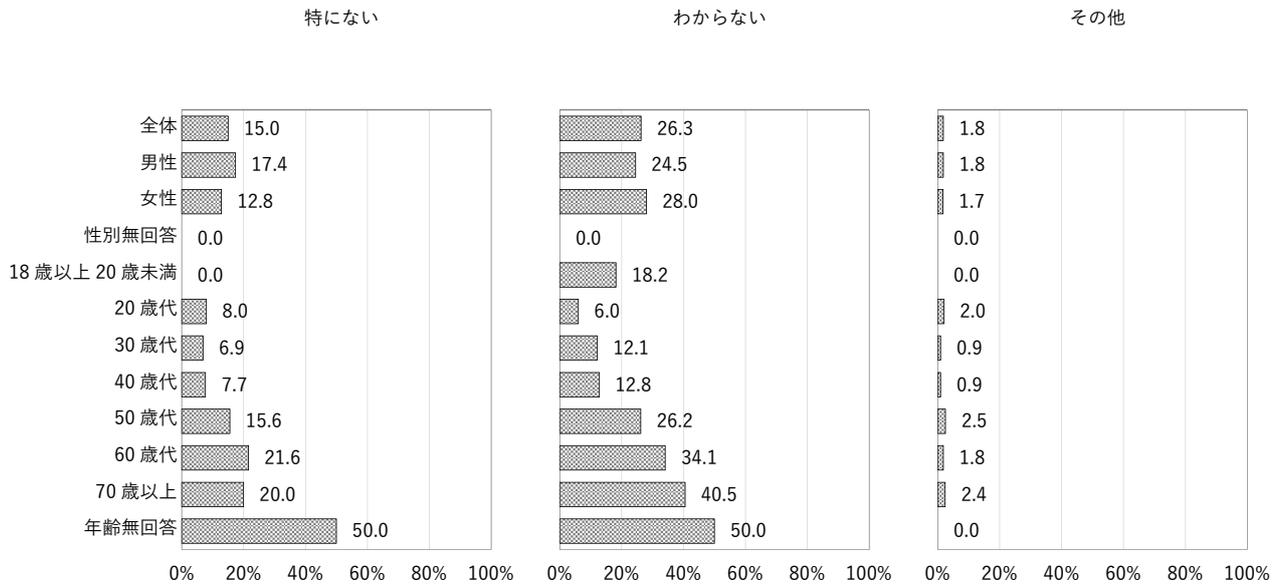
全体(n=795)  
農林業者(n=36)  
漁業者(n=2)  
経営者・自営業者(n=40)  
企業等の勤め人(n=138)  
学校の教職員(n=30)  
医療等の関係者(n=71)  
その他の公務員(n=46)  
他の専門職・自由業(n=15)  
臨時職、パート(n=100)  
主婦(夫)(n=124)  
学生(n=19)  
その他(n=172)  
職業無回答(n=2)

(2) 性同一性障害の人権上の問題点

問2-1 あなたは、生物学的な性とこころの性が一致しない性同一性障害に関する事で、問題があると思われるのは、どのようなことですか？2つまで選んでください。

【性同一性障害の人権上の問題点（性・年齢別）】





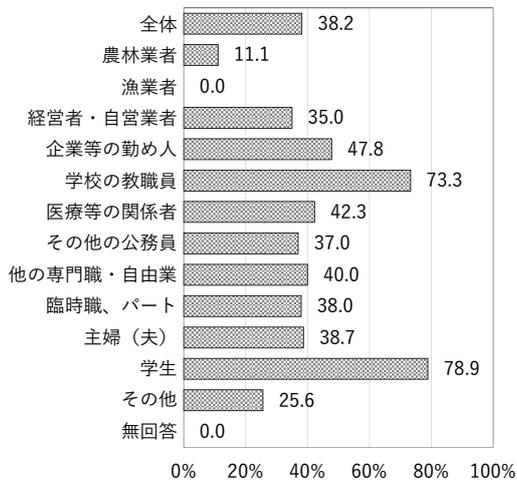
性同一性障害の人権上の問題点について、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」38.2%、「差別的な言動をすること」30.4%、「就職、職場で不利な扱いを受けること」25.5%の順となっている。

年代別に見ると、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」「差別的な言動をすること」では、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。70歳以上では、いずれの項目も全体の割合を下回っている。

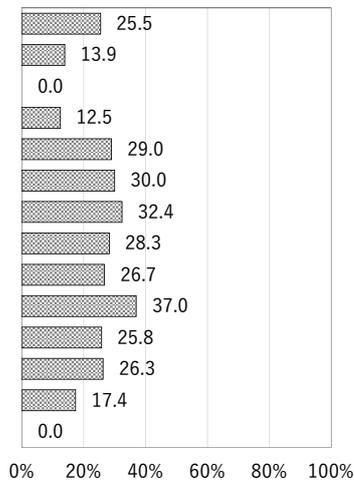
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上 20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

【性同一性障害の人権上の問題点（職業別）】

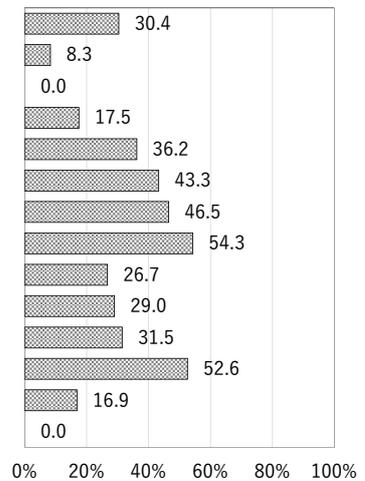
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること



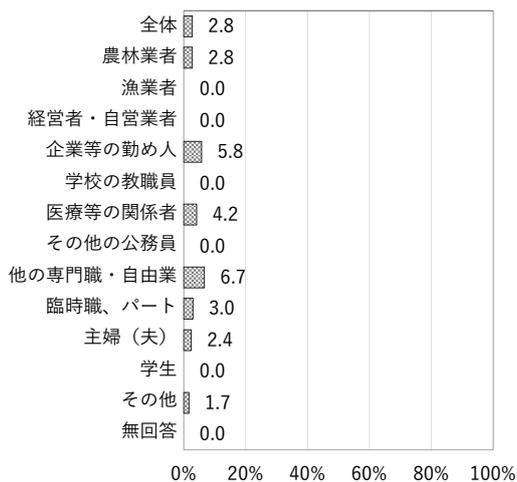
就職、職場で不利な扱いを受けること



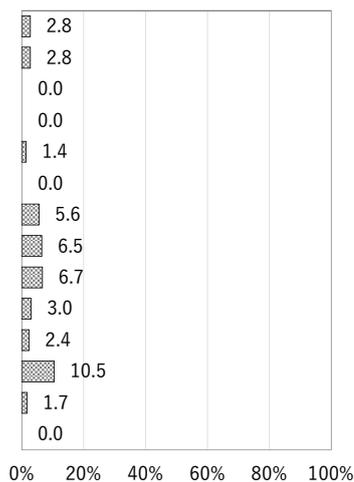
差別的な言動をすること



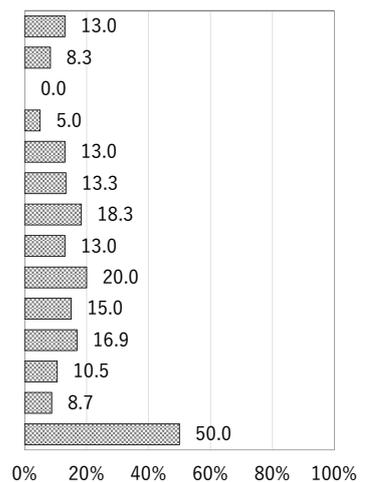
アパート等への入居を拒否すること



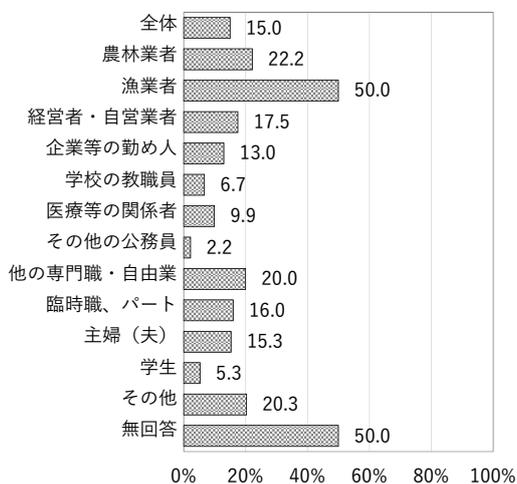
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否すること



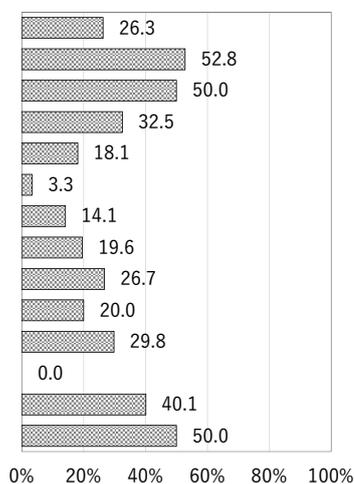
じろじろ見られたり、避けられたりすること



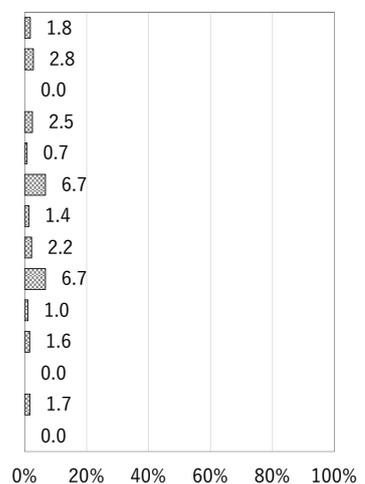
特になし



わからない



その他



性同一性障害の人権上の問題点について、職業別で見ると、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」では、学生 78.9%、学校の教職員 73.3%が 7 割以上と高くなっている。「差別的な言動をすること」では、その他の公務員 54.3%、学生 52.6%が 5 割以上と高くなっている。「就職、職場で不利な扱いを受けること」では、臨時職、パート 37.0%、医療等の関係者 32.4%、学校の教職員 30.0%が 3 割以上と高くなっている。

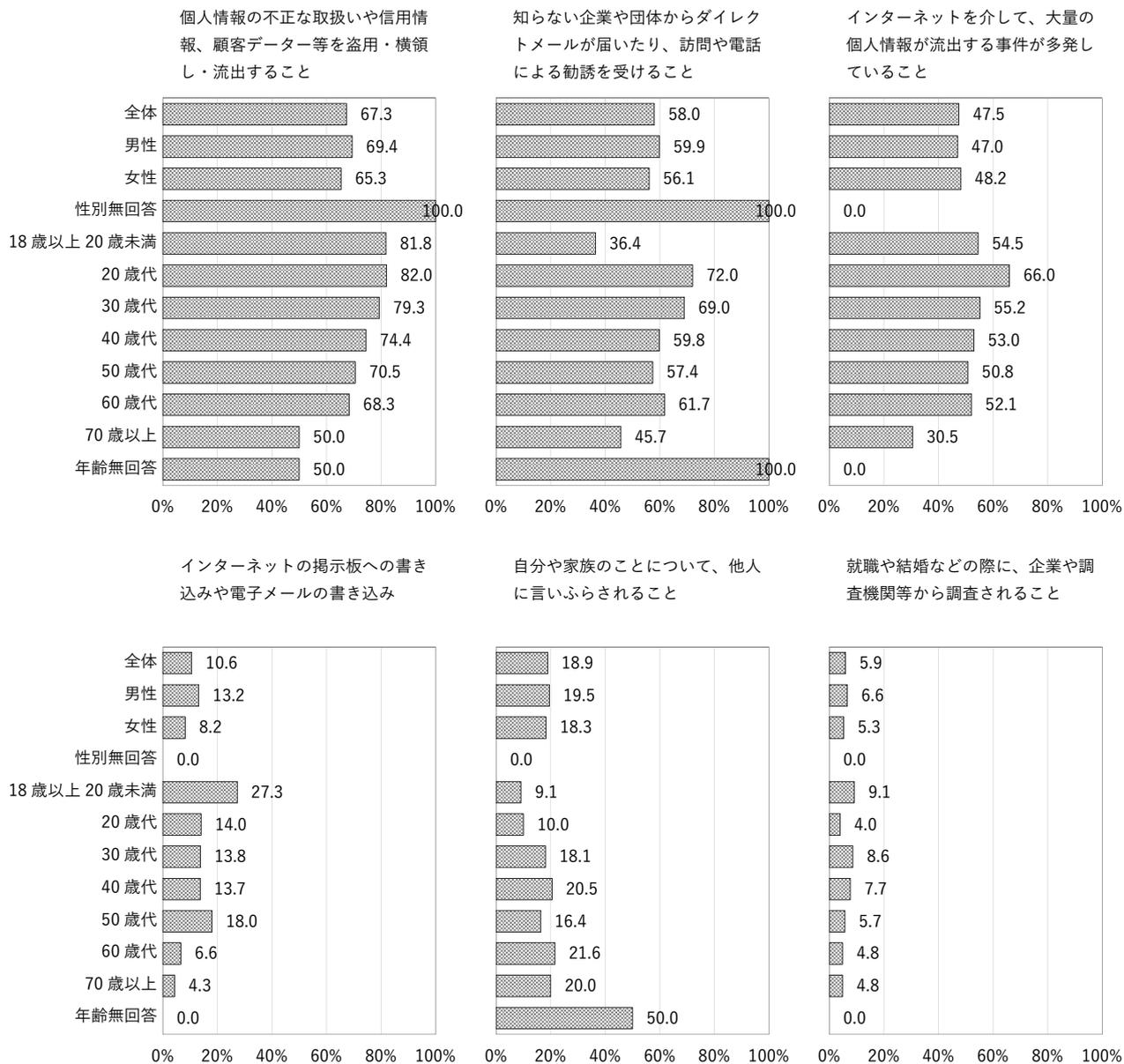
全体(n=795)  
農林業者(n=36)  
漁業者(n=2)  
経営者・自営業者(n=40)  
企業等の勤め人(n=138)  
学校の教職員(n=30)  
医療等の関係者(n=71)  
その他の公務員(n=46)  
他の専門職・自由業(n=15)  
臨時職、パート(n=100)  
主婦(夫)(n=124)  
学生(n=19)  
その他(n=172)  
職業無回答(n=2)

## 12 その他の人権について

### (1) プライバシーの保護に関する人権上の問題点

問22 あなたは、プライバシー保護に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

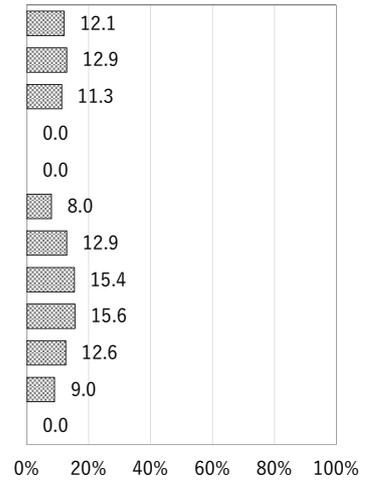
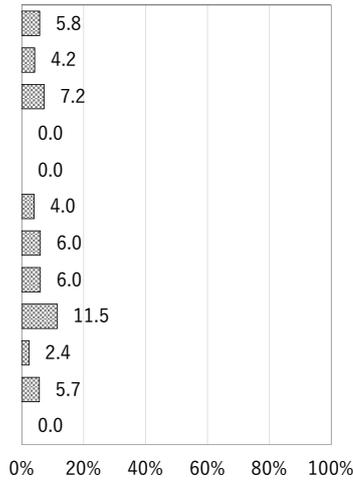
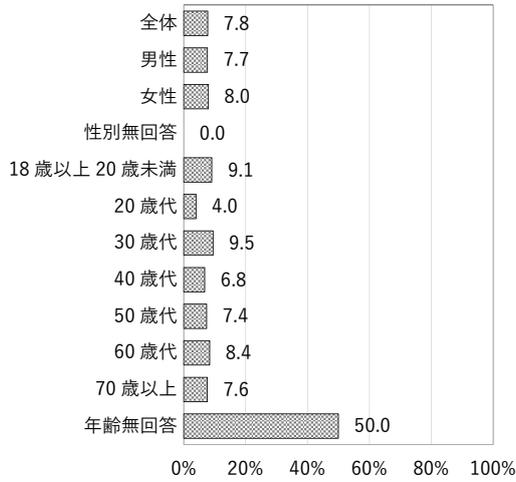
#### 【プライバシーの保護に関する人権上の問題点（性・年齢別）】



役所への届出等で、直接関係のないことを書かされたり聞かれたりする

公的機関や企業において、自分に関する情報や資料を見せてもらえない

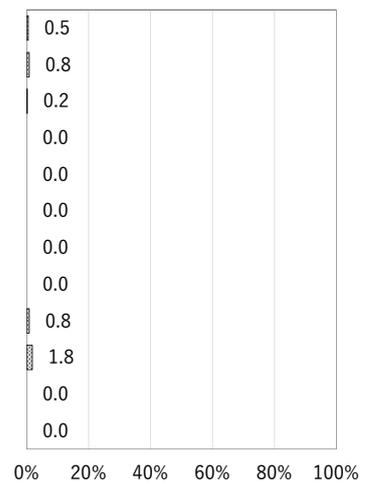
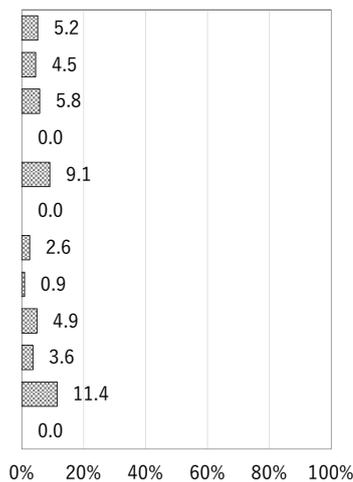
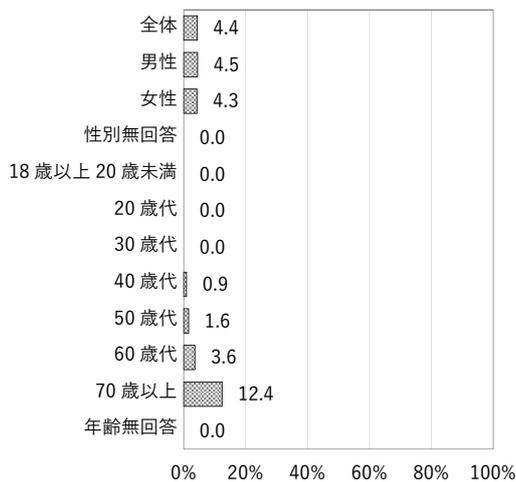
事件や事故など関係者のプライバシーな情報を公開すること



特にな

わからない

その他



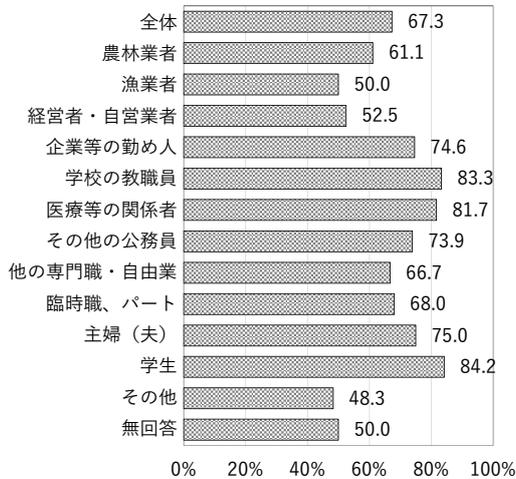
プライバシーの保護に関する人権上の問題点について、「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横領し・流出すること」67.3%、「知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」58.0%、「インターネットを介して、大量の個人情報が流出する事件が多発していること」47.5%が高い割合となっている。

年代別に見ると、「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横領し・流出すること」「知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」「インターネットを介して、大量の個人情報が流出する事件が多発していること」では、年代が上がるにつれて、割合が低くなる傾向があり、特に70歳以上が他の年代に比べて低くなっている。

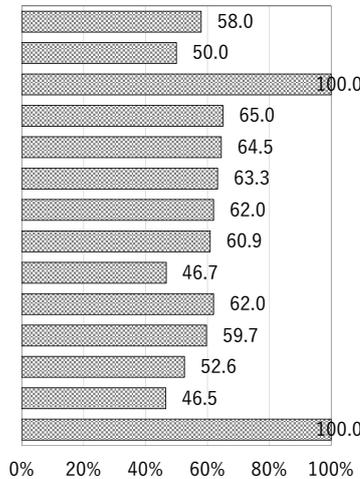
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

【プライバシーの保護に関する人権上の問題点（職業別）】

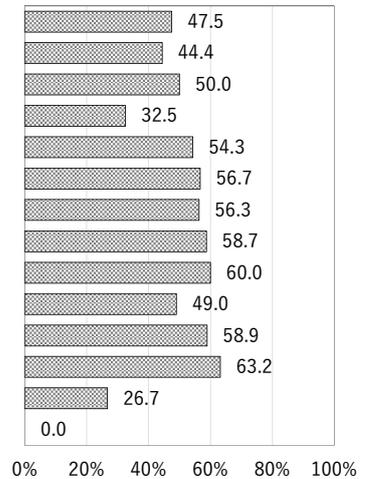
個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横領し・流出すること



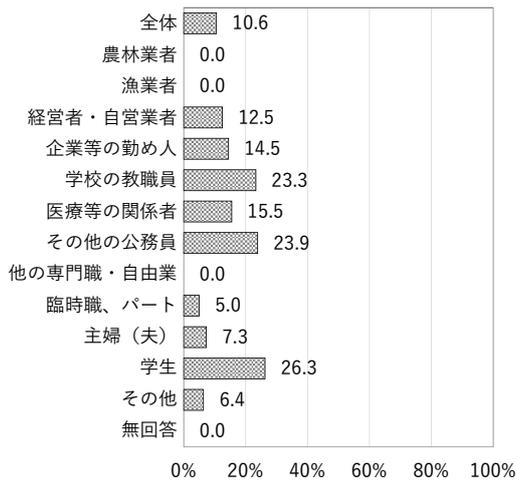
知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること



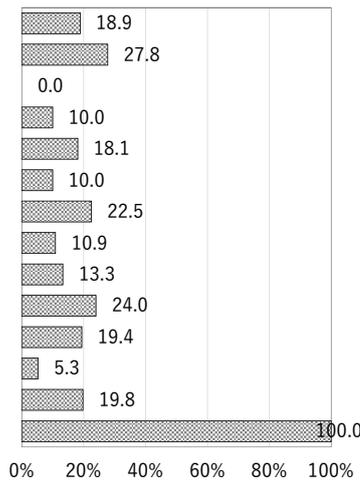
インターネットを介して、大量の個人情報が流出する事件が多発していること



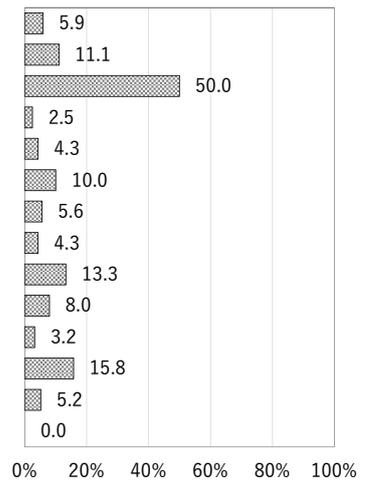
インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み



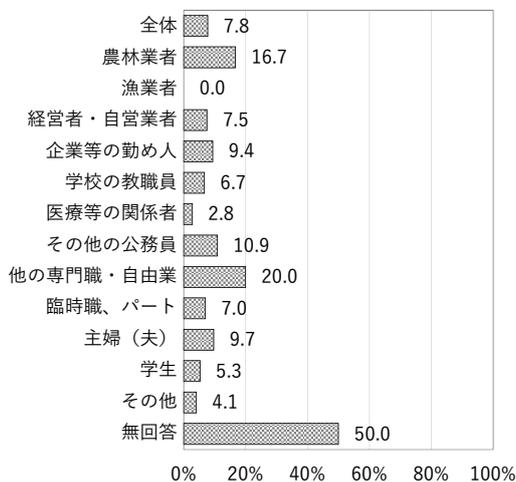
自分や家族のことについて、他人に言いふらされること



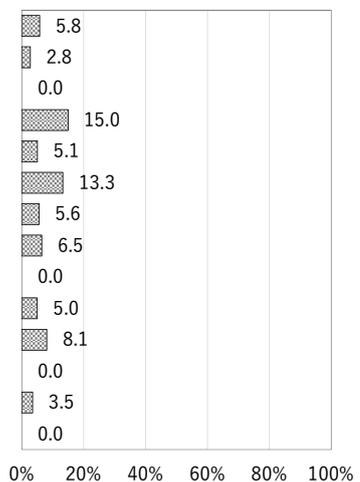
就職や結婚などの際に、企業や調査機関等から調査されること



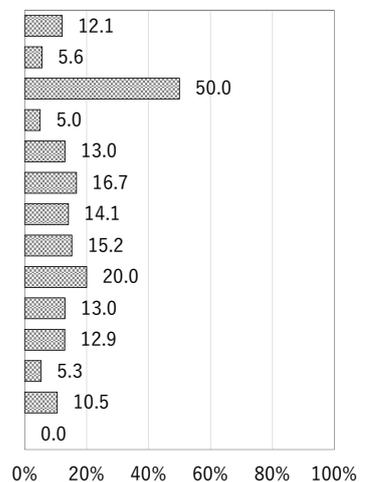
役所への届出等で、直接関係のないことを書かされたり聞かれたりすること

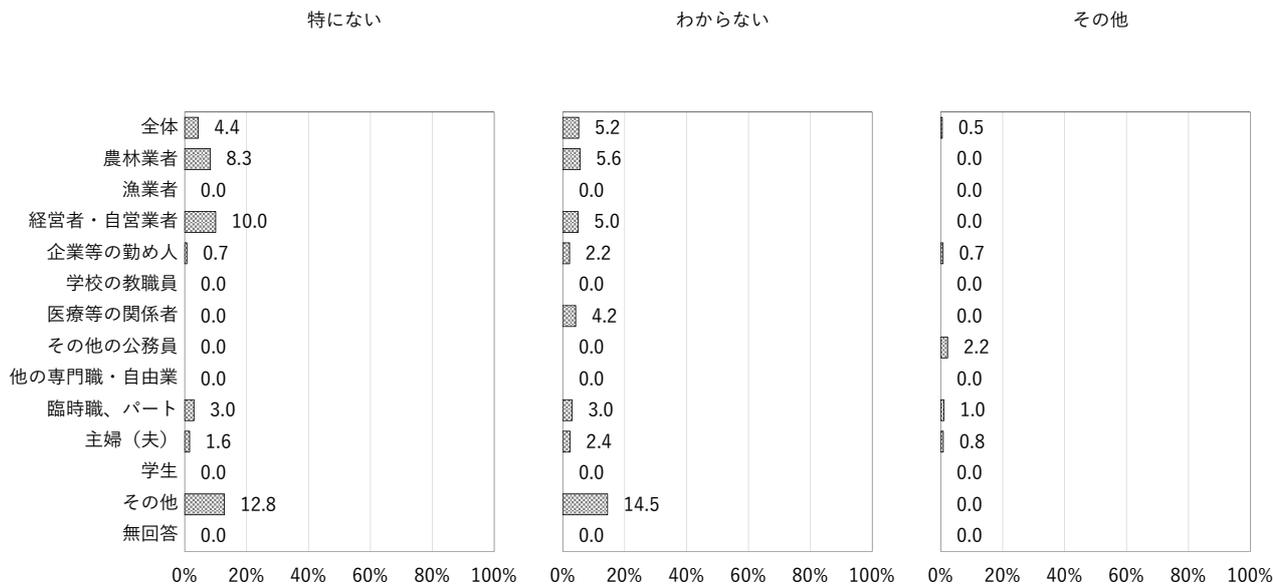


公的機関や企業において、自分に関する情報や資料を見せてもらえないこと



事件や事故など関係者のプライベートな情報を公開すること





プライバシーの保護に関する人権上の問題点について、職業別に見ると、「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横領し・流出すること」では、学生 84.2%、学校の教職員 83.3%、医療等の関係者 81.7%が高い割合となっている。「知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」では、他の専門職・自由業以外全ての職業で 5 割を超えている。「インターネットを介して、大量の個人情報が流出する事件が多発していること」では、学生 63.2%、他の専門職・自由業 60.0%で 6 割を超えているのに対して、経営者・自営業者は 32.5%と割合が低くなっている。

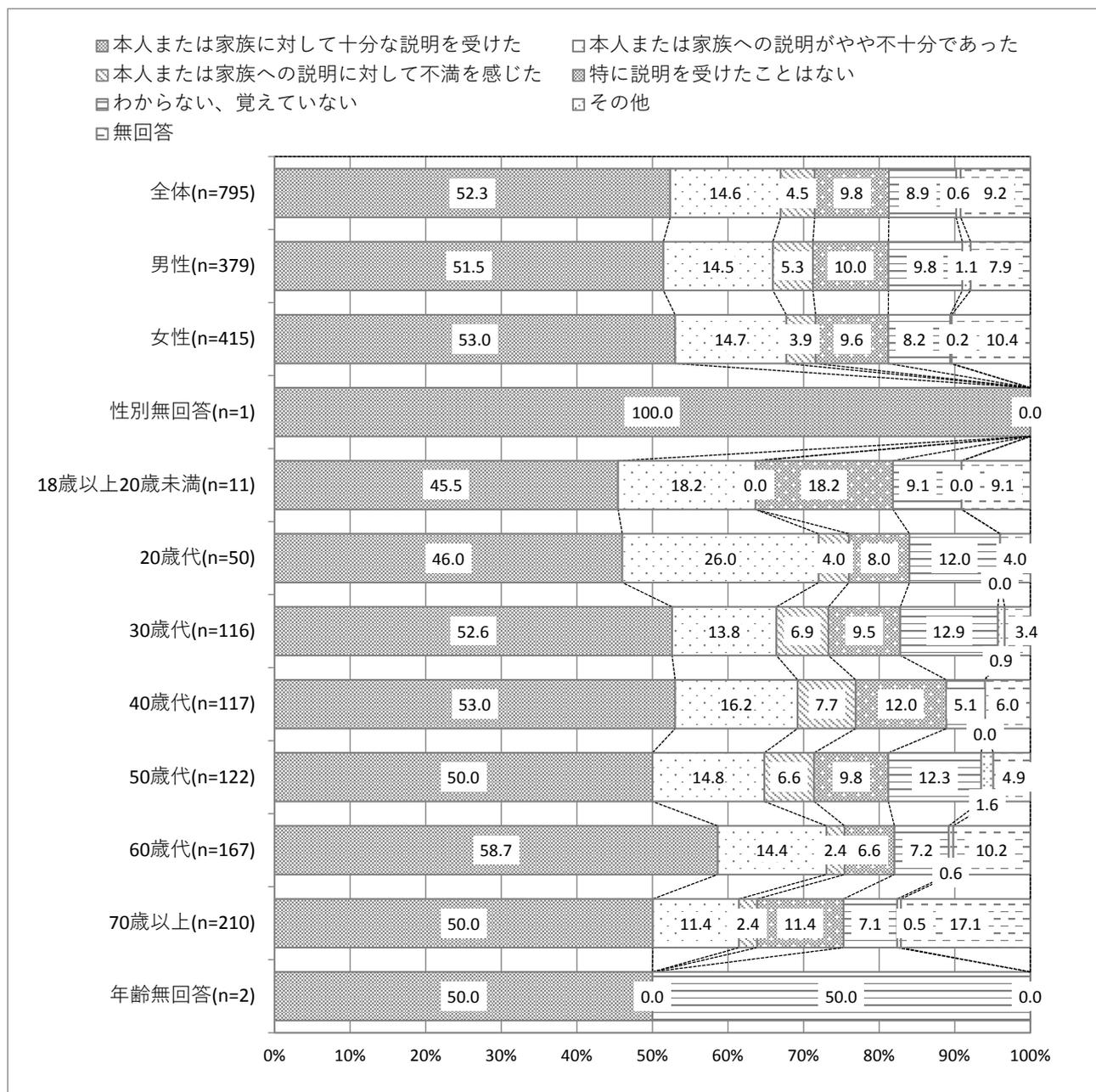
「インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」では、学生 26.3%、その他の公務員 23.9%、学校の教職員 23.3%が他の職業に比べて高くなっている。

全体(n=795)
農林業者(n=36)
漁業者(n=2)
経営者・自営業者(n=40)
企業等の勤め人(n=138)
学校の教職員(n=30)
医療等の関係者(n=71)
その他の公務員(n=46)
他の専門職・自由業(n=15)
臨時職、パート(n=100)
主婦（夫）(n=124)
学生(n=19)
その他(n=172)
職業無回答(n=2)

(2) インフォームド・コンセントに関する医療機関の対応

問23 「インフォームド・コンセント」(治療の目的や内容を納得できるように患者に説明し、了承を得て治療すること)が患者の権利として重視されていますが、あなたがこれまでに受けた医療機関の対応は、次のうちどれに近いですか? 1つ選んでください。

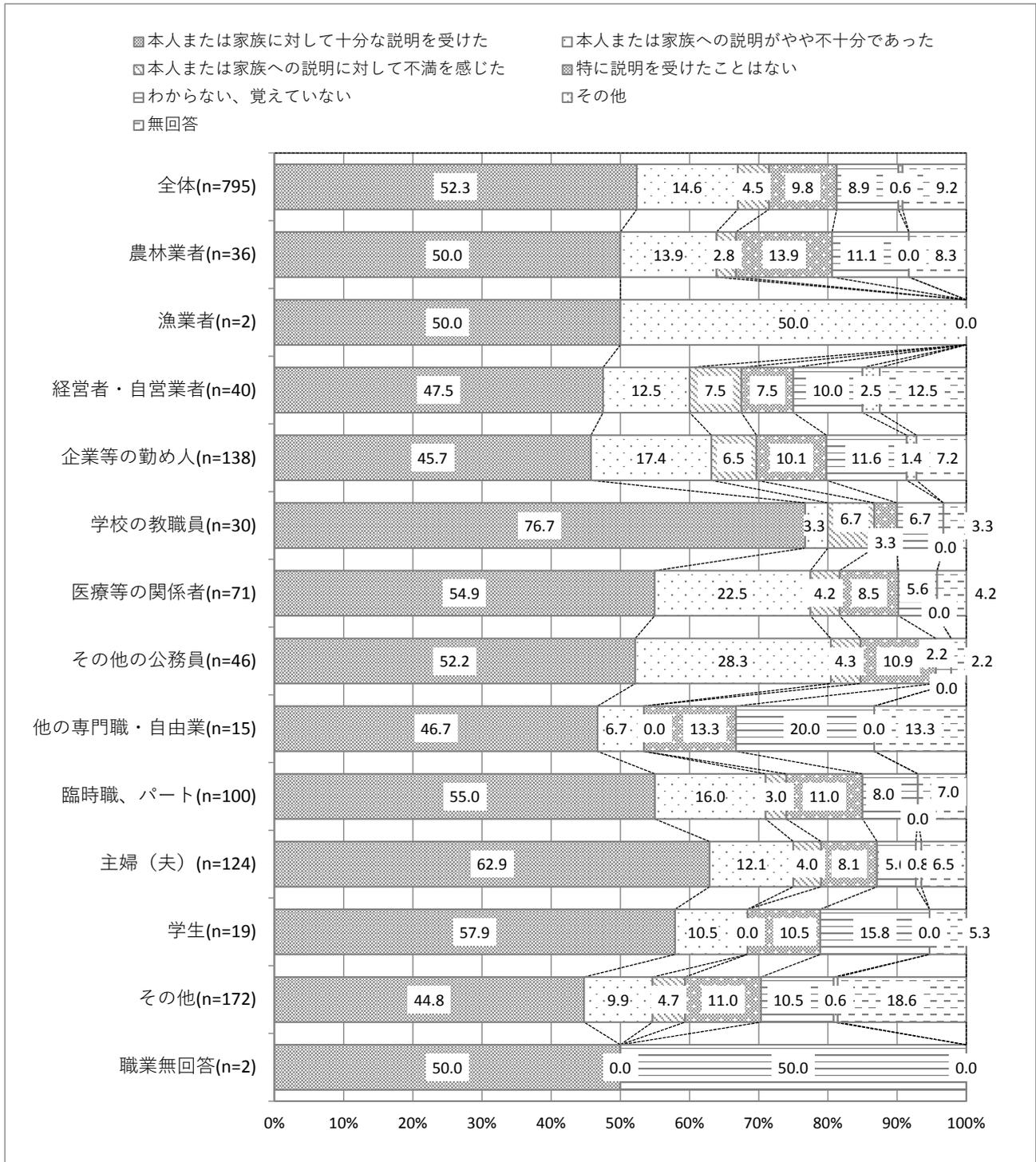
【インフォームド・コンセントに関する医療機関の対応 (性・年齢別)】



インフォームド・コンセントに関する医療機関の対応について、「本人または家族に対して十分な説明を受けた」52.3%が5割程度となっている一方で、「本人または家族への説明がやや不十分であった」14.6%、「本人または家族への説明に対して不満を感じた」4.5%、「特に説明を受けたことはない」9.8%を合わせた割合は28.9%となっている。

年代別に見ると、「本人または家族に対して十分な説明を受けた」では、30歳代~70歳以上で5割を超えている。「特に説明を受けたことはない」では、18歳以上20歳未満で18.2%と他の年代に比べると高くなっている。

【インフォームド・コンセントに関する医療機関の対応（職業別）】

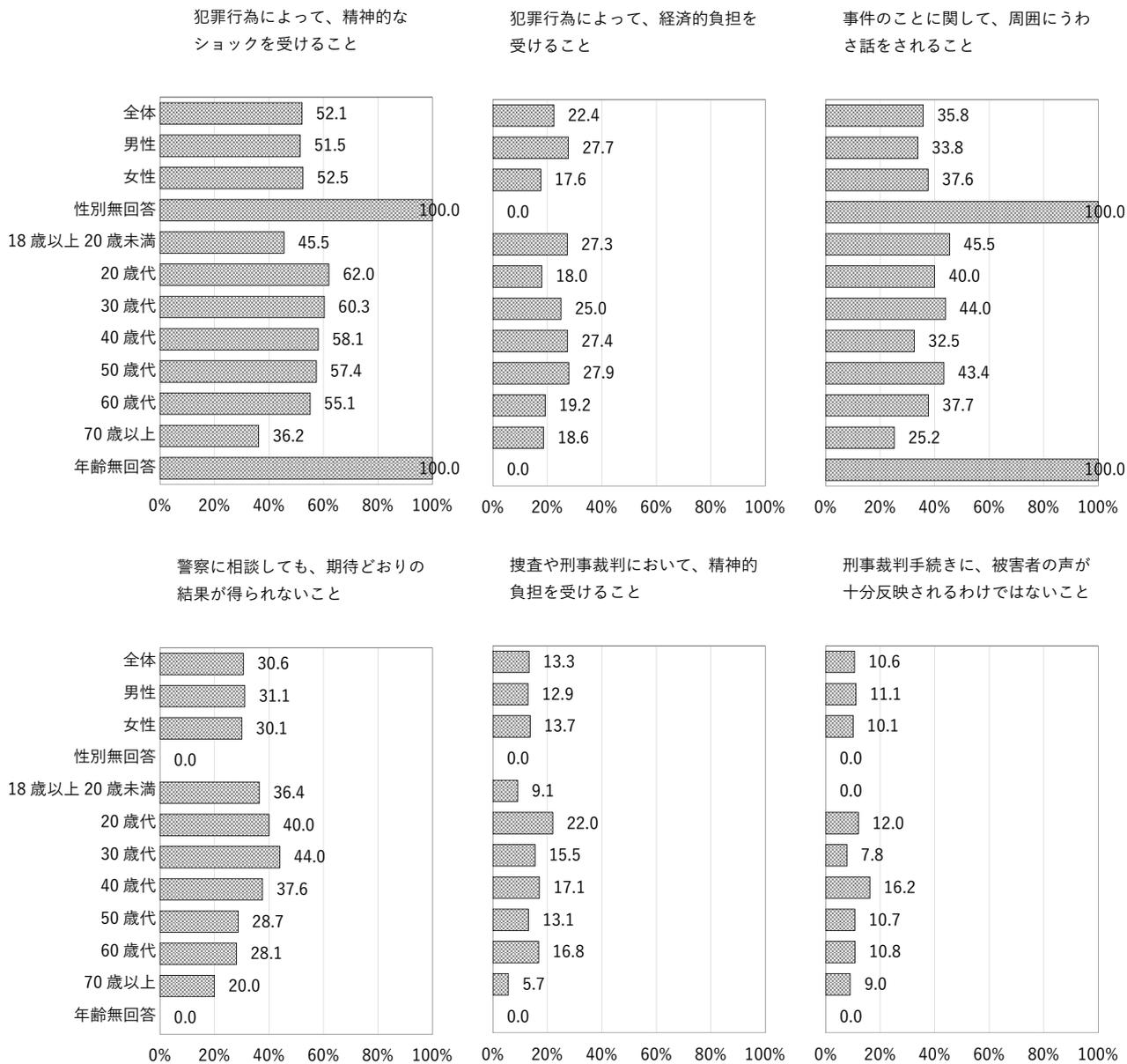


インフォームド・コンセントに関する医療機関の対応について、職業別に見ると、「本人または家族に対して十分な説明を受けた」では、学校の教職員 76.7%、主婦（夫） 62.9%が高く、6割を超えている。「本人または家族への説明がやや不十分であった」では、漁業者 50.0%、その他の公務員 28.3%、医療等の関係者 22.5%の割合が高くなっている。「本人または家族への説明に対して不満を感じた」では、経営者・自営業者 7.5%、学校の教職員 6.7%、企業等の勤め人 6.5%がやや高くなっている。

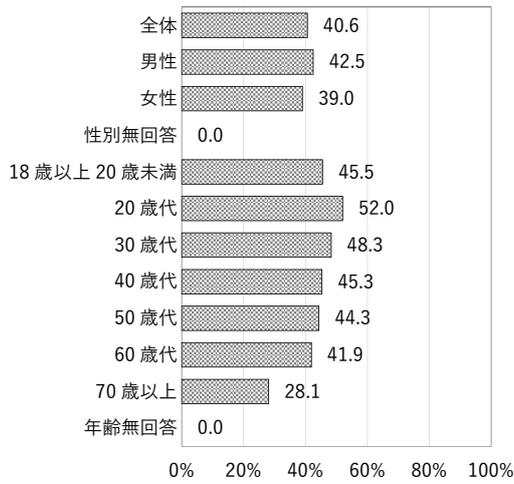
（3）犯罪被害者に関する人権上の問題点

問24 あなたは、犯罪被害者の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

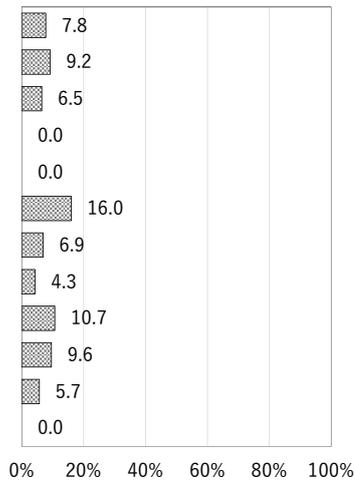
【犯罪被害者に関する人権上の問題点（性・年齢別）】



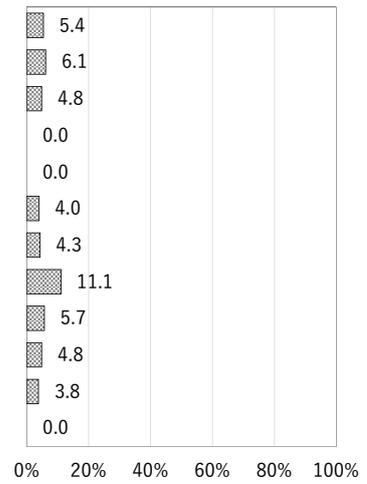
報道によるプライバシーの公表や取材による私生活への介入



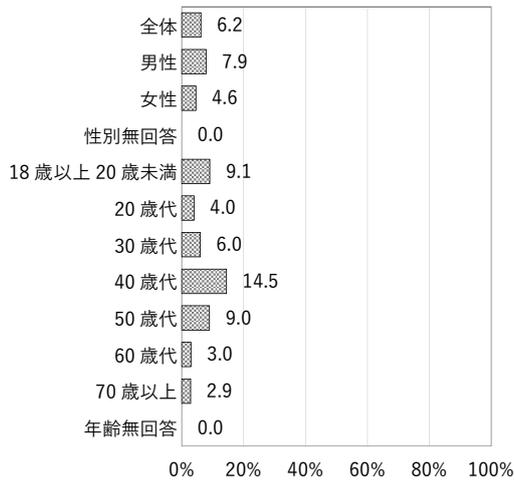
職場・同僚・学校関係者などの十分な理解が得られないこと



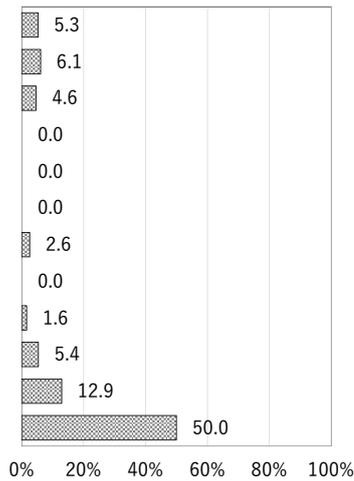
捜査機関からの犯罪に関する情報提供がなされないこと



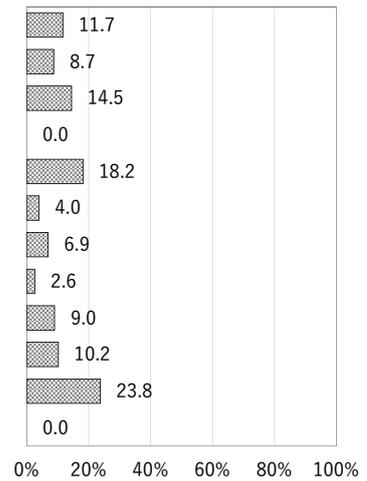
メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと



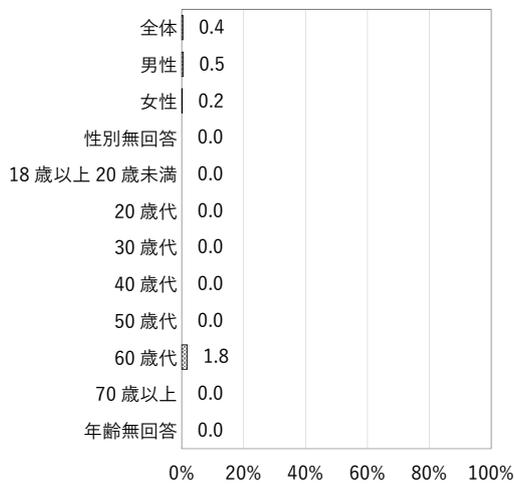
特にな



わからない



その他



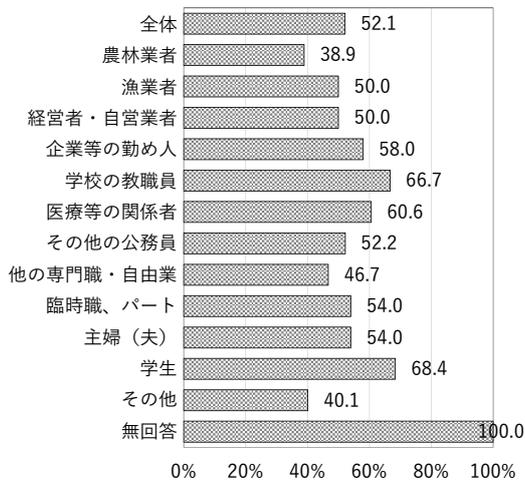
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

犯罪被害者に関する人権上の問題点について、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」52.1%が最も高く、「報道によるプライバシーの公表や取材による私生活への介入」40.6%、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」35.8%、「警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと」30.6%の順になっている。

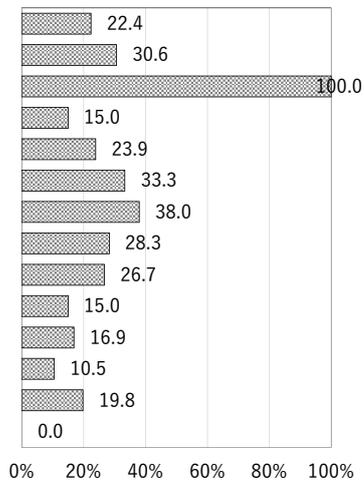
年代別に見ると、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」では、20歳代～60歳代で5割を超えている。「報道によるプライバシーの公表や取材による私生活への介入」では、70歳以上以外全ての年代で4割を超えている。

## 【犯罪被害者に関する人権上の問題点（職業別）】

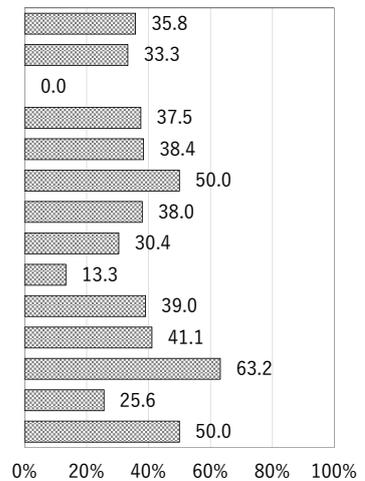
犯罪行為によって、精神的なショックを受けること



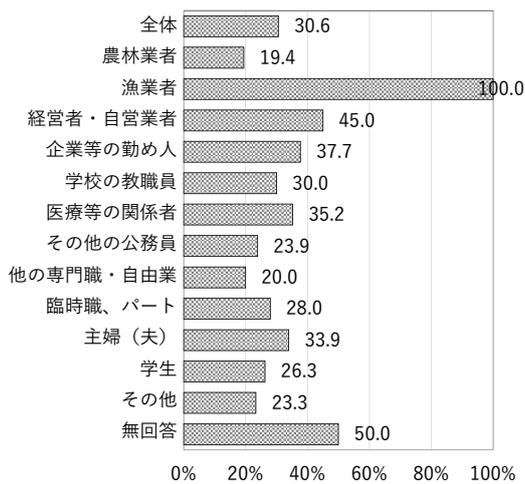
犯罪行為によって、経済的負担を受けること



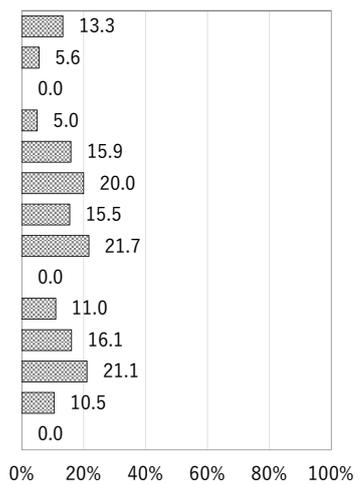
事件のことに、周囲にうわさ話をされること



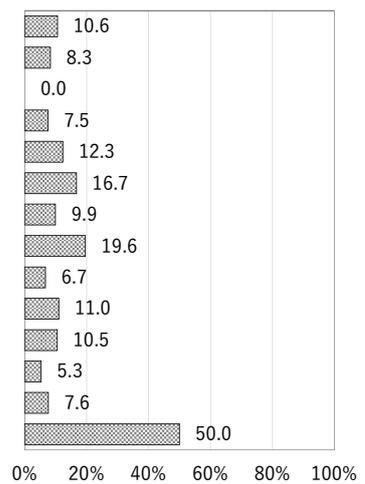
警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと



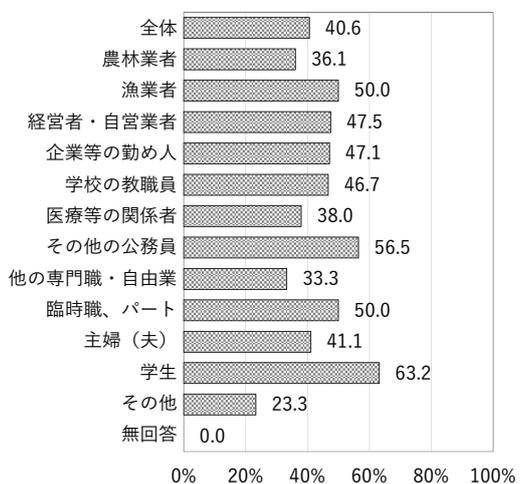
捜査や刑事裁判において、精神的負担を受けること



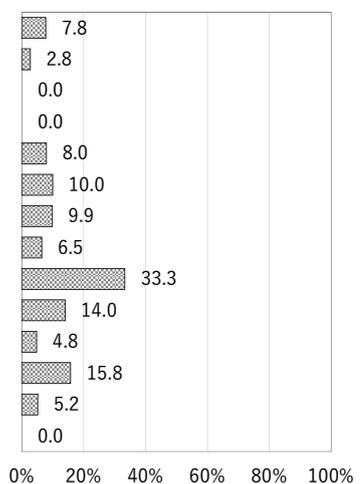
刑事裁判手続きに、被害者の声が十分反映されるわけではないこと



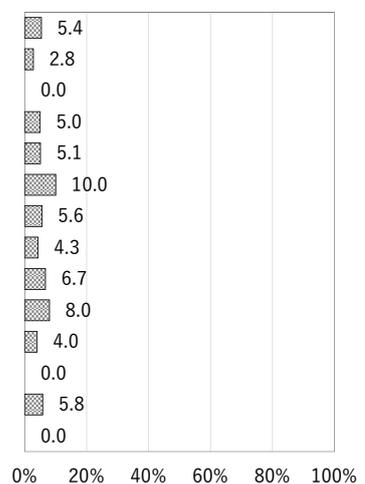
報道によるプライバシーの公表や取材による私生活への介入



職場・同僚・学校関係者などの十分な理解が得られないこと



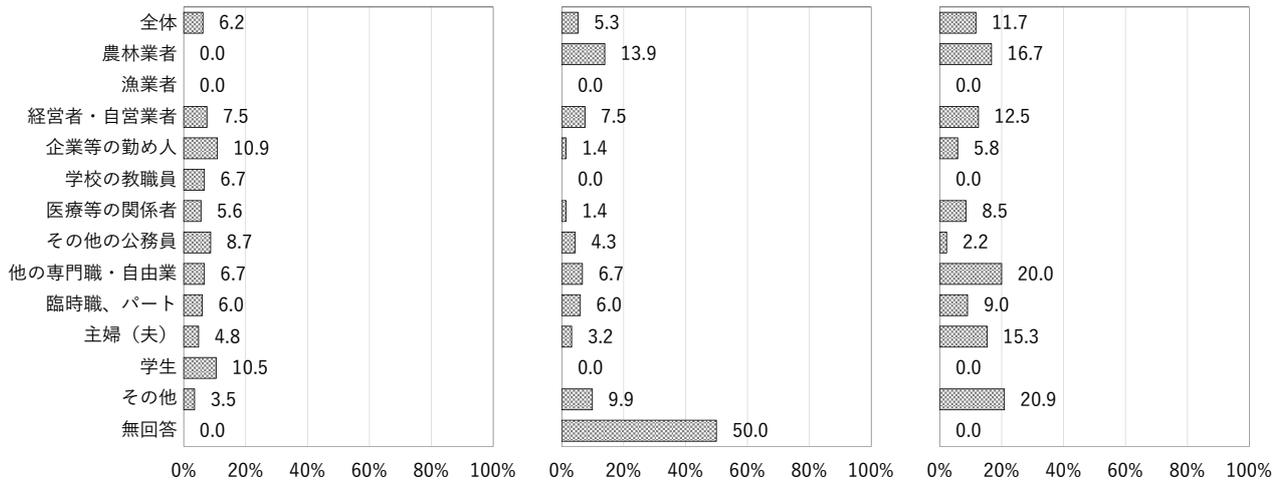
捜査機関からの犯罪に関する情報提供がなされないこと



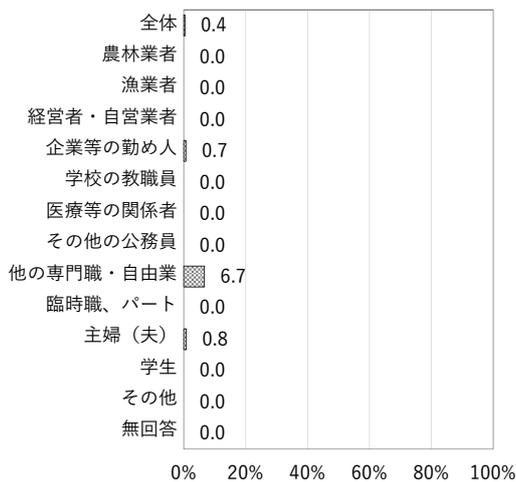
メールやインターネットで悪質な  
書き込みや嫌がらせを行うこと

特にない

わからない



その他



全体(n=795)  
農林業者(n=36)  
漁業者(n=2)  
経営者・自営業者(n=40)  
企業等の勤め人(n=138)  
学校の教職員(n=30)  
医療等の関係者(n=71)  
その他の公務員(n=46)  
他の専門職・自由業(n=15)  
臨時職、パート(n=100)  
主婦(夫)(n=124)  
学生(n=19)  
その他(n=172)  
職業無回答(n=2)

犯罪被害者に関する人権上の問題点について、職業別に見ると、「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」では、学生 68.4%、学校の教職員 66.7%、医療等の関係者 60.6%が高く、6割を超えている。「報道によるプライバシーの公表や取材による私生活への介入」では、学生 63.2%、その他の公務員 56.5%、臨時職、パート 50.0%、漁業者 50.0%が高く、5割を超えている。

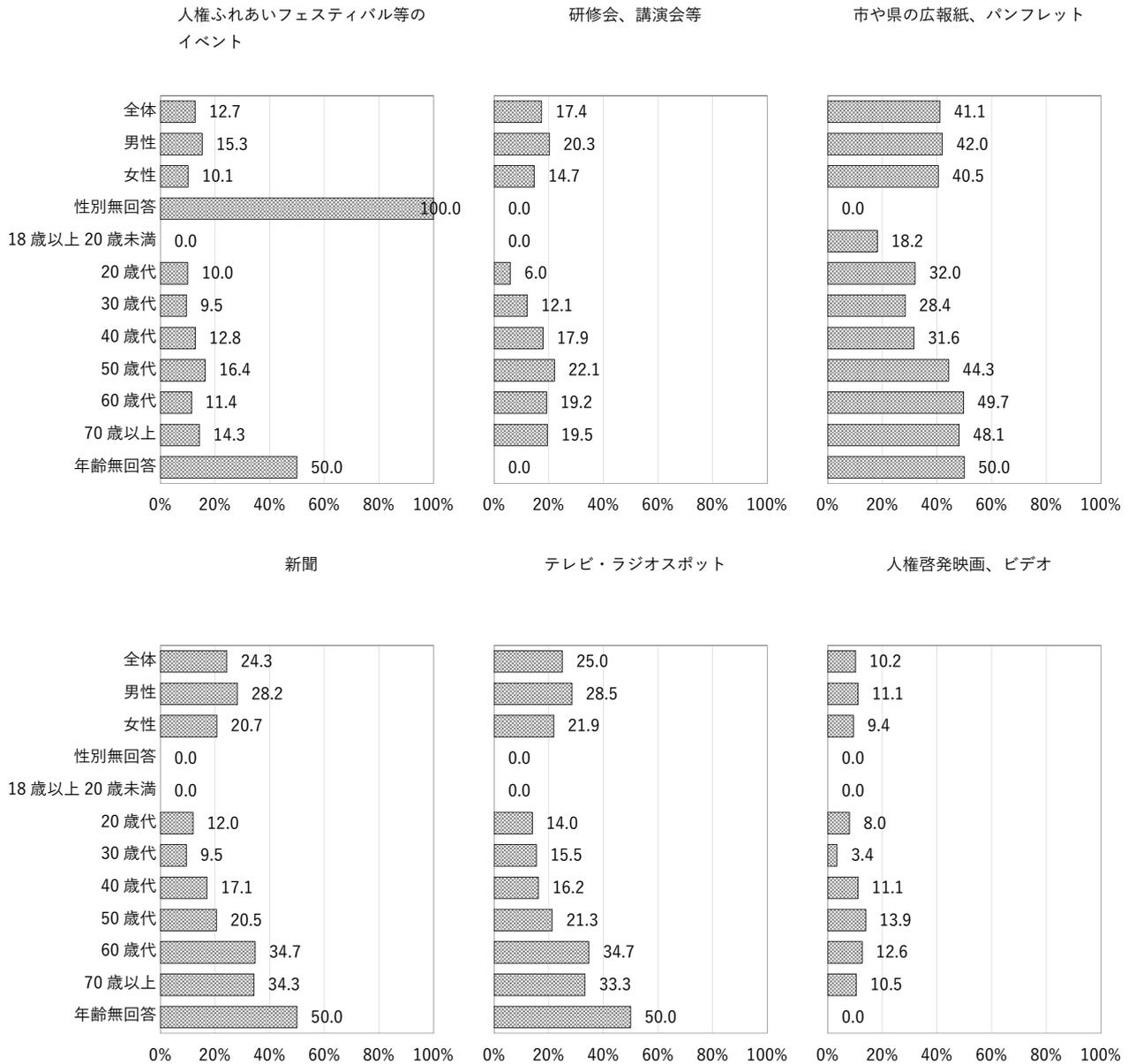
「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」では学生 63.2%、「警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと」では経営者・自営業者 45.0%、「職場・同僚・学校関係者などの十分な理解が得られないこと」では他の専門職・自由業 33.3%が、他の職業に比べて高くなっている。

### 13 人権に関する取り組みについて

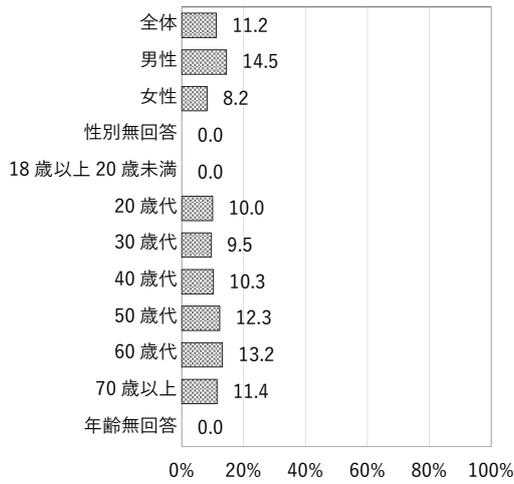
#### (1) 啓発活動への接触度

問25 山口市では、「山口市人権推進指針」に基づき、人権に関する施策を総合的に推進していますが、これまでに市または県が実施した行事（イベント・研修会等）に参加したり、人権問題に関連した記事等を見たりした経験がありますか？全て選んでください。

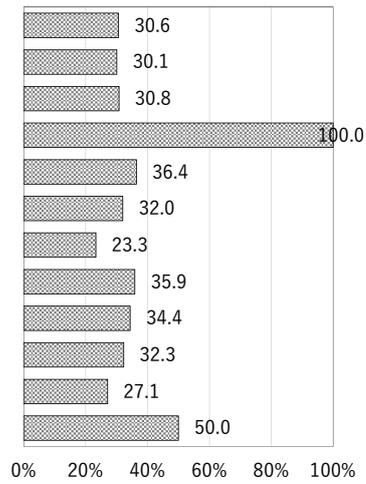
#### 【啓発活動への接触度（性・年齢別）】



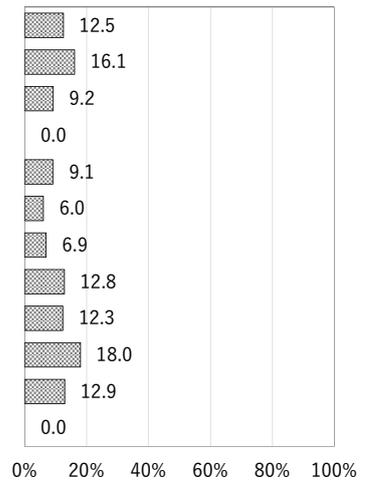
街頭啓発活動



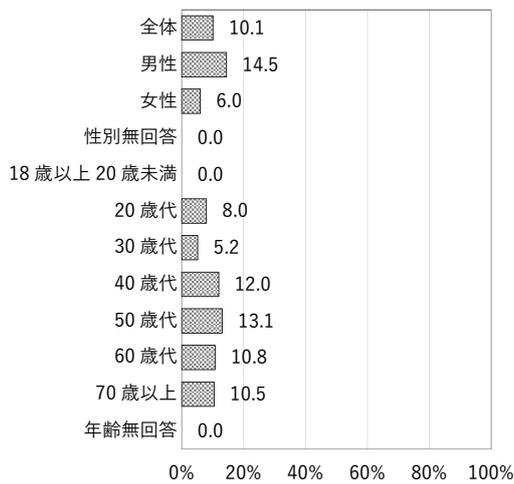
掲示物（ポスターやバス車体広告等）



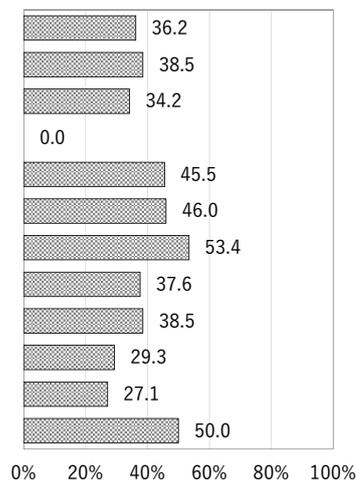
懸垂幕・横断幕



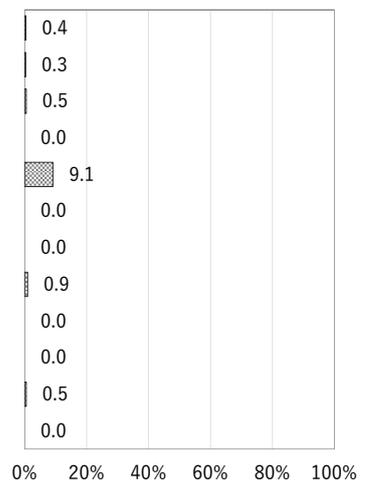
市や県のホームページ



特になし



その他



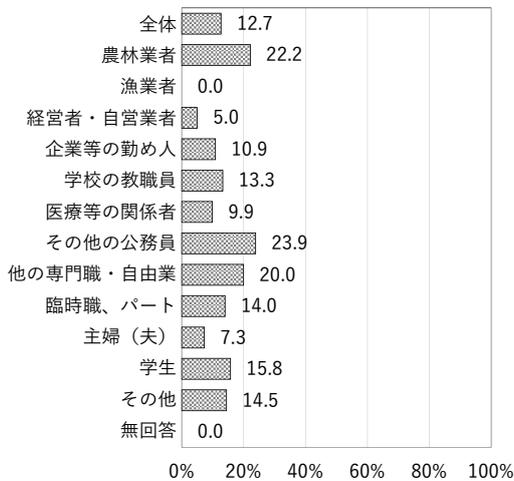
啓発活動への接触度について、「市や県の広報紙、パンフレット」が41.1%と最も高く、次に「掲示物（ポスターやバス車体広告等）」30.6%、「テレビ・ラジオスポット」25.0%、「新聞」24.3%となっている。一方、「人権啓発映画、ビデオ」10.2%、「市や県のホームページ」10.1%の割合が低い。

年代別に見ると、「市や県の広報紙、パンフレット」では、50歳代～70歳以上で割合が高く、4割を超えている。「テレビ・ラジオスポット」「新聞」は、年代が上がるにつれて、割合が高くなる傾向になっている。

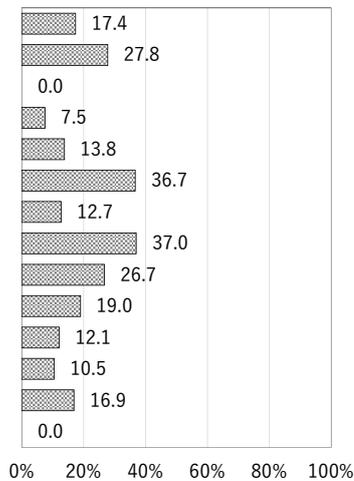
全体(n=795)  
 男性(n=379)  
 女性(n=415)  
 性別無回答(n=1)  
 18歳以上 20歳未満(n=11)  
 20歳代(n=50)  
 30歳代(n=116)  
 40歳代(n=117)  
 50歳代(n=122)  
 60歳代(n=167)  
 70歳以上(n=210)  
 年齢無回答(n=2)

【啓発活動への接触度（職業別）】

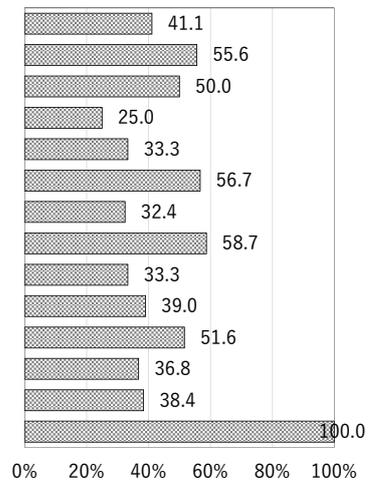
人権ふれあいフェスティバル等のイベント



研修会、講演会等



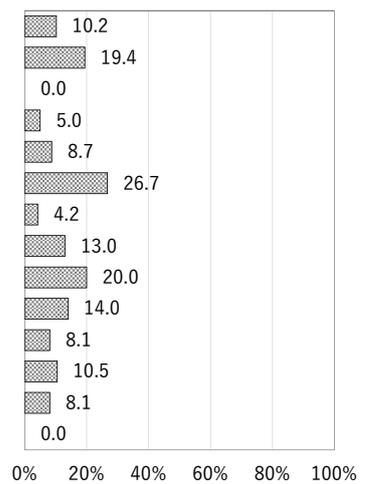
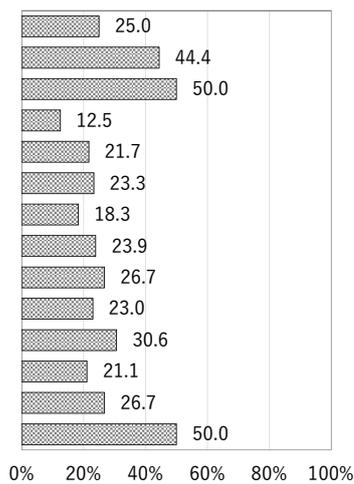
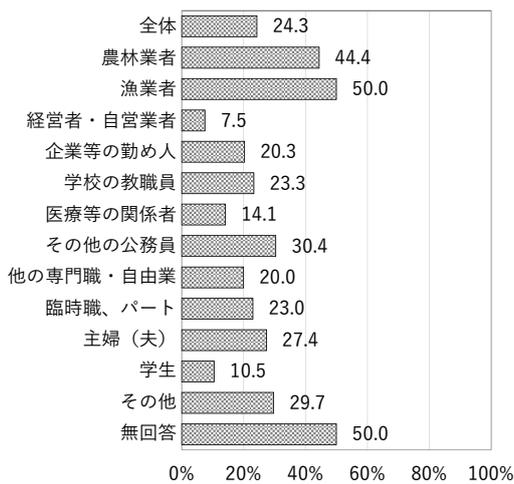
市や県の広報紙、パンフレット



新聞

テレビ・ラジオスポット

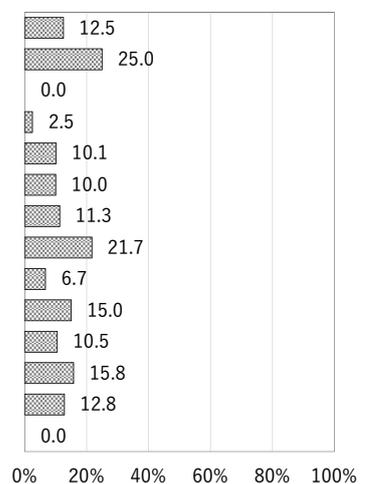
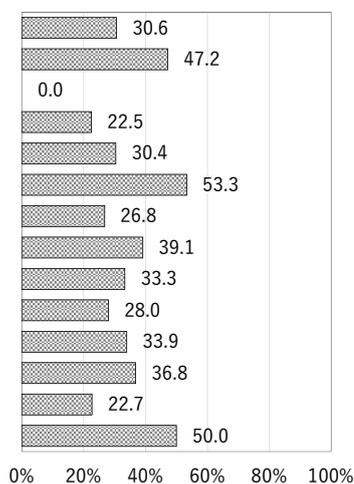
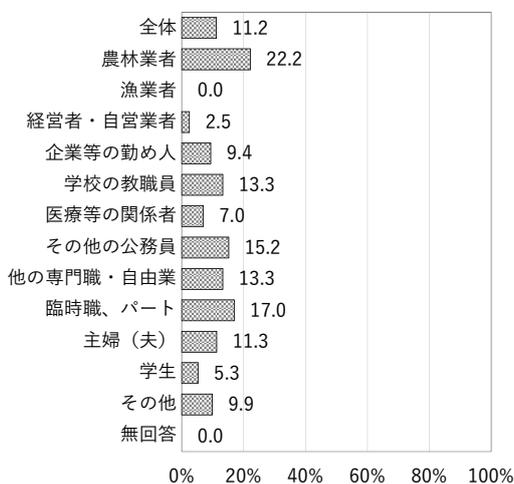
人権啓発映画、ビデオ

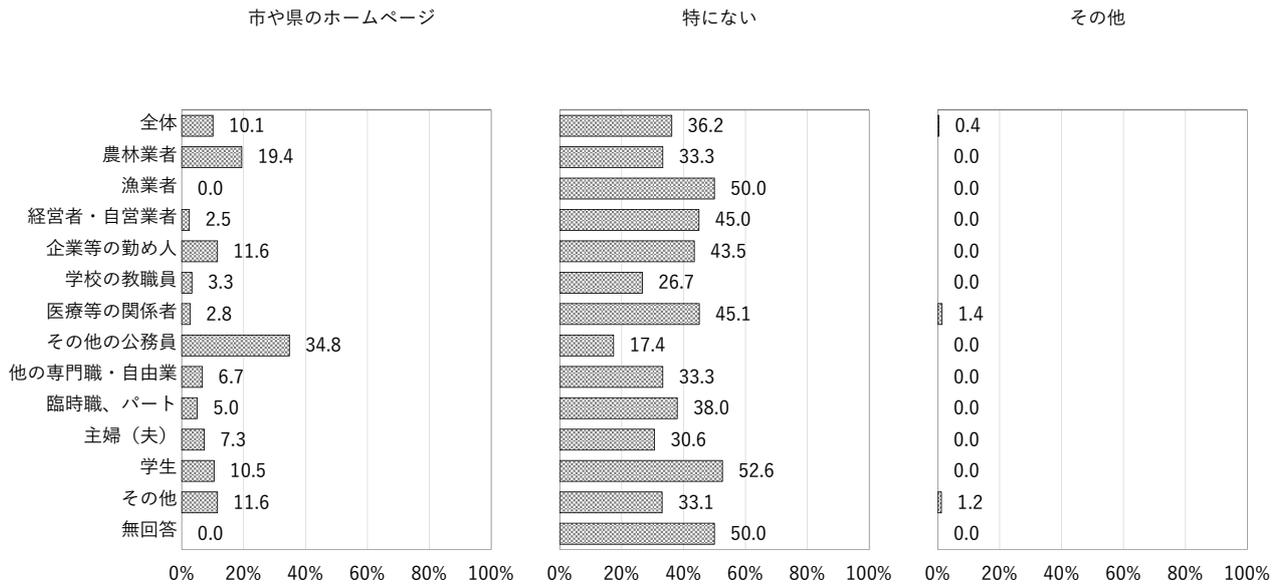


街頭啓発活動

掲示物（ポスターやバス車体広告等）

懸垂幕・横断幕





啓発活動への接触度について、職業別に見ると、「市や県の広報紙、パンフレット」では、その他の公務員 58.7%、学校の教職員 56.7%、農林業者 55.6%、主婦（夫） 51.6%、漁業者 50.0%の割合が高く、5割を超えている。「掲示物（ポスターやバス車体広告等）」では、学校の教職員が 53.3%と割合が高い。

「研修会、講演会等」では、その他の公務員 37.0%、学校の教職員 36.7%が他の職業に比べて高くなっている。「人権啓発映画、ビデオ」では学校の教職員が 26.7%、「市や県のホームページ」では、その他の公務員が 34.8%と、他の職業に比べて高くなっている。

- 全体(n=795)
- 農林業者(n=36)
- 漁業者(n=2)
- 経営者・自営業者(n=40)
- 企業等の勤め人(n=138)
- 学校の教職員(n=30)
- 医療等の関係者(n=71)
- その他の公務員(n=46)
- 他の専門職・自由業(n=15)
- 臨時職、パート(n=100)
- 主婦（夫）(n=124)
- 学生(n=19)
- その他(n=172)
- 職業無回答(n=2)

(2) 人権に関する取り組みの今後の条件整備

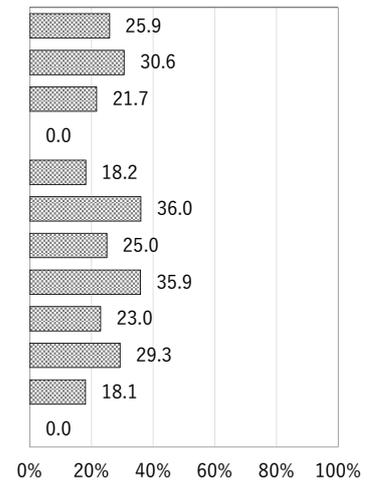
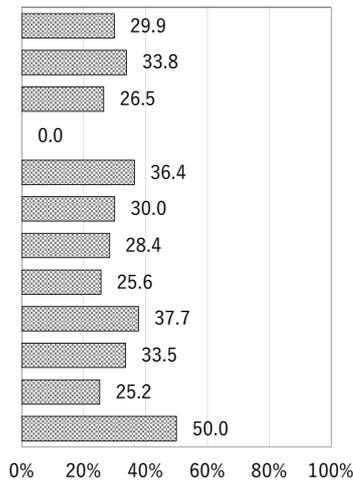
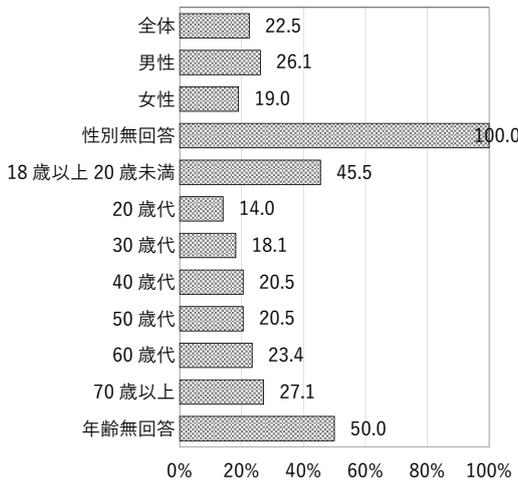
問26 あなたは、今後、人権に関する取り組みとして、どのような条件整備に力を入れていけばよいと思われますか？3つまで選んでください。

【人権に関する取り組みの今後の条件整備（性・年齢別）】

市民の人権尊重意識の高揚を図るための啓発活動を推進する

人権に配慮した行政の推進（業務の点検、見直しなど）を図る

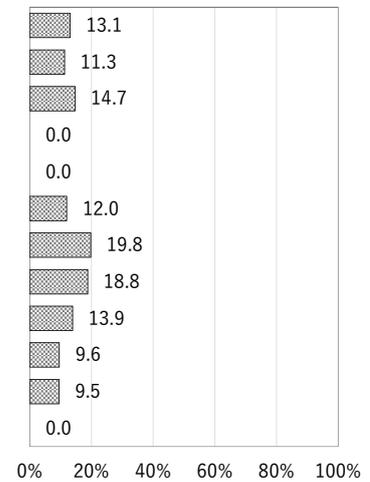
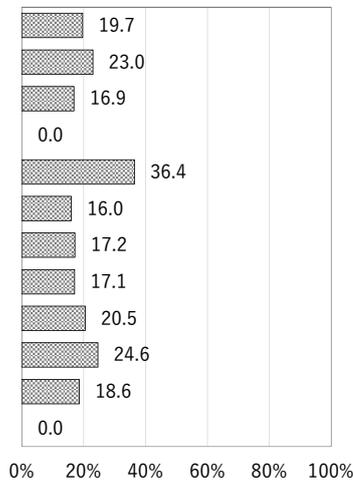
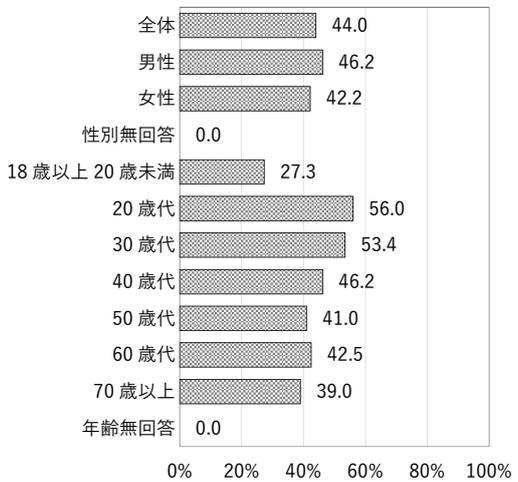
公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る

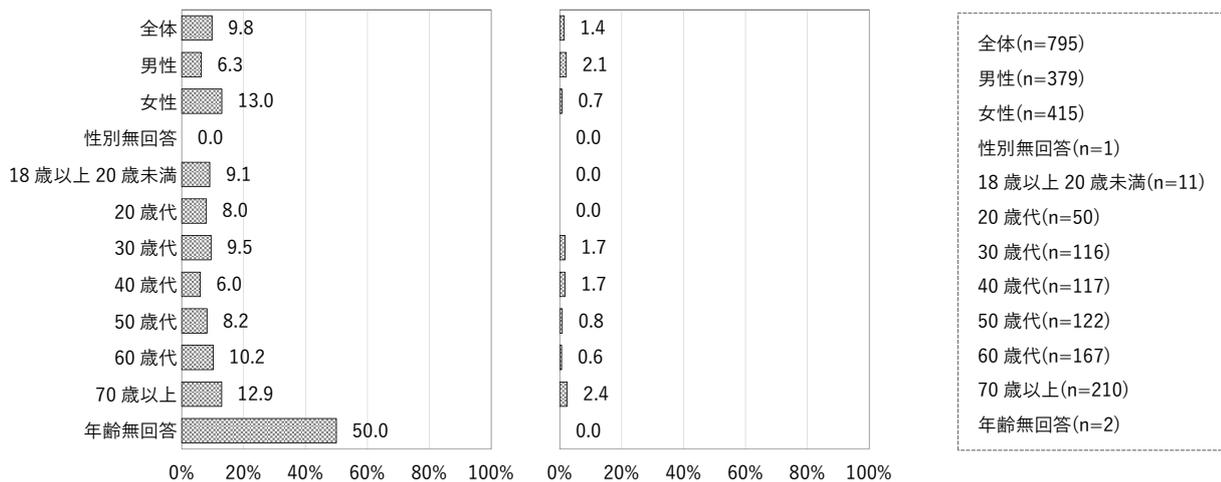
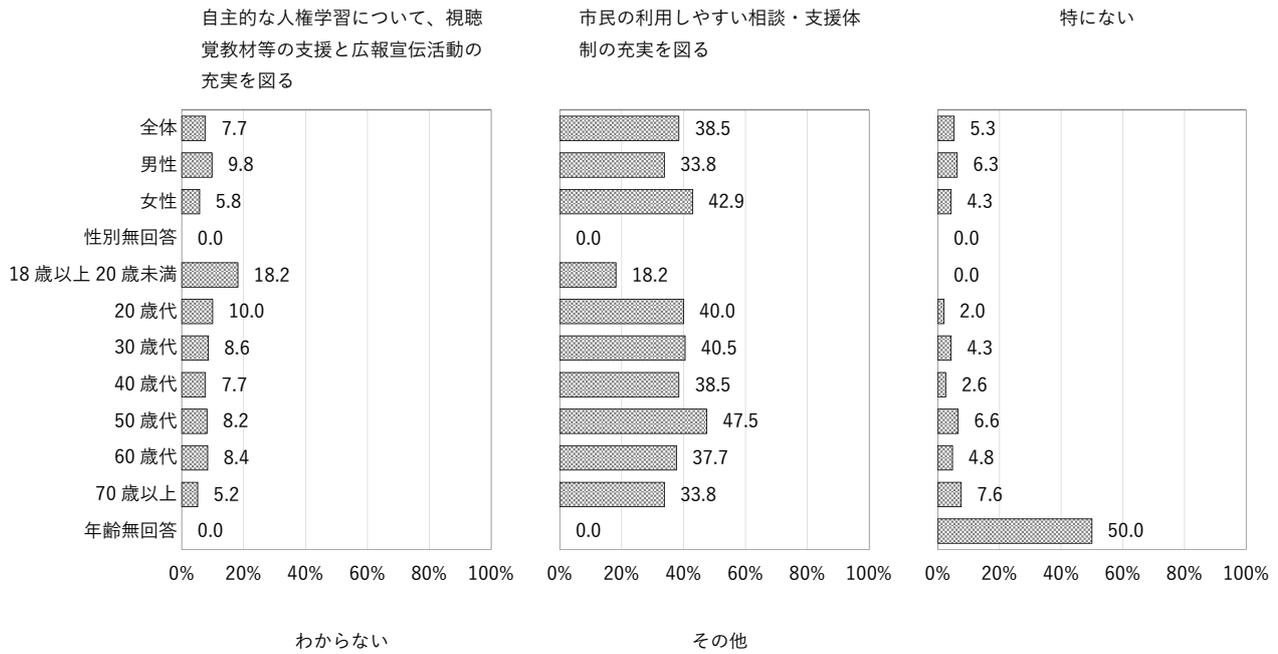


学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る

地域社会における人権教育の充実を図る

相談機関等の情報提供など、家庭における人権教育の支援の充実を図る



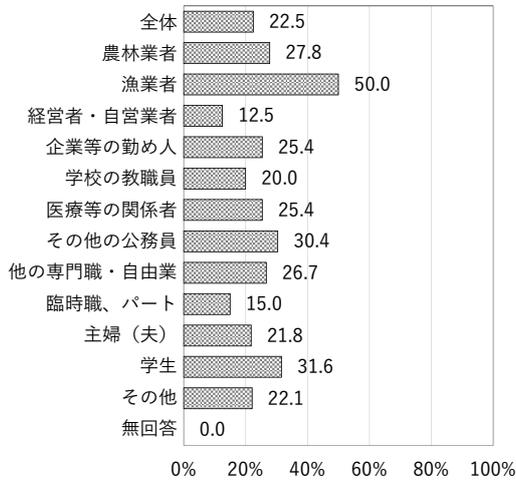


人権に関する取り組みの今後の条件整備としては、「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」44.0%、「市民の利用しやすい相談・支援体制の充実を図る」38.5%、「人権に配慮した行政の推進（業務の点検、見直しなど）を図る」29.9%、「公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る」25.9%、「市民の人権尊重意識の高揚を図るための啓発活動を推進する」22.5%の順になっている。

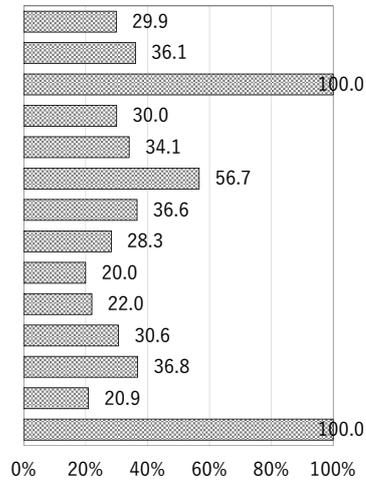
年代別に見ると、「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」では、20歳代～60歳代で4割を超えているのに対し、18歳以上20歳未満では27.3%と3割に満たない。「公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る」では、20歳代36.0%、40歳代35.9%が高く、3割を超えている。

## 【人権に関する取り組みの今後の条件整備（職業別）】

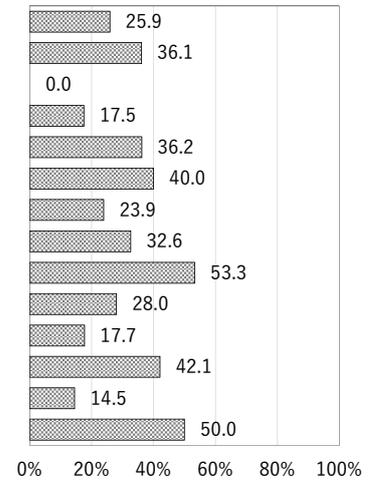
市民の人権尊重意識の高揚を図るための啓発活動を推進する



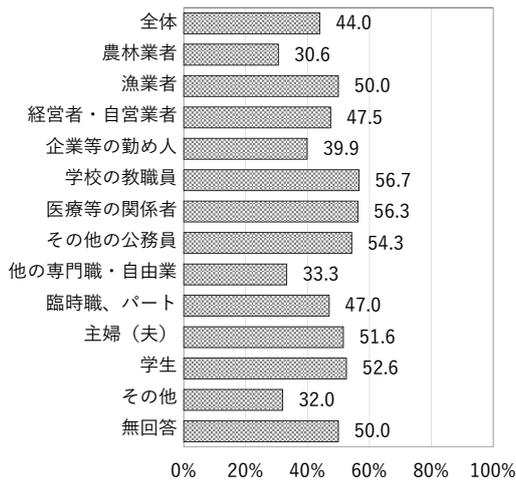
人権に配慮した行政の推進（業務の点検、見直しなど）を図る



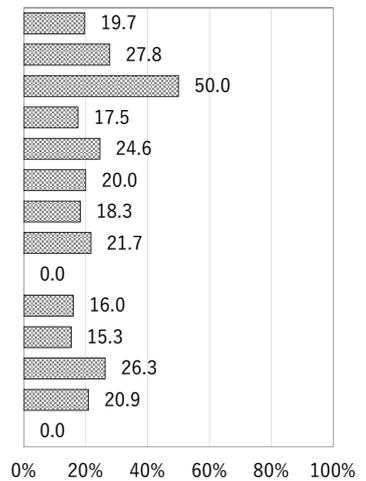
公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る



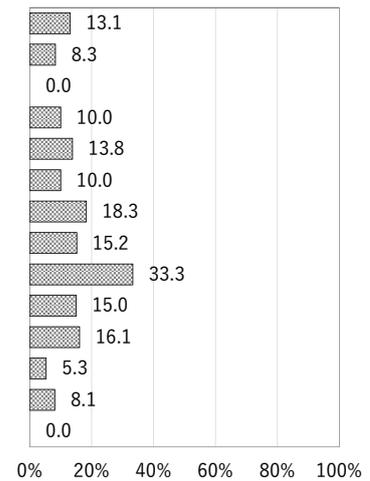
学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る



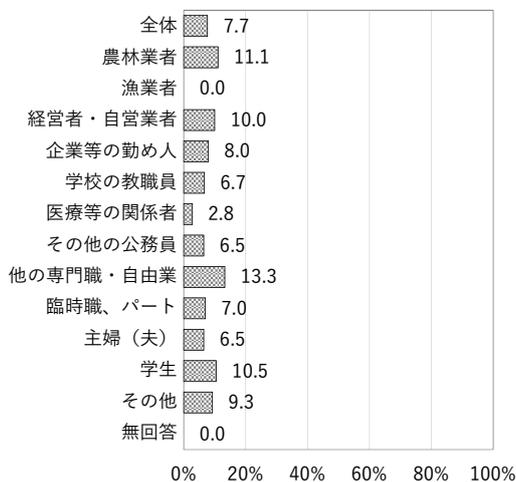
地域社会における人権教育の充実を図る



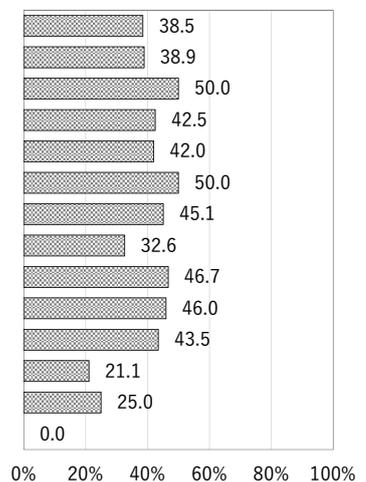
相談機関等の情報提供など、家庭における人権教育の支援の充実を図る



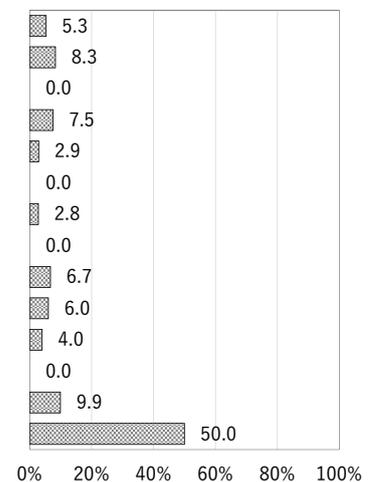
自主的な人権学習について、視聴覚教材等の支援と広報宣伝活動の充実を図る



市民の利用しやすい相談・支援体制の充実を図る

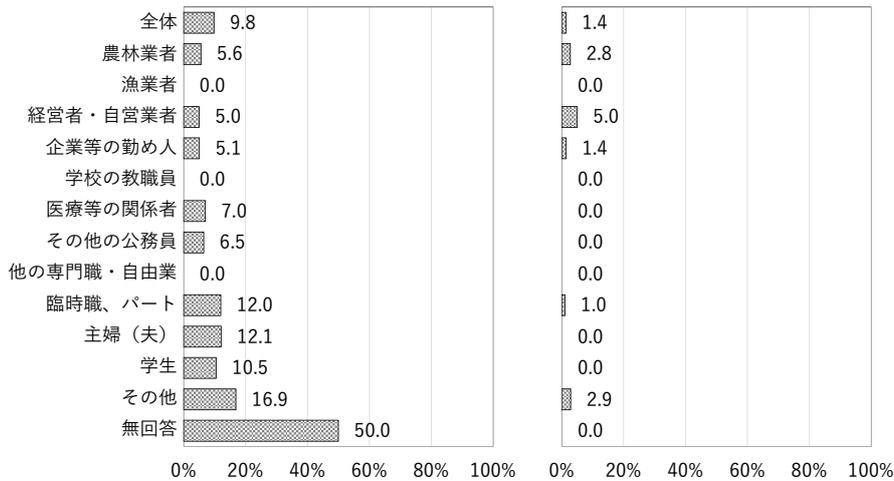


特にない



わからない

その他



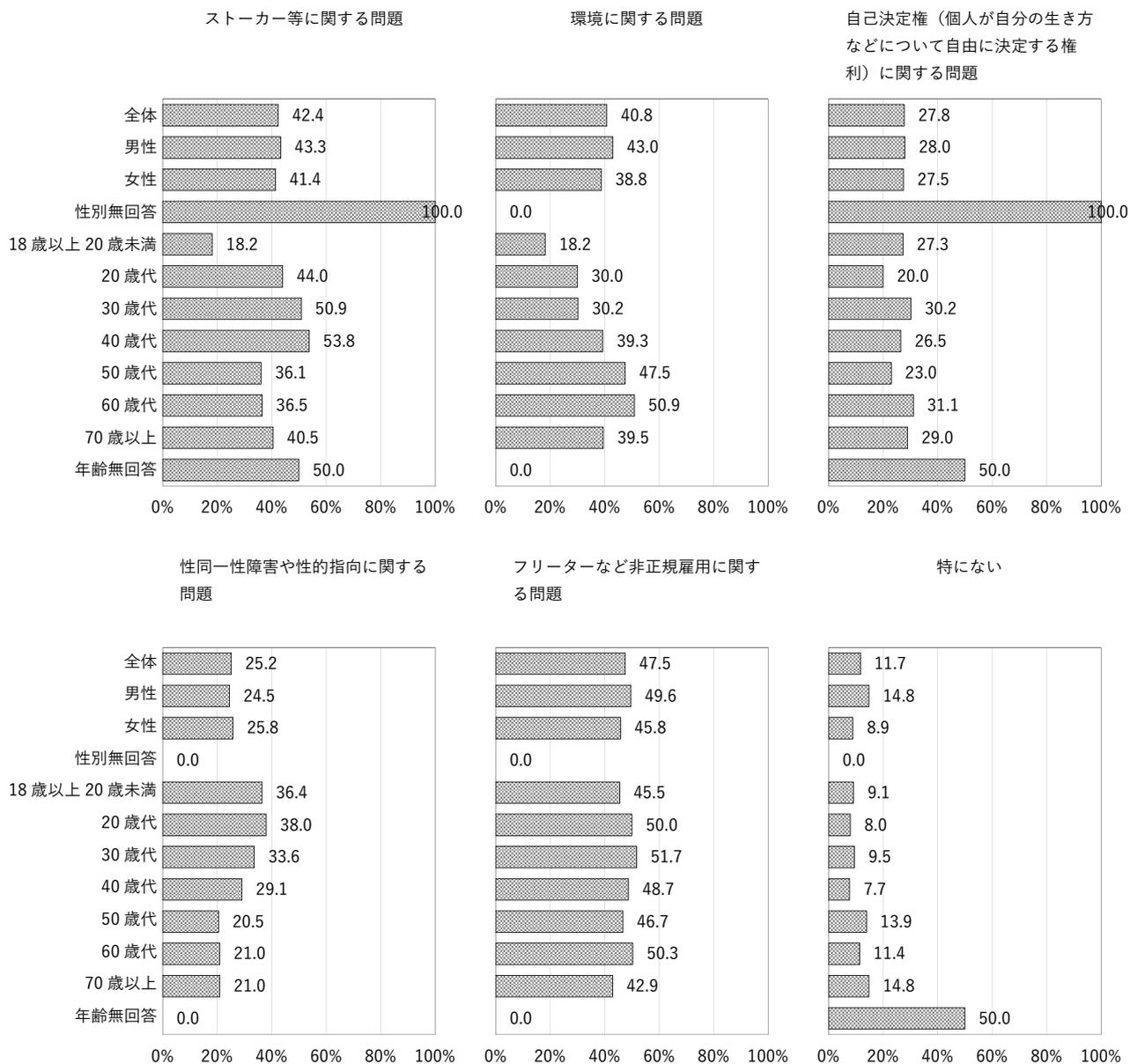
全体(n=795)  
 農林業者(n=36)  
 漁業者(n=2)  
 経営者・自営業者(n=40)  
 企業等の勤め人(n=138)  
 学校の教職員(n=30)  
 医療等の関係者(n=71)  
 その他の公務員(n=46)  
 他の専門職・自由業(n=15)  
 臨時職、パート(n=100)  
 主婦(夫)(n=124)  
 学生(n=19)  
 その他(n=172)  
 職業無回答(n=2)

人権に関する取り組みの今後の条件整備について、職業別に見ると、「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」では、学校の教職員 56.7%、医療等の関係者 56.3%、その他の公務員 54.3%が高くなっている。「人権に配慮した行政の推進（業務の点検、見直しなど）を図る」では、学校の教職員が 56.7%、「公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る」では、他の専門職・自由業が 53.3%と、他の職業に比べて高くなっている。

（3）今後、山口市人権推進指針に盛り込むべき人権課題

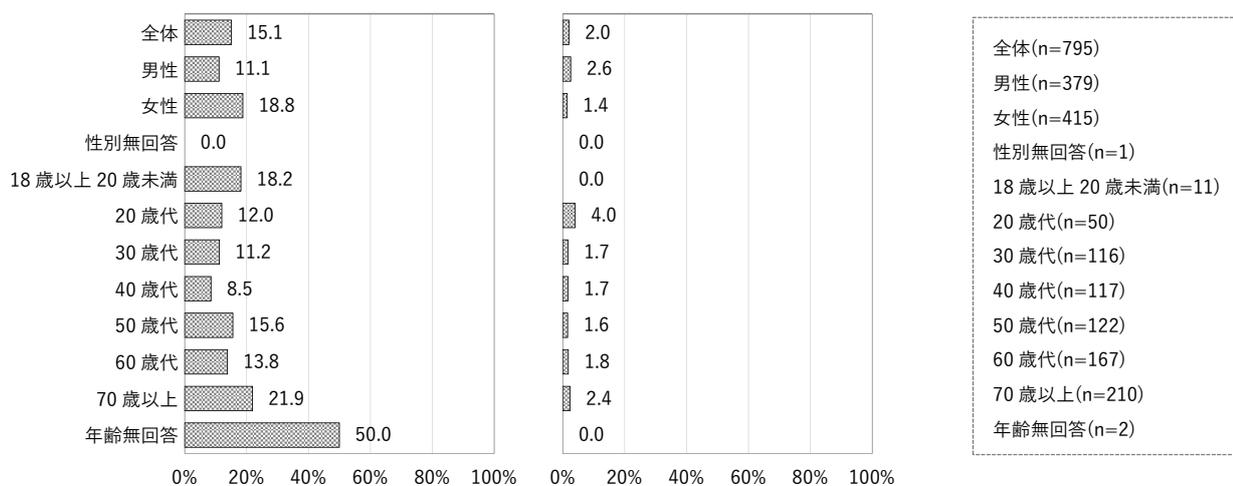
問27 あなたは、人権に関わる課題として、今後、「山口市人権推進指針」にどのような問題を盛り込む必要があると思われますか？全て選んでください。

【今後、山口市人権推進指針に盛り込むべき人権課題（性・年齢別）】



わからない

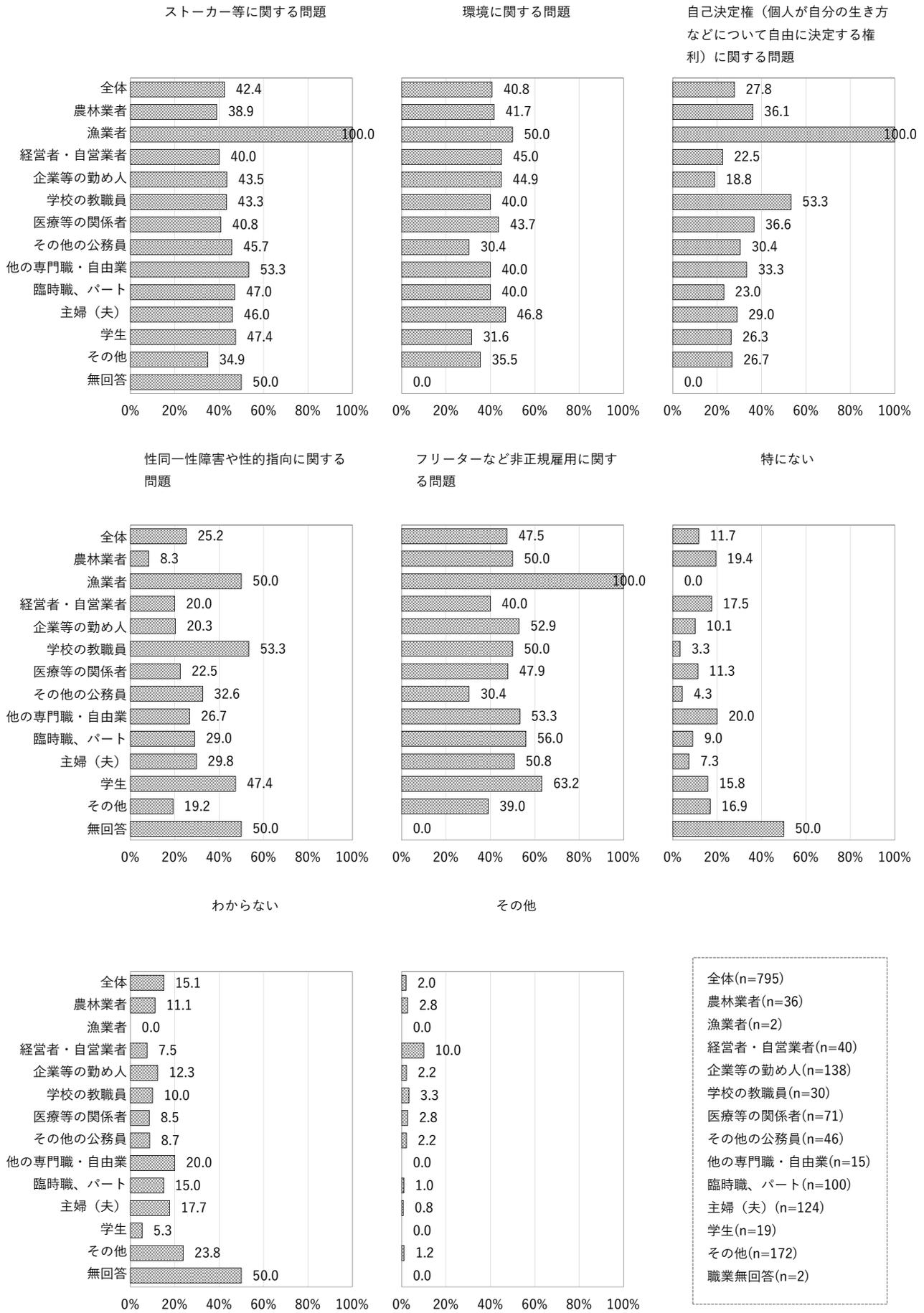
その他



今後、山口市人権推進指針に盛り込むべき人権課題について、「フリーターなど非正規雇用に関する問題」47.5%、「ストーカー等に関する問題」42.4%、「環境に関する問題」40.8%の割合が高く、4割を超えている。

年代別に見ると、「フリーターなど非正規雇用に関する問題」では、全ての年代で4割を超えている。「ストーカー等に関する問題」「性同一性障害や性的指向に関する問題」では、50歳代～70歳以上で割合が低くなっている。「環境に関する問題」では、60歳代が最も高く50.9%となっている。

【今後、山口市人権推進指針に盛り込むべき人権課題（職業別）】



今後、山口市人権推進指針に盛り込むべき人権課題について、職業別に見ると、「ステーカー等に関する問題」「環境に関する問題」「フリーターなど非正規雇用に関する問題」では、全ての職業で3割を超えている。

「性同一性障害や性的指向に関する問題」では、学校の教職員が最も高く53.3%となっている。

## 参 考 资 料



# 人権に関する市民意識調査

以下の設問ごとに回答を選択し、「回答欄」にその番号を記入してください。

◆あなたの性別を教えてください。

- ① 男                      ② 女

回答欄

◆あなたの年齢を教えてください。（平成28年（2016年）9月1日現在の満年齢）

- ① 18歳以上20歳未満    ② 20歳代            ③ 30歳代            ④ 40歳代  
⑤ 50歳代                ⑥ 60歳代            ⑦ 70歳以上

回答欄

◆あなたの職業を教えてください。

- ① 農林業者（家族従事者も含む）  
② 漁業者（家族従事者も含む）  
③ 企業の経営者・自営業者（家族従事者も含む）  
④ 民間の企業や工場・商店などに勤める人  
⑤ 学校の教職員（大学・短大・専門学校・幼稚園・保育所含む）  
⑥ 医療・保健・福祉関係者（医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・介護福祉士など）  
⑦ 学校・医療関係以外の公務員  
⑧ その他の専門職・自由業（弁護士・公認会計士・宗教家・芸術家・各種師匠など）  
⑨ 臨時職員やパート等  
⑩ 主婦（夫）（専ら家事・育児をしている人）  
⑪ 学生  
⑫ その他（無職など、上記以外の人）

回答欄

【人権についての意識や考え方をお聞きします】

（問1）あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか？

- ① 知っている            ② 知らない→問2へお進みください。

回答欄

（問1-2）【問1で「① 知っている」を選んだ人のみ、お答えください。】

憲法で保障されている基本的人権のうち、あなたが日常生活の中で、特に関心をもっているものはどれですか？3つまで選んでください。

- ① 自由権（思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など）  
② 平等権（法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等）  
③ 生存権（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）  
④ 教育を受ける権利  
⑤ 仕事に就いて働く権利  
⑥ 働く人が、団結・団体交渉・団体行動をする権利  
⑦ 政治に参加する権利（選挙権、最高裁判所裁判官の国民審査など）  
⑧ 裁判を受ける権利に参加する権利  
⑨ わからない  
⑩ その他（回答欄に“⑩”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

回答欄

(問2) 『市民一人ひとりの人権が尊重されたまち』の実現に向け、人権に関する総合的な取り組みを推進するため、平成23年3月に策定した「山口市人権推進指針」を知っていますか？

回答欄

- ① 知っている      ② 知らない→問3へお進みください

(問2-2) 【問2で「① 知っている」を選んだ人のみ、次の(1)と(2)にお答えください。】

(1) あなたが、「山口市人権推進指針」を知ったきっかけは、何からですか？  
全て選んでください。

回答欄

- ① 人権学習講座・研修会  
② 人権に関するイベント（市人権ふれあいフェスティバル等）  
③ 市報  
④ 市ホームページ  
⑤ その他（回答欄に“⑤”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

-----

(2) 「山口市人権推進指針」について、どのように思いましたか？1つ選択してください。

- ① 内容がわかりやすい  
② 共感できる  
③ 内容がむずかしくてわかりにくい  
④ もっと内容を充実すべき  
⑤ その他（回答欄に“⑤”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

回答欄

-----

(問3) 今の山口市は、人権が尊重されたまちだと思いますか？あなたの気持ちに一番近いものをお答えください。

- ① そう思う  
② どちらともいえない  
③ そうは思わない  
④ わからない

回答欄

(問4) あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか？

- ① ある  
② ない→問5へお進みください。  
③ わからない→問5へお進みください。

回答欄

(問4-2)【問4で「① ある」を選んだ人のみ、次の(1)と(2)にお答えください。】

(1) あなたが侵害されたと思った内容はどのようなものでしたか？  
全て選んでください。

- ① 名誉き損、侮辱
- ② 暴力・虐待(家庭内を含む)、脅迫、強要
- ③ 公的機関や企業、団体による不当な扱い
- ④ 社会福祉施設での不当な扱い
- ⑤ 警察官による不当な扱い(犯罪や不法行為のぬれぎぬなど)
- ⑥ 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不当な扱い)
- ⑦ 地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、かげ口など)
- ⑧ セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為
- ⑨ プライバシーを侵害
- ⑩ インターネットによる人権侵害
- ⑪ 悪臭、騒音等の公害
- ⑫ なんとなく
- ⑬ 答えたくない
- ⑭ その他 (回答欄に“⑭”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。)

回答欄

(2) そのとき、あなたは どうされましたか？全て選んでください。

- ① 黙って我慢した
- ② 相手に抗議した
- ③ 親、きょうだい、子どもや親戚に相談した
- ④ 自治会の役員や民生委員へ相談した
- ⑤ 親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した
- ⑥ 法務局や人権擁護委員に相談した
- ⑦ 県や市の担当部署に相談した
- ⑧ 弁護士に相談した
- ⑨ 警察へ相談した
- ⑩ 民間団体などに相談した
- ⑪ 新聞などの報道機関等に相談した
- ⑫ その他 (回答欄に“⑫”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。)

回答欄

(問5) 【女性の人権についてお聞きします】

あなたは、女性の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

回答欄

- ① 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家事」など）をおしつけること
- ② 職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇
- ③ 家庭内における配偶者に対する暴力（酒に酔ってなぐるなど）
- ④ 職場におけるセクシャル・ハラスメント
- ⑤ 職場におけるマタハラ
- ⑥ 売春・買春（援助交際を含む）
- ⑦ 政策や方針を決定する過程に女性が十分参画できない
- ⑧ 内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真、アダルト（成人向け）ビデオ等
- ⑨ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑩ 特にない
- ⑪ わからない
- ⑫ その他（回答欄に“⑫”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

--

(問6) 【子どもの人権についてお聞きします】

あなたは、子どもの人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

回答欄

- ① 成績だけを気にかけている保護者がいること
- ② 食事や健康管理など、教育に本気で取り組まない保護者がいること
- ③ 大人（保護者）が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと
- ④ 子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人（保護者）がいること
- ⑤ 大人が子どもを1つの人格をもった人間として認めないこと
- ⑥ 子どもに有害な情報（暴力的な漫画、性描写の雑誌など）があること
- ⑦ 子ども間でいじめが行われていること
- ⑧ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑨ 特にない
- ⑩ わからない
- ⑪ その他（回答欄に“⑪”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

--

(問7) 【高齢者の人権についてお聞きします】

あなたは、高齢者の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

回答欄

- ① 経済的に自立が困難なこと
- ② 働ける能力を發揮する機会が少ないこと
- ③ 悪質商法や財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること
- ④ 家庭において看護や介護をせずに、嫌がらせや虐待をすること
- ⑤ 病院や養護施設において、嫌がらせや虐待をすること
- ⑥ 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること
- ⑦ 高齢者の意見や行動を尊重しないこと
- ⑧ 乗物、建物などでバリアフリー（高齢者や障がい者など、日常生活や社会生活を営む上でのさまざまな障がいを取り除くこと）化が図られていないこと
- ⑨ アパート等への入居が、高齢者というだけで制限されること
- ⑩ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑪ 特にない
- ⑫ わからない
- ⑬ その他（回答欄に“⑬”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

--

(問8) 【障がい者の人権についてお聞きします】

あなたは、障がい者の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

回答欄

- ① 障がい者や障がいについて、人々の理解が不足していること
- ② 働ける場所や機会が少ないこと
- ③ 就職、職場で不利な扱いを受けること
- ④ 結婚問題で周囲が反対すること
- ⑤ 差別的な言動をすること
- ⑥ 悪質商法や財産侵害など障がい者が被害者となる犯罪が増加していること
- ⑦ アパート等への入居が、障がい者というだけで制限されること
- ⑧ スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
- ⑨ 施設等の受入れ体制が十分でないこと
- ⑩ 交通機関、道路、店舗、公園などの利用が不便なこと
- ⑪ 一般社会や施設内において、いじめや虐待にあうこと
- ⑫ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑬ 特にない
- ⑭ わからない
- ⑮ その他（回答欄に“⑮”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

--

(問9)【同和問題についてお聞きします】

あなたは、同和問題に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？2つまで選んでください。

回答欄

- ① 偏見が残っていること
- ② 差別的な言動をすること
- ③ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ④ 結婚問題で周囲が反対すること
- ⑤ 就職、職場で不利な扱いを受けること
- ⑥ 住宅を購入する際・転居する際に同和地区をさけること
- ⑦ えせ同和行為があること
- ⑧ 身元調査をされること
- ⑨ 特にない
- ⑩ わからない
- ⑪ その他 (回答欄に“⑪”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。)

(問10) あなたは、この5年間の間に、同和問題に関することで、偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？ある方は、上記問9の内容から回答してください。2つまで選んでください。

回答欄

その他の回答欄

(問11) あなたは、同和問題の解決に必要なことは、どのようなことだと思いますか？2つまで選んでください。

- ① 同和問題についての教育・啓発広報活動を推進する
- ② 住民の利用しやすい人権相談支援体制を充実する
- ③ えせ同和行為を排除する
- ④ 人権問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる
- ⑤ 学校や行政などが同和問題を取り上げず、そっとしておけば、自然になくなる
- ⑥ 特にない
- ⑦ わからない
- ⑧ その他 (回答欄に“⑧”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。)

回答欄

(問1 2)【外国人の人権についてお聞きします】

あなたは、外国人の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

- ① 言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと（嫌がらせを受けること）
- ② 住宅を容易に借りることができないこと
- ③ 言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと
- ④ 結婚問題で周囲が反対すること
- ⑤ 就職、職場で不利な扱いを受けること
- ⑥ 選挙など、制度面での制約を受けること
- ⑦ 病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと
- ⑧ じろじろ見られたり、避けられたりすること
- ⑨ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑩ 特にない
- ⑪ わからない
- ⑫ その他（回答欄に“⑫”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

回答欄

(問1 3) あなたは、この5年間の間に、外国人に対する偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？ある方は、上記問1 2の内容から回答してください。2つまで選んでください。

その他の回答欄

回答欄

(問1 4)【感染症患者等（HIV感染者・患者等）の人権についてお聞きします】

あなたは、感染症患者等（HIV感染者・患者等）の人権に関することで、問題があると思われることはどのようなことですか？3つまで選んでください。

- ① 治療や入院を断ること
- ② 治療による薬害の被害を被っていること
- ③ 結婚問題で周囲が反対すること
- ④ 就職、職場で不利な扱いを受けること
- ⑤ 無断でエイズ検査をすること
- ⑥ 差別的な言動をすること
- ⑦ アパート等への入居を拒否すること
- ⑧ ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること
- ⑨ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑩ 特にない
- ⑪ わからない
- ⑫ その他（回答欄に“⑫”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

回答欄

(問15) あなたは、この5年間の間に、感染症患者等（HIV感染者・患者等）に対する偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？ある方は、上記問14の内容から回答してください。2つまで選んでください。

回答欄

その他の回答欄


(問16) 【ハンセン病問題（ハンセン病患者・元患者等）についてお聞きします】  
あなたは、ハンセン病問題（ハンセン病患者・元患者とその家族）に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？2つまで選んでください。

回答欄

- ① ハンセン病療養所の外で、自立した生活を営むことが困難なこと
- ② 差別的な言動をすること
- ③ ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと
- ④ アパート等への入居を拒否すること
- ⑤ ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否すること
- ⑥ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑦ 特にない
- ⑧ わからない
- ⑨ その他（回答欄に“⑨”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）


(問17) あなたは、この5年間の間に、ハンセン病問題（ハンセン病患者・元患者とその家族）に対する偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？ある方は、上記問16の内容から回答してください。2つまで選んでください。

回答欄

その他の回答欄


(問18) 【罪や非行を犯した人の人権についてお聞きします】

あなたは、罪や非行を犯した人が、罪をつくなって社会の一員として立ち直ろうとする場合、どのような問題があると思われますか？2つまで選んでください。

回答欄

- ① 更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること
- ② 就職、職場で不利な扱いを受けること
- ③ アパート等への入居を拒否すること
- ④ 結婚問題で周囲が反対すること
- ⑤ じろじろ見られたり、避けられたりすること
- ⑥ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑦ 特にない
- ⑧ わからない
- ⑨ その他（回答欄に“⑨”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）


(問19) あなたは、この5年間の間に、罪や非行を犯した人に対する偏見や差別について、見たり聞いたりしたことがありますか？上記問18の内容から回答してください。2つまで選んでください。

回答欄

その他の回答欄

--

(問20) 【性的少数者の人権についてお聞きします】

あなたは、異性愛、同性愛、両性愛といった性的指向に関する事で、問題があると思われるのはどのようなことですか？2つまで選んでください。

回答欄

- ① 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
- ② 就職、職場で不利な扱いを受けること
- ③ 差別的な言動をすること
- ④ アパート等への入居を拒否すること
- ⑤ 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否すること
- ⑥ じろじろ見られたり、避けられたりすること
- ⑦ 特にない
- ⑧ わからない
- ⑨ その他（回答欄に“⑨”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

--

(問21) あなたは、生物学的な性とところの性が一致しない性同一性障害に関する事で、問題があると思われるのは、どのようなことですか？2つまで選んでください。

回答欄

- ① 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
- ② 就職、職場で不利な扱いを受けること
- ③ 差別的な言動をすること
- ④ アパート等への入居を拒否すること
- ⑤ 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否すること
- ⑥ じろじろ見られたり、避けられたりすること
- ⑦ 特にない
- ⑧ わからない
- ⑨ その他（回答欄に“⑨”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

--

【その他の人権についてお聞きします】

(問22) あなたは、プライバシー保護に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

- ① 個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横領し・流出(紛失)すること
- ② 知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること
- ③ インターネットを介して、大量の個人情報が流出する事件が多発していること
- ④ インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み
- ⑤ 自分や家族のことについて、他人に言いふらされること
- ⑥ 就職や結婚などの際に、企業や調査機関等から調査されること
- ⑦ 役所への届出等で、直接関係のないことを書かされたり聞かれたりすること
- ⑧ 公的機関や企業において、自分に関する情報や資料を見せてもらえないこと
- ⑨ 事件や事故など関係者のプライベートな情報を公開すること
- ⑩ 特にない
- ⑪ わからない
- ⑫ その他 (回答欄に“⑫”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。)

回答欄

(問23) 「インフォームド・コンセント」(治療の目的や内容を納得できるように患者に説明し、了承を得て治療すること)が患者の権利として重視されていますが、あなたがこれまでに受けた医療機関の対応は、次のうちどれに近いですか？1つ選んでください。

- ① 本人または家族に対して十分な説明を受けた
- ② 本人または家族への説明がやや不十分であった
- ③ 本人または家族への説明に対して不満を感じた
- ④ 特に説明を受けたことはない
- ⑤ わからない、覚えていない
- ⑥ その他 (回答欄に“⑥”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。)

回答欄

(問24) あなたは、犯罪被害者の人権に関することで、問題があると思われるのはどのようなことですか？3つまで選んでください。

- ① 犯罪行為によって、精神的なショックを受けること
- ② 犯罪行為によって、経済的負担を受けること
- ③ 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
- ④ 警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと
- ⑤ 捜査や刑事裁判において、精神的負担を受けること
- ⑥ 刑事裁判手続きに、必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
- ⑦ 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる
- ⑧ 犯罪被害者に対して、職場・同僚・学校関係者などの十分な理解が得られないこと
- ⑨ 捜査機関からの犯罪に関する情報提供がなされないこと
- ⑩ メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせを行うこと
- ⑪ 特にない
- ⑫ わからない
- ⑬ その他 (回答欄に“⑬”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。)

回答欄

【人権に関する取り組みについてお聞きします】

(問25) 山口市では、「山口市人権推進指針」に基づき、人権に関する施策を総合的に推進していますが、これまでに市または県が実施した行事（イベント・研修会等）に参加したり、人権問題に関連した記事等を見たりした経験がありますか？全て選んでください。

- ① 人権ふれあいフェスティバル等のイベント
- ② 研修会、講演会等
- ③ 市や県の広報紙、パンフレット
- ④ 新聞
- ⑤ テレビ・ラジオスポット
- ⑥ 人権啓発映画、ビデオ
- ⑦ 街頭啓発活動
- ⑧ 掲示物（ポスターやバス車体広告等）
- ⑨ 懸垂幕・横断幕
- ⑩ 市や県のホームページ
- ⑪ 特にない
- ⑫ その他（回答欄に“⑫”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

回答欄

(問26) あなたは、今後、人権に関する取り組みとして、どのような条件整備に力を入れていけばよいと思われますか？3つまで選んでください。

- ① 市民の人権尊重意識の高揚を図るための啓発活動（イベントや講演会など）を推進する
- ② 人権に配慮した行政の推進（人権尊重の視点からの業務の点検、見直しなど）を図る
- ③ 公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る
- ④ 学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る
- ⑤ 地域社会における人権教育の充実を図る
- ⑥ 相談機関等の情報提供など、家庭における人権教育の支援の充実を図る
- ⑦ 市民の自主的な人権学習について、視聴覚教材等の支援と広報宣伝活動の充実を図る
- ⑧ 市民の利用しやすい相談・支援体制の充実を図る
- ⑨ 特にない
- ⑩ わからない
- ⑪ その他（回答欄に“⑪”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

回答欄

(問27) あなたは、人権に関わる課題として、今後、「山口市人権推進指針」にどのような問題を盛り込む必要があると思われますか？  
全て選んでください。

回答欄

- ① ストーカー等に関する問題
- ② 環境に関する問題
- ③ 自己決定権（個人が自分の生き方などについて自由に決定する権利）に関する問題
- ④ 性同一性障害や性的指向に関する問題
- ⑤ フリーターなど非正規雇用に関する問題
- ⑥ 特にない
- ⑦ わからない
- ⑧ その他（回答欄に“⑧”を記入し、下欄に具体的な内容を記入してください。）

## ■自由意見欄

さまざまな人権問題について、日頃から考えておられること、また、市に対しての御意見や御要望、アンケートに関する御意見等何でも結構ですので、下記の欄に御自由にお書きください。

～最後まで御協力ありがとうございました～